ISBN4-88317-830-7 C0076 ¥1300E
定価：本体1,300円（税別）

9784883178308

1920076013003

発行　コナミ株式会社（JOC L-004）
発売　株式会社新紀元社

WORLD SOCCER 実況ウイニングイレブン WINNING ELEVEN 2000
U-23メダルへの挑戦

「　」「KONAMI」「実況ウイニングイレブン」「WINNING ELEVEN」及び「U-23 メダルへの挑戦」はコナミ株式会社の商標です。
“　”及びPlayStationは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

KONAMI

WORLD SOCCER 実況ウイニングイレブン®2000
U-23メダルへの挑戦
パーフェクトガイド
発行　コナミ株式会社
発売　株式会社新紀元社

KONAMI OFFICIAL GUIDE
パーフェクトシリーズ

WORLD SOCCER 実況ウイニングイレブン® WINNING ELEVEN 2000
U-23メダルへの挑戦

パーフェクトガイド

©2000 KONAMI ALL RIGHTS RESERVED.

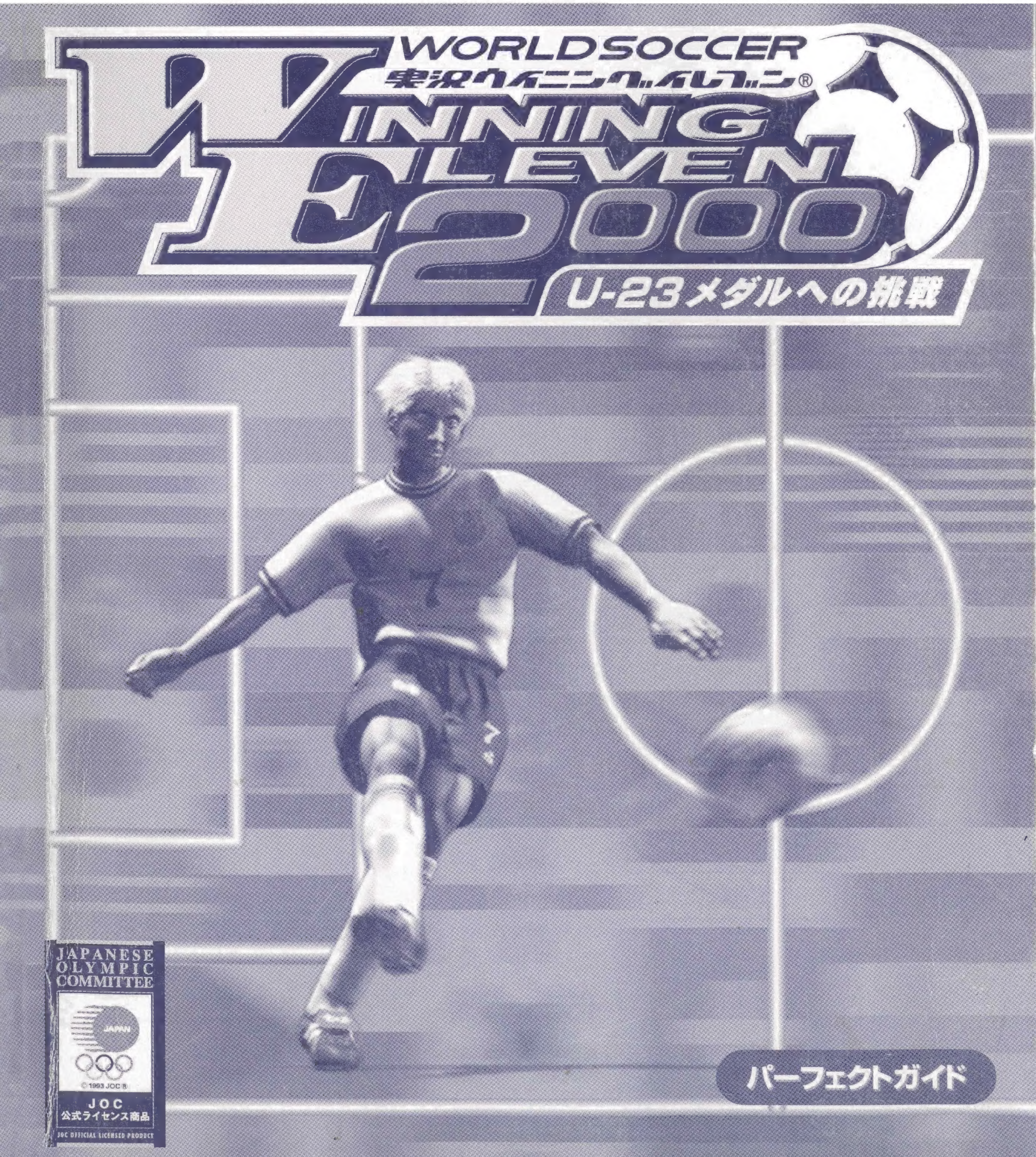
JFA
OFFICIAL GOODS
© 1996 J F A
All Rights Reserved By JFA
Japan
national team
KONAMI
JAPANESE OLYMPIC COMMITTEE
JAPAN
© 1993 JOC ®
JOC
公式ライセンス商品
JOC OFFICIAL LICENSED PRODUCT
WORLD SOCCER
実況ウイニングイレブン®
WINNING ELEVEN 2000
U-23メダルへの挑戦
●このU-23日本代表の写真は2000年3月29日の対U-23ニュージーランド代表戦のものです。
© 2000 KONAMI ALL RIGHTS RESERVED.
VX202-J1
(SLPM 86600)
KONAMI SPORTS
PlayStation

KONAMI

KONAMI OFFICIAL GUIDE

パーフェクトシリーズ

PlayStation



©2000 KONAMI ALL RIGHTS RESERVED.

KONAMI OFFICIAL GUIDE

パーフェクトシリーズ

WORLD SOCCER 実況ウイニングイレブン WINNING ELEVEN 2000 U-23メダルへの挑戦

パーフェクトガイド

CONTE

本書の見方 …… 4
用語集 …… 6

CHAPTER 1 基礎編

モード紹介 …… 8
ゲームの進め方 …… 11
各種モードの進め方 …… 11
フォーメーションの設定 …… 14
メンバーチェンジ・キッカーセレクト …… 15
フォーメーション …… 16
ディフェンスタイプ …… 18
ポジションエディット …… 19
作戦 …… 20
フォーメーションコピー …… 23
操作の分類 …… 24
基本操作
OFFENSE …… 25
DEFENSE …… 30
KEEPER …… 32
RESTART …… 33
TACTICS …… 35
その他 …… 36

CHAPTER 2 実戦編

実戦テクニック …… 38
オフェンス講座 …… 40
ディフェンス講座 …… 46

コラム シークレットファイル …… 52
（隠しチームの出し方）

CHAPTER 3 データ編

各チームデータの見方 …… 54
使用する国の選び方 …… 56
ポジション別適性値解説 …… 58

ヨーロッパ地区
■アイルランド …… 68
■北アイルランド …… 70
■スコットランド …… 72
■ウェールズ …… 74
■イングランド …… 76
■ポルトガル …… 78
■スペイン …… 80
■フランス …… 82
■ベルギー …… 84
■オランダ …… 86
■スイス …… 88
■イタリア …… 90
■チェコ …… 92
■ドイツ …… 94
■デンマーク …… 96
■ノルウェー …… 98
■スウェーデン …… 100
■フィンランド …… 102
■ポーランド …… 104
■スロバキア …… 106
■オーストリア …… 108
■ハンガリー …… 110
■スロベニア …… 112
■クロアチア …… 114
■ユーゴスラビア …… 116
■ルーマニア …… 118
■ブルガリア …… 120
■ギリシャ …… 122
■トルコ …… 124
■ウクライナ …… 126
■ロシア …… 128

アフリカ地区
■モロッコ …… 130
■チュニジア …… 132
■エジプト …… 134
■ナイジェリア …… 136
■カメルーン …… 138
■南アフリカ …… 140

北中米・カリブ地区
■アメリカ …… 142
■メキシコ …… 144
■ジャマイカ …… 146

南米地区
■コロンビア …… 148
■ブラジル …… 150
■ペルー …… 152
■チリ …… 154

■パラグアイ……156
■ウルグアイ……158
■アルゼンチン……160
アジア地区
■日本……162
■韓国……164
■中国……166
■イラン……168
■UAE……170
■サウジアラビア……172
オセアニア地区
■オーストラリア……174
スペシャル
■ユーロオールスターズ……176
■ワールドオールスターズ……177
■クラシックユーロオールスターズ……178
■クラシックワールドオールスターズ……179

コラム マスターリーグ・獲得コスト別選抜チームを作ろう……180

CHAPTER 4 オリンピックモード攻略編

オリンピックモードガイド ―― 181
オリンピックモード概要……182
アジア最終予選 ―― 183
■日本……184
VSカザフスタン……186
VSタイ……187
本大会グループリーグ ―― 188
VS南アフリカ……189
VSスロバキア……190
VSブラジル……191
本大会トーナメント ―― 192
強豪国との戦い方 ―― 193
■タイ……194
■カザフスタン……195
■スペイン……196
■イタリア……197
■チェコ……198
■スロバキア……199
■モロッコ……200
■ナイジェリア……201
■カメルーン……202
■南アフリカ……203
■アメリカ……204
■ホンジュラス……205
■ブラジル……206
■チリ……207
■韓国……208
■クウェート……209
■オーストラリア……210

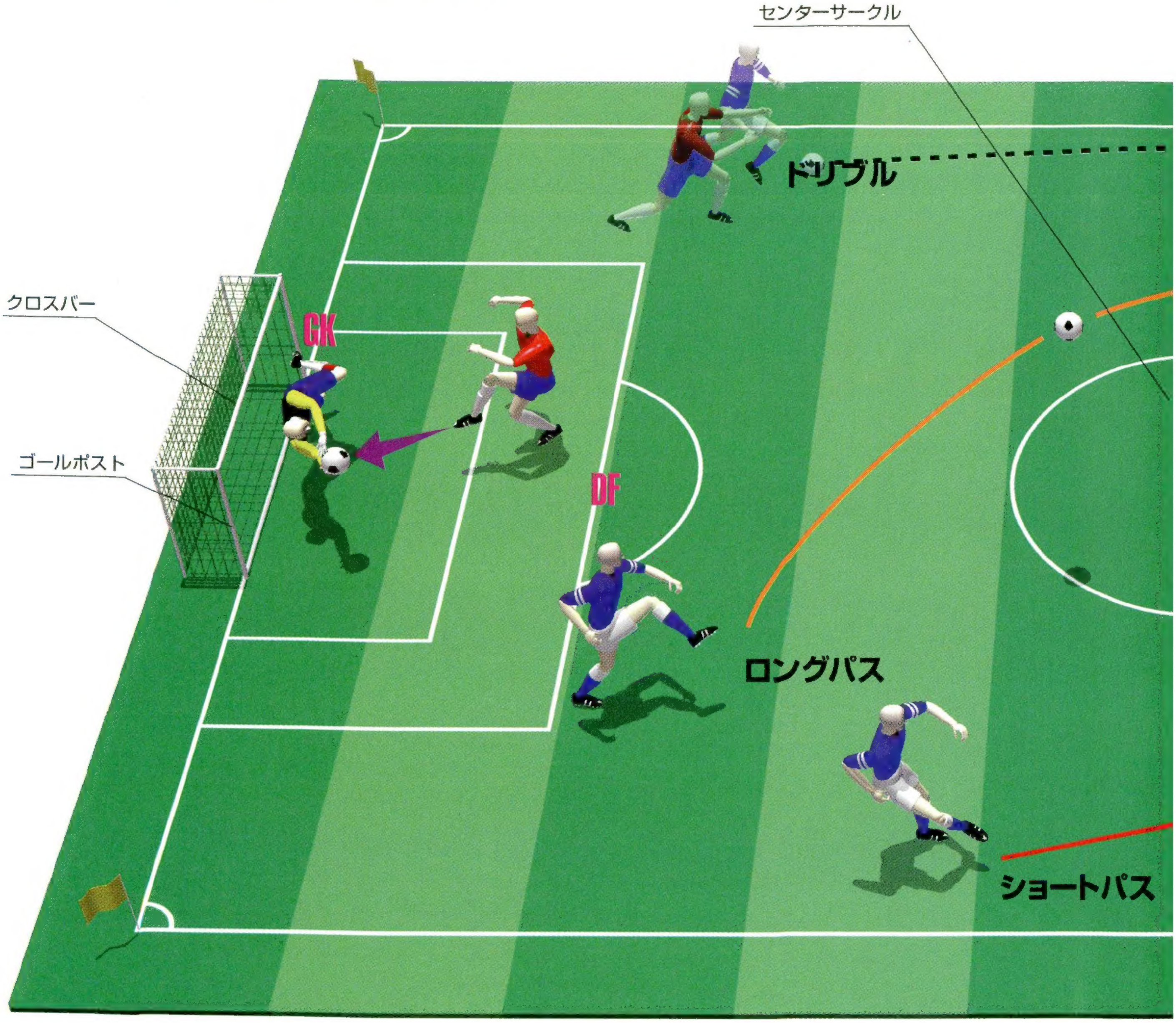
CHAPTER 5 マスターリーグ攻略編

マスターリーグガイド ―― 212
マスターリーグの主な流れ ―― 213
■オリジナルチーム戦術 ―― 214
選手獲得で戦力アップ ―― 216
マスターリーグチームデータ ―― 218
■マンチェスター……218
■ロンドン……219
■チェルシー……220
■リバプール……221
■リーズ……222
■ウェストハム……223
■バルセロナ……224
■マドリッド……225
■ヴァレンシア……226
■モナコ……227
■マルセイユ……228
■アムステルダム……229
■インターナショナル……230
■トリノ……231
■ミラノ……232
■ラツィオ……233
■パルマ……234
■フィレンツェ……235
■ローマ……236
■ドルトムント……237
■ミュンヘン……238
■レヴァークーゼン……239
■リオデジャネイロ……240
■ブエノスアイレス……241

マスターリーグポジション別適性値&コスト表 ―― 242
※■がついている項目は、選手データが掲載されているページです。

図中の表記と用語解説

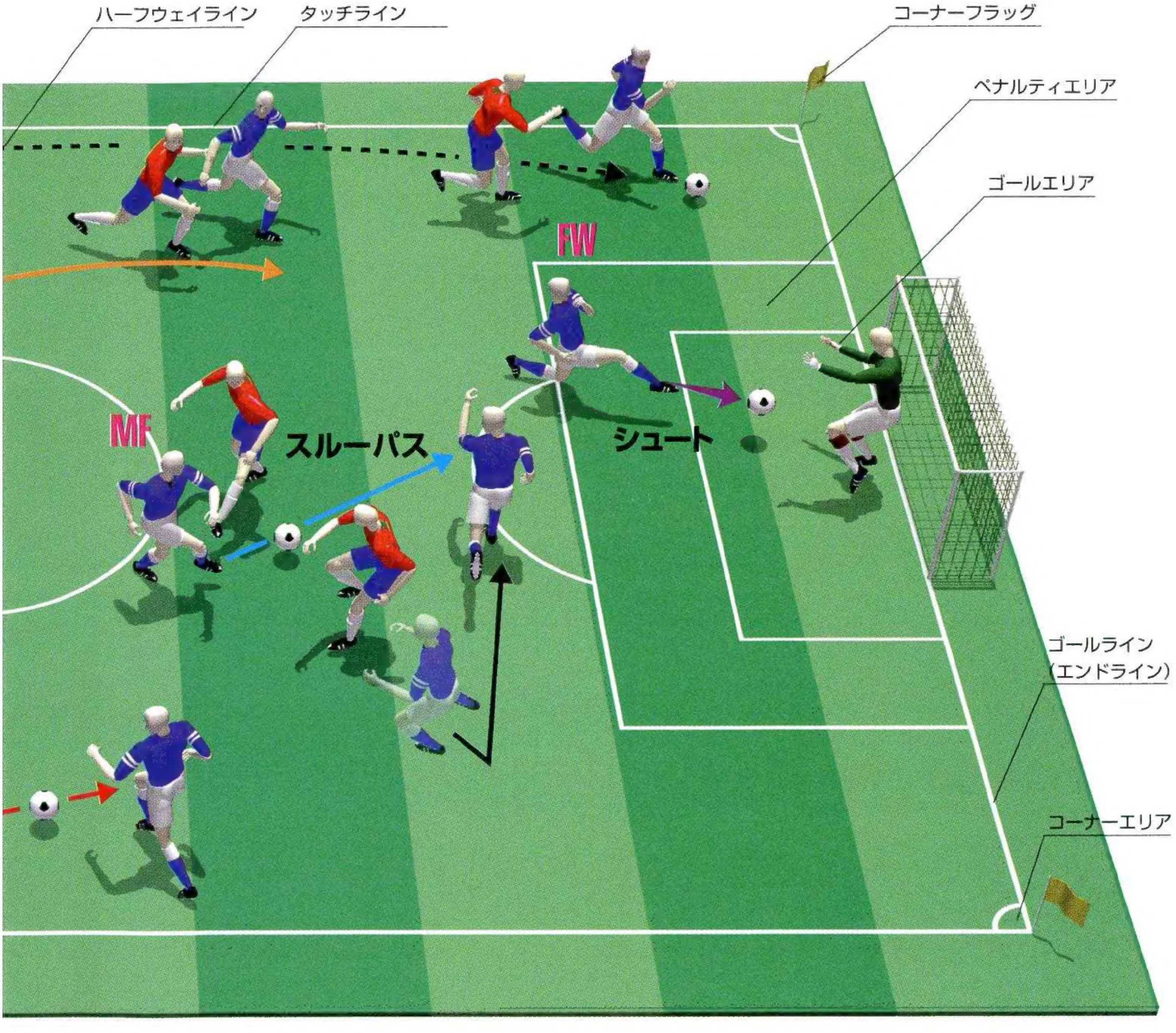
フィールド各部の名称



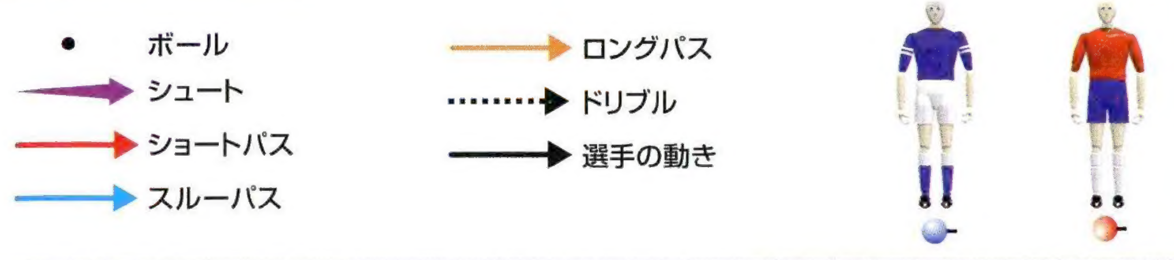
ポジション解説

サッカーのポジションは、その役割とフィールド上の位置から、ゴールを守る「ゴールキーパー(GK)」、相手の攻撃選手からゴールを守る「ディフェンダー(DF)」、DFとFWをつなぐ「ミッドフィルダー(MF)」、得点を狙う「フォワード(FW)」の4つに分類することができる。ゲーム中で使われているポジションの名称（略称）は、P59からの「ポジション別解説」を参照してほしい。

ここでは、フィールド上の名称やポジションの略称など、本書で用いられているサッカー用語や、P18から掲載している図中の表記について紹介する。また、次ページでは、簡単なものだがサッカーのルール等も解説している。サッカーの用語を知らないという方は一読してほしい。



図の見方



用語集

ホーム、アウェー方式
ワールドカップの地区予選などで採用される試合方式。自国（ホーム）と対戦国（アウェイ）の両国で試合をする。

ゴールデンゴール方式
90分間で決着がつかないとき、前後半15分ずつの延長戦を行い、先に得点したほうを勝ちとする。Jリーグでは「Vゴール」と呼ばれる。96年の欧州選手権から採用された。

オフサイド
2人以上の相手選手よりも、相手のゴール近くにいる選手が、味方からのパスを受けたりプレイに参加した場合、オフサイドとなる。つまり「待ち伏せ」を禁止したルール。相手は（間接）フリーキックの権利を得る。

ペナルティキック
ペナルティエリア内で、守備側の選手が反則をおかした場合に適用される。攻撃側は、ゴールから11メートルの地点でシュートを打ち、守備側はキーパーだけがこれを防御できる。延長戦をしても決着がつかない場合に、ペナルティキックで勝敗を決める方式をPK方式という。

スローイン
ボールがタッチラインの外に出た場合、最後にボールに触れたチームの相手チームボールとなる。タッチラインの外からボールを投げ入れることによって試合が再開される。

警告カード
イエローカードとレッドカードがある。どちらもフェアプレイ精神に反する行為を行ったプレイヤーに出される。レッドカードを出された選手は、即座に退場しなければならない。

フリーキック
フィールド上で反則を行った場合、ファウルを受けたチームにフリーキックが与えられる。直接と間接フリーキックがあるが、ゲームでは直接フリーキックのみ。

コーナーキック
守備側のチームが自陣のゴールラインからボールを出した場合、相手チームにコーナーキックが与えられる。攻撃側のチームが相手ゴールラインから出した場合はゴールキックとなる。

カバー（カバーリング）
ゴール前のラストパスを出されやすいスペースや味方が動いたあとのスペースを注意して守ること。

ロスタイム
ボールアウトなど、試合が中断されていた時間を考慮し、45分間が経過したあとにとられる試合続行が可能な時間。どれほどの時間をとるかは、主審の判断に任される。

キラーパス（ラストパス）
直接得点に結びつく、ディフェンダーの背後を抜ける絶妙なスルーパスのこと。

オープンスペース
相手のディフェンダーがカバーできず、ボールを自由に受けられるスペースのこと。攻撃側がディフェンダーをおびき出すように動き、そのあとにできるスペースが有効。

オーバーラップ
ディフェンダーが攻撃参加するために、相手陣内へ駆け上がっていくこと。守備が手薄になるため、カウンターアタックの危険を伴う。

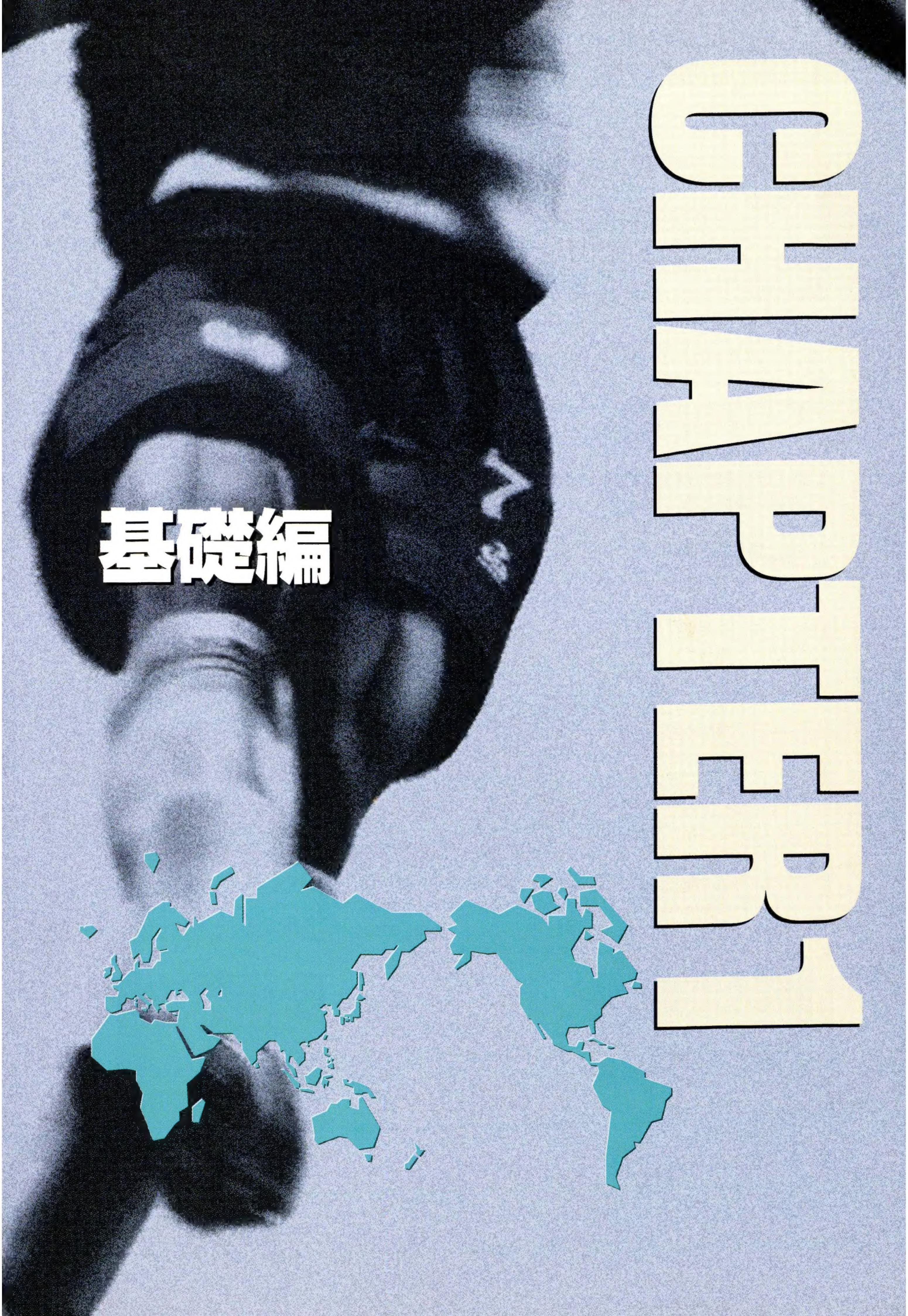
パンチング
ゴールキーパーがゴールをキャッチする余裕がないときに、パンチでボールを打ち出すこと。

フィード
実況で「前方へフィード」という言葉を耳にするが、フィードとは、前方の味方に効果的なパスを出すことを意味する。

ポストプレイ
ゴール近くで、味方が上がってくるまでボールを保持するなど、攻撃の基点を作るためのプレイをさす。

CHAPTER 1

基礎編



モードセレクト

オープニング後に現れる『ワールドサッカー実況ウイニングイレブン2000　U-23メダルへの挑戦』（以下WWE2000）のタイトル画面でスタートボタンを押すと、モードセレクト画面が現れる。ここでは、8つのモードを簡単に説明しておこう。各モードともに別売のマルチタップを使用すれば最大4人同時プレーが可能になる。

MATCH MODE
マッチモード

- 試合数　1
- 選択可能チーム
  - A代表　54
  - U-23代表　18

A代表

世界54か国の代表チームから好きなチームを選択し、1試合のみのエキシビションマッチやP.K.戦を行うことができる。また、使用チームを変更せずに、繰り返し対戦することもできる。

U-23代表

U-23代表（23歳以下）、いわゆるオリンピック代表チームでエキシビションマッチ、P.K.戦を行う。

その他

オールスターマッチを戦うことができる。また、マスターリーグのデータをロードして、クラブチーム同士で戦うことができる。ある条件を満たせば、A代表チームとクラブチームで戦うことも可能。

P.K.戦の操作方法は、P34を参照してほしい。

世界の有名選手が熱戦を繰り広げるオールスターマッチ。

LEAGUE MODE
リーグモード

- 試合数　15・30
- 選択可能チーム
  - A代表　54

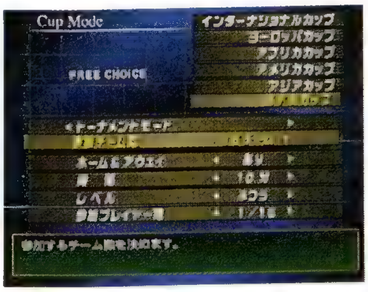
好きな16か国のA代表チームを選んで、リーグ戦を行う。使用するチームも含めランダムで選択することもできる。また、試合数は1ステージのハーフシーズンと2ステージのフルシーズンで異なる。ハーフで15試合、フルシーズンを選ぶと、ホーム&アウェイで計30試合を戦う。

好きなチームを選び、□ボタンを押すと対戦相手をランダムで選んでくれる。

CUP MODE
カップモード

●試合数　3~30
●選択可能チーム
A代表　54

インターナショナルカップや地域カップ（ヨーロッパ・アフリカ・アメリカ・アジア）、コナミカップなど、オリジナルのカップ戦（6種類）を戦うことができる。各カップ戦で優勝すると、ゲームオプションの「鑑賞モード」で入手したカップやトロフィーを鑑賞できる。



コナミカップは、参加人数や大会方式などが細かく設定できる。一例をP13で紹介。

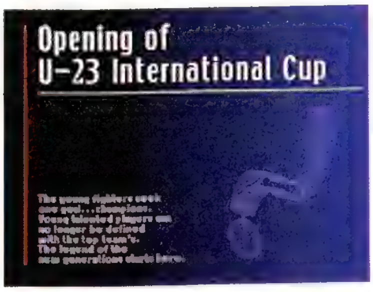
OLYMPIC MODE
オリンピックモード

●試合数　アジア予選　4
本大会　3~6
●選択可能チーム
アジア予選　1
本大会　16

アジア予選
使用チームはU-23日本代表のみ。本大会出場権をかけて、アジア最終予選を戦う。戦う相手は、U-23タイ代表とU-23カザフスタン代表。現実では、U-23日本代表が全勝して本大会の切符を手にした。ゲームでも全勝で本大会に出場しよう。

本大会予選
本大会からゲームを始める。使用できるチームは本大会に出場したU-23代表16チーム。U-23日本代表がDグループで戦うのは、南アフリカ、スロバキア、そしてブラジルのU-23代表。こちらも全勝で決勝進出を目指そう。

アジア予選は、ホーム&アウェイ方式。全勝で本大会出場。



本大会は、グループリーグを2位以上で突破すれば、決勝に進出。

MASTER LEAGUE
マスターリーグ

●試合数　D2　28
D1　30
●選択可能チーム　24

オリジナルクラブ24チームで、2部制のリーグ戦を戦う。試合結果によりポイントが手に入り、そのポイントで選手を入れ替えることができる。下位リーグのディビジョン2（D2）で2位以上の成績を残すと、次のシーズンから1部リーグのディビジョン1（D1）に昇格できる。

クラブチームを再現するのもよし、お気に入りの選手を集めてオールスター軍団を作ってもいい。

TRAINING MODE
トレーニングモード

- **試合数　ー**
- **選択可能チーム**
  全チーム

好きなチームを選択し、練習場でいろいろなトレーニングができる。フォーメーションや操作テクニックの確認ができる総合練習や、任意の場所を選択できるフリーキック練習、左右のコーナーキックが練習できるメニューが用意されている。

フォーメーション設定でセレクトボタンを押すと、控えメンバーを練習相手にすることができる。

GAME OPTION
ゲームオプション

メモリーカード

メモリーカードのユーティリティ。カップやリーグなどの環境データの変更が可能。オプションファイルのロード、セーブもできる。

エディットモード

新しく選手を作ったり、既存の選手名を変更することができる（日本はできない）。また、各年代の代表選手を編成することができる。

鑑賞モード

リーグやカップ戦で勝ち取った優勝カップを眺めることができる。また、セーブしたリプレイデータの鑑賞も可能。

キーコンフィグレーション

試合で使用するコントローラのボタンの役割を変更することができる。オフェンス、ディフェンス別に変更可能。

サウンド設定

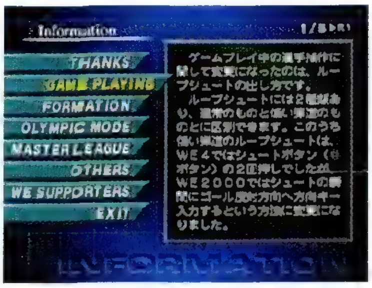
ステレオ/モノラル、実況のオン/オフなど、ゲーム中の音響環境が変更できる。

スクリーン

テレビの画面位置が調整できる。方向キーで画面のずれを修正しよう。四角い枠が画面中央にあればOK。

INFORMATION
インフォメーション

前作『ワールドサッカー実況ウイニングイレブン4』からパワーアップした内容や変更された仕様を紹介している。フォーメーションデータユーティリティなど、前作にはなかったメニューの解説が詳しく行われているので必ず見るようにしよう。



操作方法の変更点なども紹介されている。

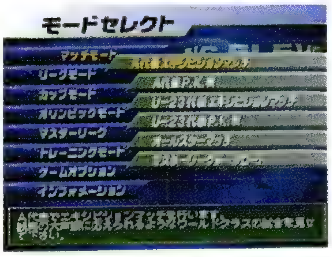
ゲームの進め方

実際にゲームを進めながら解説していこう。
オリンピックモードやマスターリーグの進め方に関しては、P181、212を参照してほしい。

マッチモードの進め方

1 エキシビションを選択

モードセレクト画面で「マッチモード」、「A代表エキシビションマッチ」を選択。基本的に方向キーの上下でメニューを選び、○ボタンで決定（次画面へ）、×ボタンで前の画面に戻ることができる。



2 コントローラ設定

ホーム、アウェイどちらのチームを操作するか決定する。またコンピュータや友達との協力プレイの設定やカーソルチェンジのセミオート/マニュアルの切り替えもここでできる。

3 チーム選択

A代表54か国の中から好きなチームを選ぶ。1人でプレイする場合、ホームチームの選択後、アウェイチームを選択する。

4 環境設定

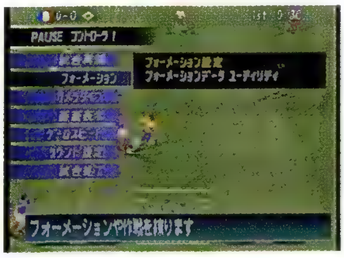
試合の環境を設定する。昼/夜、季節/天候、試合時間や難易度など、さまざまな設定を行う。ちなみに昼/夜や季節/天候などは、選手の能力に一切影響しない。

5 試合直前設定

試合を始める前に、フォーメーションや作戦の設定（P14参照）、コントローラ設定、実況のON/OFF等が変更できるサウンド設定がある。コントローラ設定は試合中に変更できないので注意。

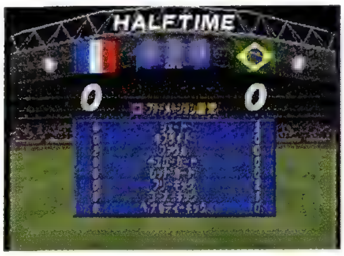
6 試合開始

「5」の画面で試合開始を選ぶとゲームスタート。試合中にスタートボタンを押すとポーズがかかり、フォーメーションで選手交代ができる。そのほか、画面表示やカメラタイプの設定変更が可能。



7 前半終了

ハーフタイムの表示画面。得点状況や前半のシュート本数など各種データが表示される。また、□ボタンを押すと、フォーメーション設定画面になる。スタミナ切れの選手を交代させよう。



8 試合結果

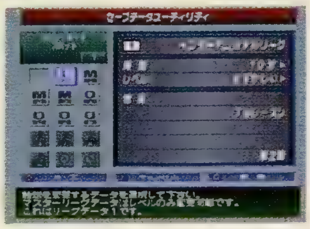
試合終了時の表示画面。ゴールを決めた時間、ゴールした選手とアシストした選手の名前が表示される。

9 試合終了

「もう1試合続ける」を選ぶと「5」の画面に戻る。選手の調子は変更されているが、メンバー交代の設定はそのままになっているので注意。「モード選択画面に戻る」で「1」の画面へ。

ゲームファイルについて

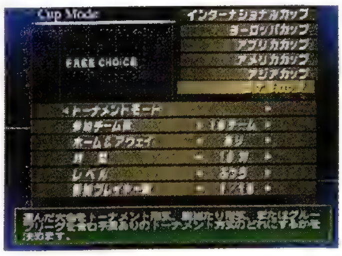
WWE2000のセーブデータ画面は右の画面のようになっている。「L」はリーグ戦、「O」はオリンピックモードなど、頭文字でなんのデータかを表すようになっている。



コナミカップの進め方

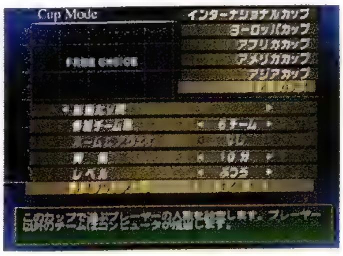
1 コナミカップ選択

モードセレクト画面の「カップモード」を選ぶと、「新規スタート」「データロード」のメニューが表示される。画面は新規スタートを選択したもの。方向キー上下で「コナミカップ」を選択しよう。



2 試合形式の選択

トーナメントやリーグ戦などの試合形式、参加チーム数、難易度設定、参加人数を決める。「総当たり戦」は、対戦相手が揃っていないときでも、自由に対戦カードを組むことができる形式だ。



3 チーム選択

チーム選択画面。「総当たり戦」を選んでいれば、対戦カードは自由に組み替え可能なので、順番は気にしなくていい。何人もの友達でゲームする場合に便利。

4 試合選択

この画面でホームチームと対戦するアウェイチームを決めよう。対戦相手が全員そろわなくても、どんどん試合を進めていくことができる。一番下の矢印を選択し、試合開始。

5 試合結果

試合終了後の順位表と、どの試合が終わっているかがわかる対戦表の表示画面。そのほかゴール・アシストランキングなども見ることができる。

フォーメーションの設定

ここでは、試合開始前やハーフタイム時、試合途中のタイムアウト時にできる各種設定について解説する。メンバーチェンジやフォーメーション、作戦の設定は、試合の流れを左右する大切な設定だ。試合前には、必ず確認するようにしたい。

設定画面の見方

フォーメーション

現在のフォーメーションを表す。R2ボタンで攻撃意識や対応する相手選手(背番号)の情報を見ることができる。

メンバー表

名前、背番号、ポジションを表す。R1ボタンで各選手のスタミナや調子などが確認できる。

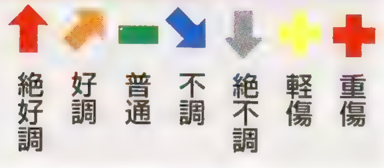
メニュー

❶ 設定終了	メニューの各設定を終了し、ゲーム画面に戻る。
❷ メンバーチェンジ	ポジションの入れ替えや、選手交代を行うことができる。詳しくはP15へ。
❸ キッカーセレクト	フリーキック等のキッカーを選ぶ。詳しくはP15へ。
❹ キャプテンセレクト	キャプテンを選ぶ。キャプテンマークがつくだけで、能力等の変化はない。
❺ フォーメーション	フォーメーション等、各種変更を行う。詳しくはP16へ。
❻ 作戦	試合中に実行する作戦の設定を行う。詳しくはP20へ。
❼ フォーメーションコピー	このメニューで変更した設定を保存することができる。詳しくはP23へ。

メンバーチェンジ
MEMBER CHANGE

先発メンバーと控えのメンバーを入れ替えることができる。調子の悪い選手を交代させたり、フォーメーションの変更に合わせて適材適所へ移動させたりしよう。方法は、交代する選手にカーソルを合わせて○ボタンで決定し、出場させたい選手にカーソルを合わせてふたたび○ボタンで決定するだけ。ただし、ハーフタイム以外の試合途中の選手交代は、ハーフタイムかアウトオブプレイ時（ボールがタッチラインを割ったり、ファウルでプレイが止まった時）まで実行されないので注意。試合中にスタミナの切れた選手は、スピード等の能力が下がるため、積極的にメンバーチェンジを行いたい。ただし、試合中のメンバーチェンジは3人までしかできないので注意。試合状況を見極めたうえで、選手を交代させよう。

コンディションの種類



コンディションによる変化

	当たり	スタミナ	加速	シュート精度	積極性
絶好調	+2	+2	+1	+1	+1
好調	+1	+1	0	+1	0
不調	0	-1	-2	-2	-1
絶不調	0	-2	-3	-3	-3

※怪我は、ほとんどの能力が絶不調時より低下する。

先発選手と交代選手の能力を見比べることができる。

R1ボタンを押すと、スタミナと調子が表示される。

キッカーセレクト
KICKER SELECT

フリーキックやコーナーキック、P.K.のキッカーが変更できる。P.K.はもとより、フリーキックやコーナーキックなどのセットプレイ時は重要な得点チャンスなので、シュート精度やパス精度の高い選手を選んでおきたい。
短い距離のフリーキックは、直接ゴールを狙うため、カーブとシュート精度の高い選手を選ぶ。長い距離のフリーキックでゴールを入れるのは難しいので、パス精度の高い選手で味方の頭に合わせるか、シュート力の高い選手で相手のキーパーやディフェンダーにはじかせて、こぼれたところを押し込もう。コーナーキックは、パス精度の高い選手でヘディングを合わせたい。P.K.はコースを狙って打ってもはずさないように、シュート精度が高い選手を選ぼう。

フリーキックは長短、コーナーは左右の設定がある。

P.K.は、確実に決めるため、シュート精度の高い選手に。

試合中でも、キッカーを変更することができる。

フォーメーション
FORMATION

ここでは、基本システムとしてのフォーメーションを変更するだけでなく、各ポジションごとに細かな設定をすることができる。はじめは初期設定のフォーメーションでプレイしていても、上達するにしたがって手を加えたくなるメニューのひとつだ。

フォーメーションの変更でチームの性格もがらっと変わる。

CHANGE
チェンジ

基本フォーメーションの変更

4-4-2や3-5-2といったフォーメーションの型を変更できる。自分のチームの選手能力や対戦相手との力関係など、さまざまな状況によって変更することが考えられる。

いろいろ試して自分のベストを見つけよう。

フォーメーションの種類

バランス重視のフォーメーション

4-5-1A

一見、守備的なシステムだが、前線の5人が多彩なパスワークで相手をほんろうする。SBが攻撃参加すれば、攻撃力UP。

4-4-2B

どのような相手にも対応できるフォーメーション。ゾーンディフェンスに適している。OHの動きが攻撃のポイントを握る。

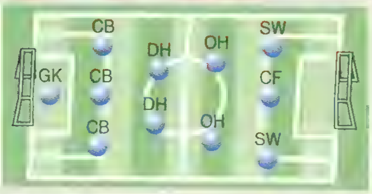
4-3-3B

スリートップだがDHをふたりにして守備にも重点を置いたフォーメーション。CBのひとりをSWにすれば堅い守備が期待できる。

3-6-1B

中盤の各ポジションにふたりずつ選手を配置したフォーメーション。中盤の高い位置でボールを奪い、一気に攻め込みたい。

3-4-3B



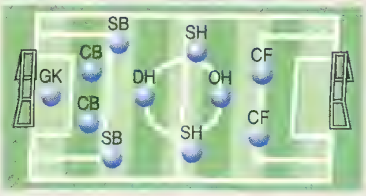
CFにはヘディングに強い選手を配置。守備では相手のサイド攻撃をいかにして防ぐかがカギ。DHで素早くチェックしたい。

5-3-2A

安定した守備から攻撃を組み立てる。SBにスピードのある選手を置き、相手のサイド攻撃を防ぎつつ、好機には攻め上がろう。

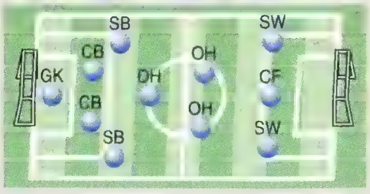
攻撃重視のフォーメーション

4-4-2A



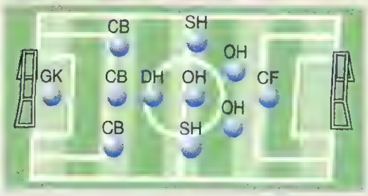
中盤がダイヤモンド型で、幅広い攻撃展開が期待できる。SHにスピードのある選手を起用し、サイド突破を狙いたい。

4-3-3A



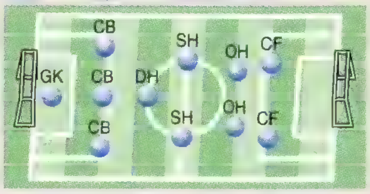
前線の5人に加えて両SBが攻撃参加するフォーメーション。攻撃の起点、守備の要となるDHには能力の高い選手を置きたい。

3-6-1A



ワントップながら、攻撃的な中盤を5人配置している。CFにはポストがこなせる選手を。守備では、相手のカウンターに注意。

3-5-2A



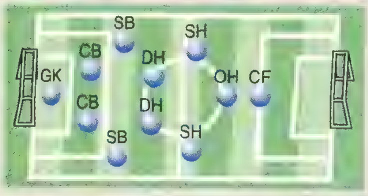
多彩な攻撃展開が可能なフォーメーション。守備を意識するなら、SHにはスピードとスタミナのある選手を配置しよう。

3-4-3A

フィールド全体を使ったダイナミックな攻撃が可能なフォーメーション。守備では、前線からの素早いチェックを心がけたい。

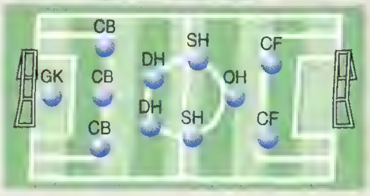
守備重視のフォーメーション

4-5-1B



ゴールの守りを優先した守備的システム。攻撃はカウンターアタック狙いなので、FWとOHに能力の高い選手が必要となる。

3-5-2B

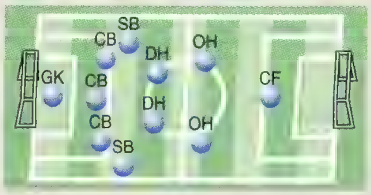


DHが攻守のカギを握る。攻撃時は、OHのアシストに、守備時は中央とサイドの守りをケアする。スタミナのある選手を置きたい。

5-4-1A

しっかり守ってサイドからのカウンターを狙うフォーメーション。CFとOHのコンビは重要。能力の高いふたりを置きたい。

5-4-1B



Aタイプよりさらに守備的な形。守りは万全だがDHとSBの攻撃参加がないと、得点チャンスは少ない。攻撃意識を上げておこう。

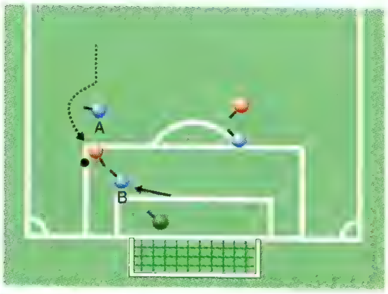
5-3-2B

守備陣は5-4-1Bと同じ。やはり、得点チャンスを増やすためにSBのオーバーラップは必要。センターのCBをリベロにするのも手。

DEFENSE TYPE ディフェンスタイプ

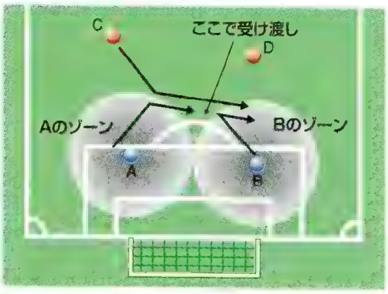
より堅固な守備のために

ディフェンスタイプには、カバーリング、ゾーンマーク、マンマークの3種類があり、初期設定ではすべての選手がゾーンマークに設定されている。相手チームの手ごわい選手にマンマーカーをつけたり、最終ラインの選手が飛び出しすぎないように、カバーリングに変更したりする。フォーメーションの種類や下の攻撃意識と合わせて考えるようにしよう。



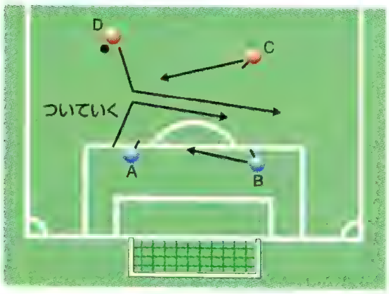
カバーリング

カバーリングを意識して守備をする。マークする特定の相手を持たず、スペースを守ることを優先する。無理なプレスにはいかないので、ゴール前を守る選手に適しているディフェンスタイプだといえる。図は、Aが抜かれた場合に、そのポジションへBがカバーに向かう動きを表している。



ゾーンマーク

各選手がポジションにより、決まった守備範囲（ゾーン）を持ち、その中に入ってきた相手をマークする。ゾーン外に相手が出てしまうとマークを離れ、もとのポジションに戻る。右図のようにマークの受け渡しが行われる形だ。Aのゾーンを出た時点で、相手選手Cのマークは Bに受け渡すことになる。



マンマーク

特定の相手ひとりをマークする。ゾーンと違って、マークの受け渡しはしない。「ノーマルマンマーク」は守備時に限り設定した相手をマークする。「タイトマンマーク」は、攻撃時も守備時も関係なく、常に設定した相手をマークする。図は、Aは相手のDを、Bは相手のCをマークしていることを表している。

AWARE-NESS 攻撃意識

攻めと守りの姿勢を明確に

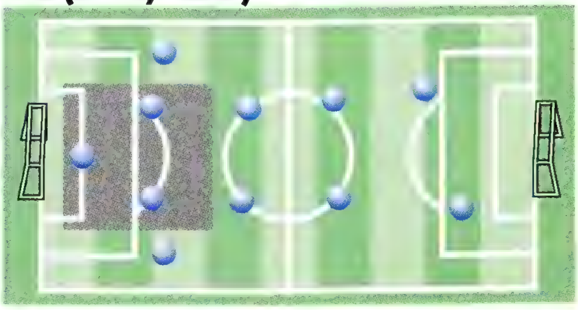
初期設定では、全選手ともバランスよく攻守をこなすように、なにも設定されていない。より積極的に攻撃、あるいは守備に参加させるための設定をすることができる。各選手にカーソルを合わせて十字キーの左右を押すと、画面上部に位置するフォーメーション上に矢印が現れる。赤い矢印だと攻撃的な意識、緑の矢印だと守備的な意識を選手が持つようになる。

POSITION EDIT
ポジションエディット

オリジナルフォーメーションの完成

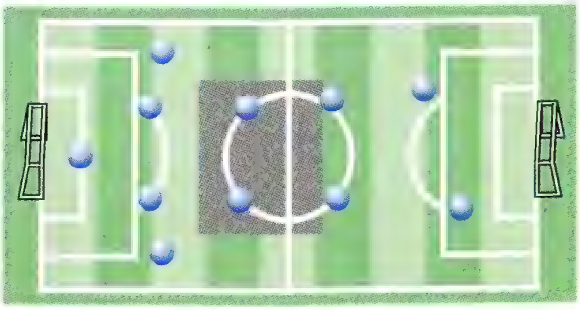
選手のポジションは、一定の範囲内なら微調整が可能。選手間の距離をつめてパスのつなぎをよくしたり、サイド突破を意識してライン際に配置したりと、フォーメーションに自分なりの手を加えることができる。また、CBにカーソルを合わせて左右を押すと、SW（スイーパー）、LIB（リベロ）に変更可能。変更したフォーメーションは、「ユーザー」にオリジナルフォーメーションとして登録できる。

CB(SW, LIB)



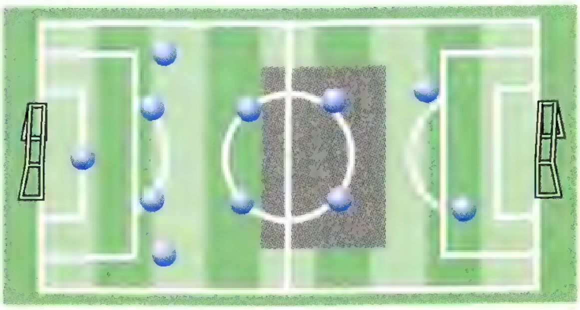
SB

DH

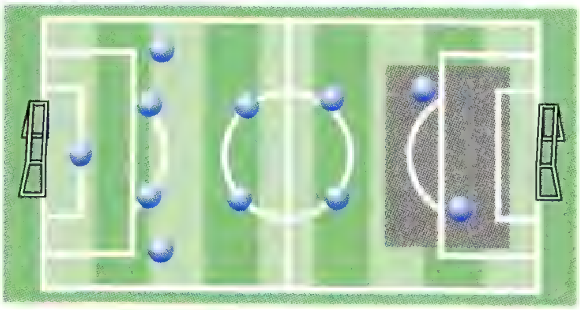


SH

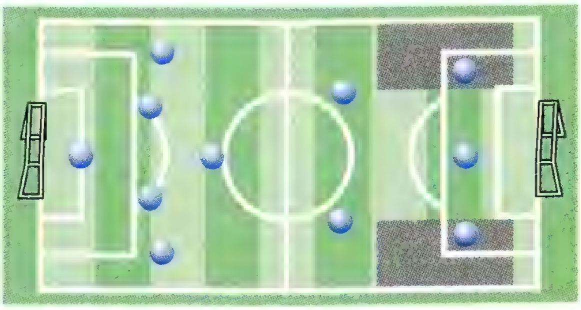
OH



CF



WG



作戦
STRATEGY

作戦を効果的に使いこなせば、攻撃の幅がぐっと広がり、得点チャンスも大幅に増える。ただ、フォーメーションや作戦同士の相性、攻撃意識の設定によって、効果や機能しやすさが変わってくるので、練習時にいろいろな作戦を使って、自分のプレイや使うチームに合うものを選択するようにしたい。

SET STRATEGY 作戦設定

操作方法には、マニュアルとセミオートの2種類がある。マニュアルでは、L2ボタンと○×△□ボタンで4つの作戦を操作するのだが、セミオートではプレイヤーが操作するのはL2ボタンに設定したひとつだけになり、残りはコンピュータが操作することになる。

作戦の種類

作戦なし NO STRATEGY

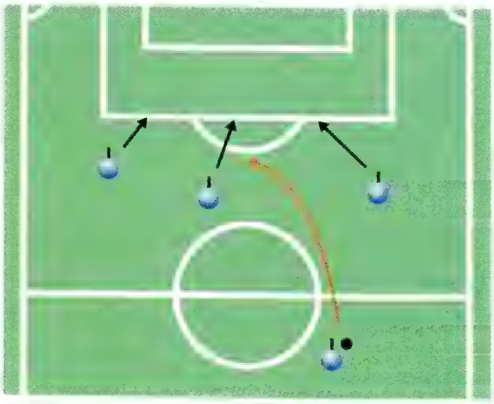
向いているフォーメーション —

作戦を使用しない。まったく意味がないわけではなく、マークを表示することで、相手が何か作戦を使用している、と思わせることもできる。

ノーマル NORMAL

向いているフォーメーション すべて

攻守にバランスのとれた動きを行う。激しいプレスをかけた後、ポジションがずれたときなどに使おう。

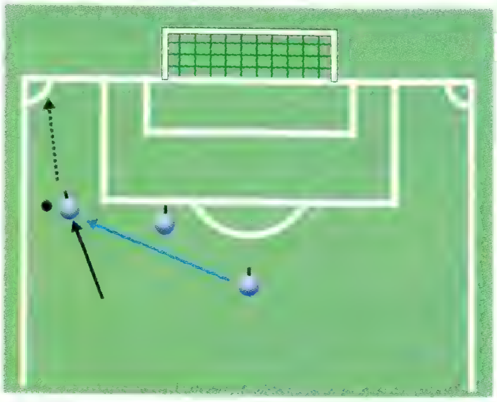


こぼれ球をFWが押し込む得点パターンも増えることになる。

センターアタック
Center Atc.

攻撃時の作戦。前線の選手が次第に中央に寄っていく。フォワードのタッチライン方向に開く動きがほとんどなくなり、中央の相手守備ラインの裏に積極的に出ていく動きをする。そのため、中央へのスルーパスが通りやすくなる。

向いているフォーメーション 4-5-1B、4-4-2B、4-3-3B、3-6-1AB、5-4-1B



スルーパスでサイドにボールを流せば、そこに味方が走り込む。

サイドアタック（左・右）
(Left·Right)Side Atc.

攻撃時の作戦。味方選手が全体的に指定したサイドに寄り、サイドの選手は積極的に前へ出ていく。パス回しも楽になるので、サイド突破を狙う時に使用する。ただし、逆サイドや指定したサイドの後方に攻め込まれないよう注意。

向いているフォーメーション 4-4-2B、4-3-3AB、3-4-3AB

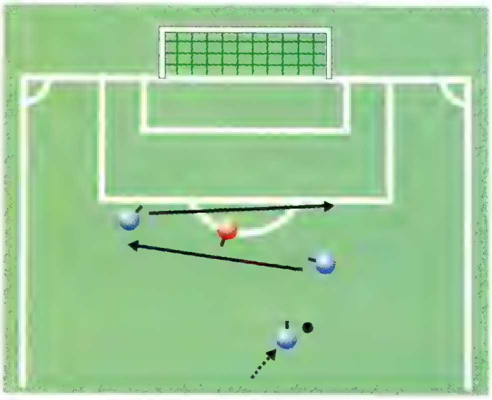
アザーサイドアタック
The Other side Atc.

フリーでボールを受け、スペースを利用した攻撃がしやすい。

攻撃時の作戦。実行すると、現在ボールがあるサイドと逆サイドの選手が、ひとり密集地域から離れ、フリーでパスを受ける動きをする。サイドチェンジが成功すれば、決定的なチャンスを作りやすい。ぜひ、設定しておきたい作戦だ。

向いているフォーメーション	4-5-1AB、4-4-2AB、3-5-2AB、5-4-1AB、5-3-2AB

チェンジサイド
Change Side

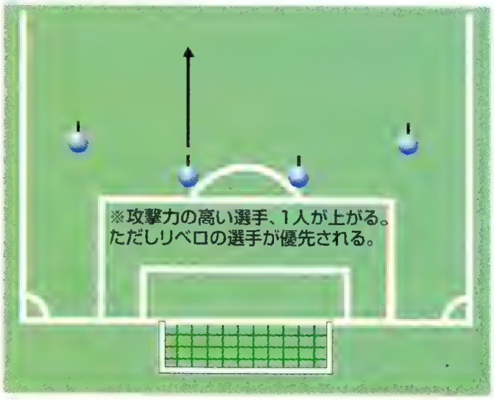


相手がマンマークの設定をしている時、守備を崩しやすい。

攻撃時の作戦。中盤か前線の選手が左右のポジションを入れ替える。特に相手のマンマーカーをはずしてパスを受けたい時などに使用する。ただし、頻繁に使いすぎると、スタミナを多く消費してしまうので注意が必要。

向いているフォーメーション	4-4-2AB、4-3-3AB、3-5-2AB、3-4-3AB、5-3-2A

CB オーバーラップ
CB Overlap

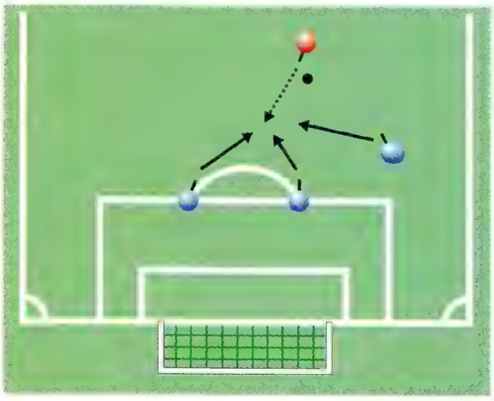


使用する場合は、必ずシュートで終わりになるように。

攻撃時の作戦。センターバック、リベロのポジションの選手が、積極的に攻撃参加する。相手の守備が堅いとき、数的優位を作る最後の切り札として使おう。ただし、作戦中にボールを奪われると、ピンチを招く。

向いているフォーメーション	4-4-2AB、3-5-2B、5-3-2B

ゾーンプレス
Zone Press



守備ゾーンの選手もボールに寄るため、オフサイドが取りやすい。

守備時の作戦。実行すると複数の味方選手が同時にボールを持つ相手選手に近寄っていく。守備ラインも全体的に上がり、中盤のゾーンがコンパクトになるため、ボールを奪ったあと速攻につながりやすい。近代サッカーの主流戦術。

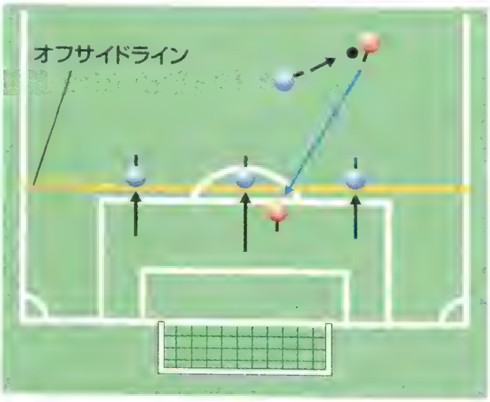
向いているフォーメーション	4-5-1AB、4-4-2AB、3-6-1AB、3-5-2AB、5-4-1AB

前線との距離が離れるため、中盤が薄くなるという欠点がある。

カウンターアタック
Counter Atc.

攻撃時の作戦。実行の間は、ボールがどこにあっても、フォワードはセンターラインよりも前、オフェンシブハーフはセンターライン付近から下がることはない。相手のボールを奪って、前線にパスが通れば、一気に速攻のチャンスだ。

向いているフォーメーション	4-5-1AB、4-4-2AB、4-3-3AB、5-4-1AB、5-3-2AB



知的な守備作戦。使いこなすには試合の流れを読む経験が必要。

オフサイドトラップ
OFFSide Trap

守備時の作戦。実行すると、守備ラインの選手がいっせいに上がり、オフサイドを誘う。上がっている時間は約2秒。最前線の選手にパスが出るタイミングをよみ、少し早めに実行しよう。失敗した時は、キーパーの飛び出しが必要。

向いているフォーメーション	すべて（ただし、ディフェンスラインはフラットに）

フォーメーション変更後に使用する作戦も考えておこう。

フォーメーション1、2
Formation1.2

攻守両方に関わる作戦。設定しておいたフォーメーションに変更できる。攻撃・守備的なものを設定しておいて、試合状況に応じて使い分けてみよう。実行直後は、バランスを崩しやすいので、一度ボールを外に出して体勢を整えよう。

向いているフォーメーション	—

OFS/DFS LEVEL
攻守レベル

攻守レベルの設定

試合中、選手のプレートの下に表示されている攻守レベルをオートで変更するか、マニュアルで変更するかが設定できる。オート設定には、攻撃的な意識に保つオートオフェンス、守備的な意識に保つオートディフェンス、バランス重視の意識に保つノーマルの3種類がある。マニュアルで変更する場合は、R2ボタンを押しながら、○ボタンか□ボタンを押す（詳細はP35参照）。

フォーメーションコピー
FORMATION COPY

P14～22で説明したフォーメーションや作戦の各設定は、フォーメーションコピーでストックしておくことができる。設定は、ひとつのセーブデータに15個ストックできる。セーブデータについては、下のフォーメーションデータユーティリティを参考にしてほしい。現在の設定をストックする場合は、上のクラブフラッグにカーソルを合わせて○ボタンを押した後、下の15のスペースにカーソルを移して、もう一度○ボタンを押すだけ。また、ストックした設定を使用する場合は、下のフラッグの上で○ボタンを押してから上のフラッグにカーソルを合わせて○ボタンを押すだけ。これは、ほかのチームのものも利用できるので便利だ。しかし、メンバーチェンジの設定なども反映されるため、違うチームで使用する場合は注意が必要。また、ディフェンスタイプの設定だけはストックに記録されないので、プレイするたびに変更する必要がある。

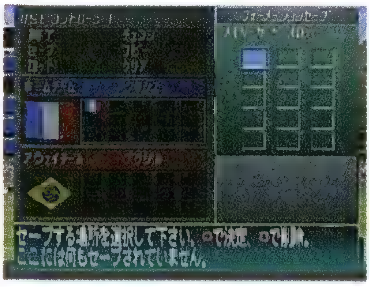
自分の好みに合わせて変更したさまざまな設定は、ここにストックすることができる。

ストックデータは重ね書きが可能。誤って大切な設定を消してしまわないように注意。

ストックに自チームのデータがあると、自動的にストックデータを読み込んでくれる。

フォーメーションデータユーティリティ

ポジションの微調整で「ユーザー」に登録したオリジナルフォーメーションや、メンバーチェンジの情報、作戦の変更、攻撃意識の変更といった各種の設定は、メモリーカードにセーブすることができる。フォーメーションコピーでストックした設定は、試合開始前や試合中にいつでもロードして、変更が可能だ。ただ、ホーム側で設定したストックデータを、アウェイ側で使用する場合は、ユーティリティのチェンジで入れ替える必要がある。また、15個のストックデータ中に自チームの設定がある場合、選手入場の前にフォーメーション画面に入ると、最も若い番号の設定がオートロードされる。



セーブには、メモリーカードに1ブロックの空きが必要になる。

アウェイ側で使用する場合、ここのチェンジで入れ替えよう。

基本操作

WWE2000はリアルなサッカーのプレイを再現できる反面、コントローラのボタンすべてを使用するという操作の複雑さがある。ここでは、少しでも覚えやすいように、各種操作を系統だてて紹介した。使いこなしてよりかっこいいプレイを目指そう。

操作の分類

オフェンス ―― P25
ドリブル・パス
センタリング・シュート
ディフェンス ―― P30
カット&プレス・クリア
キーパー ―― P32
キーパーの操作
リスタート ―― P33
ボールアウト・ファウル
タクティクス ―― P35
戦術の操作

WWE2000では、試合中の操作にすべてのボタンを使用する。ボタンひとつで済む操作もあれば、複数のボタンを組み合わせて操作するものもあるので、非常に複雑に感じるかもしれない。しかし、左に示したように、オフェンス、ディフェンス、キーパー、リスタート、タクティクスと、試合状況で分類すれば、WWE2000の操作体系は、とても整理されたものであることがわかる。1つずつマスターするように練習すれば、自分の思い通りのサッカーがプレイできるようになるはずだ。その第一歩として、ここでは基本的な操作を解説していこう。

画面の見方

スコア
両チームのフラッグと現在の得点

タイム
前半、後半と現在の経過時間

キックゲージ
ロングパス、シュートのパワーゲージ

選手プレート
現在、操作している選手の名前とポジション

レーダースクリーン
選手の位置とボールの位置が確認できる

攻守レベル
現在、指示しているチーム全体の攻守の意識

作戦
現在、実行している作戦のボタンアイコン

OFFENSE
オフェンス時の操作

パスとドリブルでボールを運び、シュートにつなげる攻撃の流れは、多彩であればあるほど相手にとってディフェンスしにくい。まずは基本を確実に覚え、少しずつ新しい操作を試しながら、実戦で使いこなせるようになろう。

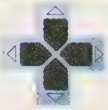
ドリブル

トラップ後、ボールを足もとに置いた状態で方向キーを押すと、ドリブルを始める。8方向へ移動が可能だ。相手に背を向けながらのドリブルはボールが奪われにくい。

●ワンポイント

トラップは相手のいないスペースにボールを置くようにする。ダッシュドリブルよりも、ゆっくりとしたドリブルがオススメ。ボールが足もとから離れず、急な方向転換も可能なのでボールを奪われにくい。

ダッシュドリブル

R1 ＋ 

ドリブルをしながらR1ボタンを押すとダッシュがかけられる。速攻時や前方にスペースがある場合に使用したい。また、ダッシュドリブル中、進行方向へ方向キーを2回押すと、ボールを大きく蹴り出す。うまく使えば、横からプレスにきた相手をかわすことが可能。

スルー（ノートラップ）

R1

味方選手が出したショートパスを受ける際に、方向キーを入れずにR1ボタンを押すと、ボールをトラップしない。スルーした方向にフリーの味方がいる時や、トラップすると相手にボールを奪われそうな時に使いたい。うまく使えば相手を混乱させることができる。

フェイントA

相手陣内で、シュートゲージ表示中に、×ボタンを押すとキックフェイントができる。×ボタンを押す前に、□ボタンを離してしまうと、ただのシュートになってしまうので注意。慣れないうちは、□ボタンと×ボタンを同時に押すぐらいの感覚で練習しよう。

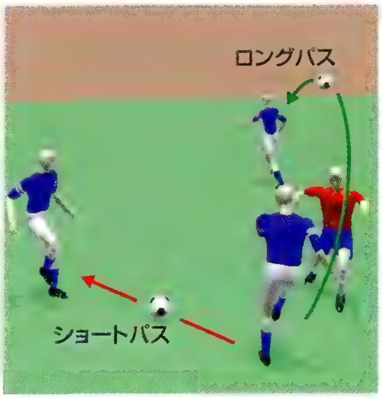
フェイントB

ドリブル中　　連打

ドリブル中（ダッシュドリブルは不可）に、L1ボタンを連打するとボールをまたぐ動作を始める。その途中に方向キーを入れると、素早くその方向へ切り返すことができる。相手を抜き去るタイミングは難しいが、背後や横からのプレスに強いという特長がある。

パス

ボールの保持中、方向キーを押している方向にいる味方選手にパスは出る。地面を転がるショートパスと相手の頭上を越すロングパスが基本だ。また、味方選手の前方に出すスルーパスもある。これらのパスを組み合わせて、ゴール前にボールを運ぼう。



●ワンポイント

パスの出し手は、確実に次のプレイがこなせるフリーの選手を見つけ出すことが重要。また、パスの受け手もただ待っているのでなく、ボールを取りに向かう動きをしなければならない。

ショートパス

方向キーを押している方向にいる味方選手にグラウンダー（地面を転がる）のパスを出す。味方と離れすぎていたり、体の向いていない方向へパスを出すとカットされやすいが、ボールを味方に確実に渡すという意味ではもっとも有効な手段だ。

ロングパス

ショートパスと違い、高い軌道を持つロングパスは距離の調整ができる。○ボタンを押すと、キックの強さを表すゲージが表示されるので、パスを出したい味方選手の位置に合わせて調整しよう。ゲージがたまるスピードは早いので、何度も練習して感覚をつかもう。

スルーパス

△

方向キーを押した方向にいる味方選手の前方にパスを出す。味方選手が走りながらパスを受けられるので、プレイが止まることなく、スピーディな展開が期待できる。ただし、オフサイドをとられたり、相手にカットされる事も少なくない。

フライスルーパス

L1 ＋ △

浮き球で出すスルーパス。相手選手の頭越しに出すことができる。パスコースをふさがれていても使えるので便利だが、浮き球のトラップに味方がもたつくこともある。相手選手の背後に広いスペースがあるときに、味方を走らせて使おう。

ワンツーパス

L1 ＋ ×

壁パスともいう。ショートパスを出す際にL1ボタンを押しておくと、パスの受け手から前方のスペースへダイレクトにボールが出される。パスを出した後は、ダッシュしてボールを受け取るようにしよう。通れば密集地帯を一気に抜けることができる。

フライワンツーパス

L1 ＋ ○

ワンツーパスの一種。ショートパスを浮き球で戻す。ワンツーパスに比べて、最初のパスさえ味方に通れば、返しのパスは通りやすい。しかし、フライスルー同様、トラップにもたつくことがあるので、走り込む先には十分なスペースが必要となる。

さまざまなパス

パスを出した後、受け手にボールが届く前にパスボタンを押すと、トラップせずにダイレクトでパスを出すことができる。受け手がダイレクトで返す瞬間に方向キーを入力していれば、多少精度は落ちるものの、任意の方向にパスを出すことが可能だ。また、空中にあるボールの落下点に入って×ボタンを押すと、ヘディングパスを出すことができる。相手のプレスを受ける前にパスを出すことが可能だ。

ヒールパスで相手のウラをかく。

味方のゴールキックをヘッドで落とす。

センタリング

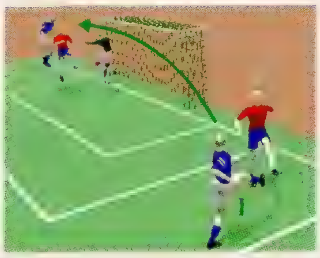
敵陣のペナルティエリア付近（右図灰色部分）で、○ボタンを押すとゴール前にいる味方に合わせるセンタリングとなる。ロングパスと違って、ゲージによる距離の調整はできないが、ボタンを押す回数によってある程度の距離は調整が可能。

●ワンポイント

上げる前に味方選手がゴール前まで来ているかどうかレーダーで確認する。また、走りながらだったり、相手のプレスを受けている状態だとセンタリングの精度が落ちる。できるだけフリーの状態で上げるようにしよう。

センタリング1（ファー）

センタリングを合わせる選手がふたり以上いる場合、○ボタン1回押しだと、センタリングの出し手から見て、遠い選手に合わせることになる。滞空時間が長いので、相手にヘディングでカットされることも少なくない。ヘディングに強い選手に合わせたい。



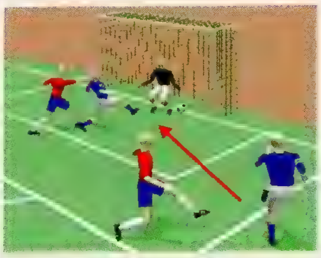
センタリング2（ニア）

センタリングを合わせる選手がふたり以上いる場合、○ボタン2回押しで、センタリングの出し手から見て、近い選手に合わせることになる。滞空時間が短いので、近くに味方選手がいないと、相手にカットされてしまう。スピードがあり反応値の高い選手に合わせたい。

センタリング3（グラウンダー）

or

○ボタンを3回連続で押すと、グラウンダーのセンタリングとなる。相手にカットされやすいので、レーダーで味方の位置を確認してから出すようにしたい。また、出し手の体がエンドラインを向いている時に限り、×ボタンでもグラウンダーのセンタリングとなる。



アーリークロス

センタリングになる範囲の少し手前で、近くのタッチライン方向かエンドライン方向に思い切って○ボタンを押すと、斜め前方へのセンタリングとなる。
ただし、ゴール前に味方選手がいないと、アーリークロスにならない。

シュート

敵陣のペナルティエリア付近で□ボタンを押すとシュートとなる。現れるゲージは、シュートの高さを表し、ゲージが短ければ低いシュート、長ければ高いシュートとなる。また、ボールを蹴る瞬間に方向キーを入れれば、左右に打ち分けられる。

●ワンポイント

確実に得点するためには、ゴール方向に体を向けて打つ、フリーの状態で打つ、止まって打つなどの諸条件が必要。だが、悪条件が重なっていてもゴールできることもある。多くのシュートが打てるような試合運びが大切だ。

シュート

□

へディング、ボレーシュートなど、シュートに関する操作は、すべて□ボタンで行う。シュートの高さはゲージの長さで調節し、シュートの方向は、体の向きとゲージが出ている間に左右の方向キーを押すことによって打ち分けることができる。

ループシュート

L1 ＋ □
or
方向キー ＋ □

L1ボタンを押しながら□ボタンを押すと、飛び出してきたキーパーの頭上を越えるような高い弾道のシュートが打てる。また、打つ瞬間にゴール方向とは逆に方向キーを入れると、弾道の低いループシュートとなる。

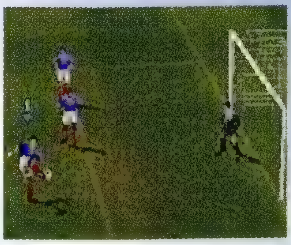
シュートキャンセル

□ → △

シュートボタンを押して、足がボールに触れる前に△ボタンを押すと、シュートをキャンセルすることができる。入力待ちの状態に戻るので、ボールが体の近くならトラップ、頭上を越えていくこともある。うまく使って、確実なゴールに結びつけよう。

シュートアクション

シュートボタンは1つでも、打つタイミングによってグラフィックは多彩に変化する。ヘディングシュートやオーバーヘッド、ボレーなど、狙って出すには難しいが、かっこいいグラフィックは必見だ。



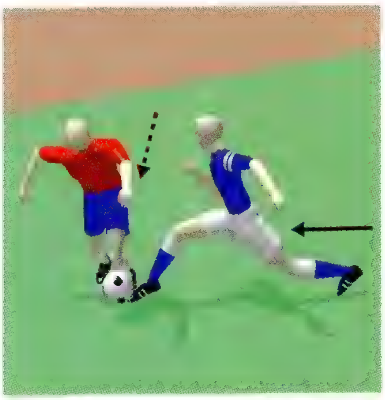
フリーの状態ならチャレンジしよう。

DEFENSE
ディフェンス時の操作

相手ボールを奪うことが攻撃の第一歩。すべての得点機会は、安定したディフェンス技術に支えられているともいえる。ディフェンスの各操作を的確に使って失点を防ぎ、接戦での勝利をつかみたい。ここでは、相手からボールを奪い、ゴールを守る操作を解説する。

カット&プレス

ボールを奪う基本は、ドリブルする相手の動きや、パスコース、シュートコースを読んで先回りすること。常に自分のゴールを背後に置き、相手にシュートさせないように操作プレイヤーを移動させよう。特殊な操作を行わなくともゴールは守れるのだ。



●ワンポイント

ドリブルする相手からボールを奪う場合、操作プレイヤーを相手の真正面に移動させよう。また、パス方向を読んでダッシュでボールをカットすることもできる。プレスやスライディングを使わない守備を覚えよう。

プレス

×

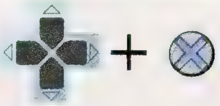
ボールキープする相手選手から、足を出してボールを奪う。また、操作プレイヤーが相手から離れている場合や、ルーズボールの際に×ボタンを押すとボールのある方向へ詰め寄る動きをする。R1ボタンを併用すると、ダッシュプレスが可能。

プレス2

□

プレスと違って、操作プレイヤー以外の一番ボールに近い選手がプレスをかける。プレスと併用してふたりがかりでボールを奪いにいくこともできるが、横や後方からのプレスになるため、ファウルになりやすい。ペナルティエリア内での使用は慎重に行いたい。

タックル



ボールキープを続ける相手選手に、操作プレイヤーが横・後方から近づいて×ボタンを押すと、ショルダーチャージやタックルをしかける。相手プレイヤーはバランスを崩すので、その瞬間にボールを奪いたい。後方からはファウルになりやすいので注意。

スライディング

ボールを相手がキープしている場合とルーズボールが地面に接している時、○ボタンを押すと、ボールの近くにいるプレイヤーがスライディングをする。また、体の向きがそのままスライディングの方向になる。後方からのスライディングはファウルになりやすいので注意。

クリア

自陣のペナルティエリア付近(右図灰色部分)で、○or□ボタンを押すと自動的にクリアとなる。キック力を調節するゲージは表示されないので、距離は調節できない。また、タッチライン近くからのクリアはボールがタッチを割りやすいので注意。

●ワンポイント

クリアによって、自陣のゴールからボールが離れていれば失点の確率は減少する。だが、クリアしたボールがマイボールになる確率は低い。むやみにクリアせず、安全が確認できたらショートパスなどで確実に攻撃につなげたい。

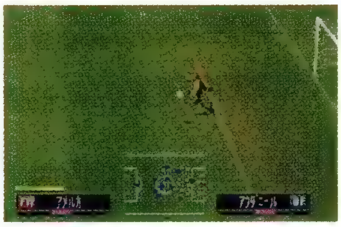
ヘディングクリア

ボールが空中にある時、□ボタンを押すと、ヘディングクリアとなる。クリアしたボールを相手に奪われ、ミドルシュートを打たれることも多い。クリアしたといっても気を抜かずに次のプレイを考えよう。

ボレークリア

ボールが空中にある時、○ボタンを押すとボレークリアとなる。大きくクリアすることができるが、相手ボールとなる可能性も高い。また、相手選手が近くにいる時は、ボレーする前にヘディングされてしまうので、使用しないほうがいいだろう。

KEEPER
キーパーの操作



ゴールキーパーは、敵のシュートからゴールを守る最後の砦だ。操作ミスをすると失点につながりかねないポジションなので、安全で確実な操作を心がけたい。

キーパーの操作

WWE2000では、キーパーの操作のほとんどはコンピュータが行ってくれる。とはいえ、プレイヤーが操作することとなる、ピンチの際の飛び出しや攻撃の起点ともなるスロー、ロングキックは、どれも重要なものだ。ここでは、ゴールキックとP.K.時の操作を除くゴールキーパーの操作を紹介する。

飛び出し

△

キーパーは基本的にオートで動くが、自陣ゴール前にボールがある場合、△ボタンでボールに向かって飛び出すことができる。相手がボールをキープしていれば足もとに飛び込み、空中にある場合はキャッチやパンチングの動きを見せる。

スロー

× or □

キーパーがボールをキャッチした時、×か□ボタンで近くの味方に投げる。投げるまでに方向キーの左右を押しておくことで、ある程度投げる方向が変えられる。ロングキックと比べると確実に味方に渡せる手段だが、詰めてきた相手に奪われることもある。

ロングキック

○

キーパーがボールをキャッチした時、○ボタンでロングキックとなる。蹴るまでに方向キーの左右を押しておくことで、蹴る方向が変えられる。ボールはセンターライン近くまで届くが、必ずしも味方ボールになるとは限らないので注意。

RESTART
リスタートの操作

フリーキックやコーナーキックなどの得点チャンスはもちろんのこと、スローインひとつをとってみても、その後の展開を有利にするための駆け引きが存在する。まずは操作をしっかり理解して実戦にのぞみたい。

ボールアウト

ボールがタッチラインやエンドラインを割ると、ボールアウトとなってスローイン、ゴールキック、コーナーキックの操作となる。ここで特に注意したいのは、コーナーキックの操作だ。実際のサッカーでもコーナーキックからの得点率は高い。正確な操作で得点チャンスに結びつけたい。

スローイン

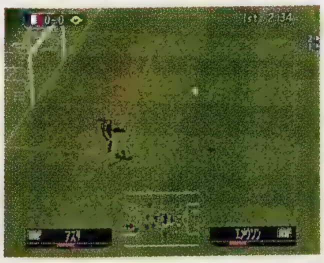
ショート ×
ロング ○

ボールがタッチラインを割ると、スローインとなる。方向キーで投げる方向を決めたら、×ボタンでショート、○ボタンでロングスロー。基本としてショートのほうが味方に通りやすいが、相手ゴール近くではロングスローでシュートチャンスにもっていきたい。

ゴールキック

ショート ×
ロング ○

相手のキックでボールが自陣のエンドラインを越えるとゴールキックとなる。方向キーで方向を決めたら、×ボタンでディフェンスラインの味方に、○ボタンでセンターライン近くへハイボールを蹴ることができる。ゴール前の操作は安全第一で。



コーナーキック

ショート ×
ロング ○

相手のキックでボールが相手陣のエンドラインを越えるとコーナーキック。方向を決定したら、×でショートコーナー、○でゴール前へのハイボールを蹴ることができる。また、ゲージ表示中に左右でカーブがかけられる。

ファウル

相手チームのファウルを受けると、ペナルティエリア内ならP.K.、エリア外ならフリーキックが与えられる。P.K.はもちろんのこと、ゴール前でフリーキックのチャンスが与えられたら直接ゴールを狙ってみたい。実際のサッカーでも、フリーキックのスペシャリストは、チームの重要な得点源として考えられている。

フリーキック

ショートパス ×
ロングパス ○
スルーパス △
シュート □

方向キーでキックの方向を決め、パスかシュートボタンを押す。シュートの場合は、方向キーの上を押しながらキックすると強く低い弾道、下を押しながらだと弱く高い弾道のボールが蹴れる。また、ゲージが出ている間に左右の方向キーでカーブがかけられる。

直接ゴールを狙う

フリーキックでは、ゴールとの距離が20～30メートルぐらいの時が直接ゴールを狙いやすい。距離や角度、蹴る選手の能力にもよるが、近い時は方向キーの下を押して壁を越えるようなボール、遠い時は壁の外側からカーブをかけたボールでキーパーから離れたサイドを狙いたい。感覚をつかむまで何度も練習しよう。

1 20m以下の場合

方向キー下を押しながら強めに打つ。カーブはかけない。

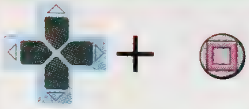
2 25m前後の場合

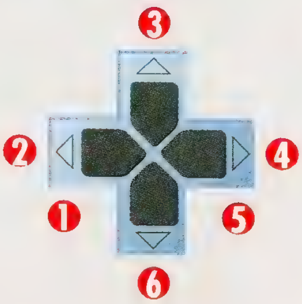
上下は使わず、ゲージに集中。角度によってはカーブが必要。

3 30mを越える場合

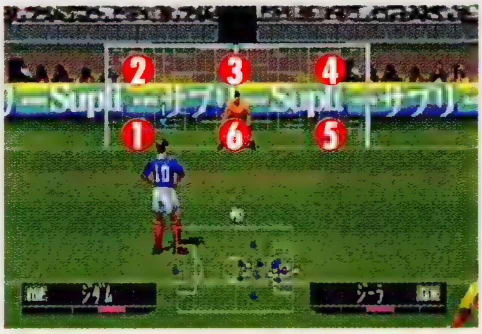
方向キー上を押しながら強めに打つ。カーブをかけよう。

P.K.(ペナルティキック)





ペナルティエリア内でファウルを受けるとP.K.になる。下図のようにキックは6方向に蹴り分けることができる。方向キーでコースを決めてから、□ボタンを押そう。またキーパー操作もコースを予測して方向キーを押す。キックに長く時間をかけると、自動的に正面へ蹴ってしまうので注意しよう。



方向キーの番号とゴール内の番号が対応している。キッカーはボールを蹴り込む場所を、キーパーはセービングにいく場所を6方向のなかから選択する。勘や読みも必要だが、選手能力自体も重要な意味を持つ。

TACTICS
戦術の操作

作戦の操作と選手の操作を同時にこなすのは大変かもしれない。だが、うまく使えばゲームの進行を優位にできる大切な要素だ。オート系の操作方法で慣れていきながら、最終的にはよりハイレベルのサッカーを展開するためにマニュアルで操作できるようにしたい。

作戦の実行

セミオート L2

マニュアル
L2 ＋ △、○、×、□

作戦設定時にそれぞれのボタンに割り振った作戦を使うことができる。試合中、使用している作戦は画面下にある選手名プレートの横にボタンのアイコンで表示される。マニュアルの場合、どのボタンになんの作戦を設定したか忘れないようにしよう。

攻守レベル

R2 ＋ ○、□

試合中、選手名の下に表示されている攻守レベルを操作する。攻撃的にしたい場合は、相手のゴール方向にバーを移動させ、守備的にしたい場合は、自陣のゴール方向にバーを移動させる。アウェイ側で攻撃的にしたいなら、R2＋□ボタンを押すことになる。

攻守レベルの説明

攻撃時にレベルを上げると、ディフェンスラインが上がって前線との距離が狭まり、攻めやすくなる。逆に攻守レベルを下げると、相手のカウンター攻撃を防ぐことが可能。守備時にレベルを上げると、ボールを取りにいく積極的なディフェンスをするようになり、レベルを下げるとゴール前を守るようになる。また、5段階のレベルを最大にすると、攻撃意識の設定に関わらず、全員攻撃、全員守備をするようになる。

ラインを下げてゴール前をしっかり守る。

ラインを上げてオフサイドトラップ。

その他

試合中スタートボタンを押すと表示されるメニューの内容や、ゴール時のリプレイ操作について紹介しよう。

メニュー

1 フォーメーション

ここでは、試合開始前に行った、さまざまな設定をさらに変更できるほか、1試合につき3人までの選手交代が可能。

2 カメラタイプ

ゲーム中のフィールドを見る視点の変更ができる。クォータービューの近、中、遠距離や縦画面など、9種類のアングルが選べる。

3 画面表示

試合中に表示されているスコアや時間、選手名、レーダーなどの表示類を変更できる。

4 ゲームスピード

選手やボールの動きなど、ゲームスピードの細かい調節が可能。デフォルトは中間にセッティングされている。好みに合わせよう。

5 サウンド設定

実況ON/OFFやボリューム調整など、オプションでも設定できたサウンドの操作がここでもできる。

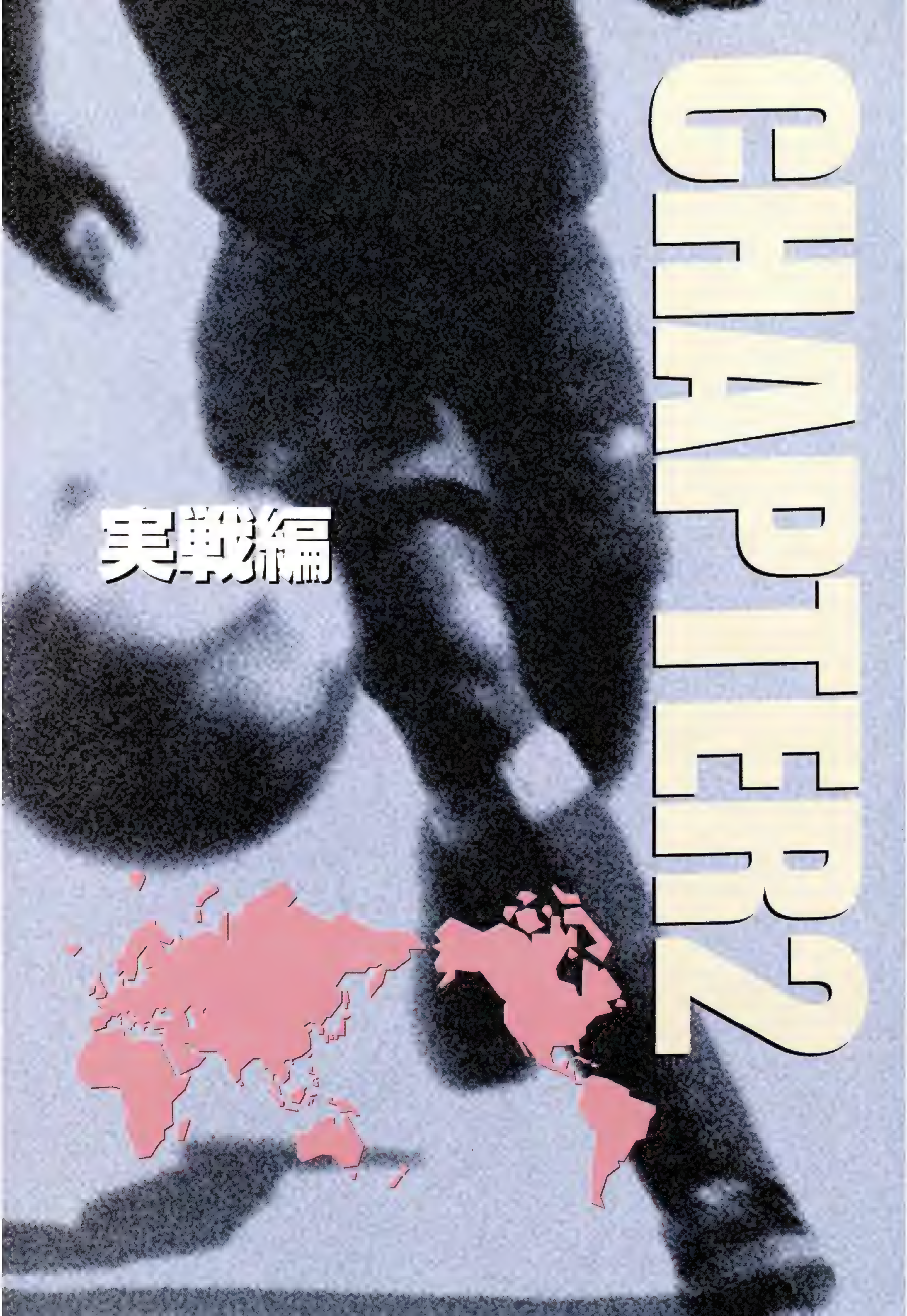
リプレイ

ゴールを決めた時に見られるリプレイは、下表のように、再生、巻き戻し、ズームイン・アウトなど、思いのままに見ることができる。また、リプレイ中に□ボタンを押すことでメモリーカード（2ブロック必要）にセーブできる。珍しいゴールが決まったリプレイをセーブして、友達にゴールシーンを自慢しよう。

方向キー	上=ズームイン 下=ズームアウト 右=再生 （押している間のみ） 左=逆再生 （押している間のみ）	○+（右） コマ送り	L1 視点左回り	○+L2 リプレイの最初
		○+（左） コマ戻し	R1 視点右回り	○+R2 リプレイの最後
		△ 再生	L·R2 選手の切り替え	
		SELECT 視点変更	START リプレイ終了	

CHAPTER 2

実戦編



実戦テクニック

丸いボールを相手ゴールにひとつでも多くたたき込んだほうが勝利者となるサッカーは、ある意味で自由なスポーツである。攻撃にはさまざまなパターンが存在し、それを防ぐ守備にも色々な対応策が用意されている。実戦で生じるあらゆる状況に対応できるプレイを身につけなければ勝利はつかめない。

オフェンス講座

ドリブルで相手を抜く方法やさまざまなパスの使い分け、チャンスメイク、シュートを確実に決める情報などを紹介している。

ディフェンス講座

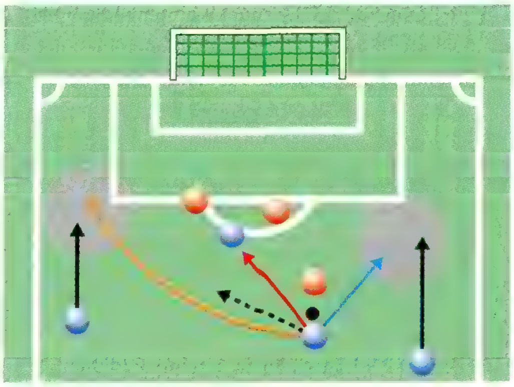
ゾーン別の守備方法、相手からボールを奪う方法、最後の砦であるゴールを守る方法など、守備のポイントを紹介している。

上達のための第一歩

広い視野を持つ

攻守が目まぐるしく入れ替わる現代のサッカーでは、攻撃時、守備時にかかわらず常に自分の周りをよく見ることが要求される。ゲームでもレーダー等を使って、フィールド全体の状況を把握し、次のプレイを余裕をもってできるように準備しておかなければならない。

相手と味方の位置をよく見て、どうすればシュートにいけるか考える。



スルーパス、ワンツーパス、そしてシュートと、選択肢を増やそう。

状況に応じたプレイ

広いフィールドのなかで、どんなプレイをすべきか迷ったことはないだろうか。そんなときは、フィールドを自陣ゴール前(守備)、中盤、相手ゴール前(攻撃)の3つのゾーンに区切って考えてみよう。11人のプレイヤーが何をすべきかがわかるはずだ。

A 自陣ゴール前

ポイントは失点を許さないこと。そのため、相手を厳しくマークし、決してシュートを打たせてはならない。体を張って守ろう。

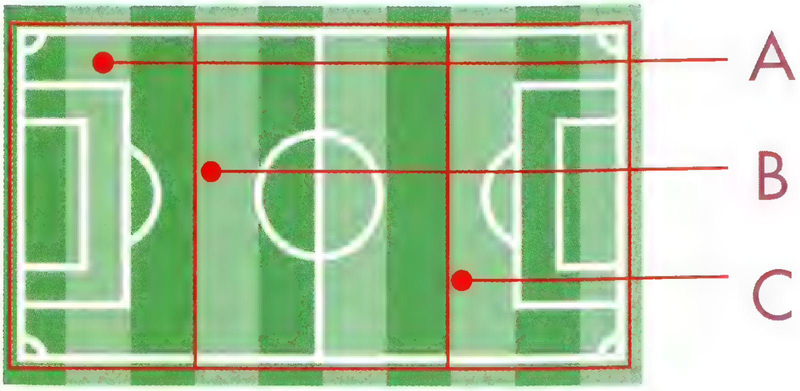
B 中盤ゾーン

試合の流れを左右するゾーン。ボール支配率を上げるため、ルーズボールは必ずマイボールにし、速い展開で相手ゴールを目指す。

C 相手ゴール前

とにかくシュートを打つ。相手も必死で守ってくるが、ここでは常に隙を見つけてゴールを狙わなくてはならない。

●3つのゾーン



90分間の組み立て

サッカーは前後半45分ずつ、計90分間行われる。勝敗は、この90分間が終わった時点で決定する。だから、ゲーム序盤に先制ゴールや大量得点を許したからといって、早々にあきらめてはならない。「絶対追いつき、逆転してみせる」という強い意志をもって90分間を戦い抜こう。ただし、あせってしまっては相手の思うツボ。前がかりになって、背後をつかれ追加点を許してはもとも子もない。守るべきときは守り、攻めるときは攻める。ゲームの流れをしっかりと把握できる戦術眼を養わなくてはならない。

ロスタイムに同点。サッカーはいつの時代でもドラマを生み出してきた。

リードしていても、2対0から2対1になったときが一番危ないとされる。

OFFENSE オフェンス講座

相手を抜く

ドリブルの緩急で抜く

1人のディフェンダーを抜けば、シュートが打てるという際には、単独突破を試みたい。しかし、いくらスピードのある選手でも、単調なドリブルでは追いつかれてしまう。スピードに緩急をつけたドリブルで相手の体勢をくずせば、ドリブル突破は難しくない。

1　相手を引きつける

ゆっくりとしたドリブルで相手を引きつけながら、スペースを確認。

2　反転のタイミング

相手がボールを奪いにきたら、方向を少し変えてスピードアップ。

3　スピードで抜き去る

あとはゴールまで一直線にドリブルして、シュートを打とう。

相手の裏をかくフェイント

フェイントは、相手を抜き去り、時間的・空間的余裕をもって次のプレイをするためにある。フェイントA・Bばかりがフェイントではない。上記の緩急ドリブルもフェイントの一種といえる。また、パスと見せかけてのドリブル、ドリブルと見せかけてのパスなど、相手が予測もつかないトリッキーなプレイをすれば、相手の対応を遅らせることが可能だ。

さまざまなフェイント

後方から上がってくる仲間にパス？それともドリブル？

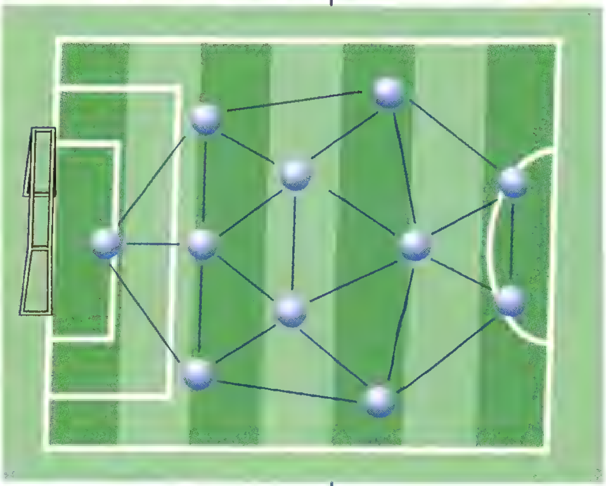
一瞬パスの動きを入れて（体の向きで表現）、ドリブル突破。

攻撃を組み立てる

トライアングルを作る

下の図は、フォーメーション3-5-2Bにおける各ポジションのパスコースを示したものである。どの選手も3本以上のパスコースを持ち、三角形（トライアングル）を形作っている。パスを受けた選手が孤立しないように、常に3つ以上のポジションの選手がフォローしているのだ。攻撃の組立は、この三角形をベースとしながら、ロングパスやスルーパスを織り交ぜて形作るのが基本となる。

フォーメーション3-5-2Bの場合



無理なドリブル突破を試みて、パスコースを消されてしまうことがないようにしたい。

パスは常に相手ゴール方向に出したい。だが、場合によっては、後ろに戻すという選択もありだ。

フィールドを大きく使う

組織的な守備をドリブルやショートパスだけでくずすことは容易ではない。相手ボールになる確率が高くても、ロングパスを使ったほうがいい場合もある。ロングパスをスペースに出して俊足フォワードを走り込ませたり、逆サイドに大きく展開して一気にゴール前まで攻め込むという、フィールドを大きく使った攻撃は相手の守備組織をくずす方法のひとつだ。また、当たりの強いフォワードがいれば、縦パスを当てて次の展開につなげるポストプレイも可能。

サイドチェンジ

作戦アザーサイドアタックを実行して、サイドチェンジ成功。

ポストプレイ

反転してシュート。2列目の選手にパス。ポストプレイは選択肢が多い。

シュートチャンスを作る

スルーパスの使い方

スルーパスとは相手ディフェンダーの裏をつくパスだ。ゴール前でスルーパスが通れば、決定的なシュートチャンスとなる。このことから、別名「キラーパス」とも呼ばれている。ゲームでは、ショートパスと区別され、受け手の足もとではなく、スペースに出すパスとなっている。味方は移動しながらパスを受け取ることになるので、スピーディな展開をしたい時に有効だ。あらゆる局面で使用したい。

チャンスを作るスルー

相手ディフェンダーの間を抜けるスルーパス。味方はその背後に回り込んでボールを受け、シュート。

展開を作るスルー

できるだけ相手ディフェンダーを引きつけて、横方向にスルー。オーバーラップをうながすパスだ。

ワンツーパスの使い方

スルーパスと同じく走り込んでボールを受け取るため、素早い攻撃が可能。壁となる選手にディフェンダーがつられるため、パスの出し手はフリーの状態でボールを受け取ることができる。ゴール前で使えばシュートチャンスとなるし、サイドで使えばセンタリングをフリーの状態で上げることができるだろう。出し手と壁の位置関係でリターンの角度は変わる。いろいろな状況で使ってみたい。

シュートアシスト

ポストに向けてワンツー。ちょんとスペースに出したパスをシュート。

タテワンツー

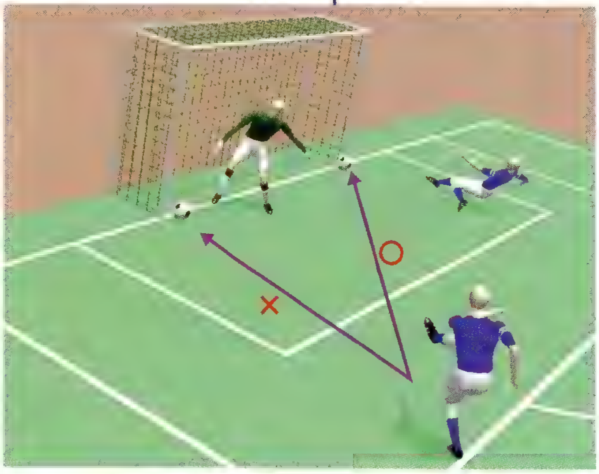
一度後方へ戻すフライワンツー。成功すれば、相手DFを置き去りだ。

シュートを決める

ショートレンジのシュート

ペナルティエリア内のシュートは確実に決めたい。基本的にはキーパーが空けているコースを狙って蹴る。ゲージが表示されている間に左右を選択しよう。そして、体の正面をゴール方向に向け、できるだけシュート精度が高い選手に狙わせる。ただ、相手ディフェンダーにプレスされていると精度が落ちるので、フリーの選手にパスを出してシュートさせたほうが決定率は上がるだろう。

コースを狙え



キーパーの空けたコースにシュート。ゲージが出ている間に方向キーを入力しておこう。

ゴール近くならゲージいっぱいでもゴールの枠をはずさない。

この位置からサイドネットを揺さぶるシュート。体の向きに注目。蹴り出す方向に体をしっかりと向けている。

ミドルレンジのシュート

ペナルティエリア内からのシュートより決定率は落ちるが、少ないチャンスを確実にシュートで終わらせるためにも、エリア外からのミドルシュートは積極的に打っていきたい。走りながらシュートを打てば、速く力強いボールが蹴られる。ただ、精度は落ちるので、得点できるかどうかは運頼みとなる。また、ミドルシュートは打ち上げてしまうので、フルゲージのシュートは避けよう。

1.ボールを奪う

ペナルティエリア付近で相手がクリアしたボールを奪う。

2.走り込む

ドリブルで進みながら、ゴール方向へ体を向け、シュート。

3.ゴール!!

低い弾道のボールがゴールネットに突き刺さる強烈シュート。

シュートを決める

キーパーをかわす

キーパーと1対1になる状況を作り出せれば、簡単に得点できると考えがちだが、ただやみくもにシュートを打つだけでは決定率を上げることはできない。周囲の状況を素早く判断して最善のシュートを打たなければならないのだ。キーパーが近づく前ならコースを狙ってシュート、近づいてきたらループシュートやフェイントでキーパーをかわす操作を行いたい。相手ディフェンダーの戻りにも注意。

すばやく打つ

ゴールキーパーが近づけば近づくほどシュートコースが限定される。できるだけ早くシュートしよう。

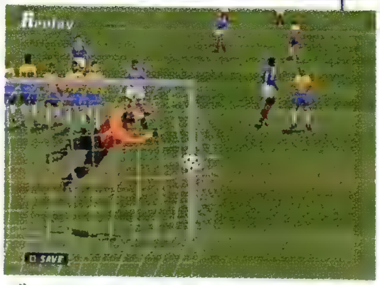
ゴールキーパーの目前でフェイントA(キックフェイント)を決めよう。キーパーのいないゴールへボールを押し込め。

飛び出してくるキーパーにはループシュートを打とう。キックゲージを上げすぎるとバーを越えてしまうぞ。

フリーキックから決める

ペナルティエリア付近で得たフリーキックは直接ゴールを狙えるポイントだ。しかし、40m以上離れていたり、角度のある位置から直接ゴールにたたき込むことは難しい。そんな状況では、偶然にまかせてシュートしてしまうよりも、より得点確率の高い手段を選択したい。スルーパスやロングパスでスペースにボールを送り込んで、フリーの味方選手にシュートを打たせるようにしよう。

直接決める


ゴールまでの距離が25m前後なら直接ゴールを狙ってみよう。シュート精度とカーブの能力が高い選手に蹴らせたい。

スルーパスから決める

壁の枚数が多い場合は、壁の横を抜けるスルーパスという選択も考えられる。味方を走り込ませてシュートだ。

ロングパスでチャンスメイク

ゴールまでの距離が遠い場合は、相手ディフェンダーのいないスペースを探し、ロングパスを出してチャンスを作ろう。

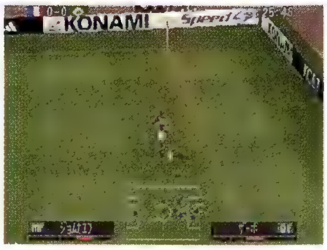
シュートを決める

センタリングからのシュート

センタリングもほかのパスと同様、受け手の方向に体を向け、フリーの状態で、止まって出したほうが正確なボールを蹴ることができる。また、センタリングをシュートする場合、高い軌道のボールを長身フォワードに合わせるなら、□ボタンをタイミングよく押すだけで大丈夫だが、低い軌道のボールには相手ディフェンダーの前でボールに触れるように、プレイヤーを操作しなくてはならない。

ニアを狙え

センタリングはニアに上げ、味方選手を相手選手の前にくるように操作して、ヘッドで決めよう。



エンドライン付近からマイナス方向のセンタリングが合わせやすい。守備陣が戻りきる前にセンタリングを上げよう。

センタリングがフォワードに合わなくてもあきらめてはいけない。サイドから走り込んでくる選手でシュートだ。

コーナーキックからのシュート

コーナーキックからのセンタリングも基本的にニアに合わせる。滞空時間の長いファーだと、途中で相手にカットされる危険があるためだ。さらに、ニアに合わせておけば、ほかの方向へヘディングパスを出すことも可能になり、攻撃のバリエーションが増えるという利点もある。ニア、ファーの蹴り分けは、キックゲージで調整するが、ゲージ表示中に左右キーを押すことで、カーブをかけることもできる。またゲージ表示中に方向キー下を押すと低いボールを蹴る。

1.方向決定

ゴールキーパーの目の前にボールがいくように、方向を調整する。味方選手の位置もここで確認。

2.カーブをかける

キックゲージが出ている間に方向キーの左右でカーブをかける。画面が切り替わるので注意。

3.ゴール!!

キーパーから遠ざかるボールのほうが合わせやすい。ダイビングヘッドにキーパーは一歩も反応できない。

DEFENSE ディフェンス講座

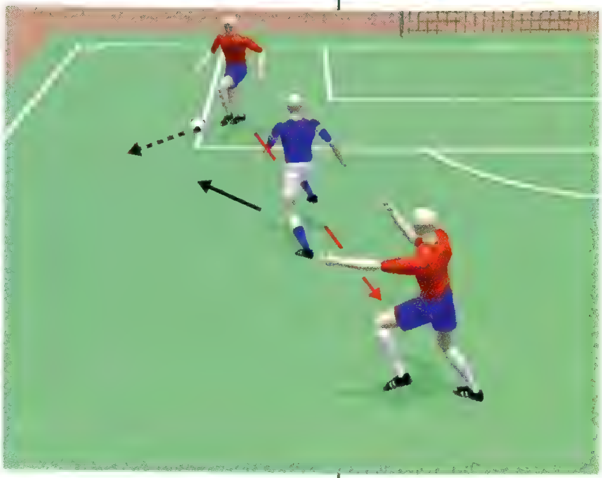
攻撃から守備へ

状況に応じた守備をする

サッカーは攻撃と守備がめまぐるしく入れ替わるスポーツ。攻撃していても、ボールを奪われた時点で守備をすることになる。このときに攻守の切り替えが遅いと、失点する可能性が大きくなるので、いかに素早く守備陣形を整えるかがポイントになる。

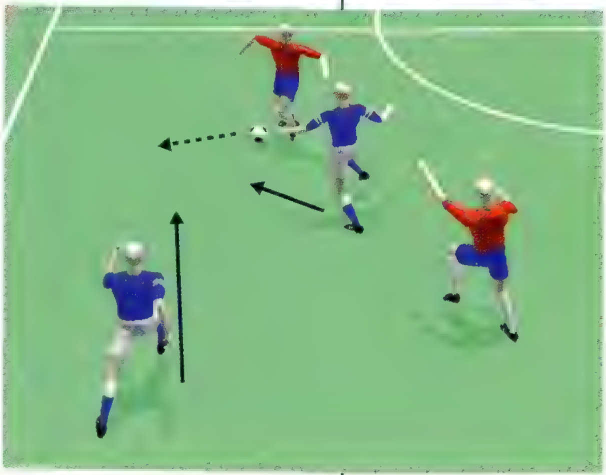
攻撃時も、常に守りへの意識を持っていなければならない。なぜなら、攻撃に人数を割くと、守備は手薄になり、相手に攻め込まれる隙が多くなっているからだ。ボールを奪われた場所で、守備への対応を変える必要があるため、状況判断も重要になる。ここでは、前線、中盤、ゴール前の３パターンに分けて解説していく。

前線の守り



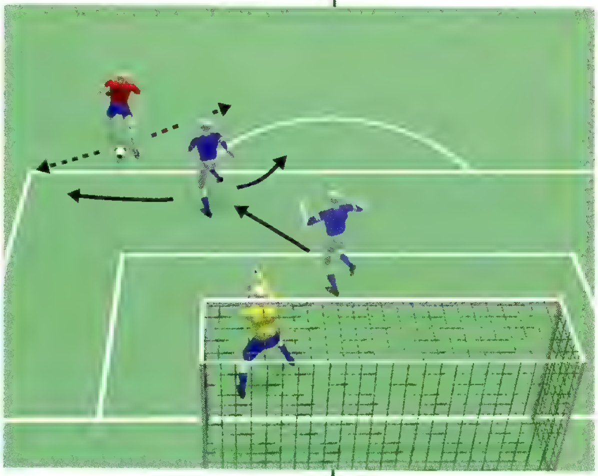
ＦＷは点を取るだけが仕事ではない。相手陣内で攻撃している時に、ボールを奪われれば、後方に控えるＭＦやＤＦに負担をかけないための守備をしなくてはならない。ここで大切なのは、相手の攻撃を遅らせること。相手ＤＦのボールを持った選手にプレッシャーをかけ、攻撃参加したＭＦやＤＦが守備陣形を整える時間を作れば、その後の守備がラクになる。また、パスコースを消された相手ＤＦがＧＫにバックパスをした時に、ボールを追うことも忘れないようにしよう。

中盤の守り



中盤から前線へ出る決定的なパスは、ときにキラーパスと呼ばれ、守備側にとって命取りになりかねない。それを事前に防ぐには、中盤でインターセプトされた後、簡単にパスを出させないように、プレッシャーをかける必要がある。それには常に数的優位を保つことが重要だ。数的不利な場面では、ボールを持つ相手プレイヤーに時間をかけさせて、味方が自陣に戻る時間を作る。１対１の場面では、ゴールから遠ざけるようにサイドライン方向に相手を追い詰めていくのが基本だ。

ゴール前の守り



ゴール前でボールを奪った相手の攻撃陣はすかさずゴールを狙ってくる。ここでは、ラクな態勢でシュートを打たせないことが大切だ。ＤＦは相手のボールを持ったプレイヤーとゴールを結ぶ線上に入るように体を入れ、シュートコースを絞り込む。シュートコースを限定すれば、ＧＫもシュートに反応しやすく、失点する危険が少なくなる。何よりもゴール前でボールを奪われると致命的なミスになるので、ゴール前ではボールを長く持たないようして、早めに前線にフィードしよう。

ボールを奪う

ダブルプレスしてボールをカット

サッカーにおいて、相手より数的優位を保つのは基本中の基本。人数が多くなれば、ボールを奪える確率も格段に上がる。
相手のボールを持ったプレイヤーに対して、味方プレイヤーが1人しかいない状況では、他の味方プレイヤーが近くに寄ってくるまで、相手のボールを取りにいかず、適度の距離を保ちつつ、時間をかせぐ。この時間かせぎによって、守備に対する全体的なフォーメーションバランスがよくなるという効果もある。そして味方が近くに寄ってきたことを確認してから、ダブルプレスを使って、一気にボールを奪うようにしよう。
ここで重要なのは、ダブルプレスをかけることより、かけられるような状況を早く作ること。レーダーで確認しながら、空いたスペースを確認しつつ、常に数的優位になることを考えてプレイしよう。

中盤で時間をかせぐ

中盤で時間をかせいで数的優位を作り出す。この作業をキチンと行えば、相手は前線までなかなか進めない。

プレス2プレイヤーで追い詰める

ダブルプレスをかけられる状況が整ったら、プレス2プレイヤーでまず追い詰め、プレス1プレイヤーでボールを奪う。

ボールを奪う

サイドへ追いつめる

サッカーのディフェンスの最終目的は相手にゴールを許さないこと。ボールを持ったプレイヤーがゴールから離れれば、離れるほど相手はゴールをしづらくなる。それを頭に入れ、ゴールから遠ざけるように、タッチライン際に相手を追いこんでいこう。

相手をサイドに追いつめる

前方へのパスコースを消しながら、タッチライン方向へ体を向け、適当な距離を保ち、徐々に相手を追いつめていく。

タイミングをみて、ボールを奪う

タッチライン際に追いつめた相手の動きは予測しやすい。チャンスとみたら、一気に近づいてボールを奪う。

ゴールを守る

ワンツーパスの対処

ゴール前でワンツーパスが決まると、フリーでシュートを打つ状況を相手に与えてしまう。そうならないために、パスを受けて再び折り返す選手にプレス２プレイヤーでプレッシャーをかけ、折り返しのパスを受ける選手の動きを先読みして、プレス１プレイヤーで追う。ワンツーパスには、相手の動きを予測して対応しよう。

プレス2でプレッシャーをかける

簡単にパスを折り返されないように、プレス２プレイヤーでしっかりプレッシャーをかける。

パスの受け手の動きを先読みする

相手選手をマークするより、シュートコースをあけないように操作プレイヤーを移動させる。

ゴールを守る

スルーパスへの対処

ゴール前でスルーパスが通ると、直接失点に結びつくので注意が必要だ。特にパス精度の高い選手には注意しよう。簡単にパスを出させないように、厳しくマークをつけ、自由な行動を制限するように心がけることが大切だ。

スルーパスを出させない

ボールを持つプレイヤーに密着マークして、相手のFWにもDFをしっかりつけておけば、スルーパスはなかなか通らない。

スルーパスには、オフサイドトラップが有効だ。ただし、タイミングを誤ると決定的なチャンスを与えることになる。

DF陣が抜かれたら、GKを飛び出させ、相手のシュートコースを絞り込もう。タイミングがよければ、ミスを誘うこともできるぞ。

ロブボールの対処

ゴール前でロブボールが通ってしまうと、決定的チャンスを与えてしまうことになる。DFでムリな場合は、GKを飛び出させることで相手にシュートをさせないようにする。中途半端な飛び出しは命取りになる。飛び出させたら、迷わずにボールに向かっていこう。

最後まであきらめない！

最終ラインの背後の相手FWにボールが通ってもあきらめてはいけない。最後まであきらめずプレッシャーをかける。

ロブボールが通ってしまったら、あきらめずに、すぐに追いかける。少しでもプレッシャーをかけることを心がけよう。

ペナルティエリア内でのタックルは注意が必要だ。PKを与えたあげく、レッドカードでは、その後の戦いが一気に不利になる。

ゴールを守る

センタリングへの対処

相手チームにセンタリングを上げられて、ボールがゴール前に入ると失点の可能性が高くなる。特に相手フォワードに長身選手がいる場合は、要注意だ。まずはボール上げさせないこと。ゴール前にボールが上げられてしまった場合は、迷わずクリアして、ゴールからボールを遠ざけてしまおう。

プレス2でプレッシャーをかける

敵のボールを持つプレイヤーをライン際に追い詰め、センタリングを上げさせないようにしよう。

パスの受け手の動きを先読みする

ハイボールはヘディングで、低いボールはノートラップで大きく前にクリアするのが鉄則。

シュートブロック

ゴールキーパーは最後の砦。相手の攻撃陣にシュートを打たれても、ゴールキーパーにボールをまかせるのではなく、守備をするフィールドプレイヤーで、シュートブロックすることを考えよう。それには、常にゴールの場所を意識して守備をすることが大切だ。

最後まであきらめない！

ボールにスライディングする捨て身のブロック。なるべくこの状況を作らないようにしよう。

コンピュータがオート操作で、クリアしてくれることもあるが、それに頼ってはいけない。

ペナルティエリア外でも、安心してはいけない。必ずシュートコースに体を入れておこう。

ファウルについて

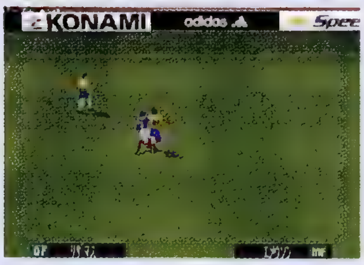
サッカーはボディコンタクトが多く、激しいぶつかり合いが試合中に何度も起こる。特に無謀で悪質なタックルは選手生活を縮めてしまう大ケガさせる危険性が高い。ゲームでも、実際のサッカーにならい、フェアプレイを心がけて楽しもう。

警告・退場について

深刻なファウルには、カードが審判から出される。1試合にイエローカードは2枚、レッドカードなら1枚で退場となる。また、イエローカードが3枚累積すると次の試合に出られなくなる。

ファウルになりやすいプレイ

背後からのプレス



ドリブル中の相手選手を追走しているときに起こりやすい。

横からのスライディング

相手選手が微妙に向きを変えただけでも、招いてしまうファウル。

背後からのスライディング

レッドカードもあり得る危険なプレイ。絶対に避けるべき。

ペナルティエリア内

ペナルティエリアでは慎重にプレスしないとP.K.の憂き目に会う。

キーパーの接触

ボールに飛びついたはずが、相手選手の足をすくってしまった。

レイトファウル

ボールを持っていない選手に当たってしまってもファウル。

ケガについて

選手が試合中に不運にもケガをしてしまったら、すぐにメンバーから外したほうがいい。ケガをした選手は調子に関係なく、本来の能力を発揮できないからだ。また、ケガは完治するまでに時間を要するので、しばらくの間選手を欠場させよう。

ケガの完治

ケガは、軽いものなら1試合出場を控えるだけで治る。しかし、重いものになると、最長で12試合もかかってしまう。完治するまで休ませよう。

U23メダルへの挑戦

シークレットファイル（隠しチームの出し方）

通常エキシビションマッチで選択できるのは、54か国の代表チーム。しかし、ある条件を満たせば、さらに4チームが選択できるようになる。出現の条件は以下の通り、難易度は関係しないので、がんばってすべて出そう。

その1

条件 インターナショナルカップで優勝すると

↓

「ユーロオールスターズ」と「ワールドオールスターズ」が使用可能になる

オールスターチームと各国代表チームの対戦ができるようになる。

その2

条件 オリンピックモード（本大会からで可）で優勝すると

↓

「クラシックユーロA.S.」と「クラシックワールドA.S.」が使用可能になる

日本で優勝すると、他国での優勝とは違った映像が流れる。

その3

条件 マスターリーグ（ディビジョン1）で優勝すると

↓

メモリーカードに記録されたマスターリーグのチームと各国代表チームなどが対戦可能になる

D1で優勝しなくてもマスターリーグクラブ同士の対戦はいつでも可能だ。

その4

条件 コナミカップ（総当たり戦以外）で優勝すると

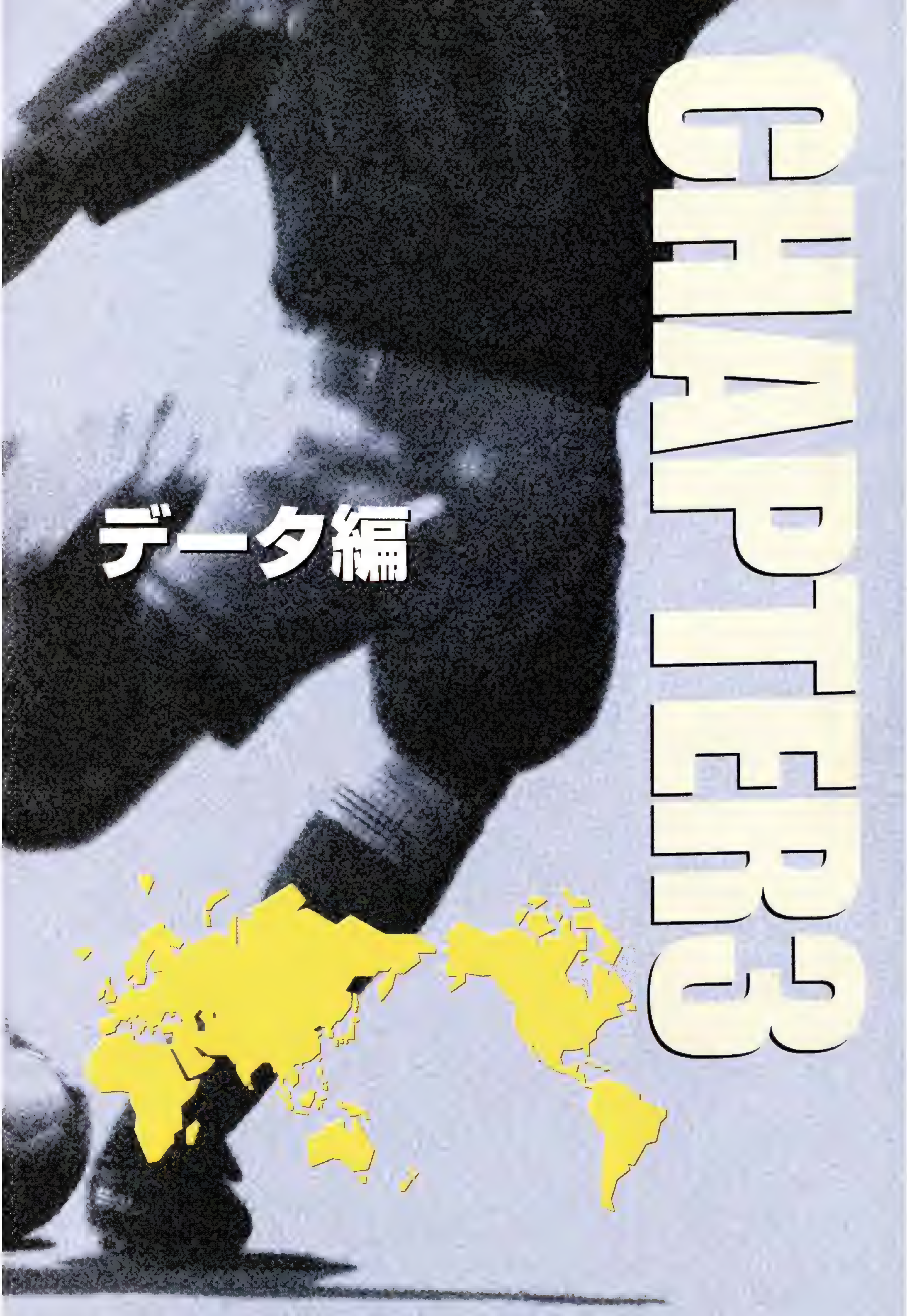
↓

スタジアム「クラブハウス」が選べるようになる

観客のいないクラブハウスでも代表チームの熱戦が行われる。

CHAPTER3

データ編



各チームデータの見方

ここからは、世界54か国の代表チームの選手データとその攻略法を紹介していく。また、隠しチームの選手データも掲載しているので、参考にしてほしい。オリンピックモードのチームデータはP181から、マスターリーグのチームデータはP211から紹介している。

国名

国名の日本語表記と英語表記。

**DEFAULT FORMATION
DEFAULT STRATEGY**

初期フォーメーションと初期設定の作戦。CPUとの対戦時に参考にしてほしい。

代表チームの紹介

過去の成績や現在の状況などを紹介する。

選手データ

選手のパラメータ。項目についてはP55の解説を参照。

基本戦術

攻撃、守備に関連する戦術や中心選手を紹介する。

応用戦術

チームの特色を生かした、オリジナルのフォーメーションと選手の起用法を解説。

応用フォーメーション

応用戦術で解説した、フォーメーション紹介。そのチームのポテンシャルをさらに引き出す。

VS CPU

CPU戦を行う場合の注意点などを解説。警戒すべき選手などを紹介している。

このゲームに登場する日本代表チームは、2000年6月4日～6日のハッサン2世杯のメンバーです（初期設定は6月6日のジャマイカ代表戦のものになります）。また、このゲームに登場するU-23日本代表チームはシドニーオリンピック2000アジア地区最終予選および「キリンチャレンジ2000」3月29日対U-23ニュージーランド代表に出場した選手です（スターティングイレブンは3月29日対U-23ニュージーランド代表戦のものになります。それ以降はポジション別に、出場時間の多い順に並べたものです）。

日本代表チームを編成する

エディットモードを使って、日本代表チームを編成してみよう。U-23代表の選手（18+4名）や下の表にあるサブメンバーの4人、そのほかエディットで新規作成した選手が登録可能だ。そして、本作から選手名エディットが漢字にも対応。自分の名前をつけた選手を作って、あこがれの日本代表に参加するなんてこともできる。

監督になったつもりで最強日本代表を編成しよう。

日本代表チーム控えメンバー表

選手データ	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
18 楢崎正剛	GK	185	右	13	18	17	14	15	16	18	16	14	13	13	16	13	13	12	14.7	16	18
2 大岩剛	CB	180	右	14	16	17	16	16	15	17	18	17	15	15	16	14	14	13	15.5	14	18
21 稲本潤一	DH	181	右	16	16	16	16	16	16	15	15	16	16	17	16	16	17	14	15.9	16	18
14 明神智和	DH	173	右	15	15	15	16	16	16	15	16	16	15	15	15	15	15	14	15.3	15	18

●選手データの見方

背番号	選手の付けている背番号。
選手名	選手の名前を表記。
ポジション	その選手が担当しているポジション。どのポジションにも変更可能だが、能力によっては不向きな選手もいるので注意。
身長	選手の身長（単位はcm）。身長の高い選手はジャンプの最高到達点も高い。ヘディングの競り合いに影響がある。
利き足	選手の利き足を「右」、「左」、「両」で表示している。シュートやパスの精度に影響する。
攻撃力	シュートやパスなどの攻撃面の総合力。この値が高い選手ほど、オフェンシブなポジションに適している。
守備力	スライディング、プレスなどの防御面の総合力。この値が高い選手ほど、ディフェンシブなポジションに適している。
当たり	選手のチャージに対する抵抗力を示す。ボールをキープしている選手が、チャージしてくる選手より2以上高ければ、はじき飛ばされることはない。
スタミナ	選手のスタミナ。スタミナが7割を切ると、少しずつ「加速」、「スピード」の最高速度が低下する。大きくスタミナが減る動作は、順にダッシュプレス、プレス、ダッシュドリブル、ダッシュ（CPUが操作している選手も含む）。
スピード	選手の移動速度に関する値。この値が高いほどフィールドを速く移動できる。また、ドリブルのスピードも速い。
加速	「スピード」に関連している値。この値が高いほど、最高スピードに到達するのが早い。
反応速度	攻撃時、守備時の両方に関連している値。この値が高いほど、ルーズボール、ハイボールに素早く反応できる。
ジャンプ力	この値が高いほど、より高くジャンプできる。
ヘディング精度	ヘディングでのパスやシュートの正確性を表す値。
テクニック	その選手のトラップ能力を示す値。この値が低い選手は、速いパスやロングボールをトラップするときにボールを大きくはじくことが多く、次のプレイに移るまで時間がかかる。
パス精度	ショート、ロング、スルーといったパスに関係する値。この数値が高い選手ほど、味方に正確なパスを供給することができる。
シュート力	キックの強さを示す。高い選手ほどボールに勢いがある。
シュート精度	この数値が高いほど、シュートの際にゴールの枠を外しにくい。フォワードにとって最も重要な能力のひとつ。
ドリブル	選手のドリブルテクニックを示す値。この数値が高いほど、ダッシュドリブル時にボールが足元から離れず、敵にボールを奪われにくい。また、切り返しの動作も素早く行うことができる。
カーブ	ボールにカーブをかけた際に、ボールの曲がる度合いを示す値。この数値が高いほど、大きいカーブをかけることができる。
能力平均	能力パラメータの平均値
積極性	この値が高いほど積極的に攻撃参加をし、また、単独で突破をはかる傾向がある。GKの場合、より高い守備位置をとる。
獲得ポイント	マースターリーグでその選手を獲得するために必要なコスト。最高が50ポイント。

使用する国の選び方

WWE2000で使用できる代表チームは全部で54か国ある。ここでは、スタメン選手のパラメータを計算して、「どの国を使えば勝てるのか」を考えていく。特に好きな国の無い人は、以下の記事を見て、チーム選びの参考にしてほしい。

POINT 1 得点不足解消

パラメータ「攻撃力」は、どれだけその選手が攻撃に向いているかを表したもの。「攻撃力」は、「シュート精度」などにも関係する大切なパラメータなので、なかなか点がとれないという人は、「攻撃力」の高い選手がいる国を使ってみよう。下の表は、各国スタメン選手の攻撃力平均を比較したもの。表中の国は、FWだけでなく、中盤の選手も高い得点能力を持っているので、分厚い攻撃が期待できるのだ。失点は気にせず、大量得点で試合に勝ちたい。

攻撃力の高い国 ベスト10

	国名	攻撃力		国名	攻撃力
1	オランダ	16.4	4	イタリア	16.0
2	フランス	16.3	4	クロアチア	16.0
3	アルゼンチン	16.2	4	ブラジル	16.0
4	アイルランド	16.0	9	ドイツ	15.9
4	スペイン	16.0	10	ポルトガル	15.8

POINT 2 失点を防いで勝つ

パラメータ「防御力」は、「攻撃力」とは反対に、どれだけその選手が守備に向いているかを表したもの。「防御力」は、相手からボールを奪う際に関係するパラメータでもある。きちんとプレスしているのに、なかなかボールが奪えなくて、すぐ失点してしまうという人は、この「守備力」の高い選手がいる国を使ってみよう。下の表は、各国スタメン選手の防御力平均を比較したもの。表中の国は、GKやDFに高い守備力を持つ選手が多い。

守備力の高い国 ベスト10

	国名	守備力		国名	守備力
1	パラグアイ	15.9	6	ブラジル	15.6
2	フランス	15.8	6	南アフリカ	15.6
2	オランダ	15.8	6	トルコ	15.6
2	イタリア	15.8	9	ポーランド	15.5
5	サウジアラビア	15.7	9	メキシコ	15.5

POINT 3 運動能力で勝負

下の表は、各国スタメン選手の「当たり」「スタミナ」「スピード」「加速」「ジャンプ力」「シュート力」の平均値を比較したもの。これらの能力に優れていれば、フィールドを走り回って相手を混乱させたり、ハイボールに競り勝って、試合を有利に進めることができる。身体能力は、攻守両面に影響する数値なので、非常に大切だ。試合中どうしても、相手チームの動きに対応できないという人は、これらの国を使ってみるといいだろう。

身体能力に優れた国 ベスト10

	国名	身体能力平均		国名	身体能力平均
1	オランダ	16.9	5	ナイジェリア	16.8
1	フランス	16.9	5	カメルーン	16.8
1	ブラジル	16.9	8	メキシコ	16.7
1	クロアチア	16.9	8	イタリア	16.7
5	パラグアイ	16.8	8	アルゼンチン	16.7

POINT 4 正確なプレイで勝負

下の表は、各国スタメン選手の「ヘディング精度」「テクニック」「パス精度」「シュート精度」「ドリブル」の平均値を比較したもの。これらのパラメータは、正確なボールコントロールや正確なパス、そして正確なフィニッシュに必要な能力である。基本的に、攻撃面にのみ関わる能力だが、正確なプレイを続けられれば、相手にボールを奪われる危険性が減り、失点も防ぐことができる。ボールキープ率が低く感じる人は、これらの国を使ってみよう。

プレイ精度の高い国 ベスト10

	国名	テクニック平均		国名	テクニック平均
1	パラグアイ	15.9	6	ブラジル	15.6
2	フランス	15.8	6	南アフリカ	15.6
2	オランダ	15.8	6	トルコ	15.6
2	イタリア	15.8	9	ポーランド	15.5
5	サウジアラビア	15.7	9	メキシコ	15.5

チーム総合力ベスト5

	国名	総合力平均
1	オランダ	16.5
1	フランス	16.5
3	ブラジル	16.4
3	クロアチア	16.4
5	パラグアイ	16.3
5	アルゼンチン	16.3
5	イタリア	16.3
5	ユーゴスラビア	16.3

左の表は、各国スタメン選手のパラメータ平均を比較したものである。勝敗の行方は、決してパラメータで左右されるものではないが、いわゆる強豪国と呼ばれる国々が上位をしめた。初めてWWE2000を遊ぶ人やスポーツゲームが苦手な人は、迷わずこれらの国を使ってみよう。そして、ゲームに慣れ、勝ち星が先行するようになったら、違う国で遊んでみることを提案する。せっかく54か国もの代表チームで遊べるのだから、いつも同じ国で遊ぶのではつまらないだろう。もしかすると、自分のプレイスタイルにぴったりの国が見つかるかもしれない。

ポジション別適性値解説

どのポジションでもこなせる「ユーティリティプレイヤー」を探してみるのも面白い。

ここでは、選手の能力に応じて計算されたポジション適性値について解説する。P68から掲載している各国の応用フォーメーションは、この適性値をもとに作成されたものだ。オリジナルのフォーメーションを組むときや、マスターリーグを遊ぶ際に参考にしてほしい。

ポジションに合った能力とは

ゲーム中に登場する選手には、専門のポジションが与えられているが、基本的にどのポジションでもプレイすることができる。下の表を参考に、選手の能力に合ったポジションを探してみよう。意外な選手の起用法が発見できるはずだ。

ポジション	身長	攻撃力	守備力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘディング精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ
ゴールキーパー	◎		☆	☆		○	◎	◎	◎	△		△				
センターバック	◎		☆	◎	△	△	△	○	○	○	△	△				
スイーパー(リベロ)	△	△	☆	◎	○	○	△	○	○	○	○	○	△	△		
サイドバック		△	◎	△	◎	☆	△	△			△	○			△	
ディフェンシブハーフ	○	○	○	○	☆	○	△	○	○	△	△	◎	△	△	△	
サイドハーフ	△	◎	○	△	◎	◎	◎	○	△	△	○	△	○	○	☆	
オフェンシブハーフ	△	◎	△	○	○	△	△	○	△	○	◎	☆	○	○	◎	
センターフォワード	○	☆		◎	△	◎	◎	◎	○	◎	○	△	○	◎	○	
フリーキッカー												◎	◎	☆		☆

※ 表中の記号は☆→◎→○→△の順に重要。
指数計算時には、☆=8ポイント、◎=4ポイント、○=2ポイント、△=1ポイントとする。ただし、身長は155cmを5cm超えるごとに1ポイントとする。
ディフェンシブハーフとサイドハーフ適性値には攻撃力と守備力から独自に算出した適性値を用いて、数値の補正をしている。

ポジション別解説

両チームの力が拮抗している場合、11人が機能しなければ勝利はない。

現代サッカーにおいては、11人の選手全員に組織的なプレイが求められる。どのポジションの選手でも、攻撃時や守備時に与えられた役割をこなさなくてはならない。ここでは、WWE2000で分類している11のポジションに求められる能力と役割を紹介した。そして、簡単なものだが、ポジションエディット時のヒントも掲載する。もちろん、どのポジションも連携が大切であるから、最後にはバランスをみてエディットしなければならないだろう。ゲームを遊びながら、自分だけのシステムを作り上げてほしい。

GK
ゴールキーパー

自陣のペナルティエリア内で手を使うことが許される、特殊なポジション。WWE2000では飛び出す操作しかできないが、ミスは即失点につながる。DFと協力しながら、確実な守備を心がけよう。

近代サッカーのゴールキーパーに求められる守備範囲は広い。

攻撃時の役割

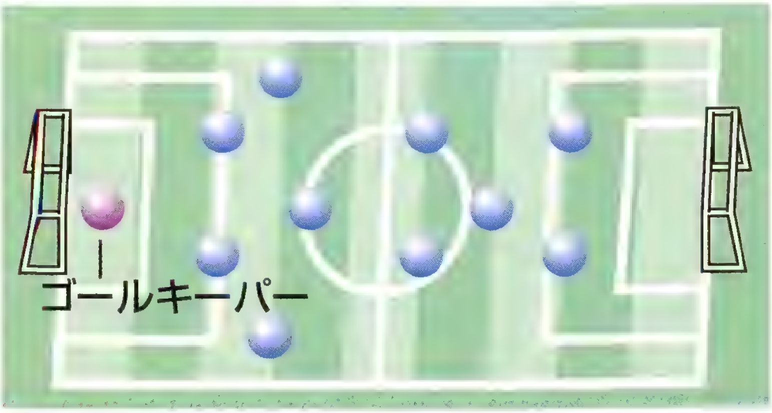
正確なスローやキックは、速攻へつながり、得点チャンスを作り出す。GKは、攻撃の起点となる重要な役割を持っている。

守備時の役割

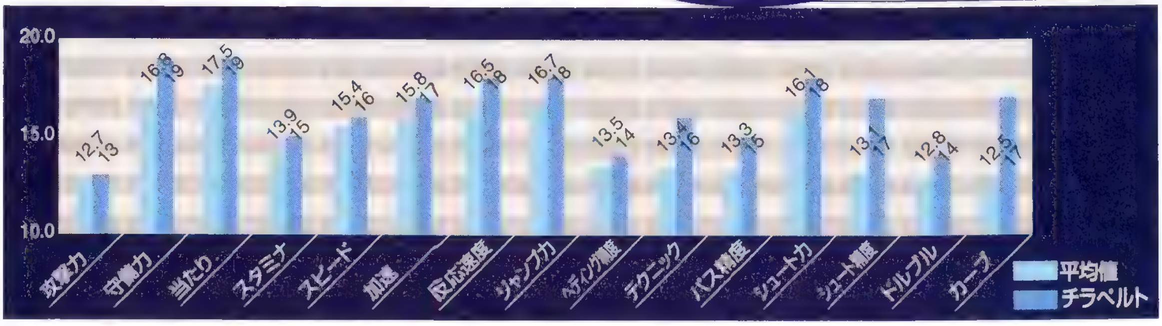
あらゆるシュートを阻止しなければならない最後の砦。高さを生かしたクロスボールの処理や、素早い飛び込みでのセーブが求められる。

GK 重要なパラメータ

身長
守備力
当たり
加速
反応
ジャンプ力

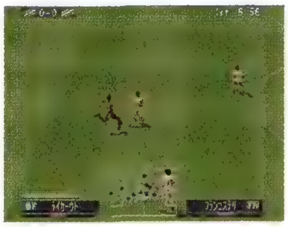


全選手の平均値と適性値NO.1選手の能力比較 GK適性値NO.1 チラペルト



CB
センターバック

ゾーンディフェンスで相手の攻撃をくい止めるDF。クロスボールを処理するジャンプ力や、相手FWに負けない当たりの強さが必要。特定のマークを受け持つ場合、ストッパーとも呼ばれる。



相手の攻撃の意図を読みとる経験も必要なポジション。

攻撃時の役割

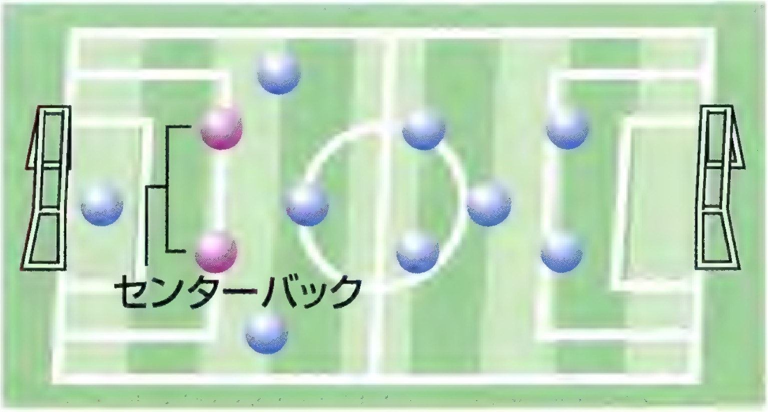
守備ラインでボールを回しながらチャンスをうかがうCBは、陰のゲームメーカーともいえる存在。ただし、ゴール前でのパスミスは即失点につながる。特に横パスには細心の注意を払おう。また、セットプレイ時には、相手ゴール前でのヘディングに強さを発揮する。

守備時の役割

相手FWをしっかりマークするとともに、スルーパス等にも対応できるよう、ボールを持つ選手を視野に入れておく。また、センタリングに対しては、相手よりも早くボールのコースに入ってクリアしたい。左右サイドのスペースのカバーも大切な仕事である。

CB 重要なパラメータ

守備力
当たり
身長



ポジションエディットのポイント

5バックの場合

サイドに2人、中央に3人のDFを配置して守備は万全に思えるが、フォーメーションによっては、中盤のプレスがあまくなる場合もある。中央のCBを少し上げ、積極的にボールを奪いにいかせたい。

4バックの場合

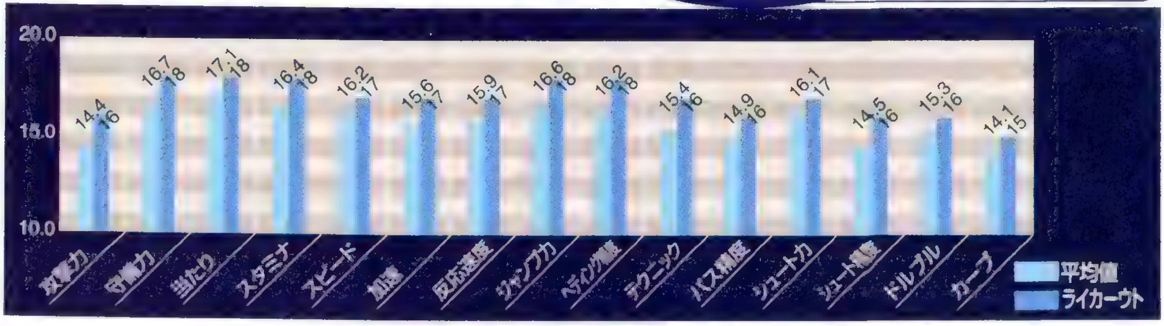
SBの攻撃参加後、相手の速攻を受けると、2人で相手FWに対応しなければならない状況も少なくない。オフサイドトラップを狙うのでなければ、1人は少しポジションを下げた配置にしておこう。

3バックの場合

SBのいない3バックでは、左右のスペースに対する処理が重要になってくる。中央に固まることなく、バランスのよい配置をしたい。また、サイドに引っ張られた場合も考慮して、DHのポジションを下げめにしておこう。

全選手の平均値と適性値NO.1選手の能力比較

CB適性値NO.1 ライカーウト



SW・LIB
スイーパー・リベロ

英語で「掃除人」を意味するスイーパーは、特定のマークする相手を持たず、他DFのカバーリングをする。イタリア語で「自由人」を意味するリベロは、スイーパーの仕事をしつつ、攻撃参加もする。

スルスルとピッチを駆け上がっていくリベロ。

攻撃時の役割

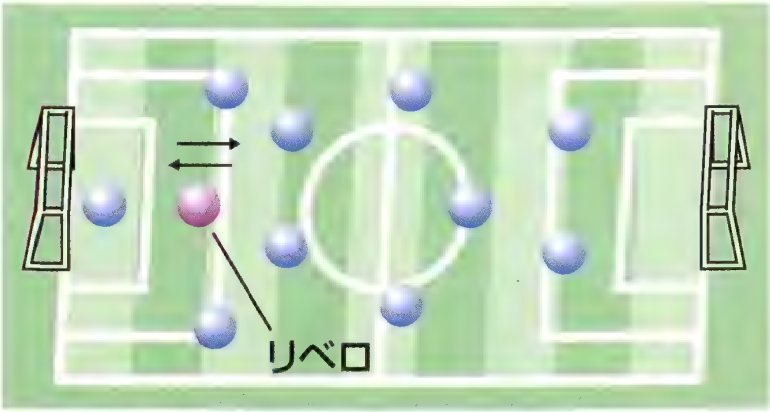
スイーパーは、守備ラインの後方に位置どり、味方DFが相手FWにチェイシングされたときに、バックパスを受ける。リベロは、スイーパーの役割を果たしながら、積極的に攻撃参加する。中盤まで上がってボールさばき、さらにスペースがあればフィニッシュにからむ。

守備時の役割

相手FWのマークはストッパーに任せ、抜かれた場合や2列めからの飛び出しを警戒する。WWE2000では、スイーパーが操作できる最後尾の選手となるので、相手の攻撃を必ずここでくい止めなければならない。シュートコースを塞ぎながら、ボールを奪いにいこう。

SW・LIB　重要なパラメータ

守備力
ジャンプ力
身長
スピード
スタミナ
攻撃力



ポジションエディットのポイント

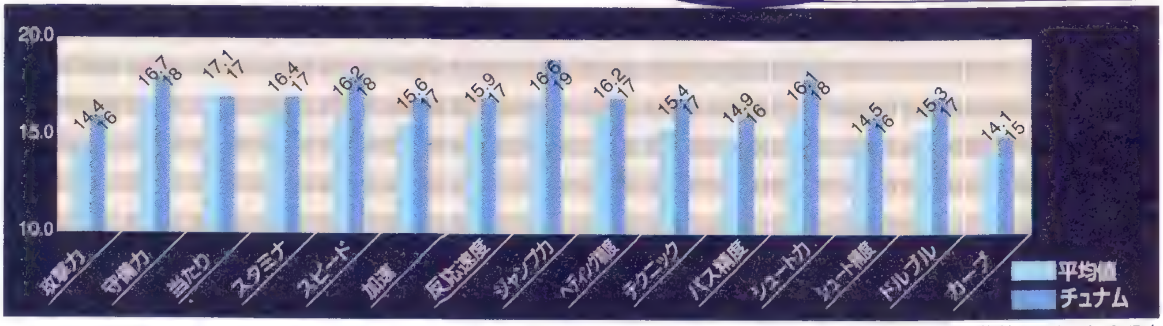
スイーパーの場合

基本的に守備ラインの後方に配置し、味方のDFがドリブルやパスで突破された場合に対応させる。また、ディフェンスタイプをカバーリングに、攻撃意識を守備的にしておくと、ゴール前をしっかり守ってくれる。

リベロの場合

原則はスイーパーと同じ。だが、DHが2人いる場合は、やや守備ラインより前めに配置させてもいいだろう（フォアリベロ）。また、積極的に攻撃参加させたい場合は、攻撃意識を上げ、作戦のCBオーバーラップを使用したい。

全選手の平均値と適性値NO.1選手の能力比較　SW・LIB適性値NO.1　チュナム



注)SW・LIB平均値はCBのものです

SB サイドバック

4人以上のディフェンスラインの両翼を担う。相手のサイドアタックに対応したり、攻撃時にはオーバーラップをしかけ、サイドからセンタリングを上げる役割を持つ。スピードとスタミナが必要。

タッチラインを味方に、スペースを疾走するサイドバック。

攻撃時の役割

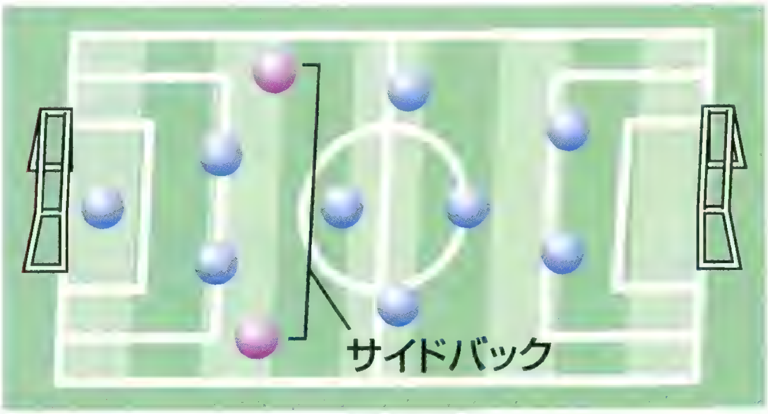
GKやCBからパスを受け、攻撃の起点となる役割を持つ。そこから、サイドチェンジを行ったり、オーバーラップして逆サイドからのボールを自ら受け、サイド突破を狙う。突破に成功すれば、センタリングを上げ、決定機を多く作り出すことができる。

守備時の役割

中央にスペースを作らない現代サッカーでは、サイド攻撃が重要な意味を持つ。よってSBには、サイド突破を許さない1対1の高い守備能力が重要だ。また、逆サイドにボールがある場合は、中央にできたスペースをカバーする役割を果たさなければならない

SB 重要なパラメータ

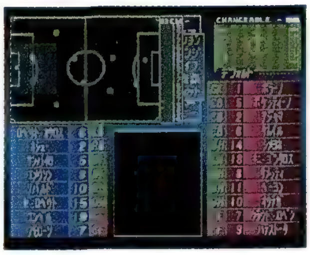
スタミナ
スピード
守備力



ポジションエディットのポイント

4バックの場合

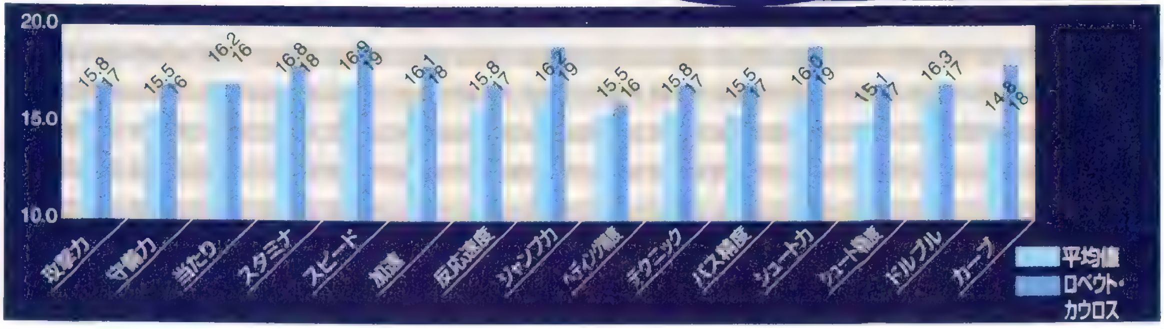
守備に徹底させるなら攻撃意識を下げ、攻撃させるなら上げる。これが基本だろう。試合内容にもよるが、攻撃意識を上げ、ポジションも高めに配置した場合は、スタミナの消費が激しい。後半には選手交代も考えなければならない。



極端な変更は、パスのつながりを悪くする。

全選手の平均値と適性値NO.1選手の能力比較

SB適性値NO.1 ロベウト・カウロス



DH
ディフェンシブハーフ

守備ラインの前に位置し、DFと連携した動きで守備を形作る。DHは攻撃と守備のつなぎ役になるため、ポルトガル語で「舵取り」を意味するボランチとも呼ばれる。攻守両方のセンスが必要となる。

DHの攻撃参加は、決定的なシーンを作り出す。

攻撃時の役割

味方からのボールを受けたら、その攻撃センスを生かし、長短織り交ぜたパスを前線に送る。前線のプレッシャーがきつい現代サッカーでは、DHの位置にゲームメーカーを置くことも多い。また、ときには思い切った攻撃参加で相手DFを混乱させ、決定機に絡もう。

守備時の役割

相手の攻撃を遅らせたり、パスコースを限定する。周囲の選手と協力して相手を追い込み、ボールを奪う。また、相手のサイド突破で味方CBがつり出されたら、CBのポジションに入り、クロスボールに対応する。

DH 重要なパラメータ

スタミナ
パス精度

ポジションエディットのポイント

DHが1人の場合

守備的MF本来の役割や、DFがサイドに流れる状況も考慮して、やや後方に配置したい。特にSBが攻撃参加するフォーメーションの場合は、CBの負担を減らすためにも、攻撃参加は控え、守備に専念できる配置を考えよう。

DHが2人の場合

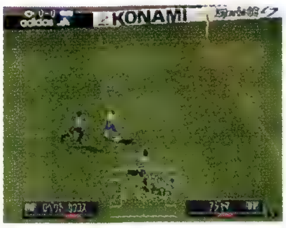
DHが2人の場合は、ダブル（ドイス）ボランチとも呼ばれる。2人並んで配置するよりも、1人は上がりめに、もう1人は下がりめにする。また、DFの数によっては、サイドのケアも考慮した配置にしなければならない。

全選手の平均値と適性値NO.1選手の能力比較

DH適性値NO.1 ダーウィッツ

SH サイドハーフ

センター付近の両サイドから攻撃を組み立てるMF。サイド突破やOHとのコンビネーションでボールを前線に運ぶ。SBとは違い、守備よりも攻撃が中心となるSHには、ドリブルやパス精度が要求される。



ドリブルでペナルティエリアに切れ込むサイドハーフ。

攻撃時の役割

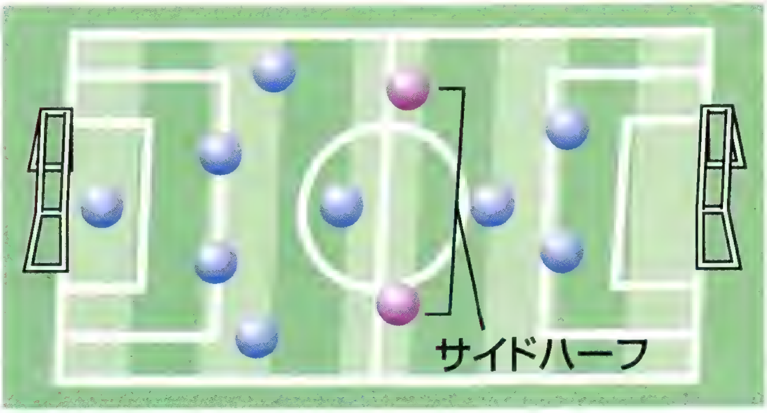
中央や逆サイドから送られるボールを受け、サイド突破を狙う。突破に成功したらセンタリングか、自ら内に切れ込んでシュートを打つ。また、中央の選手とのコンビで、ワンツーパスやスルーパスを行い、守備ラインを突破する。

守備時の役割

相手のサイドアタッカーの攻撃を高い位置でくい止める。また、逆サイドからサイドチェンジされた場合、できるだけ攻撃を遅らせるポジションをとり、味方選手と協力してボールを奪う。慌ててボールを取りにいき、抜かれることだけは絶対避けたい。

SH 重要なパラメータ

ドリブル
攻撃力
スタミナ
スピード
加速



ポジションエディットのポイント

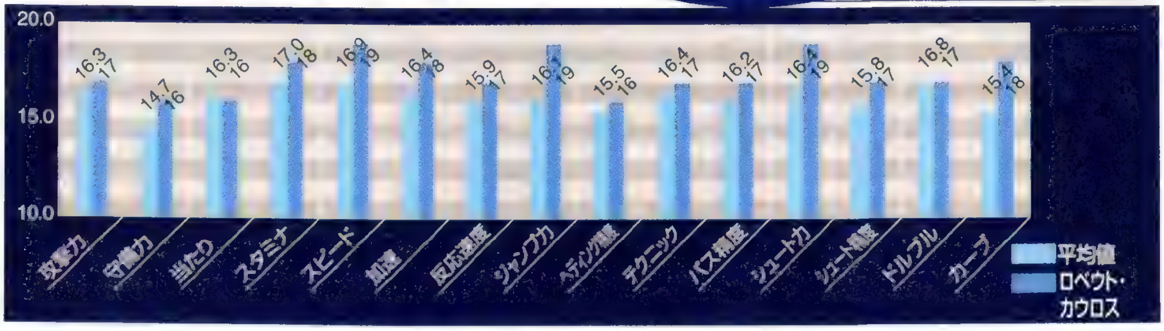
ウイングバックの場合

サイドの守備に不安がある場合、SHはセンターラインより後方に配置したい。相手のサイド攻撃を高い位置でくい止め、そこから逆にサイド攻撃をしかける。対戦相手のサイドの攻撃力を見て、SHの位置を決めていこう。

サイドハーフの場合

サイドの守備に自信がある場合、SHはセンターラインより前方に配置し、ウイングバックよりも攻撃的な役割を持たせる。攻撃意識を上げれば、ウイング的にも使える。中央の選手との連携や相手DFの布陣も考慮して、位置を決めよう。

全選手の平均値と適性値NO.1選手の能力比較 SH適性値NO.1 ロベウト・カウロス



OH
オフェンシブハーフ

OHは攻撃の軸となるMF。勝敗を決定するポジションのため、「ゲームメーカー」や「司令塔」とも呼ばれる。パスセンスやドリブルなど、攻撃に関するすべての能力が高いレベルで要求される。

ボールをキープしながら、決定的チャンスを作り出す攻撃の要。

攻撃時の役割

ボールを持ったら、いかにゴールに結びつけるかを考える。シュートを打たせるためのパスは、受け手が一番もらいやすいポイントに出す。また、自らがワンツーパスを使って守備ラインを突破し、シュートを打ってもいい。

守備時の役割

相手ボールになったら、簡単にプレイされないように、できるだけプレッシャーをかける。そうすることで、味方が守備陣形を整えることができるだけでなく、パスやドリブルのコースが限定され、ボールを奪いやすくなる。高い位置で奪えば、速攻のチャンスだ。

OH 重要なパラメータ

パス精度
攻撃力
テクニック
ドリブル

ポジションエディットのポイント

ラストパサー型

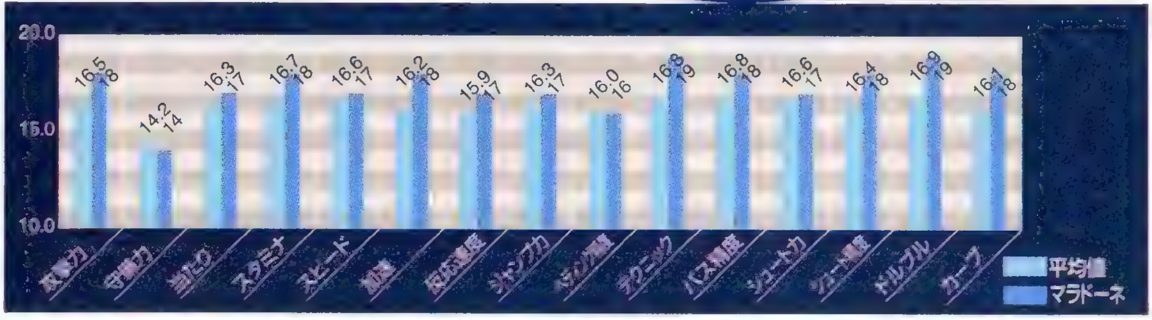
OHのエディット範囲は上下左右にそうとう広いが、決定的な仕事をさせたいのならば、センターラインより前方に配置させよう。また、当たりに弱いOHの場合は、サイドに配置することによって、相手のプレスを軽減することもできる。

ドリブル突破型

現代サッカーでは、組織的な守備が主流になっているため、中央を1人でドリブル突破することは難しい。必ず近くにサポートの選手を配置するか、左右どちらかのサイドに寄った位置どりをしたほうがいいだろう。

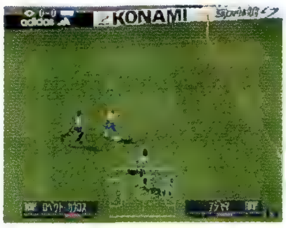
全選手の平均値と適性値NO.1選手の能力比較

OH適性値NO.1 マラドーネ



CF・WG
センターフォワード・ウイング

CFは、相手ゴール前で常に点を狙うポジション。高い攻撃力とシュート精度が要求される。WGは3トップ時にCFの両サイドに位置するポジション。得点だけでなく、チャンスメイクも重要な仕事。



両ポジションとも点を奪うのが仕事。決定力の高さが重要。

攻撃時の役割

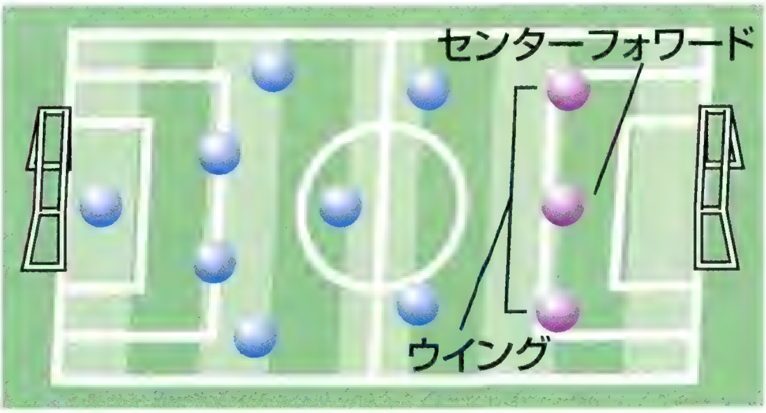
CFの役割は点を取ること。どうゴールするのかを常に考えることが重要になる。また、ポストプレイやサイドに流れてラストパスを出すのもCFの役割。WGは、サイド突破からのセンタリングや、中央に切れ込んでのラストパス、自らシュートを打つのが仕事となる。

守備時の役割

相手のDFがボールを持ったら、積極的にボールを奪いにいく。激しく追いかけることによって、相手は余裕をもったプレイができなくなり、ミスを誘発することができるのだ。横パスやバックパスをさせるだけでも、速攻を防いだことになり、味方の守備が楽になる。

CF・WG 重要なパラメータ

- 攻撃力
- 当たり
- スピード
- 加速
- 反応
- ヘディング精度
- シュート精度



ポジションエディットのポイント

トップ下としてのCF

CFのエディット範囲はかなり広い。配置によっては、ラストパスを供給する、いわゆるトップ下の選手にすることもできる。相手DF陣の位置や、自分とストライカーの利き足なども考慮して、繊細なエディットを目指したい。

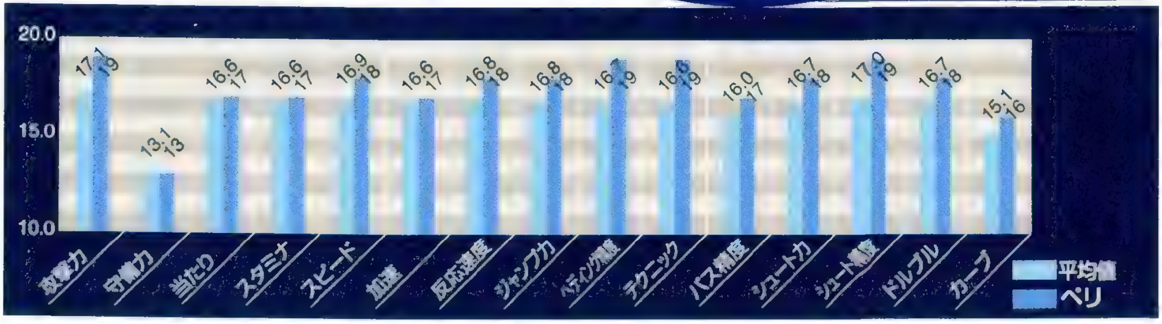
ストライカー

FWがGKと1対1になった場合、左右斜め45度から打つシュートが最も決まりやすい。CFのエディット範囲は横にも広い。決定力のあるストライカーならば、左右に開いた配置も面白い。ボールを供給する選手の配置も考慮して決めたい。

ウイング

攻撃的なスリートップのフォーメーションを採用したのだから、WGの位置も攻撃的にしたい。ただし、相手のオフサイドトラップには要注意だ。また、決定力やパス精度の能力値を見て、内側にしぼるか外側に配置させるか考えよう。

全選手の平均値と適性値NO.1選手の能力比較　CF・WG適性値NO.1 ペリ



FK
フリーキッカー

ゴール前のフリーキックは得点の大きなチャンス。敵の壁を避け、直接ゴールを狙っていこう。

FK 重要なパラメータ

シュート精度
カーブ
シュート力
パス精度

正確にはポジションではないが、コーナーキックやゴール前でのフリーキック時にキッカーを任される選手。相手チームの壁を避けるカーブ、ゴールの枠に飛ばすシュート精度が要求される。ゴールから距離がある場合もあるので、シュート力も重要だ。コーナーキックでは、狙ったターゲットに合わせる高いパス精度が必要になる。

FK適性値コスト表

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	FK適正値
ベッキャム	40	16.9	イングランド		マンチェスター	ユーロ	516
ゾア	36	16.9			チェルシー		512
クアイフ	50	17.3				クラシックユーロ	508
ジート	44	16.9				クラシックワールド	508
ルイ・コスナ	36	17.1	ポルトガル		フィレンツェ	ユーロ	504
ジダム	40	17.1	フランス		トリノ	ユーロ	504
プラティネ	44	16.8				クラシックユーロ	504
ミナイロビッチ	32	16.8	ユーゴスラビア		ラツィオ	ユーロ	504
マラドーネ	50	17.4				クラシックワールド	500
ボバン	36	16.9	クロアチア		ミラノ		500
ギルス	36	17.2	ウェールズ		マンチェスター	ユーロ	496
リバルド	46	17.3	ブラジル		バルセロナ	ワールド	496
レコバ	32	17.1	ウルグアイ		インターナショナル	ワールド	496
ベーヨン	38	17.0	アルゼンチン		ラツィオ	ワールド	496
ストイクビッチ	26	16.7	ユーゴスラビア			ユーロ	496
ハヴィ	30	16.7	ルーマニア				496
シーホン	32	16.5				クラシックユーロ	496
レオナウド	30	16.5			ミラノ		496
デウピエロ	40	17.0	イタリア		トリノ		496
R・バッゾ	32	16.5			インターナショナル		496
ロベウト・カウロス	36	17.4	ブラジル		マドリッド	ワールド	492
ハッゼ	26	17.2	モロッコ			ワールド	492
スフォルガ	30	16.8	スイス				492
マンティーニ	30	16.7			ラツィオ		492
ヘスナー	28	16.5	ドイツ				492
エフェンベウグ	30	16.8			ミュンヘン		492
ガインシャ	40	17.4				クラシックワールド	492
バテストータ	44	17.2	アルゼンチン		フィレンツェ	ワールド	492
ベウカンプ	38	16.9	オランダ		ロンドン		492
サイハミジッチ	24	16.7			ミュンヘン		488
ロナト・デムール	32	16.7	オランダ		バルセロナ		488
オコチ	26	17.1	ナイジェリア			ワールド	488
バレリ	26	16.9	イラン				488
ユーロビッチ	24	16.8	ユーゴスラビア		インターナショナル		488
ヘルトーク	24	16.7	オーストリア				488

※このページの表の見方については、P242を参照して下さい。

アイルランド

IRELAND

1990年ワールドカップイタリア大会ベスト8、1994年アメリカ大会ベスト16。1998年フランス大会では、欧州地区予選プレイオフで敗退。EURO（欧州選手権）2000でもまた、プレイオフで惜敗し、本大会出場はならなかった。2002年ワールドカップ欧州地区予選では、強豪オランダ、ポルトガルと同グループに。安定した力はあるものの、苦戦が予想される。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	レフトサイドアタック
○	ライトサイドアタック	✕	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 アナン・ケニー	GK	190	右	13	16	17	14	15	16	16	16	14	13	13	15	13	13	12	14.4	14	12
17 ブルーン	CB	183	右	14	17	17	17	16	15	15	16	16	15	14	15	13	15	13	15.2	13	16
5 カミンガム	CB	184	右	13	16	16	16	15	15	16	16	16	15	14	16	14	15	13	15.1	14	18
21 カル	SB	175	右	17	15	17	17	17	17	16	16	15	16	15	18	15	17	14	16.1	17	20
2 アーミン	SB	173	右	17	16	16	16	16	16	16	16	15	16	16	17	17	17	16	16.2	17	20
6 ロー・キーヌ	DH	179	右	17	17	17	18	17	16	17	17	17	17	17	17	16	16	15	16.7	15	28
11 キルバイン	OH	183	左	16	15	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	17	15	16.1	17	20
7 デルック	SH	182	右	17	13	16	16	17	16	15	16	15	16	16	17	15	16	15	15.7	17	20
8 キンチェラ	OH	173	右	17	14	16	18	16	16	16	15	15	17	17	17	16	16	16	16.1	17	22
10 ロビー・キーヌ	CF	183	右	18	12	17	16	18	17	18	17	15	16	16	17	18	17	14	16.4	18	22
9 クミン	CF	191	右	17	13	18	16	16	16	16	16	17	15	16	16	16	16	15	15.9	16	16
15 バップ	CB	182	右	14	17	18	16	17	16	15	18	17	15	15	17	14	14	14	15.8	15	20
4 バルラー	CB	188	右	15	17	17	16	16	15	15	16	17	15	14	16	14	15	14	15.5	15	18
14 ストーンホン	SB	180	左	16	16	16	17	17	16	16	17	16	16	15	16	15	16	17	16.1	16	16
18 ガーリー・ケニー	SB	173	右	16	15	16	17	16	16	16	15	15	16	16	15	16	16	14	15.7	17	16
3 ハルツ	SB	177	左	17	16	16	17	17	16	17	15	15	16	16	18	16	17	16	16.3	17	24
19 ケネリー	DH	181	右	15	16	17	16	16	15	15	15	16	15	15	16	15	15	14	15.4	15	16
20 ダム	SH	171	左	16	15	15	16	16	17	17	14	16	16	16	16	15	16	16	15.8	16	16
12 マカテア	SH	180	右	16	15	16	17	17	17	16	15	16	17	16	17	16	17	17	16.3	17	20
22 カスカレーノ	CF	188	右	16	13	18	15	15	15	16	16	17	17	16	15	17	16	16	15.9	15	16
13 コモリー	CF	173	右	17	13	16	17	16	17	17	17	16	16	15	17	16	17	14	16.1	16	16
16 ディーク・キーヴィ	GK	183	右	12	16	17	13	15	15	15	16	13	13	14	16	13	13	13	14.3	16	10
スタメン能力平均		181.5		16.0	14.9	16.7	16.5	16.4	16.0	16.1	16.1	15.5	15.6	15.5	16.5	15.4	15.9	14.4	15.8	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●チームの心臓ロー・キーヌ

攻撃の起点、守備の要、そしてキャプテンとしてチームを支えるDHのロー・キーヌ。豊富な運動量とバランスの取れた能力はチームの心臓といえる。攻撃では、キレのあるスピードが武器のCFロビー・キーヌを的に、相手DFの裏を突くスルーパスなどが有効。攻撃意識が高いSBのカルとアーミンのオーバーラップで、相手DFの意識を外に向けさせれば、いっそう効果的だ。守備では、守備能力の低いCBカミンガムに代えてバップを起用。ゴール前の守備力を高めて、GKの負担を減らすようにしたい。

応用戦術

●中盤の底を固め、安定した攻撃を

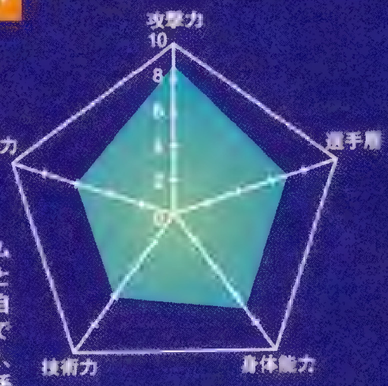
CBに守備能力の高い3人を配置、この3人は守備に専念させてGKをフォローさせたい。さらにDHにはロー・キーヌとストーンホンを置いて相手の攻撃を中盤で食い止める。ボールを奪ったら、パス精度の高いロー・キーヌ、キンチェラを軸に前線へボールを運び、得点能力の高いロビー・キーヌでゴールを狙っていく。

VS CPU

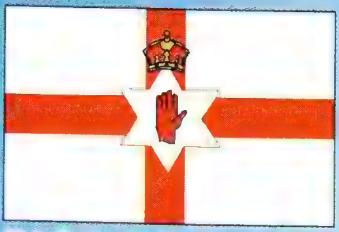
ディフェンスの裏を突く縦パスに要注意!

アイルランドの攻撃パターンは、ディフェンスラインの裏を狙うパス。攻守の要であるロー・キーヌ、パス能力の高いキンチェラがボールを持ったら、素早くスペースを確認しよう。遠目からの無理なプレスは、スペースを与えてしまう原因になるので避ける。パスコース読んでインターセプトを狙っていこう。また、ロー・キーヌはミドルレンジからもシュートを打ってくるので注意したい。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



北アイルランド

NORTHERN IRELAND

1880年サッカー協会設立（イングランド、スコットランド、ウェールズら英国4協会のひとつ）、1891年国内リーグ発足と、サッカーにおいては1世紀以上に及ぶ有数の歴史を持つ伝統国。1958年スウェーデン大会、1982年スペイン大会、1986年メキシコ大会と、3度のワールドカップ出場経験を持つも、1990年代以降、国際舞台での活躍は久しくない。

DEFAULT FORMATION　4-5-1B

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	レフトサイドアタック
●	ライトサイドアタック	✕	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 タイマー	GK	195	右	12	16	18	14	15	15	16	16	13	13	13	16	13	12	12	14.3	15	12
4 アーク・ヒューゴ	CB	182	右	15	16	17	17	17	16	15	16	16	16	15	16	15	16	15	15.9	16	16
3 ウィリアンズ	CB	183	右	14	17	18	16	15	15	17	16	17	15	14	15	14	15	13	15.4	16	14
5 タラート	SB	183	右	14	16	17	16	16	16	15	17	17	15	15	16	14	15	14	15.5	16	18
2 ノーマン	SB	180	右	16	15	16	17	17	16	15	15	14	16	16	16	15	16	15	15.7	17	16
20 レモン	DH	179	右	15	16	16	16	15	16	16	16	14	15	16	17	15	15	15	15.5	15	16
6 ロマンス	DH	183	右	16	15	17	16	16	16	16	16	15	16	15	15	16	16	16	15.8	16	18
10 ホルモック	OH	183	左	16	14	16	17	16	17	16	15	15	16	16	16	16	17	16	15.9	17	18
7 ギレスキー	WG	178	右	17	14	16	18	17	16	16	17	14	17	17	16	17	17	17	16.4	17	20
11 マイク・ヒューゴ	WG	170	左	17	13	16	17	17	17	17	16	16	17	16	17	17	16	17	16.4	17	20
9 クリン	CF	185	右	17	13	17	17	17	17	17	17	15	16	15	17	17	17	15	16.3	17	20
13 グリフォン	CB	178	右	15	16	17	16	16	16	15	17	16	15	15	16	14	16	14	15.6	14	16
14 マーロック	CB	185	右	14	16	17	17	16	15	17	16	16	14	15	17	14	15	15	15.6	15	18
15 マジルトン	DH	178	右	15	16	16	16	16	16	16	16	15	16	16	16	15	16	15	15.7	16	16
19 ハンマー	SH	190	右	15	15	18	16	16	15	16	15	15	16	15	15	15	15	14	15.4	14	16
8 ソマー	SH	181	右	16	14	17	17	17	16	16	15	16	16	16	16	15	17	15	15.9	17	18
21 ジョンスロン	OH	178	右	16	15	16	16	16	16	15	15	16	15	17	17	16	16	16	15.9	16	16
17 ハーニィ	CF	174	右	16	14	15	17	17	17	18	17	17	17	16	16	17	17	15	16.4	18	24
18 コーソ	CF	186	右	17	13	18	16	16	15	16	17	17	17	16	17	16	16	16	16.2	16	20
22 ドゥーリー	CF	185	右	17	12	17	16	16	15	17	17	17	16	16	17	16	17	15	16.1	16	18
12 ロバートソン	CF	175	右	17	13	15	17	17	16	16	17	16	16	15	17	17	16	16	16.1	16	18
16 キャナル	GK	187	右	12	16	17	14	15	16	17	16	14	13	13	15	14	13	12	14.5	17	10
スタメン能力平均		181.9		15.4	15.0	16.7	16.5	16.2	16.1	16.0	16.1	15.1	15.6	15.3	16.1	15.4	15.6	15.0	15.7	16.3	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●中盤の人数でチャンスメイク

4-5-1Bという守備的なフォーメーションの上、ずば抜けた攻撃力のある選手が少ないため、攻撃には迫力を欠いてしまう。5人のMFと4人のDFで相手攻撃を断ち切り、細かいパス回しで素早く攻め込むカウンター攻撃が、もっとも適した戦術だ。SHのギレスキーはパサーとして機能させ、OHのマイク・ヒューゴ、CFクリンをツートップに見立てて、ボールを持ったら積極的にシュートを放っていこう。守備面では、中盤の人数を利用して、高い位置からでもプレスをかけて、ボールを奪うようにしたい。

応用戦術

●攻撃的布陣で得点力アップ

比較的攻撃能力の高いギレスキー、マイク・ヒューゴ、クリンの3人で前線のトライアングルを形成し、攻撃の形を作りやすくする狙い。SH、SBの攻撃参加で、有効な攻撃パターンの選択肢も増えるはずだ。デフォルトに比べ、守備的な人数が減っているので、プレスのタイミングを早め過ぎないように注意しよう。

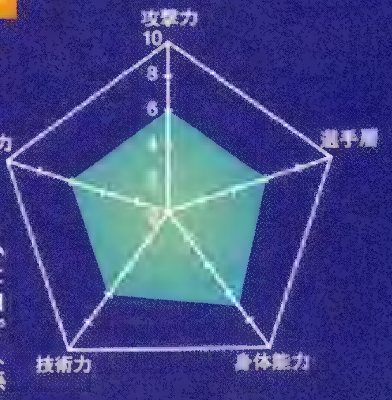
4-4-2A

VS CPU

中盤攻略が勝利のカギを握る

中盤以降の人数が多いフォーメーションなので、真正面からいっては、よほどの力差がない限り切り崩すのは難しい。とはいえ、DF個々の能力はさほど高くない。中央から、サイドから、ときにはロングボールで中盤を一足飛びにするなど、攻撃にバリエーションをつけて揺さぶりをかけていこう。高い位置からでも激しくプレスをかけてくるので、自陣でのパス回しは、慎重に行うようにしよう。

チーム力分析



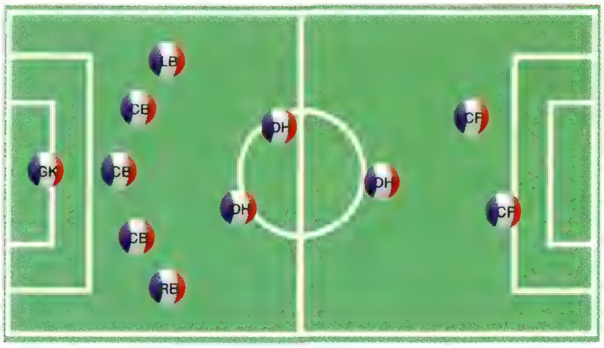
分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

スコットランド

SCOTLAND

過去8回のワールドカップ出場を誇る、歴史と伝統の国スコットランド。堅固なディフェンスと不屈の闘志で負けないサッカーを展開する。EURO2000では、グループ予選10戦全勝のチェコに次ぐ、5勝2敗3分でプレイオフ進出。イングランドとのプレイオフでは1勝1敗（お互いにアウェイで勝利）と互角だったが、得失点差で惜しくも本大会出場を逃がした。

DEFAULT FORMATION 5-3-2B



DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	□	カウンターアタック
●	レフトサイドアタック	✕	ゾーンプレス

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 スリハン	GK	183	右	12	17	17	14	15	16	17	17	13	13	13	16	13	12	12	14.5	15	14
4 リッキー	CB	179	右	14	17	17	16	16	17	16	16	16	15	15	16	14	15	14	15.6	16	18
5 ヘンドニー	CB	186	右	14	18	18	17	16	16	17	17	17	16	16	16	14	16	15	16.2	15	24
6 デイニー	SB	183	右	16	16	16	16	17	17	15	16	16	16	15	17	16	16	14	15.9	16	24
3 デビットリン	SB	177	右	16	15	16	17	17	15	16	16	16	15	15	16	15	16	15	15.7	16	18
2 テウファー	SH	175	右	16	14	16	16	17	16	15	16	15	16	16	16	15	17	14	15.7	17	18
11 キャネロン	DH	177	右	16	15	16	17	16	15	15	16	15	17	16	15	16	16	14	15.7	16	16
8 ファーラソン	DH	180	右	15	17	17	17	17	16	15	15	16	17	17	16	16	17	15	16.2	16	24
10 ハッチントン	OH	189	右	17	14	17	17	16	17	16	17	17	17	16	16	16	16	15	16.3	18	18
9 ギャラハー	CF	173	右	17	12	16	16	17	16	17	17	16	16	16	17	17	16	16	16.1	17	24
7 ドッツ	CF	173	右	17	13	17	16	16	17	17	16	16	17	15	16	17	17	14	16.1	17	18
16 ウェナ	CB	188	右	14	16	18	16	16	15	16	16	16	14	15	15	14	15	14	15.3	14	18
18 エミオット	CB	191	右	15	17	18	15	15	15	16	16	17	16	14	16	16	15	15	15.7	15	16
13 オニーユ	CB	185	右	14	16	18	16	16	15	15	17	16	15	15	16	14	16	14	15.5	15	16
17 ボイト	SB	182	左	16	16	17	16	17	16	15	16	15	15	16	16	15	16	15	15.8	16	16
14 ランファート	DH	179	右	16	15	16	17	16	15	16	16	16	16	16	17	15	16	15	15.9	15	18
19 コインス	DH	175	左	16	17	15	16	16	16	15	15	16	17	16	16	16	15	16	15.9	16	18
22 マクタマラ	OH	173	右	16	14	15	17	16	16	16	15	16	16	17	17	16	16	16	15.9	16	16
20 バーニー	OH	185	右	17	14	16	17	17	17	16	16	17	17	17	16	16	17	16	16.4	18	24
15 バーチャル	CF	172	右	16	13	15	17	17	17	17	17	16	16	16	16	17	16	15	16.1	16	18
21 マッカム	CF	178	右	17	12	16	17	17	16	16	16	17	16	15	16	16	16	14	15.8	17	16
12 グールト	GK	185	右	12	16	17	14	15	16	16	16	13	13	13	16	12	12	12	14.2	13	10
スタメン能力平均		179.5		15.5	15.3	16.6	16.3	16.4	16.2	16.0	16.3	15.7	15.9	15.5	16.1	15.4	15.8	14.4	15.8	16.3	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●サイドアタックで攻撃陣の人数を増やす

5人のDFに2人のDHと、人数、能力ともに揃えた守備は安定した能力を発揮できる。なかでもCBのヘンドニーは、守備能力が高く信頼のおけるDFだ。基本的な攻撃の形は、相手の攻撃を受け止めてから、反撃に移るカウンターアタック。しかし、OHハッチントン、CFギャラハー、ドッツの3人だけでは、思うように攻撃の形が作れないので、SBのアタックをからめて攻撃の幅を広げていきたい。決定力のあるギャラハー、高さのある2列目のハッチントンにボールを集め、得点を狙っていこう。

応用戦術

●攻守のバランスを取る

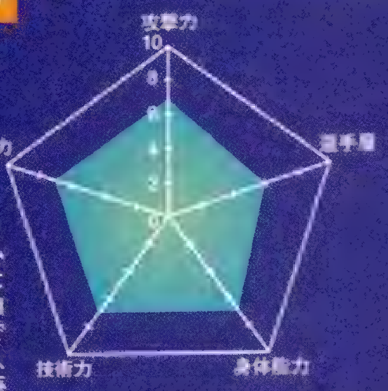
特長である守備力の高さを生かしつつ、攻撃陣の人数を増やして攻守のバランスをとる。前線の4人は、いずれも攻撃能力に優れるが、なかでもバーニーは攻撃意識の高い選手だ。DHファーラソンを中心に、攻守の切り替えをスムーズに行おう。DHランファートの位置を少し上げれば、より攻撃しやすくなるはずだ。

VS CPU

サイドからの揺さぶり

最終ラインの中央に位置するヘンドニーは、高い守備能力を誇るCBだ。中盤にはDHが2人いるため、なかなかスペースを与えてはくれない。堅固な守備を崩すために、両サイドから揺さぶりをかけていこう。ディフェンスラインが崩れたら、DFの裏を突くようなパスで攻め込みたい。スコットランドの攻撃は、OHハッチントンが起点となる。彼がボールを持ったら、守備陣の位置を素早く修正しよう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ウェールズ

WALES

1958年ワールドカップスウェーデン大会ベスト8という輝かしい記録は、もう半世紀近くも昔のこと。1994年アメリカ大会では、本大会を目前にして敗退。歴史に新たなる1ページを追加することはできなかった。2002年ワールドカップ欧州地区予選でも苦戦が強いられるが、ワールドクラスのギグスを中心とする攻撃陣の力で、なんとか巻き返しをはかりたい。

DEFAULT FORMATION 5-3-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	□	ゾーンプレス
●	レフトサイドアタック	×	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 クロムリー	GK	182	右	12	17	17	14	15	16	16	16	14	13	13	15	13	13	16	14.7	16	14
5 コーラン	CB	183	右	14	16	16	16	16	15	15	16	15	14	14	16	14	14	13	14.9	14	16
6 メルヒル	CB	182	右	14	17	17	16	16	15	15	17	16	15	14	16	14	14	13	15.3	14	18
4 ペーリ	CB	183	右	14	17	17	16	16	15	16	17	16	15	15	16	14	15	14	15.5	15	18
3 バーナーズ	SB	178	左	16	15	15	17	17	17	15	15	15	16	15	17	15	16	15	15.7	17	18
2 ロニウソン	SB	175	右	16	15	15	17	17	16	16	15	15	16	15	15	16	16	14	15.6	16	18
17 ジョンロン	DH	175	右	15	16	16	16	17	16	16	16	16	15	16	16	15	15	16	15.8	15	20
7 サフェース	DH	175	右	16	14	16	17	16	16	16	15	16	17	17	16	15	16	16	15.9	16	16
10 スキッド	OH	179	右	16	15	16	16	16	17	17	16	15	16	16	17	16	16	15	16.0	16	20
9 ブローク	CF	180	右	17	13	17	18	17	18	17	17	17	16	16	17	17	17	15	16.6	17	22
11 ギルス	WG	180	左	18	13	16	17	18	19	17	17	16	18	17	18	18	18	18	17.2	18	36
13 シギンス	CB	180	右	14	16	17	16	16	16	16	17	16	15	15	16	14	15	14	15.5	15	16
16 ウィリアンズ	CB	179	右	14	17	17	16	16	15	15	17	16	15	15	16	14	15	13	15.4	14	16
19 デラセイ	SB	185	右	15	16	17	17	16	16	15	17	16	16	16	15	15	15	14	15.7	16	18
8 ペングリッツ	SH	174	左	16	15	16	16	16	16	15	16	15	16	16	16	16	17	16	15.9	17	20
21 ジョンソンズ	DH	181	右	15	16	16	17	16	15	16	17	15	15	15	17	14	15	15	15.6	14	16
20 ジョールス	OH	180	右	15	16	16	17	16	16	15	16	15	16	16	16	15	16	14	15.7	15	18
14 ベラシー	OH	175	右	17	13	16	18	16	17	16	17	16	16	15	17	16	16	14	16.0	17	18
12 イナン・ロバース	CF	180	右	17	13	17	16	16	17	16	16	15	15	16	16	17	17	15	15.9	17	18
18 ハーストン	CF	183	右	17	13	17	17	17	16	17	17	17	16	15	17	16	15	15	16.1	16	18
15 ソンダーツ	CF	181	右	16	14	17	15	17	15	16	16	17	16	16	16	17	16	15	15.9	15	22
22 ワーム	GK	183	右	12	16	16	13	15	17	15	17	13	13	13	16	12	12	12	14.1	15	12
スタメン能力平均		179.3		15.3	15.3	16.2	16.4	16.5	16.4	16.0	16.1	15.5	15.5	15.3	16.3	15.2	15.5	15.0	15.8	15.8	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●カウンターからツートップへ

相手攻撃を中盤以降で断ち切り、OHのサフェース、ツートップのCFブローク、ギルスにボールをつなぐカウンターアタックがウェールズの攻めの形だ。攻守の切り替えを、いかにスピーディに行えるかがポイントとなる。CBのメルヒル、ペーリをはじめ、ディフェンス陣はそこそこの守備能力を持っている。課題は前線にボール送る手段。細かいパス回しでつないでいくよりも、ロングボールで、一気に攻め込むようにしたい。スピードあるツートップを生かし、DFの裏を突く攻撃でゴールを狙っていこう。

応用戦術

●攻撃は最大の防御

1列目にギルス、ブローク、ハーストンの3人を配置し、ウェールズの最大の武器である攻撃力をアップ。カウンター一辺倒の攻撃ではなく、バリエーションに富んだ攻撃が可能だ。守備ではサイドからの攻撃に注意。2枚のDHで敵の攻撃を遅らせるなどして、守備陣の形を整えるように心がけたい。

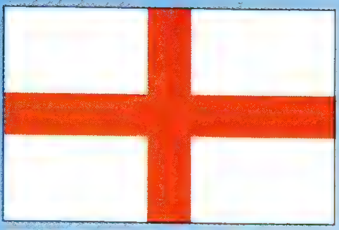
VS CPU

縦のロングパスに要注意

チーム全体の能力は平凡ながらも、ギルス、ブローク、サフェースで形成されるトライアングルは、かなりの攻撃力を持っているので注意したい。なかでもギルスのスピード、ドリブル、テクニックは申し分なく、その得点能力は脅威的だ。ウェールズの中盤はボールを奪うと、縦へのロングボールを放り込んでくることが多い。守備では、空いているスペースと、ギルスの位置どりに注意しよう。

チーム力分析

分析表は、ゲームのデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



ENGLAND

イングランド

過去10回のワールドカップ出場を数える、サッカーの母国イングランド。1966年イングランド大会では見事に優勝を収め、自国開催に華を添えた。EURO2000では、宿敵ドイツと同じ予選グループに入り話題を呼んだが、グループリーグで敗退。2002年ワールドカップ欧州地区予選でもまた、ドイツと同じグループ。その戦いぶりに注目したい。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

△	ライトサイドアタック	□	アザーサイドアタック
○	レフトサイドアタック	×	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 シーナン	GK	193	右	12	18	18	13	16	16	16	16	14	13	13	16	14	12	12	14.6	14	24
4 キャンベル	CB	189	右	15	17	19	17	17	16	16	17	17	16	15	17	14	15	14	16.1	15	24
5 アダモス	CB	190	右	14	17	18	16	16	15	15	16	17	15	15	16	14	15	13	15.5	14	22
3 フィル・ネイル	SB	180	右	15	15	17	17	17	16	15	15	15	16	16	16	15	17	15	15.8	17	22
2 ガリー・ネイル	SB	178	右	16	16	16	16	17	17	16	16	15	17	16	16	15	16	15	16.0	16	24
14 イース	DH	179	右	15	17	17	18	16	15	17	16	17	17	16	17	16	16	14	16.3	15	24
11 マクマネマン	SH	183	右	16	15	16	16	17	17	15	15	15	17	17	16	16	17	15	16.0	16	26
7 ベッキャム	SH	183	右	18	15	16	17	17	16	15	16	15	18	19	17	18	18	19	16.9	17	40
8 スコールス	OH	171	右	17	14	16	18	17	17	17	17	17	17	18	18	17	17	16	16.9	18	32
10 オーネン	CF	175	右	17	12	16	17	19	18	17	17	17	18	16	17	18	18	15	16.8	19	44
9 シナラー	CF	180	右	18	13	17	17	17	18	18	18	18	17	16	17	18	16	14	16.8	17	36
6 キーロン	CB	185	右	14	17	17	16	16	15	16	17	16	16	15	16	14	15	13	15.5	14	22
12 サウスケート	CB	178	右	14	16	17	16	16	16	16	17	16	16	15	16	15	15	14	15.7	15	24
15 バギー	SB	182	左	16	16	17	17	17	17	16	16	16	16	16	16	15	15	14	16.0	17	20
16 ジェランド	DH	185	右	15	16	17	18	16	17	15	15	15	16	16	18	16	16	16	16.1	16	22
17 ワイツ	SH	169	右	16	15	16	17	16	17	16	16	16	17	17	16	16	16	15	16.1	17	22
18 バーンリー	OH	167	右	17	14	16	17	17	17	17	17	15	17	17	16	17	17	16	16.5	17	24
19 ヘスリー	CF	188	右	18	13	18	16	17	17	17	15	16	17	17	17	17	16	14	16.3	16	28
20 フィリックス	CF	174	右	18	12	16	17	17	18	18	16	17	17	15	17	18	16	15	16.5	18	30
21 ファウマー	CF	176	左	17	13	16	16	17	17	17	16	16	17	16	18	17	18	17	16.5	18	28
22 リック・ラント	GK	184	右	13	16	17	14	15	15	16	17	13	12	13	15	13	13	12	14.3	16	16
13 マルティン	GK	190	右	12	17	17	14	15	17	17	17	14	14	13	15	13	12	12	14.6	15	18
スタメン能力平均		181.9		15.7	15.4	16.9	16.5	16.9	16.5	16.1	16.3	16.1	16.5	16.1	16.6	15.9	16.1	14.7	16.2	16.2	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●タレント豊富な攻撃陣で多彩な攻撃

攻撃を組み立てるのは、抜群のテクニックと卓越したパス精度を誇るRHのベッキャム。キレのある動きでスペースに抜け出すCFオーネンへのスルーパス、シュートとヘディングの決定力に長けたシナラーへのハイボールと、ベッキャム得点シーンを演出する攻撃の起点となる。また、OHスコールスもパス能力、決定力を兼ね備えているので、スコールスを起点とした攻撃も有効だ。守備では、中盤からプレスをかけてボールを奪い、細かいパス回しで素早く前線につなぐようにしていこう。

応用戦術

●安定した守備から鋭い攻撃へ

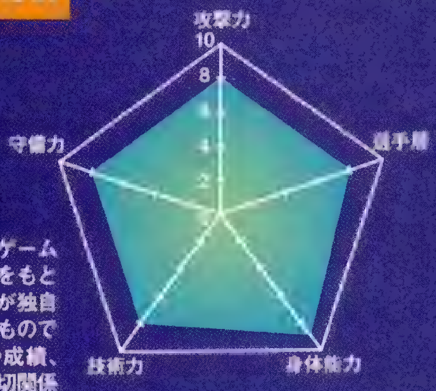
守備能力の高い3人をCBに据え、やや不安のあった守備陣の安定をはかる。守備的な人数は5人と変わらないが、DHを2人にしたことで中盤でのプレスが効果を上げるはずだ。攻撃陣はベッキャムを中央に置くことで、攻撃の選択肢を増やす狙い。調子次第では、LHのバーンリーをヘスリー、ファウマーと代えていこう。

VS CPU

攻撃の芽を素早くチェック

巧みなパスワークでボールをつなぐ中盤。隙あらば決定的なパスを狙ってくるベッキャム、スコールスのボールさばきには要警戒だ。攻撃の形を作られてしまうと、CFシナラー、オーネンは決定力があるだけに致命傷となりうる。フリーでパスを出させないように、早い段階でのプレスを心がけたい。攻撃では、高さのあるCBがいるので、低く早いボールでDFをかわし、ゴールを狙っていこう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ポルトガル

PORTUGAL

EURO2000本大会グループリーグで、イングランド、ドイツ、ルーマニアを下し決勝トーナメント進出。準決勝でフランスに敗れはしたが、その実力を証明した。ワールドカップ出場記録は2回で、1986年メキシコ大会が最後。2002年ワールドカップの欧州地区予選では、オランダと同グループだが、充実したチーム力で3回目の出場に期待がかかる。

DEFAULT FORMATION 4-3-3B

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 バイーラ	GK	184	右	13	18	17	14	16	16	16	17	14	14	13	16	14	13	13	14.9	14	20
2 ホルセ・コスナ	CB	188	右	15	16	18	16	16	16	16	16	16	15	15	16	14	15	14	15.6	16	20
5 フェルマン・コール	CB	184	右	14	17	18	17	17	16	17	17	17	16	16	17	15	15	14	16.2	15	26
13 ディナス	SB	186	右	16	15	16	17	17	16	16	16	15	16	15	16	15	16	15	15.8	16	20
14 シャヒネル	SB	187	右	16	16	16	17	17	15	15	15	16	16	16	16	15	17	14	15.8	16	18
4 ヴィスカル	DH	184	右	15	16	18	17	16	16	15	17	17	16	16	16	15	15	14	15.9	15	18
17 パルロ・ベート	DH	174	右	16	15	16	16	16	16	16	16	16	16	17	16	16	16	16	16.0	16	18
10 ルイ・コスナ	OH	180	右	18	14	17	17	17	16	17	16	17	18	19	18	17	18	18	17.1	17	36
21 ヌノ・ゴンツア	CF	180	右	17	13	17	17	17	18	17	16	18	16	16	17	18	17	16	16.7	18	24
8 ビレラ・ピンカ	CF	171	右	17	13	16	18	18	17	18	17	17	17	16	17	17	16	16	16.7	16	28
7 フィート	SH	180	右	17	14	17	17	17	17	17	17	16	18	18	17	17	19	17	17.0	18	24
16 ベノ	CB	185	右	15	16	17	17	17	17	16	16	15	16	15	16	14	16	15	15.9	15	20
20 セクネダリオ	SB	174	右	15	16	16	17	17	16	15	15	15	16	16	15	15	17	15	15.7	16	24
3 ルイ・ジョーイ	SB	170	右	16	15	16	17	17	17	16	17	15	15	16	16	15	16	15	15.9	17	18
6 パルロ・ソーラ	DH	177	右	16	17	16	16	16	16	17	16	16	17	17	16	16	16	16	16.3	16	30
15 ダコステ	DH	181	右	15	16	16	18	17	16	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16.3	16	22
11 セリオ・コンメイト	SH	177	右	16	15	17	18	17	16	16	17	16	16	17	17	17	17	15	16.5	16	32
19 カムーチョ	OH	180	右	17	13	17	16	17	16	16	16	17	17	16	16	16	16	16	16.1	17	20
9 サ・ピンカ	CF	177	右	17	12	16	17	17	17	17	18	16	17	16	16	17	17	15	16.3	17	24
18 パウメタ	CF	186	右	17	13	17	17	17	17	17	17	17	16	16	17	17	16	15	16.4	16	20
22 クイル	GK	184	右	13	16	17	14	15	15	17	17	13	13	13	16	13	13	12	14.5	17	14
12 ペトロ・エスカーナ	GK	180	右	13	17	17	14	15	16	16	16	13	14	14	16	13	13	12	14.6	15	16
スタメン能力平均		181.6		15.8	15.2	16.9	16.6	16.7	16.3	16.4	16.4	16.3	16.2	16.1	16.5	15.7	16.1	15.2	16.2	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●ルイ・コスナから始まる攻撃

テクニシャンの多いポルトガルのなかでも、高い技術力と抜群のパス精度を誇るOHのルイ・コスナ。攻撃のアイデアに優れたファンタジスタだ。攻撃はこのルイ・コスナを起点に、ヘディングの強いヌノ・ゴンツア、スピードが武器のビレラ・ピンカ、そしてルイ・コスナに勝るとも劣らないテクニシャンのフィートでゴールを狙う。スペースを有効に使うスルーパスが効果的だ。守備では、ボディバランスに優れたDHのヴィスカル、CBフェルマン・コールを中心に、早めのプレスで攻撃を断ち切るようにしたい。

応用戦術

●運動量で中盤を支配する

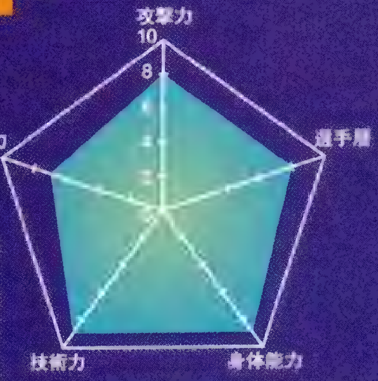
OHとしての能力も高いフィートを2列目に下げ、DHに能力平均が高く運動量の多いダコステ、セリオ・コンメイトを配置。前がかりな布陣のバランスをとり、中盤のボール支配率をさらに上げていく狙い。守備時は、積極的なプレスでボールを奪いにいく。作戦はゾーンプレスを設定しておくといいだろう。

VS CPU

パスの供給源を絶つ

ポルトガルの攻撃陣4人は、いずれも高い攻撃能力を持つ選手なので警戒が必要だ。なかでも、精度の高いパスで決定的な場面を作り出すルイ・コスナはやっかいな存在。フリーでボールを持たせないように早めにチェックしよう。チーム状況によっては、マンマークをつけるのもひとつの作戦だ。自軍攻撃時には激しくプレスをかけてくる。細かく早いパス回しでディフェンス陣の乱れを誘おう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

スペイン

SPAIN

1978年ワールドカップアルゼンチン大会から、1998年フランス大会まで6大会連続出場（通算10回目）という安定した実力を持つ。EURO2000でも決勝トーナメントに進出。イタリア、イングランドと並び、欧州を代表するスペインリーグの選手で構成されたチームは、まさにタレントの宝庫だ。2002年ワールドカップでは7大会連続出場を狙う。

DEFAULT FORMATION　4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

△	ライトサイドアタック	□	CBオーバーラップ
○	レフトサイドアタック	×	ゾーンプレス

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 カリサレス	GK	181	右	13	16	17	14	15	16	17	17	13	13	13	16	13	13	12	14.5	16	18
18 パト	CB	180	右	15	17	17	16	17	16	15	17	16	16	15	15	16	16	15	15.9	16	18
6 イメロ	CB	187	右	16	18	18	17	16	16	17	17	17	17	17	18	17	16	16	16.9	15	32
3 アラムサハル	SB	183	左	15	16	17	17	16	16	16	17	15	15	15	16	14	17	14	15.7	14	20
2 サルナト	SB	176	右	16	16	16	17	17	17	17	16	15	16	16	16	15	17	16	16.2	17	24
4 グァルテオナ	DH	180	右	17	16	17	17	17	16	16	17	16	18	18	17	16	17	17	16.8	16	34
8 フナン	SH	179	左	16	15	16	16	16	16	15	16	15	16	17	16	16	18	15	15.9	16	20
17 エケメリア	SH	182	右	16	14	17	17	17	17	16	16	16	17	16	17	17	16	14	16.2	18	28
21 ヴァレモン	OH	184	右	16	16	16	16	17	16	16	16	15	17	17	17	16	17	15	16.2	15	20
10 ラムール	CF	180	左	18	13	17	17	17	17	18	16	16	18	17	17	18	18	17	16.9	17	40
20 ウルハイス	CF	188	右	18	13	18	16	17	16	17	17	18	16	16	17	17	16	15	16.5	16	24
5 アベランド	CB	180	右	15	17	17	16	16	15	16	16	16	15	15	16	15	15	14	15.6	14	20
12 セルニ	SB	175	左	17	15	16	17	17	17	16	16	16	16	16	17	15	17	15	16.2	18	24
19 ベラスト	SB	179	右	15	16	17	17	17	16	15	15	15	15	16	16	16	17	15	15.9	16	18
7 エルゲサ	DH	185	右	15	16	17	17	17	15	15	17	16	16	16	16	15	16	14	15.9	15	18
15 エンコンラ	DH	181	右	15	17	18	18	16	16	16	17	16	16	15	17	15	15	15	16.1	15	20
16 メンデータ	SH	173	右	16	16	16	18	17	16	16	16	16	17	17	16	16	17	16	16.4	17	24
14 ジェハルト	OH	180	右	17	14	17	17	17	16	16	17	17	17	17	17	17	17	17	16.7	16	24
9 ムンテス	CF	167	右	16	13	16	18	17	18	17	16	16	16	15	17	17	17	14	16.2	17	22
11 アルフォンス	CF	178	右	17	13	16	17	16	17	16	18	17	16	16	17	17	16	15	16.3	16	20
13 カリカス	GK	184	右	12	17	17	14	16	17	18	17	13	13	14	16	13	13	13	14.9	17	20
22 モリーヤ	GK	186	右	13	17	17	14	16	15	17	17	14	14	13	16	14	13	12	14.8	15	18
スタメン能力平均		181.8		16.0	15.5	16.9	16.4	16.5	16.3	16.4	16.5	15.6	16.3	16.1	16.5	15.9	16.5	15.1	16.2	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●下から押し上げる分厚い攻撃

攻守にわたりチームを支える柱が、DHのグァルテオナ。DF陣が相手から奪ったボールは、彼を中継して前線に配給される。そこからFWのラムール、ウルハイスへとつないでいくのが基本的な攻撃の流れ。ヘディングの強いウルハイスへはハイボールで、ラムールへは得意のドリブルが生かせる低い弾道のパスでつなぐようにしよう。また、CBイメロのオーバーラップから生まれるミドルレンジからの強烈なシュートは、大きな武器だ。GKが弾いたところを詰めるといった得点シーンも見られるだろう。

応用戦術

●中盤の底からの分厚い攻撃

強烈なミドルシュートが魅力的なイメロをDHに置いて、攻撃参加の機会を増やす。ゲームを組み立てるのはやはりグァルテオナ。トップにはヘディングの強いウルハイスとアルフォンス、2列目にはドリブルの上手いラムール、ジェハルトを配置すれば、攻撃の選択肢が増える。作戦はチェンジサイドを使いたい。

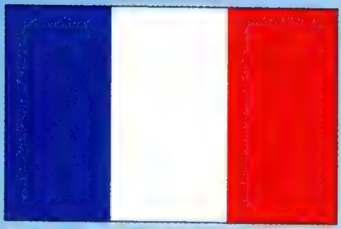
VS CPU

インターセプトで弱点を突く

スペインの特徴でもあるCBイメロのオーバーラップに注意。攻撃の人数が揃ってしまうと決定的な場面を作られかねない。しかし、得意とするパターンの裏側には弱点がある。CBの攻撃参加で手薄になったディフェンスラインをカウンターで突いていけばチャンス。スペインの選手は一様に当たりが強いので、激しくプレスをかけるのでなく、パスコースを読んでインターセプトを狙おう。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



フランス

FRANCE

ワールドカップ出場10回目となる、1998年フランス大会では悲願の優勝。今年に入っては、EURO2000優勝というビッグタイトルも手中に収めた。代表の多くは、欧州の各国リーグでも中心的存在。堅固な守備と天才MFジダンから展開される芸術的な攻撃は、名実ともに世界一といっても過言ではない。2002年ワールドカップでの活躍に期待が高まる。

DEFAULT FORMATION 4-5-1B

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	オフサイドトラップ
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
16 バルケス	GK	183	左	13	18	18	14	16	17	18	18	14	14	14	17	14	13	13	15.4	17	26
8 ドゥカイー	CB	185	右	15	18	18	17	17	16	16	18	17	16	16	16	15	15	14	16.3	14	30
5 ブナン	CB	190	右	15	18	18	16	17	15	17	16	17	16	16	15	16	15	14	16.1	13	26
3 リザマス	SB	169	左	17	16	16	17	17	16	16	16	16	16	16	17	15	16	15	16.1	18	26
15 チュナム	SB	182	右	16	18	17	17	18	17	17	19	17	17	16	18	16	17	15	17.0	18	30
17 プレィ	DH	185	左	17	16	17	17	17	16	16	17	17	17	17	17	16	16	17	16.7	16	24
7 デサン	DH	174	右	16	17	17	18	16	15	17	17	16	17	17	16	16	16	16	16.5	15	24
12 アスリ	CF	187	右	17	13	17	17	18	17	17	17	17	17	16	17	18	18	16	16.8	18	24
6 ジョムカエフ	OH	179	右	17	14	16	17	17	16	16	16	16	18	18	18	17	17	17	16.7	17	32
10 ジダム	OH	185	右	18	14	18	17	17	16	16	16	16	18	19	18	17	19	18	17.1	17	40
9 アメルカ	CF	184	右	18	12	17	18	17	18	18	18	17	17	16	17	18	16	15	16.8	18	30
18 ルルフ	CB	183	右	15	17	17	16	16	15	15	17	17	15	15	16	14	15	14	15.6	14	24
2 カンベラ	SH	180	左	16	16	16	18	17	17	16	17	16	17	16	18	16	16	15	16.5	14	26
4 ビレイラ	DH	192	右	16	17	17	17	16	16	15	17	17	16	16	17	15	17	15	16.3	15	22
19 カマンブー	DH	180	右	16	16	18	18	17	16	16	18	17	17	16	16	16	16	15	16.5	16	24
14 ミグウ	OH	188	右	17	14	18	17	17	16	16	16	16	17	18	16	16	17	17	16.5	16	28
11 ピレフ	OH	185	右	16	15	17	17	16	17	16	17	16	17	17	16	17	17	16	16.5	16	28
20 トレセレ	CF	185	右	17	13	17	17	17	17	18	16	18	17	16	17	17	17	15	16.6	17	28
21 デュマリー	CF	188	右	17	14	18	16	16	16	16	18	18	17	17	17	17	17	14	16.5	16	26
13 ヴィクトール	WG	173	右	17	13	16	17	18	18	18	18	17	16	16	18	18	17	15	16.8	17	24
22 ラナ	GK	187	右	12	17	18	14	15	16	16	17	13	13	13	16	13	13	12	14.5	15	18
1 ラバ	GK	183	右	13	17	17	13	15	16	17	16	13	13	13	16	13	13	12	14.5	16	18
スタメン能力平均		182.1		16.3	15.8	17.2	16.8	17.0	16.3	16.7	17.1	16.4	16.6	16.5	16.9	16.2	16.2	15.5	16.5	16.5	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●“ファンタジスタ”ジダムのスルーパス

世界一との呼び声高いボールコントロールで、芸術的なスルーパスを放つOHジダムを中心に、決定力に優れたFWアメルカ、ジダムの左右に位置する攻撃的MFのジョムカエフ、アスリを使ったワイドな攻撃が基本的な形だ。スペースを突くスルーパスで決定的なシーンを作っていこう。守備では、一瞬のうちに相手の攻撃機能を停止させるオフサイドトラップが効果的だが、しかけるタイミングを間違うと致命的なミスになってしまうので注意。相手のパスが出るタイミングを予測することが重要なポイントだ。

応用戦術

●バランスの取れたフォーメーションへ

攻撃的MFアスリを最前線に上げ、アメルカとのツートップを形成。OHの適性が高いジョムカエフをジダムと並べ、ジダムに集中するプレスを軽減させるように機能させたい。安定した力を発揮する守備陣は陣形を変えず、スタミナが要求されるSBに、運動量の多いカマンブーかカンベラを起用しよう。

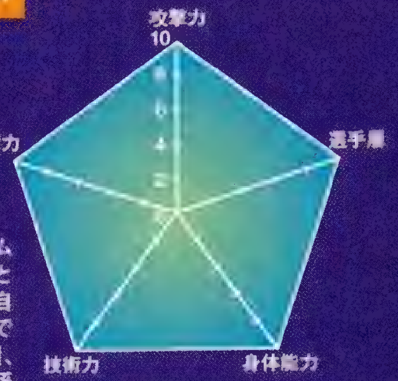
4-4-2B

VS CPU

司令塔ジダムを徹底マーク

守備は、OHジダムへの対応がポイントになる。自陣に攻め込まれたら、スペースを埋めることを優先的に考えよう。強引なプレスはできるだけ避けて、パスコースを消していくディフェンスを心がけたい。自由に動かれないようにマンマークをつけるのも効果的。また、控えのトレセレやヴィクトール、デュマリーらもアメルカ同様にヘディングが強いFWなので、ハイボールにも警戒が必要だ。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ベルギー

BELGIUM

1930年、第1回ワールドカップウルグアイ大会の出場をはじめ、1998年フランス大会までに10回の出場記録を持つ古豪国。「赤い悪魔」の異名を持つベルギー代表は、1982年スペイン大会から1994年アメリカ大会まで、4大会連続してベスト16入りという成績を残した。宿敵オランダとの共同開催になったEURO 2000では、グループリーグで敗退している。

DEFAULT FORMATION **4-4-2A**

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	レフトサイドアタック
○	ライトサイドアタック	×	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
❶ P・デビルテ	GK	180	右	13	17	17	13	15	15	18	16	14	12	13	15	13	13	13	14.5	15	20
❹ スメレンス	CB	183	右	16	17	17	16	16	16	17	16	16	16	16	16	15	16	15	16.1	16	22
❸ ファルヘイレン	CB	187	右	14	17	17	17	16	15	15	16	17	15	14	16	15	15	14	15.5	16	18
⓱ レオマール	SB	187	左	15	17	18	16	16	16	16	17	15	15	15	16	14	16	15	15.8	17	20
❷ デフワンドル	SB	178	右	15	16	17	17	17	16	15	16	15	15	16	16	16	16	14	15.8	15	16
❻ ファンダルヘーゲ	DH	180	右	15	16	17	18	16	16	16	16	15	16	15	16	15	15	14	15.7	15	18
❽ ゴーク	SH	183	左	16	15	17	17	17	17	15	16	15	16	16	17	16	16	17	16.2	17	20
⓫ フェルヘイメン	SH	188	右	16	15	18	17	17	17	16	16	16	16	16	17	16	17	14	16.3	18	22
❼ ヴィルモル	OH	178	右	16	15	17	16	17	16	16	16	17	16	17	18	16	16	16	16.3	16	20
❾ エニール・ムレーザ	CF	174	右	17	13	16	17	18	17	17	18	17	17	16	17	17	17	15	16.6	18	30
❿ ストルパス	CF	190	右	18	13	18	16	17	17	17	16	17	16	17	16	17	16	16	16.5	16	24
⓳ ファンネイル	CB	187	左	15	17	18	16	16	15	16	17	16	16	16	17	14	16	15	16.0	16	20
⓯ ピーカース	CB	184	右	14	16	18	16	16	15	16	16	16	15	14	16	14	15	14	15.4	15	16
⓲ ファンケルホーネン	SB	189	左	16	14	17	17	17	16	16	16	16	17	16	17	16	17	17	16.3	17	24
❺ クレネント	DH	190	右	15	16	18	16	16	15	15	16	15	16	15	16	15	16	14	15.6	15	16
㉒ ヘンドニクス	DH	184	右	16	15	17	16	16	16	15	16	16	16	16	16	15	15	15	15.7	16	18
⓮ ワーム	OH	169	左	17	14	15	17	17	17	16	17	16	18	18	16	16	17	17	16.5	17	24
㉑ ムロ・ムレーザ	CF	173	右	18	12	16	16	18	17	17	18	18	16	15	18	16	17	15	16.5	18	20
⓰ ニース	CF	185	右	17	13	17	16	16	16	17	17	17	17	16	16	17	17	16	16.3	16	26
⓴ G・デビルテ	CF	180	右	17	13	16	17	17	17	17	16	16	16	16	16	17	17	15	16.2	17	22
⓭ ヘルモネル	GK	183	右	13	16	17	14	16	17	16	17	14	13	13	16	13	13	12	14.7	17	16
⓬ デ・フリッカー	GK	186	右	13	17	18	14	16	16	16	16	13	13	14	16	14	13	12	14.7	16	18
スタメン能力平均		182.5		15.5	15.5	17.2	16.4	16.5	16.2	16.2	16.3	15.8	15.5	15.5	16.4	15.5	15.7	14.8	15.9	16.3	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●いかにして攻撃の形を作るか

ディフェンス陣はだれもが当たりに強く、守備能力を備えたメンバーで構成されているので心配はない。問題は、ゲームメイクができる中盤がいないということだ。OHのヴィルモルは、そこそこのパス精度を備えているが、司令塔を任せるには物足りない存在。そこで、パス精度に優れた控えのOHワームを起用したい。当たりの弱さが心配だが、その他の能力は司令塔として申し分ない。そこから、スピードのあるエニール・ムレーザ、当たりに強いストルパスに向けてキラーパスを出していこう。

応用戦術

●中盤の組織力をアップ

スタメンを見直し、フィールドプレイヤーの約半分を入れ替え。テクニック、パス精度のある選手を配置して、組織的なパス回しを実現したい。ツートップにはヘディングの強いムレーザ兄弟。高いクロスが有効だ。守備陣は、スタメン、サブの実力差が少ないので、調子を見てデフォルトの選手を入れ替えていこう。

VS CPU

細かいパス回しでプレスをかわす

ボディバランスの優れた選手が多く、激しいプレスをかけてくるのが特徴的。身体をぶつけてボールを奪う様は、"赤い悪魔"と呼ぶにふさわしい。攻撃を組み立てるときは、細かいパス回しでプレスをかわし、DFの裏や両サイドの空いたスペースを利用して切り崩していきたい。守備時、パス精度が高い控えのワームを投入してきたときには、スペースを与えないようにしっかりチェックしていこう。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

オランダ

NETHERLANDS

3度目の出場となった1974年ワールドカップ西ドイツ大会では、今やオランダサッカーの代名詞ともいえる、全員攻撃、全員守備の「トータル・フットボール」で準優勝に輝く。1978年アルゼンチン大会でも決勝戦まで進出。開催国アルゼンチンとの一戦は、延長の末惜敗。1990年イタリア大会以降、毎回優勝候補に挙げられるが、いまだ優勝はない。

DEFAULT FORMATION 4-3-3B

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ファンテルサール	GK	197	右	14	19	18	14	16	16	18	17	14	15	15	16	15	14	14	15.7	16	26
3 スタン	CB	191	右	15	19	18	17	16	16	17	18	17	16	15	16	15	15	13	16.2	14	32
4 ファンク・デムール	CB	180	左	16	17	17	16	16	16	16	17	16	17	17	17	15	16	16	16.3	15	32
12 ブロンクホスト	SB	178	右	16	15	16	17	17	16	15	16	16	16	16	16	15	16	15	15.9	16	20
2 レチハー	SB	178	右	17	16	16	17	18	17	16	17	16	16	16	17	16	17	15	16.5	16	24
8 ダーウィッツ	DH	169	左	16	16	17	19	18	18	17	19	17	17	17	19	17	17	15	17.3	17	36
7 コツ	SB	182	左	17	16	17	17	17	16	17	16	16	17	16	17	16	17	16	16.5	16	24
10 ベウカンプ	CF	185	右	17	14	17	16	17	16	16	16	17	19	18	17	18	18	17	16.9	17	38
9 クラウハート	CF	187	右	18	13	18	17	17	18	17	18	18	18	16	17	18	16	14	16.9	16	40
5 ゼンテン	SH	172	左	17	15	16	17	17	18	17	17	16	17	17	17	16	17	15	16.6	17	24
11 オヘルマウス	WG	173	右	17	14	16	17	18	18	18	16	16	18	17	17	17	18	15	16.8	18	28
13 コンテルラン	CB	188	右	15	18	18	17	16	16	17	17	17	16	15	16	15	16	14	16.2	14	22
19 ヌーナン	SB	181	右	17	15	16	17	18	15	16	17	16	16	16	17	16	17	15	16.3	17	22
15 ボスフィルド	SB	184	右	17	15	16	17	17	16	15	16	15	16	16	16	15	17	15	15.9	17	20
20 ヴィンツァー	DH	173	右	15	16	16	17	16	15	16	17	16	16	15	17	15	15	15	15.8	15	26
16 ロナト・デムール	SH	183	右	16	15	17	17	17	16	16	16	16	18	19	16	16	17	18	16.7	17	32
6 シードルク	OH	177	右	16	16	16	19	17	17	17	18	17	17	17	18	16	17	16	16.9	16	36
21 マッカーニ	CF	188	右	18	12	17	16	17	17	17	16	18	17	15	17	17	16	14	16.3	18	22
14 ファンホセン	CF	182	右	17	13	17	17	16	17	17	17	17	16	16	17	17	16	14	16.3	16	20
17 ファンキイトンク	CF	190	右	17	14	18	16	17	17	17	18	17	17	16	18	17	17	15	16.7	17	24
18 エドデムーイ	GK	197	右	13	17	19	13	15	14	17	16	13	13	13	16	13	13	13	14.5	16	18
22 ベクターフェスト	GK	179	右	13	17	17	14	16	16	18	18	14	14	14	17	14	14	13	15.3	14	20
スタメン能力平均		181.1		16.4	15.8	16.9	16.7	17.0	16.8	16.7	17.0	16.3	16.9	16.4	16.9	16.2	16.5	15.0	16.5	16.2	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●攻めのサッカーでフルタイム戦い抜く

トータル・フットボールを掲げるオランダのなかで、キーマンとなるのがDHのダーウィッツ。疲れを知らない豊富なスタミナとスピードが武器のボランチだ。DHコツとともに中盤で相手ボールを奪い、攻撃の形を組み立てていこう。前線の4人は、いずれも得点能力に優れたアタッカーだ。OHに位置するベウカンプは、決定的なシーンを作るパサーとしても有能な選手だ。相手守備のタイプによって、スルーパス、サイド突破、そしてミドルシュートと、多彩な攻撃パターンで攻めのサッカーを展開しよう。

応用戦術

●トータル・フットボール

データを見てわかるように、どのポジションでもそつなくこなせる、バランスのいい選手が多い。前線に配置した3人は、特に得点能力の高さが目立つ。中盤を攻守に優れた3人で固め、チーム全体的のバランスをとる。SBのコツ、レチハーも攻撃能力が高く、チーム全体で点を取りにいける、層の厚い攻撃が可能だ。

VS CPU

ダイレクトパスで守備を崩す

攻守に優れたオランダの中盤は、容易なことでは崩すことができない。特に運動量の豊富なダーウィッツは素早く強烈なプレスをかけてくる。相手陣内では、ワンツーを織り交ぜたダイレクトなパス回しでプレスをかわすように攻め込みたい。ポストプレイを得意とする選手がいる場合は、縦パスを当ててDFをかわす、壁パスを使ってディフェンスを切り崩し、ゴールを狙っていこう。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

スイス

SWITZERLAND

ワールドカップでは、1934年イタリア大会、1938年フランス大会、そして自国開催の1954年大会でベスト8に進出。1994年アメリカ大会のベスト16入りを含め、過去7回のワールドカップに出場した。アメリカ大会以降、国際舞台で目立った活躍はないが、その実力を侮ることはできない。得点能力の高い攻撃陣で2002年ワールドカップでの巻き返しに期待。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

- ▲ ノーマル
- ■ アザーサイドアタック
- ● ライトサイドアタック
- ✕ カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ズベルウェザー	GK	195	右	13	17	19	13	15	15	16	16	14	13	13	16	13	13	12	14.5	14	18
3 エムロス	CB	185	右	14	17	17	17	16	16	16	17	17	16	15	16	14	15	14	15.8	14	18
13 ジェネリー	CB	180	右	14	17	17	16	16	16	17	17	15	15	14	15	14	15	13	15.4	14	16
2 ハーム	CB	185	右	15	16	17	17	16	15	16	17	17	16	15	17	15	16	14	15.9	15	16
4 ムアト・ヤイン	DH	183	右	15	16	18	16	16	15	16	16	15	16	16	17	15	16	15	15.9	16	16
15 P・ミューナー	DH	177	右	16	14	16	17	17	16	16	16	16	17	17	17	16	17	16	16.3	16	18
6 フォーレル	SH	175	右	16	15	15	17	17	16	15	16	15	16	17	17	15	16	17	16.0	16	16
9 ブルガン	OH	174	右	17	13	16	17	17	16	16	17	16	16	16	17	16	17	15	16.1	17	18
10 スフォルガ	OH	180	右	17	14	17	17	16	16	16	17	16	18	18	17	17	18	18	16.8	16	30
11 シャフイザ	CF	180	左	18	13	17	16	17	17	16	17	17	17	17	18	17	17	16	16.7	18	30
7 セダ	CF	174	右	17	13	16	17	17	16	17	16	16	17	16	17	17	17	18	16.5	17	26
14 ウルム	CB	181	右	14	17	17	16	16	15	15	17	17	16	14	15	15	15	14	15.5	14	18
20 フォールネル	CB	179	右	14	17	16	17	17	15	15	16	16	15	14	16	14	15	13	15.3	14	18
5 マタレリ	SB	177	右	16	15	16	16	17	16	16	16	16	16	15	17	15	16	14	15.8	17	16
17 ディグリオ	DH	174	右	16	15	16	17	17	16	15	16	15	17	16	16	16	16	16	16.0	15	16
19 ロテングーラー	SH	171	左	16	15	16	17	16	17	15	16	15	16	15	16	15	16	15	15.7	17	16
21 ビックリー	SH	178	右	16	15	15	18	17	16	16	15	15	16	16	16	16	17	15	15.9	16	16
8 アレックス・レニ	OH	180	右	16	14	16	17	16	16	15	16	16	16	17	17	16	17	16	16.1	16	18
16 トゥルキウマス	CF	182	左	17	13	17	16	16	15	16	16	17	17	16	16	17	17	16	16.1	16	22
18 ヴィックス	CF	177	右	17	13	16	17	17	18	17	17	16	17	15	16	17	16	15	16.3	17	20
22 コミレッティ	CF	180	右	17	13	17	17	16	17	17	17	17	16	16	17	16	17	15	16.3	16	16
12 パスカロ	GK	189	右	13	16	19	13	15	14	16	16	13	14	14	15	13	12	12	14.3	16	16
スタメン能力平均		180.7		15.6	15.0	16.8	16.4	16.4	15.8	16.1	16.5	15.8	16.1	15.8	16.7	15.4	16.1	15.3	16.0	15.7	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●スフォルガを軸にした右サイドアタック

トップ下の右に位置するOHスフォルガを中心とする、右サイドからの展開が基本的な攻撃の形だ。中盤の布陣は右サイドが上がりめの位置に、左サイドはやや下がった位置にポジショニングしている。攻撃時は、3-4-1-2といったフォーメーションをイメージするといいだろう。スピードのあるCFシャフイザ、セダをスペースに走り込ませ、スフォルガからのキラーパスで得点を狙っていきたい。守備では、サイド攻撃にもろい部分があるので、守備的MFでサイドをフォローするようにしよう。

応用戦術

●しっかりとした中盤で攻撃陣をサポート

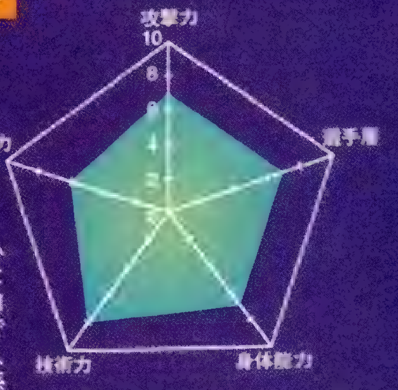
ディフェンスラインをフォーバックにし、弱点であったサイドを補強。中盤の底にはDHを2人置き、攻守のバランスをとるとともに攻撃陣をサポートする。DHに配置したP・ミューナーを積極的に攻撃参加させていこう。また、攻撃的なSBとしてビックリー、フォーレルのオーバーラップも効果的だ。

VS CPU

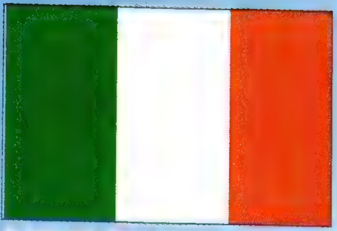
右サイドの攻撃を断ち、カウンターからサイドアタック

スイスが最も得意とする攻撃は、右サイドからのスフォルガを中心とする鋭い展開だ。裏返せば、弱点もそこにある。SHが上がったところをカウンターで突いて、スリーバックのサイドから切り込んでいこう。スイスのCBはいずれも当たりに強く、そこそこの高さを備えている。自軍にヘディングの強いFWがいれば別だが、いない場合には低いクロスを中心にCBの足元を突く攻撃でゴールを狙っていこう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



イタリア

ITALY

ワールドカップ優勝3回、準優勝2回の実績を誇る強豪国。国内リーグ「セリエA」は、欧州3大リーグの筆頭に挙げられる。代表メンバーはセリエAをはじめ、イングランド、スペインリーグで活躍する選手で構成されいる。個々の能力の高さはいうまでもない。堅固な守りから、スピードと華麗なパスワークを武器とした、カウンター攻撃が信条だ。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	アザーサイドアタック
●	ゾーンプレス	✕	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ブッフォン	GK	188	右	13	18	17	14	16	17	19	18	13	14	14	17	13	13	12	15.2	19	28
3 マルディーニ	SB	185	両	16	17	17	18	17	16	16	17	16	17	17	17	16	16	15	16.5	16	32
13 ネスティ	CB	187	右	15	18	18	17	17	16	17	17	17	16	16	16	15	16	14	16.3	15	24
5 カンナバーレ	CB	175	右	15	19	17	17	17	17	17	18	16	17	16	16	15	16	14	16.5	14	28
4 アルベルテーニ	DH	177	右	16	16	16	17	16	16	15	16	15	17	17	17	16	17	16	16.2	15	24
8 コンティ	SH	178	右	16	16	17	18	16	15	17	16	15	16	16	17	15	16	15	16.1	15	20
11 ペスット	SB	173	右	16	16	16	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	14	16.1	16	22
17 ザンブロッテ	SH	181	右	17	15	17	17	17	16	16	16	16	17	17	17	16	17	16	16.5	17	24
18 フィオール	OH	177	右	17	13	17	17	17	16	16	16	16	17	18	16	17	17	17	16.5	17	28
20 トッティ	OH	180	右	17	13	17	17	17	17	17	17	17	18	17	18	17	18	16	16.9	17	32
9 F・インツァーキ	CF	181	右	18	13	17	16	18	17	18	17	17	17	16	16	18	16	15	16.6	18	32
6 ネクロ	CB	182	右	15	17	17	16	16	15	16	17	16	16	15	16	15	15	14	15.7	14	22
15 ユリヤーノ	CB	187	右	13	18	18	17	16	16	17	17	16	16	15	16	15	16	14	16.0	15	22
2 フェラーナ	SB	180	右	16	17	16	17	17	17	17	16	14	16	16	16	16	17	15	16.2	17	20
16 アンブロシーニ	DH	180	右	16	17	16	18	16	16	16	17	16	17	16	17	16	17	15	16.4	16	24
14 デビアシオ	DH	175	右	15	16	16	19	16	15	16	16	16	16	17	17	15	16	15	16.1	14	22
7 デリービヨ	OH	173	右	16	15	16	17	16	16	15	16	16	16	17	17	16	16	16	16.1	16	24
10 デウピエロ	CF	173	右	18	14	16	17	17	17	16	16	17	18	18	16	18	19	18	17.0	17	40
21 デルベッキア	CF	186	右	17	14	17	16	17	17	18	17	17	17	16	17	17	16	14	16.5	17	24
19 モンテッサ	CF	172	左	18	14	16	17	17	18	18	17	17	17	16	16	18	17	15	16.7	17	26
22 アンポローニ	GK	188	右	13	17	18	15	15	16	17	17	14	13	14	16	14	12	12	14.9	15	20
12 トード	GK	196	右	13	18	19	14	16	16	18	17	13	13	14	17	13	13	13	15.1	17	24
スタメン能力平均		180.2		16.0	15.8	16.9	16.8	16.8	16.4	16.7	16.7	15.8	16.5	16.4	16.6	15.8	16.2	14.9	16.3	16.3	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●優れた組織力、巧みなパス回しで敵を翻ろう

イタリア語で「閂（かんぬき）」を意味する、“カテナチオ”と呼ばれる鉄壁の守備から、組織力の高い中盤、決定力の優れた前線へと、素早いパス回しで攻撃を展開しよう。攻撃は、パス精度の高いOHのフィオール、テクニシャンでドリブルが上手いCFトッチィで形を作り、素早い抜け出しと精度の高いシュートが武器のF・インツァーキを走り込ませて、得点を狙っていく。ディフェンスラインを押し上げているときに、カウンターアタックをしかけられると、意外にもろい部分があるので注意しよう。

応用戦術

●攻撃的な人数を増やし得点力をアップ

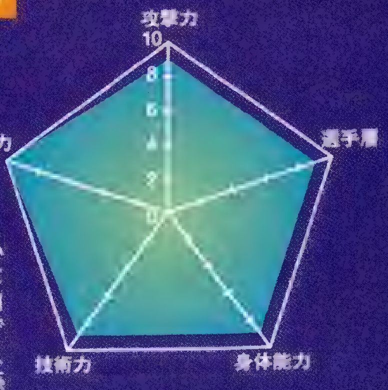
攻撃能力の高い控えのデウピエロを前線に置き、両SHを含む攻撃的なMFを増やして得点力のアップをはかる。CFのトッチィは、OHとしての能力に優れているため2列目に配置。CFのスピードを生かすチャンスメーカーとして機能させよう。攻守のバランスがいいアンブロシーニは、中盤の控えとして起用しよう。

VS CPU

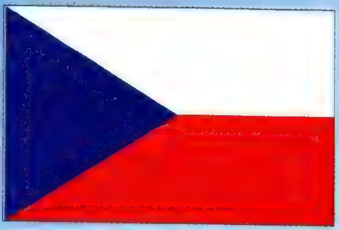
カウンター攻撃でカテナチオを切り崩す

真正面からぶつかっていっては、イタリアの堅いディフェンスをこじ開けるのは困難。まずは自軍の守備を固め、守備に重点を置いて攻撃の機会を待ちたい。ディフェンスラインの早い押し上げから、スピーディーな攻撃を展開してくるので、中央に切り込まれないようにキッチリと守ろう。自陣でボールを奪ったら、相手ディフェンスの両サイドを突くロングボールで一気に攻め込むようにしたい。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



チェコ

CZECH

旧チェコスロバキア時代、ワールドカップ2度の準優勝、欧州選手権で優勝など華々しい実績を誇る。しかし、共産主義崩壊に伴い、1993年にチェコ共和国とスロバキア共和国の2国に分裂した。1996年の欧州選手権では、はじめてチェコ共和国として出場し、決勝戦進出を果たす。国は2つに分れても、力強い攻撃が特長のチーム力は健在だ。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 スロンシク	GK	188	右	12	17	18	14	16	17	18	17	14	13	14	16	13	13	13	15.0	15	16
21 ガブリエス	CB	189	右	14	17	18	16	16	16	16	16	16	16	15	16	15	15	14	15.7	15	18
19 ラザ	CB	187	右	14	16	17	16	16	15	16	16	16	15	15	17	15	15	15	15.6	15	16
2 レスカ	CB	183	右	14	18	17	18	17	16	17	18	16	15	16	16	14	14	14	16.0	14	24
13 ベイクル	DH	185	右	15	16	17	16	16	15	15	16	17	15	16	17	16	15	15	15.8	15	16
7 ネメック	SH	176	右	16	15	16	17	16	16	16	16	15	16	16	16	15	17	15	15.9	16	16
8 ポポフスキー	SH	174	右	17	14	16	18	18	17	17	17	16	18	17	17	16	18	16	16.8	17	28
4 ネトレト	SH	177	右	17	15	16	18	17	17	17	17	16	17	17	17	16	17	15	16.6	17	22
20 ベルマー	OH	187	左	17	14	17	17	17	18	18	16	16	17	17	18	17	18	17	16.9	18	30
10 ケマー	CF	202	右	17	13	19	16	16	16	17	16	17	17	17	16	17	16	15	16.3	16	28
17 スミテル	CF	180	右	17	13	16	18	18	17	17	17	16	16	16	17	17	17	14	16.4	17	28
5 フガル	CB	188	右	14	17	18	16	16	15	16	16	17	15	14	16	14	15	14	15.5	14	20
18 ノモトイー	CB	184	右	15	17	17	16	16	16	17	16	16	16	15	17	15	16	14	15.9	15	18
6 フルシェク	SB	190	右	15	15	16	17	17	17	15	15	15	16	16	16	14	17	15	15.7	17	20
3 ラーサル	SB	179	右	16	15	17	16	17	16	16	15	15	16	15	16	15	16	14	15.7	16	16
14 ホルヴァン	DH	177	右	15	16	17	18	16	15	16	16	16	16	15	17	15	15	14	15.8	15	18
15 ヤコロウスキ	OH	177	右	17	14	17	17	17	15	16	15	16	18	17	16	17	17	17	16.4	16	22
11 ロシツリー	OH	178	右	17	13	16	17	18	17	17	16	15	16	16	17	16	17	15	16.2	18	18
12 ロコベネック	CF	192	右	18	13	17	17	16	15	16	16	17	17	16	17	17	16	15	16.2	17	22
9 クナ	CF	183	右	18	13	17	16	17	16	17	17	17	17	16	18	17	18	16	16.7	18	28
22 ブラテク	GK	188	右	13	16	18	16	16	15	17	17	13	13	13	16	13	12	12	14.7	17	18
16 マイネル	GK	186	右	13	17	17	13	15	14	16	16	13	13	14	15	14	12	12	14.3	16	16
スタメン能力平均		184.4		15.5	15.3	17.0	16.7	16.6	16.4	16.7	16.5	15.9	15.9	16.0	16.6	15.5	15.9	14.8	16.1	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●高さを生かしたパワフルな攻撃

攻撃でのキーマンであるCFのケマーは、ボディバランスのよさと打点の高いヘディングが武器の長身選手。その身長は、なんと202cmというゲーム中で最も高い数値になっている。スピードこそ平凡だが、ボールに対する反応やパス精度が高いので、質の高いポストプレイをこなせる選手でもある。中盤には、OHのベルマーやネトレト、SHのポポフスキーと攻撃的なMFが揃っている。攻撃を組み立てるのは、レフティーのベルマーが中心だが、いずれにせよケマーの高さ、ポストプレイで得点を狙っていく。

応用戦術

●長身FWケマーを生かすスリートップ

屈強な身体、驚異的な高さを誇るケマーは不動のCFとしてスリートップの中央へ。WGにスピードのあるスミテル、ドリブルの上手いクナを配置。2列目にはベルマー、ポポフスキーを並べて攻撃にバリエーションをつけたい。DHに置いたネトレトには、最終ラインから中盤、前線へとボールをつなぐ役割を任せよう。

VS CPU

両サイドからのハイボールに要注意

ひときわ身体の大きさが目立つCFケマーを狙ってハイボールを入れてくるのが、チェコの主な攻撃パターン。OHベルマーを中心とする中盤の選手がボールを持ったら、クロスを上げさせないようにプレスをかけていこう。フリーキックやコーナーキックなど、セットプレイでは当然のようにケマーに合わせてくる。強引なプレスでファールを取られないように、ゴール付近では慎重なプレイを心がけよう。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ドイツ

GERMAN

強靱な肉体に宿る「ゲルマン魂」を全面に出した、闘志あふれるサッカーが信条の強国。旧西ドイツ時代から12大会連続を含む14回のワールドカップに出場し、優勝3回、準優勝3回と輝かしい成績を残している。出場中ベスト8以上が12回という安定した力が印象的だ。2002年ワールドカップ欧州地区予選では、イングランドとの対決が注目される。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	■	CBオーバーラップ
●	レフトサイドアタック	✕	ゾーンプレス

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 カール	GK	190	右	13	18	19	15	16	17	18	16	13	14	13	17	14	13	13	15.3	14	24
6 ノロトニー	CB	187	右	14	17	18	17	16	16	16	17	17	16	15	16	15	16	15	16.1	15	20
10 マテルス	CB	174	右	16	17	17	15	16	15	16	17	17	17	17	17	16	16	15	16.3	16	28
4 リンカ	CB	182	左	14	17	17	16	17	16	17	17	17	16	15	16	15	15	14	15.9	15	20
16 イェレニース	DH	176	右	16	17	17	18	17	16	17	17	15	17	17	17	15	17	16	16.6	16	28
14 ハーラン	DH	189	右	16	16	17	17	16	16	16	16	15	16	17	16	15	16	15	16.0	15	24
17 ツィーベ	SH	186	右	17	14	17	17	17	17	16	16	16	16	16	18	16	16	17	16.4	17	22
18 ダイクラー	SH	182	右	17	14	17	16	17	17	16	17	16	18	17	18	17	18	16	16.7	17	26
7 ショム	OH	176	右	17	14	16	17	17	15	16	16	15	17	18	16	17	18	17	16.4	17	28
11 リンツ	CF	184	右	17	13	18	17	16	16	16	16	17	17	16	16	17	17	14	16.2	16	24
20 ビアモフ	CF	191	右	18	13	18	16	17	16	17	18	19	17	16	18	17	16	15	16.7	18	36
3 レーネル	CB	187	右	14	17	18	16	16	16	17	17	16	15	15	16	15	15	14	15.8	14	18
2 バッゲル	CB	189	右	15	17	18	17	16	16	16	16	16	16	15	16	15	15	14	15.9	14	22
15 ヴォッツ	SH	169	右	17	15	15	18	17	17	16	17	15	17	17	16	16	17	16	16.4	17	24
21 ラメノウ	OH	185	右	16	15	18	17	16	16	15	16	15	16	16	16	16	16	16	16.0	16	20
8 ヘスナー	OH	167	両	17	14	15	16	16	17	15	16	16	18	18	17	17	17	18	16.5	17	28
13 バナック	OH	189	右	16	15	17	17	16	16	16	16	17	16	17	16	16	17	15	16.2	16	20
5 ボーゼ	WG	189	左	17	13	17	17	17	17	17	17	16	16	16	17	17	17	15	16.4	17	22
9 キルスレン	CF	175	右	17	13	16	16	17	16	16	17	17	17	15	18	17	17	15	16.3	18	26
19 ヤンガー	CF	193	右	17	13	18	17	16	17	16	16	18	17	16	17	17	17	15	16.5	18	32
22 ブッド	GK	191	右	13	17	19	13	15	15	18	16	14	14	14	16	16	13	13	15.1	15	22
12 レーナン	GK	190	右	13	17	17	15	16	16	17	16	13	14	13	17	14	13	13	14.9	16	24
スタメン能力平均		183.4		15.9	15.5	17.4	16.5	16.5	16.1	16.5	16.6	16.1	16.5	16.1	16.8	15.8	16.2	15.2	16.2	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●パワーと高さを生かした攻撃

攻撃は、OHショム、SHダイクラーからのクロスボールを、CFビアモフの打点が高く鋭いヘディングでゴールを狙っていくのがパターンだ。シンプルすぎて面白味にかけるが、長所を生かした最も有効な形である。ボディバランスのよさを生かしたパワフルなドリブルと、シンプルなパス交換で相手ディフェンスのサイドをこじ開けていこう。ベテランのCBマテルスを中心とした守備は堅く、安定したディフェンスが期待できる。GKカールもボールに対する反応が早く、ボディバランスに優れている。

応用戦術

●破壊力抜群のスリートップ

守備陣の堅さを信頼した攻撃的な布陣。スリートップの3人は、いずれも高さと決定力を備えた攻撃能力の高いFWだ。中盤にはパス精度の高い選手を揃え、サイドのスペースを有効に使ったワイドな攻撃を展開したい。LIBのマテルスはスタミナに不安があるので、残りの体力に気を配りながら攻撃参加させよう。

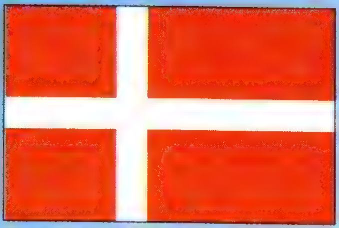
VS CPU

高さだけではない ドイツの攻撃

ドイツの攻撃で最も脅威的なのは、パワーと高さで攻め込んでくる場合だが、パスセンスのいいショム、ダイクラーはスルーパスを使ってくるケースもある。ビアモフは足元のボールにも強いので注意しよう。攻撃はMFが密集した中央を避けて、スリーバックのサイドのスペースを突いて切り崩していこう。ドイツの守備陣はハイボールに強いので、グラウンダーの早いクロスを使ったほうが効果的だ。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



デンマーク

DENMARK

1986年ワールドカップメキシコ大会で、初出場ながらベスト16入り。世界にその実力を示した。1992年には欧州選手権優勝。3大会ぶりの出場となった1998年フランス大会では、決勝トーナメント1回戦で、ナイジェリアを1-4の大差で下し、ベスト8進出を果たした。躍進の原動力であったラウドラップ兄弟はいないが、組織力の高さは健在である。

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	ゾーンプレス
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 シュナイケル	GK	191	右	14	19	19	14	16	16	18	18	13	14	14	17	13	13	12	15.3	14	30
2 ショーンベルク	CB	191	左	14	17	19	16	16	15	15	16	17	15	15	16	14	15	14	15.6	14	20
3 ヘンリスネン	CB	180	右	14	17	17	17	17	16	16	17	17	15	15	16	14	15	16	15.9	14	18
5 ハインレ	SB	171	左	15	16	15	16	16	15	16	16	16	16	15	16	15	16	14	15.5	15	16
12 コールウィンク	SB	178	右	16	15	16	17	17	16	15	16	16	16	15	16	15	16	15	15.8	17	18
7 A・ニールレン	DH	173	左	17	14	16	17	17	16	15	15	16	18	17	17	16	18	17	16.4	17	24
15 テフリン	DH	175	右	15	16	17	17	16	15	16	15	16	17	16	18	16	16	15	16.1	16	16
8 グノンケア	WG	187	右	16	15	17	17	17	17	16	16	16	16	16	17	16	17	15	16.3	16	20
10 ヨルレンセン	SH	180	右	17	14	17	17	17	17	17	16	16	17	17	17	17	18	16	16.7	16	22
11 サンズ	CF	180	左	18	13	17	17	17	16	17	17	17	17	16	17	17	16	14	16.4	17	28
9 トマトン	CF	183	右	17	14	17	16	18	17	17	15	16	17	17	18	17	17	14	16.5	18	18
13 ラウムネン	CB	182	左	14	17	17	17	16	16	16	17	16	15	15	16	14	15	14	15.7	14	20
4 ホール	CB	184	右	14	17	17	16	16	15	17	18	17	16	15	15	14	15	16	15.9	14	20
20 グラムセン	SB	178	右	15	16	16	17	16	17	16	16	15	16	15	17	16	16	15	15.9	16	16
14 B・ニールレン	DH	179	右	15	16	16	17	16	16	16	16	15	16	16	17	15	15	16	15.9	16	18
19 ビスカウント	SH	178	右	16	15	16	17	17	16	17	16	17	17	16	17	15	16	15	16.2	17	20
17 ゴルネク	SH	172	右	16	15	15	16	16	15	16	15	16	16	17	16	16	17	15	15.8	16	16
6 ヘルゼク	SH	177	右	17	15	16	18	17	17	17	16	17	16	17	16	16	17	16	16.5	17	24
18 モウレル	CF	182	右	18	12	17	17	17	17	16	17	17	17	16	17	17	16	15	16.4	16	20
21 ベッチュ	CF	185	右	17	13	17	16	16	17	17	16	16	17	15	16	17	16	14	16.0	17	22
22 キナル	GK	186	右	13	17	18	13	14	15	16	16	13	13	13	16	13	13	12	14.3	14	16
16 ソーネンセン	GK	195	右	13	17	19	14	15	16	17	17	13	13	13	16	13	13	12	14.7	17	16
スタメン能力平均		180.8		15.7	15.5	17.0	16.5	16.7	16.0	16.2	16.1	16.0	16.2	15.7	16.8	15.5	16.1	14.7	16.0	15.8	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●細かいパス回しを使った組織的な攻撃

チームの中心は、高い技術力とパス精度、そして巧みなドリブルが光るDHのA・ニールレン。文字どおりフィールドの中心に位置するチームの要だ。攻撃はA・ニールレンを起点に、OHヨルレンセンを経由して、FWのサンズ、トマトンにつなげていきたい。ツートップはスピードと決定力があるので、スルーパスを使った攻撃が効果的だ。守備では、世界屈指の実力を誇るGKシュナイケルをはじめ、CBの2人は守備能力が高い。SBの能力がやや劣るので、サイドからの攻撃には注意していきたい。

応用戦術

●多彩な攻撃展開から得点を狙う

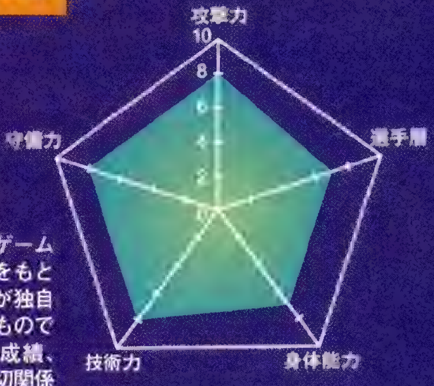
2列目にパスセンスのいいA・ニールレン、ヨルレンセンを並べて、攻撃の選択肢を増やす。精度の高いパスの出し手を増やすことで得点力を上げる狙いだ。中盤の人数が増えるのでパス回しもしやすくなる。守備は、カウンター攻撃にもろい面もあるが、守備能力の高いCBとGKシュナイケルの能力に期待したい。

VS CPU

手薄なサイドからアタックをしかける

デンマークのフォーメーションは、前線から中盤にかけて中央に人数が多く、有効なスペースを作り出すのが、なかなか難しい。攻守のバランスがいいデンマークだが、両SBのコールウィンク、ハインレは、なまじ攻守のバランスが取れているため、平凡なSBとも見える。その弱点ともいえるサイドから中央へ切り込んでゴールを狙おう。守備ではツートップの走り込みに気をつけたい。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ノルウェー

NORWAY

2大会連続3回目の出場となった1998年ワールドカップフランス大会では、ブラジルと同じグループAを2位の成績で決勝トーナメントに進出。1回戦で強国イタリアに1－0で敗れたが、ベスト16という結果を残した。「北欧の巨人」T・A・フローらの高さと、当たりに強い身体を生かしたパワフルなサッカーが信条。強国相手にどこまで食い下がれるかが課題。

DEFAULT FORMATION 4-3-3A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
① ミューゲ	GK	193	右	13	17	18	14	16	16	16	16	17	13	14	14	16	13	13	13	14.9	15	16
③ ブラグスタンド	CB	194	右	14	17	18	16	16	16	16	16	16	15	15	16	15	15	14	15.7	14	20
④ ヘミング・ベルヌ	CB	180	右	15	17	17	16	16	16	16	17	15	16	16	17	14	15	14	15.8	15	20
② ベルクトルノ	SB	187	左	16	16	17	17	17	16	17	16	15	15	16	16	15	16	16	16.1	15	18
⑭ ヘンゲル	SB	179	右	15	16	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	14	16.0	14	18
⑩ レクザル	DH	187	右	15	16	18	17	16	15	16	17	16	17	17	17	16	17	15	16.3	15	24
⑦ ミュックレン	SH	172	右	16	15	16	17	17	17	15	16	16	17	16	17	16	17	17	16.3	16	20
⑲ エニク・バッケ	OH	180	右	16	15	17	18	16	16	15	17	16	16	16	17	16	16	15	16.1	17	20
⑨ T・A・フロン	CF	194	右	18	12	18	16	17	17	17	17	17	18	17	18	18	18	16	16.9	17	36
⑳ ソルスメア	CF	180	右	17	13	17	17	17	17	18	17	17	17	16	17	18	17	15	16.7	17	32
⑱ イワムセン	CF	186	右	17	13	16	16	17	17	17	17	17	17	16	17	16	16	15	16.3	17	22
⑤ アンデウセン	CB	188	右	15	16	17	17	16	16	16	16	16	15	15	16	14	15	14	15.6	14	18
⑯ エッケン	CB	192	右	15	17	18	16	16	15	17	16	17	15	16	16	15	16	14	15.9	15	22
㉒ ビョムンビー	SB	179	左	16	16	16	17	17	16	16	16	15	16	15	16	16	17	15	16.0	17	20
⑪ スカメルスレド	DH	178	右	15	16	16	17	16	16	15	16	15	17	16	17	15	16	17	16.0	16	18
⑧ ソルバレン	SH	189	右	17	14	18	16	16	16	16	17	17	16	17	16	16	16	16	16.3	17	24
⑮ リーテ	SH	185	右	16	16	17	17	17	16	16	16	16	16	16	17	16	16	15	16.2	16	20
㉑ リエト	OH	190	右	16	14	17	17	17	15	15	16	16	17	17	16	17	17	16	16.2	16	20
⑥ ストマント	OH	185	右	16	16	18	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	16.1	16	16
⑰ カルー	CF	193	右	19	13	19	16	17	17	16	17	17	16	16	18	17	16	15	16.6	17	30
⑬ モルトン・バッケ	GK	190	右	13	16	16	13	15	15	16	16	16	13	13	16	13	13	12	14.4	17	14
⑫ オーネン	GK	188	右	13	17	16	13	15	16	17	16	16	13	13	17	14	13	12	14.7	16	16
スタメン能力平均		184.7		15.6	15.2	17.2	16.5	16.5	16.3	16.3	16.6	15.8	16.2	15.9	16.7	15.7	16.0	14.9	16.1	15.6	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●攻撃的スリートップでパワフルに攻め立てる

高身長から繰り出すヘディング、ポストプレイを巧みにこなすテクニック、そしてボディバランスのよさとパワフルなシュートと、CFとしての能力に満ちたT・A・フロンが、チームのエースであり中心人物だ。中盤からディフェンスラインとGKの間にロングボールを放り込むパワープレイや、サイドからの高いクロスボールに、頭で合わすといった形が効果的。攻守の要となるDHレクザルをいかに機能させるかがポイントとなる。

応用戦術

●守備を固めてカウンターで攻め上がる

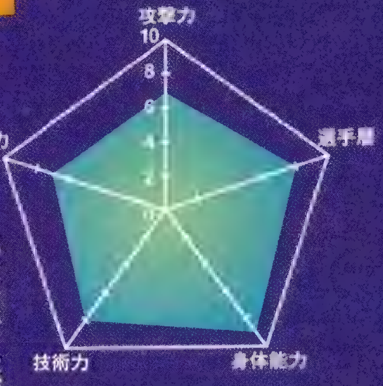
ポストプレイも得意とするT・A・フロンは、やはり攻撃の要となるので最前線に配置するのが最適だ。中盤にはドリブル、テクニックに長けた選手を置き、攻撃力を備えた両SBとともに、押し上げて相手陣内に攻め込みたい。相手の攻撃を最終ラインでしっかりと断ち切って、中盤から押し上げる攻撃を展開しよう。

VS CPU

中央からサイドへ幅広い展開で攻略

チーム能力としては攻守のバランスがいいノルウェーだが、前がかり的なフォーメーションは中盤の底が薄い。攻め上がるときは、手薄な感のある中央から切り込み、SBのオーバーラップで空いた、サイドのスペースを突いて幅広く展開しよう。守備時は、やはり攻撃の中心となるT・A・フロンをマーク。スタミナこそ少ないが、アタッカーとして申し分のない能力は、ゴール前では脅威的な存在だ。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

スウェーデン

SWEDEN

過去8回のワールドカップ出場を誇り、自国開催となる1958年スウェーデン大会では準優勝を飾った。近年では、1994年アメリカ大会で準決勝に進出。優勝国ブラジルに敗れはしたものの、3位決定戦でブルガリアを4-0という大差のスコアで下し3位に輝いた。EURO2000では予選を突破したが、グループリーグで敗退。かつての輝きを取り戻したい。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	アザーサイドアタック
○	レフトサイドアタック	×	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ヘドナン	GK	189	右	13	18	18	14	16	16	17	17	13	14	13	16	13	13	13	14.9	16	20
4 ビヨルカント	CB	184	右	14	17	17	16	16	15	16	16	16	15	15	16	14	15	14	15.5	14	16
3 パティ・アンテソン	CB	185	右	14	17	18	16	17	16	16	18	17	16	16	16	14	15	14	16.0	14	20
14 メルベウグ	CB	186	右	14	16	17	16	16	16	15	16	17	15	15	16	14	16	16	15.7	16	16
2 ニルホン	SB	179	右	15	16	16	15	16	16	17	17	15	16	16	16	15	17	15	15.9	17	20
15 ダニー・アンテソン	DH	178	右	16	16	17	18	16	16	16	17	17	16	16	16	16	16	15	16.3	16	18
9 リュンクベルク	OH	176	右	17	13	17	17	18	17	17	16	17	16	17	17	17	17	16	16.6	17	24
11 アレクサンテソン	OH	180	右	16	15	17	17	17	16	16	16	16	17	16	17	16	17	15	16.3	17	20
17 ミャルヒー	OH	185	右	15	16	16	16	16	17	17	16	15	16	16	16	16	16	16	16.0	16	16
19 ケニー・アンテソン	CF	193	右	18	13	19	16	16	16	17	18	18	18	17	17	17	17	17	16.9	18	24
10 ペテウソン	CF	179	右	17	13	16	16	18	16	16	17	16	17	16	16	17	17	14	16.1	17	22
8 グスタフトン	CB	179	右	14	16	17	17	17	15	16	16	16	15	15	16	15	15	16	15.7	16	16
6 スントクレン	CB	183	左	14	16	17	17	16	15	17	15	16	16	15	16	14	15	14	15.5	14	16
5 ルジッチ	SB	187	右	16	16	17	17	17	16	15	17	17	16	15	15	15	17	15	16.1	16	18
13 スヴェンホン	DH	177	右	15	16	16	16	16	16	15	16	15	16	16	16	15	16	15	15.7	16	18
16 A・アンテソン	OH	174	右	16	15	16	16	16	16	16	16	16	17	16	16	16	17	15	16.0	16	20
7 ミリト	OH	182	右	16	16	17	17	16	16	16	16	17	16	17	17	15	17	16	16.3	17	20
20 ラートン	OH	175	右	17	15	17	18	17	17	17	18	16	18	17	17	17	18	17	17.1	16	24
18 オスマルフスキー	CF	173	右	17	13	16	17	16	17	16	17	16	17	16	17	17	17	16	16.3	17	22
21 オールザック	CF	180	右	17	13	17	16	16	17	17	16	17	16	15	16	17	17	15	16.1	17	20
22 アスベル	GK	197	右	13	16	19	14	15	14	16	16	13	13	13	16	13	13	12	14.4	16	12
12 キルシュテット	GK	190	右	12	17	18	14	15	16	16	16	14	14	13	15	13	13	13	14.6	17	14
スタメン能力平均		183.1		15.4	15.5	17.1	16.1	16.5	16.1	16.4	16.7	16.1	16.0	15.7	16.3	15.4	16.0	15.0	16.0	16.2	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●左サイドからの高さを武器にした攻撃

デフォルトの作戦を見てもわかるように、SHリュンクベルクを攻撃の起点とした、左サイドからのアタックが基本的な攻めの形だ。そこから、敵陣ペナルティーエリア付近にポジショニングする、長身のCFケニー・アンテソンを的にロングボールを入れていく。シンプルだがチームカラーに合った効果的な攻撃だ。また、能力平均が高く、ゲームメーカーとしての資質を持ち合わせた控えのOHラートンをトップ下に置けば、攻撃の選択肢が広がるだけでなく、2列目以降からの得点力を上げることができる。

応用戦術

●高さを生かす攻撃的スリートップ

控えに回っていたラートンを攻撃の形を作る司令塔としてOHに配置。レフトサイドアタックの要であるリュンクベルクを左に置き、5人の攻撃的な選手で得点を狙っていく。ハイボールだけでなく、ケニー・アンテソンをくさびとしたグラウンダー展開も有効で、シュート精度の高い両WGでもゴールを狙う。

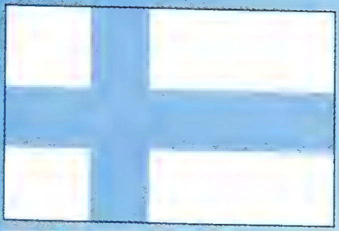
VS CPU

ゴール前のロブボールには要注意

SHリュンクベルクがドリブルで中央に切れ込んでくるケースでは、ゴール前でDFを引きつけ混戦状態を作り、DFの頭を越すロブボールを使って高さのあるケニー・アンテソンにつなごうとするシーンがしばしば見られる。自軍DFが高さに強ければ簡単に通るパスではないが、そうでない場合は、ケニー・アンテソンの高さと当たりの強さで、強引にねじ込まれてしまう。十分に注意したい。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



フィンランド

FINLAND

ワールドカップ、欧州選手権など国際舞台での目立った活躍はない。ウィンタースポーツやモータースポーツは盛んだが、サッカーはメジャースポーツとはいえない状況だ。しかし、MFリトマネンの登場をはじめ、才能ある若手が揃いつつあることも事実。2002年ワールドカップの舞台に立つことは難しいが、いずれ世界の舞台に立つ日がくるだろう。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	カウンターアタック
○	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
❶ ニレミ	GK	186	右	12	17	18	14	15	14	16	17	15	14	13	16	13	13	12	14.6	14	12
❺ ティリネン	CB	184	右	14	16	17	17	15	16	16	15	16	15	15	16	14	15	14	15.4	15	16
❹ ヒッキア	CB	192	右	15	17	18	16	16	16	17	16	17	15	15	17	14	15	15	15.9	14	16
❷ レイミ	SB	181	右	16	16	17	17	17	16	16	15	15	16	16	16	16	16	14	15.9	17	16
❸ サスケモイネン	SB	179	右	16	15	16	17	17	17	15	14	15	16	16	16	15	17	15	15.8	16	16
❻ リーヒナーティ	DH	175	右	15	16	16	17	16	16	16	17	16	17	16	17	16	16	15	16.1	16	20
❼ ヌルレラ	SH	179	右	16	15	16	16	16	16	15	16	15	16	17	16	15	17	14	15.7	16	18
❽ ウィッツ	SH	182	右	16	15	17	16	17	17	15	15	16	16	16	16	16	16	14	15.9	17	18
❿ リトマレン	OH	181	右	18	14	18	17	17	17	17	16	17	18	17	17	18	17	17	17.0	17	30
⓫ コルッタ	OH	173	右	17	12	15	16	17	17	16	17	17	17	15	17	16	18	16	16.2	18	20
❾ フォサレル	CF	177	右	17	13	16	17	17	17	17	16	16	17	16	16	17	17	15	16.3	17	24
⓰ ツオネラ	CB	194	右	14	17	18	16	16	16	17	16	17	15	15	17	14	15	14	15.8	14	18
⓳ イロゲン	CB	180	右	14	17	16	16	17	15	16	17	16	15	15	16	14	15	14	15.5	15	16
⓯ ニュロンド	SB	174	右	16	15	16	17	17	16	16	17	16	16	16	15	15	17	15	16.0	16	16
⓱ コートレン	DH	181	右	16	15	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15.9	16	15
㉑ グレンムンド	DH	174	右	15	16	16	16	16	16	15	16	16	16	15	15	16	16	16	15.7	16	16
㉒ ヴァナハリ	SH	175	右	16	15	15	17	17	16	16	16	14	17	16	16	15	17	15	15.9	17	16
⓭ レコール	SH	181	右	16	14	16	16	17	15	15	17	16	17	16	16	16	16	16	15.9	17	18
⓲ ヨハントン	CF	184	右	17	13	17	17	17	16	15	17	16	16	16	18	17	17	15	16.3	18	20
⓮ パーテマイネン	CF	182	右	16	13	18	16	16	15	16	16	17	16	17	17	16	16	16	16.1	16	18
⓴ コッテラ	CF	180	右	17	13	17	17	16	15	17	16	16	16	16	17	17	17	15	16.1	17	16
⓬ ヤスケカイネン	GK	190	右	12	16	18	14	15	15	16	13	13	13	13	16	13	13	13	14.2	16	12
スタメン能力平均		180.8		15.6	15.1	16.7	16.4	16.4	16.3	16.0	15.8	15.9	16.1	15.6	16.4	15.5	16.1	14.6	15.9	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●ワールドクラスのOHがカギを握る

テクニック、パス精度、決定力、そして優れたボディバランスを持つリトマレンが、攻撃の軸となりゲームを組み立てる。ツートップのコルッタ、フォサレルは、ボディバランスの悪さが弱点だが、そこそこのスピードとドリブルが武器の選手だ。リトマレンのパスで左右に展開し、サイドから切り込んで放つシュートや、DFの裏を突くスルーを押し込ませる形の得点が多くなるだろう。守備ではCBヒッキアの当たりの強さ、高さが光るが、DHリーヒナーティを上手く機能させないと苦しい。

応用戦術

●攻撃陣をパワーアップ

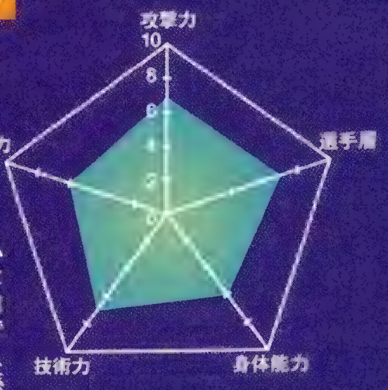
スリートップに、ボディバランス、ドリブル能力の高い選手を並べ、司令塔リトマレンを含む4人で、積極的にゴールを狙っていく。CBには当たりに強く高さのあるツオネラ、ヒッキアを配置。DHレイミ、リーヒナーティとの連携で堅い守備を展開したい。スピードのある両SBのオーバーラップも有効な攻撃手段だ。

VS CPU

司令塔を封じて攻撃の起点を絶つ

フィンランド攻撃陣で最もやっかいなのが、ゲームメーカーのリトマレン。それ以外の攻撃陣は、さほど怖れるメンバーではない。攻撃の起点となるリトマレンを徹底マークすれば、そうそう決定的な形を作られはしないだろう。攻撃では、ヘッドに強いFWがいればともかく、当たりに強いCBに空中戦を挑むのは得策ではない。スペースを突いて、スピードで振り切るような展開でゴールを狙おう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ポーランド

POLAND

1974年ワールドカップ西ドイツ大会から、1986年メキシコ大会まで4大会連続で出場し、西ドイツ、スペイン大会で3位、メキシコ大会ではベスト16と好成績を収めている。90年代に入り、国家体制の改革などの諸事情で、チーム力は低下しているが、EURO2000の予選や、2002年ワールドカップ欧州地区予選を見ると、実力は侮れないものがある。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	ゾーンプレス
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 マティレク	GK	191	右	13	17	18	13	15	15	17	16	13	13	14	16	13	13	13	14.6	14	14
2 クノス	CB	186	右	14	16	17	16	16	15	16	17	17	14	15	16	14	15	14	15.5	14	16
5 ワムドク	CB	185	左	14	17	18	16	16	15	15	16	17	15	15	17	15	16	15	15.8	15	20
4 Mi・ゼブランコ	SB	179	右	16	15	16	17	17	16	16	16	15	16	15	16	14	17	14	15.7	16	16
6 ハイド	SB	187	右	16	16	18	17	17	16	15	16	15	15	15	17	15	16	15	15.9	16	16
3 バス	DH	188	右	15	16	17	16	16	15	16	16	16	16	16	16	16	16	15	15.9	15	16
11 カーヤン	SH	182	右	17	14	16	17	17	17	15	17	15	16	15	17	15	16	16	16.0	16	18
7 スビエルケブスキ	SH	183	右	16	15	17	16	17	16	16	16	16	17	17	18	16	16	16	16.3	16	20
10 ブルゼネク	OH	179	右	17	14	16	16	16	16	16	17	15	17	17	17	17	17	17	16.3	17	22
9 Ma・ゼブランコ	CF	185	右	17	13	17	17	16	17	16	16	16	17	16	16	17	16	14	16.1	16	18
8 トーマ・イハン	CF	183	右	16	13	17	16	17	16	17	16	17	16	16	18	16	17	15	16.2	17	20
13 ジェミンスキ	CB	184	右	15	16	17	16	15	16	15	16	16	15	15	16	14	15	14	15.4	15	16
18 ルザラ	CB	181	右	15	17	17	17	16	16	16	16	17	16	15	17	14	16	14	15.9	16	18
14 シアダルカ	SB	176	右	16	15	16	17	16	16	16	16	15	16	16	16	16	16	15	15.9	16	16
21 マラク	DH	185	右	15	16	17	17	16	16	16	15	15	15	16	16	15	16	15	15.7	16	16
15 ノザク	DH	189	右	15	15	18	16	17	15	15	16	16	16	16	17	15	15	15	15.8	16	16
19 チェンリエク	OH	178	右	16	15	17	16	16	15	15	15	16	15	16	17	16	16	15	15.7	16	16
17 ミヤルスキー	OH	177	右	16	14	17	16	16	17	16	16	16	16	16	17	17	17	17	16.3	17	16
16 ギレビス	CF	174	右	16	13	16	17	17	16	17	17	16	15	15	15	17	16	14	15.8	17	20
20 ユスコリアク	CF	185	右	17	13	17	16	16	16	17	16	17	16	15	17	16	16	16	16.1	17	16
22 トルゲシャク	CF	181	右	17	13	17	17	17	17	16	17	16	16	16	16	17	18	16	16.4	18	24
12 デデク	GK	188	右	13	17	17	14	16	16	16	17	13	13	13	16	14	13	12	14.7	16	12
スタメン能力平均		184.4		15.5	15.1	17.0	16.1	16.4	15.8	15.9	16.3	15.6	15.6	15.5	16.7	15.3	15.9	14.9	15.8	15.6	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●攻守のバランスを武器に組織力で戦う

フィールドプレイヤーのほとんどが、攻守ともにバランスのとれた選手で組織されている。逆にいうと、ず抜けた存在がいないということにもなってしまう。中盤の底から組織的に押し上げていく攻撃が理想的な展開だ。フォーメーションも4-4-2Aというバランスのとれた布陣。ダイヤモンド型の中盤でパスを回し、相手ディフェンスの乱れを突いて攻め込んでいきたい。守備も攻撃同様、中盤を中心に組織的な守備を心がける。CBクノスとワムドクは、ボディバランスのいい、高さのあるCBだ。

応用戦術

●中盤の組織を厚くする

これといった中心選手がいないため、組織力を武器に戦わなければならない。3-5-2Bの布陣は、FW、攻撃的MFの人数は変わらないが、DHを2人置くことで、中盤の組織的な攻撃力を高めようという狙いだ。スリーバックに不安な面もあるが、2人のDHが機能すれば、守備に対する不安は取り除けるはずだ。

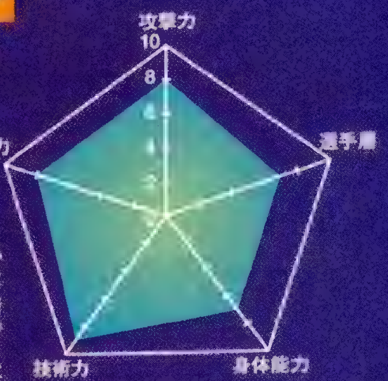
3-5-2B

VS CPU

組織を崩壊させる縦への突破

まとまった組織力でゾーンプレスをかけてくるポーランドのディフェンス。なかなかスペースを与えてくれないので、ワンツーやドリブルを織り交ぜた、縦方向のパス交換で組織を打ち破りたい。守備では、シュート力の強いCFのトーマ・イハンとSHスビエルケブスキが、ミドルレンジからシュートを打ってくることが多いので、ゴール付近ではシュートコースをケアしながらプレスをかけていこう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

スロバキア

SLOVAKIA

1993年に旧チェコスロバキアから分離独立。EURO2000と同時開催されたU-21欧州選手権（シドニー五輪の選考大会）で、イタリアとは引き分けたが、トルコ、イングランドを下し、出場権を獲得。五輪グループリーグでは日本と同じD組になり注目を集めた。また、2000年キリンカップで日本と並ぶ勝ち点4を挙げ、両チーム優勝という結果を残している。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	ゾーンプレス
●	レフトサイドアタック	✕	アザーサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ススロ	GK	187	右	13	16	18	13	16	15	17	16	13	13	13	16	14	13	12	14.5	17	14
6 カルマン	CB	190	右	16	15	17	18	16	16	17	16	15	16	16	16	15	16	14	15.9	16	16
5 バルカ	CB	185	右	14	17	17	16	16	15	16	17	17	15	16	16	14	15	14	15.7	15	16
4 チルロ	SH	184	右	17	13	17	16	17	17	17	17	16	16	15	17	16	17	14	16.1	17	18
2 フラナル	SB	177	右	16	15	16	17	17	15	15	16	16	15	15	16	15	16	15	15.7	16	16
11 モヤフチク	DH	173	右	15	16	16	17	16	17	15	17	17	16	17	17	16	16	16	16.3	17	18
18 トマスレク	SH	180	右	17	15	17	16	17	16	16	17	16	17	17	17	16	17	17	16.5	14	24
22 バニス	SH	182	右	16	14	16	16	17	16	16	15	15	16	16	16	16	17	15	15.8	16	18
10 デュロフスキー	OH	184	右	17	14	17	17	17	16	17	15	16	17	17	16	17	18	17	16.5	17	22
13 ピンレ	CF	181	右	16	13	17	17	16	17	16	16	16	16	16	17	17	16	15	16.1	16	16
20 ヤンムラ	CF	181	右	16	14	17	17	16	15	17	17	17	17	16	16	16	17	15	16.2	17	16
3 ティッケル	CB	186	右	14	16	17	16	15	15	16	16	17	15	14	16	14	15	14	15.3	14	16
8 コサック	DH	180	右	16	15	16	16	15	17	16	15	16	15	16	17	16	16	15	15.8	16	16
16 スピナル	SB	179	右	17	15	16	17	17	17	15	15	15	16	15	16	15	17	15	15.9	17	20
9 スロザク	DH	178	右	15	16	16	17	16	16	15	16	17	15	15	17	16	16	16	15.9	16	16
15 ヤノチョ	DH	182	右	15	16	17	17	16	16	15	17	16	15	15	17	15	15	14	15.7	15	18
14 ネレス	SH	175	右	16	14	16	16	17	18	18	16	16	17	16	16	17	17	15	16.3	16	18
7 ヴァラホキッチ	OH	181	右	16	14	16	17	17	15	15	16	15	17	17	16	16	17	16	16.0	17	18
19 ウイナリー	OH	183	左	15	16	17	16	16	16	16	16	17	16	15	17	15	15	15	15.9	15	16
17 ファルス	CF	178	右	17	14	16	16	18	16	16	16	16	16	16	16	17	16	14	16.0	18	18
21 マルロス	CF	176	右	17	13	16	16	17	16	17	17	16	17	16	16	17	17	14	16.1	17	18
12 ヒラ	GK	184	右	13	16	17	14	15	16	16	17	14	12	13	15	16	13	12	14.6	15	14
スタメン能力平均		182.2		15.7	14.7	16.8	16.4	16.5	15.9	16.3	16.3	15.8	15.8	15.8	16.4	15.6	16.2	14.9	15.9	16.2	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●ボディバランスを武器にパワープレイを展開

オフェンス陣、ディフェンス陣ともに、ずば抜けた能力を持った選手はいないが、バランスのとれた選手が揃っている。攻撃の中心選手は、精度の高いパスとドリブルが武器のデュロフスキーと、レフトサイドアタックの要トマスレク。この2人の攻め上がりを中心に攻撃を組み立てよう。ピンレ、ヤンムラのツートップは、総合的な能力には物足りなさを感じるが、ボディバランスのよさが光る選手だ。スピードのあるFWではないので、当たりの強さを生かした、パワーで押す攻撃をしかけていきたい。

応用戦術

●ディフェンス強化で安定した守備を

チーム全体の能力バランスはとれているものの、守備力の高い選手が少ないので、ディフェンスに関しては不安が残る。その不安材料である守備力を補うために、バックスの数を5人に増やした。攻撃的なSBなので守備面では多くを望めないが、スペースを与えないという意味でも効果は得られる。

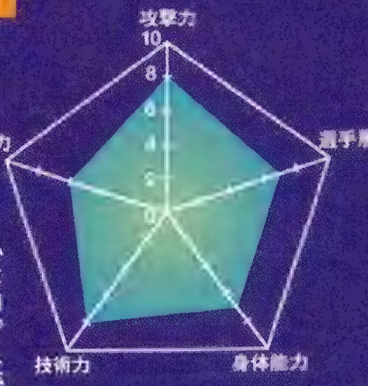
5-3-2A

VS CPU

スピードのある展開でディフェンスをかいくぐる

組織的なディフェンスで自陣を固めるスロバキア守備陣。組織の連携がとれている状況では、ゾーンプレスが機能するため簡単には攻め込めない。しかし、個々の守備能力は高くないので、ダイレクトなパス回しで組織を崩していきたい。守備では、左からのトマスレク、中央デュロフスキーのスピードにのった攻め上がりに注意。隙があれば中盤から長いスルーを入れてくることもあるので警戒したい。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

オーストリア

AUSTRIA

1934年イタリア大会、1954年スイス大会ベスト4進出。それ以降、ワールドカップに5回出場するも、すべてグループリーグで敗退している。堅い守備が伝統であったが、EURO2000の予選では、イスラエルに5失点、スペインには9失点と惨敗。2002年ワールドカップ欧州地区予選では、そのイスラエル、スペインとまたしても同組になった。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

△	ライトサイドアタック	□	CBオーバーラップ
○	レフトサイドアタック	×	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ボーンファルツ	GK	190	右	13	17	18	14	15	16	17	17	13	13	14	16	13	13	12	14.7	15	18
3 ノイチルハー	CB	179	右	15	16	16	17	16	16	16	17	16	16	16	16	15	15	15	15.9	15	16
2 ハック	CB	184	右	14	17	17	17	16	16	16	16	15	15	14	16	14	15	14	15.5	14	18
4 ビンクルホバー	CB	185	右	15	16	17	16	16	15	16	16	16	15	15	16	14	16	14	15.5	15	16
5 ストランケル	DH	190	右	15	16	17	16	15	16	15	16	16	16	15	15	15	16	14	15.5	17	18
6 ショッキ	DH	180	右	16	15	17	17	16	15	15	15	16	16	16	17	16	16	17	16.0	15	18
11 ブリラスリヒ	SH	183	右	16	16	16	17	16	15	16	16	16	16	16	16	15	17	15	15.9	16	18
8 フモウジェル	SH	180	右	16	15	16	17	16	16	15	15	15	17	16	16	16	17	15	15.9	17	18
7 ヘルトーク	OH	183	左	17	14	18	16	17	15	16	16	16	18	18	18	17	18	17	16.7	16	24
10 バイセンハウザ	CF	168	右	16	14	16	17	17	18	17	17	17	16	15	16	17	16	14	16.2	18	18
9 バステッキ	CF	183	右	17	13	17	17	16	16	16	17	16	17	17	18	17	17	16	16.5	17	24
15 シェイネスハルト	CB	188	右	14	16	18	17	16	15	16	16	17	15	15	16	14	15	13	15.5	15	16
19 ドスパル	CB	184	右	16	16	17	16	17	15	16	17	15	16	16	17	15	16	14	15.9	17	18
14 レインマイナ	DH	180	右	15	16	17	16	16	15	16	17	16	16	15	16	15	15	15	15.7	16	16
17 キルヒナー	DH	185	右	15	16	17	17	16	15	15	15	16	15	15	16	15	15	14	15.5	16	16
22 レイトガ	DH	183	右	15	16	17	16	16	16	15	15	16	16	16	16	15	15	15	15.7	15	16
13 セムニ	SH	178	右	17	14	16	18	18	17	17	16	15	16	16	16	17	17	15	16.3	17	18
20 クーバウナ	SH	173	右	16	15	16	17	17	16	16	17	15	17	17	16	16	17	16	16.3	17	20
18 アメルハウサ	OH	180	右	16	15	17	17	16	16	15	16	16	16	16	17	15	16	14	15.9	16	16
21 グリーター	CF	180	右	17	13	17	16	17	16	16	16	17	16	15	17	16	16	15	16.0	18	20
16 メイルケフ	CF	178	右	17	13	17	16	16	17	17	17	17	16	15	16	17	16	16	16.2	17	20
12 マリンガー	GK	187	右	12	17	18	14	15	16	16	16	14	13	14	17	13	12	12	14.6	13	18
スタメン能力平均		182.3		15.5	15.4	16.8	16.5	16.0	15.8	15.9	16.2	15.6	15.9	15.6	16.4	15.4	16.0	14.8	15.8	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●ヘルトーク～バステッキのホットライン

司令塔としてずば抜けた能力を誇る、OHヘルトークを中心とした攻撃陣は高い得点能力を備えている。CFのバステッキは威力のあるシュートが武器のストライカーで、ボディバランスとパス精度に優れ、ポストプレイもこなせる。身長168cmのバイセンハウザは、小兵らしいキレのある動きが魅力的だ。守備面には大きな課題がある。守備能力値が17を超えるフィールドプレイヤーが、CBのハックだけという危機的状況なのだ。守備陣の当たりの強さを生かしつつ、組織的な守備で挑みたい。

応用戦術

●攻撃力を殺さない守備的布陣

5-3-2Bの布陣は、見てわかるように守りを重視した守備的な布陣だ。デフォルトでは、あまりにも守備に不安があるため攻撃力を生かしづらい。最大の弱点である守備を固め、ヘルトーク、バステッキを攻撃に専念させる。彼らの得点能力と両サイドの攻撃参加があれば、十分に攻撃的なサッカーが展開できる。

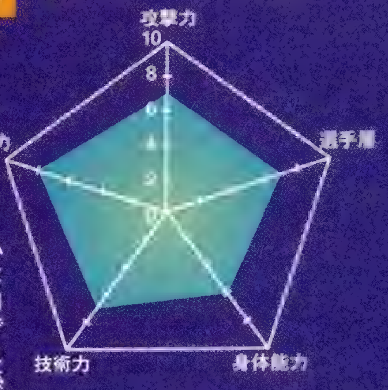
5-3-2B

VS CPU

ヘルトークのキラーパス

守備のもろいオーストリアだが、攻撃陣の能力はかなり優れたものがある。司令塔ヘルトークは、シュート力、ドリブル能力が高いので、中央に切り込んでからの強烈なミドルシュートには警戒したい。しかし、最も注意しなければならないのは、中盤から大胆に繰り出してくるスルーパスだ。自軍のディフェンスラインが上がっているときに、カウンターをしかけられると決定的な場面になりかねない。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ハンガリー

HUNGARY

1950年代から60年代にかけて、五輪で3つの金メダルを獲得。ワールドカップでは9回の出場中、準優勝2回、ベスト8入り3回の実績を持つ東欧の古豪国。1986年メキシコ大会以来となる、10回目の出場をかけた1998年フランス大会では、プレイオフまでコマを進めたが敗退。かつて最強とうたわれた「マジック・マジャール」は影を潜めてしまった。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	ライトサイドアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 キラミー	GK	190	右	12	18	18	14	16	16	18	17	13	15	14	17	14	12	12	15.1	14	22
4 マチュル	CB	180	右	14	16	17	17	17	16	16	17	16	14	15	16	15	15	14	15.7	14	16
2 シェベル	CB	184	右	14	16	17	16	16	15	16	17	17	15	14	16	14	15	14	15.5	15	16
5 フルムカ	SB	196	右	15	17	18	17	16	15	15	16	16	16	15	17	15	16	16	16.0	16	18
3 コルコス	SB	179	右	16	15	16	17	17	16	16	16	15	15	16	16	15	17	15	15.9	17	16
6 ハルナイ	DH	180	右	15	16	17	16	16	15	15	17	16	16	16	17	16	16	15	15.9	15	16
8 ダルガイ	SH	179	右	17	14	16	18	17	16	16	16	15	17	17	17	16	16	16	16.3	17	20
15 ピロント	SH	173	右	16	15	16	17	16	16	16	15	15	16	16	16	15	17	15	15.8	16	16
10 イーメシュ	OH	177	右	17	14	16	16	16	15	14	16	16	17	17	17	17	17	17	16.1	17	20
9 ミクノス・フェレル	CF	181	右	17	13	17	17	17	17	17	16	17	16	15	18	16	17	15	16.3	18	18
11 ホルザス	CF	186	右	17	13	17	17	16	17	16	17	17	16	16	16	17	16	14	16.1	16	20
17 ドラグナル	CB	187	右	14	17	18	17	16	15	16	16	17	14	15	16	14	15	14	15.6	14	16
16 ボログ	CB	189	右	14	16	18	16	16	15	16	16	16	15	14	15	15	15	15	15.5	15	16
19 スエカネテ	CB	181	右	15	16	17	16	16	15	16	17	17	16	15	16	14	15	15	15.7	15	16
20 デレク	SB	178	右	16	14	16	17	17	16	17	15	15	17	16	16	15	17	16	16.0	17	18
14 ソモリ	DH	175	右	15	15	15	16	16	15	16	16	16	16	16	16	15	16	14	15.5	15	16
18 レンタバイ	DH	181	右	16	15	17	17	16	16	15	16	16	17	16	16	15	17	15	16.0	16	16
21 エグレニー	OH	181	右	16	14	17	16	16	15	16	15	15	16	16	18	16	16	15	15.8	16	16
7 ドンキ	CF	173	右	16	13	15	17	16	16	16	16	15	16	15	17	17	17	15	15.8	17	16
22 ナビィ	CF	178	右	17	13	16	17	17	17	17	16	17	17	15	16	17	16	14	16.1	17	18
13 クロウズ	CF	186	右	17	14	17	16	16	15	16	16	16	17	16	16	17	17	15	16.1	16	18
12 バロシュ	GK	186	右	12	16	16	14	15	16	16	16	14	13	13	16	12	13	12	14.3	14	10
スタメン能力平均		182.3		15.5	15.2	16.8	16.5	16.4	15.8	15.9	16.4	15.7	15.7	15.5	16.6	15.5	15.8	14.8	15.9	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●プレイスタイルに合った選手起用で勝負

攻守のバランスがとれており、大きな欠点はないが、これといった武器もないので平凡なチーム力といわざるを得ない。守備ではGKキラミーの守備能力の高さが光る。SBのフルムカや控えCBドラグナルといった、守備力の高い2人をCBに起用して、ゴール前を固めよう。攻撃では、精度は低いがシュート力のあるCFミクノス・フェレルを中心に、CFホルザス、OHイーメシュで形を作るように。ホルザスに比べ、ボディバランスは劣るが動きのいい、控えCFのナビィを起用するのも一案だ。

応用戦術

●攻撃人数を増やし得点力をアップ

控え選手の投入、ポジションチェンジで守備を整え、攻撃能力の高いメンバーを前線に配置する。攻撃陣の能力は一長一短なので、人数でフォローしたい。シュート力のあるミクノス・フェレルがボールを持ったら積極的にシュートを撃ち、GKが弾いたこぼれ球を押し込む形で得点を狙おう。

VS CPU

左サイドからの攻撃展開に注意

守備で気をつけたいのは、そこそこのテクニックとパス精度を備えた攻撃的MFイーメシュとダルガイの中央から左サイドを使った攻め上がり。また、1列目の少し下がった位置にポジショニングするミクノス・フェレルの強烈なシュートも注意。質より量といった感じで打ってくるので、集中力を持ってディフェンスしよう。さらに、左サイドからオーバーラップを見せるフルムカの動きも要警戒だ。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

スロベニア

SLOVENIA

1991年、旧ユーゴスラビア連邦から独立を宣言、翌年に欧州連合各国の承認を受けて、新生国家スロベニアが誕生した。EURO2000では、プレイオフでウクライナを下し本大会出場を果たす。グループリーグでは、スペイン、ノルウェー、そしてユーゴスラビアと対戦。互角の試合を繰り広げたが、0勝2分1敗という成績で決勝進出はならなかった。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	ゾーンプレス

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
⑫ ダマロギッチ	GK	196	右	13	17	19	14	15	14	16	17	14	13	14	17	13	13	12	14.7	15	16
⑤ ガナッチ	CB	178	右	14	17	17	16	16	16	16	16	16	15	15	17	15	15	14	15.7	15	18
③ ミルロヴィッチ	CB	189	右	14	16	18	16	16	15	15	17	16	16	14	17	14	15	13	15.5	15	16
④ ミラネッチ	CB	184	右	14	17	17	16	16	15	16	16	16	15	15	16	15	16	14	15.6	14	18
⑲ カーレチ	DH	184	左	15	16	18	18	16	16	16	17	17	16	16	17	15	16	14	16.2	16	20
⑬ ルドイヤ	SH	174	右	16	16	16	17	18	16	17	15	16	17	16	16	16	16	15	16.2	18	24
⑦ ノラク	SH	172	右	17	15	16	17	17	17	16	16	15	17	17	16	15	18	15	16.3	17	24
⑪ パウリン	OH	187	右	16	15	17	16	16	15	15	15	16	17	17	16	16	17	16	16.0	16	20
⑧ チェキ	OH	174	右	16	15	16	18	17	16	16	16	16	16	16	17	15	16	16	16.1	16	20
⑩ ザオリッチ	CF	180	左	17	13	17	17	17	16	18	17	16	17	17	16	18	17	17	16.7	17	28
⑨ ウロニッチ	CF	182	右	17	14	17	16	16	16	17	17	17	17	16	16	17	17	15	16.3	16	24
⑥ クナプス	CB	191	右	14	16	18	17	16	15	15	16	17	15	14	16	14	15	14	15.5	14	16
② ブラニッチ	SB	186	右	16	15	18	17	16	16	16	16	15	16	15	17	14	16	15	15.9	17	18
㉑ パウロミッチ	DH	190	右	15	16	17	16	16	15	15	17	16	16	16	17	15	16	14	15.8	15	18
⑮ イズレニッチ	DH	185	右	16	16	17	17	16	16	15	16	17	16	17	16	15	16	15	16.1	16	16
⑯ ズロガウ	OH	190	右	16	15	19	16	16	15	15	15	17	17	16	17	16	17	15	16.1	16	18
⑭ ガイハー	OH	179	右	16	14	16	16	17	16	17	16	16	16	17	16	16	16	16	16.1	16	20
⑱ アシモウィッチ	OH	187	右	16	13	17	16	16	16	17	16	15	17	17	17	17	17	17	16.3	17	24
⑳ オスワルツ	WG	184	右	17	13	17	17	17	17	17	16	16	17	16	17	16	17	15	16.3	18	22
⑰ シリアク	CF	180	右	17	13	16	16	16	16	16	17	16	16	15	16	17	16	14	15.8	16	20
㉒ ネメス	GK	183	右	13	16	17	14	16	16	17	17	14	14	13	15	13	13	13	14.7	17	18
① シメヨヴィッチ	GK	190	右	13	17	18	13	15	16	16	16	13	14	14	16	14	13	12	14.7	16	14
スタメン能力平均		181.8		15.4	15.5	17.1	16.5	16.4	15.6	16.2	16.3	15.9	16.0	15.7	16.5	15.4	16.0	14.6	15.9	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●パワー&テクニックで波状攻撃を展開

全体的に上がりめにポジショニングされた、変則的な3-5-2システム。控えも攻撃的なポジションの選手が多く、攻めの気持ちを前面に押し出したチームといえる。選手個々の能力を見ると、ボディバランスに優れた当たりの強い選手が多い。攻撃陣はテクニックを備えているので、強引な力押しだけではなく、パス回しを使った攻撃も可能だ。不安要素は、守備陣の選手層が薄いという点。スタメン、控えを合わせてもDFは5人しかいないので、リーグ戦やカップ戦など長期戦は不利なチームだ。

応用戦術

●適性のある選手をバックスへ

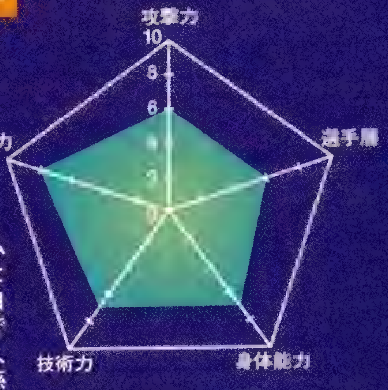
4-3-3Bと中盤を薄くしため、パスワークで相手をほんろうする展開は難しいが、攻撃能力の高いスリートップは破壊力十分だ。課題の守備は、比較的ディフェンス能力の高い選手を増やして安定をはかる。2枚のDHを機能させ、高い位置で攻撃を断ち切れば、カウンターからの得点チャンスに結びつけられるだろう。

VS CPU

ゴール前でのドリブル突破に要注意

CFザオリッチをはじめ、ウロニッチ、パウリン、ノラクと、前線にはドリブルの上手い選手が多い。それを証明するかのごとく、ゴールエリア付近ではドリブルを織り交ぜた攻撃展開が目につく。自軍ディフェンス陣の能力が低い場合、そのままゴール前まで突破されるケースも少なくない。無理に追いまわしたりせず、適当な距離を保ってサイドに追い込んでいくディフェンスを心がけたい。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

クロアチア

CROATIA

1991年、旧ユーゴスラビア連邦からの独立を宣言。独立後初出場となった1998年ワールドカップフランス大会では、大方の予想を裏切り準決勝まで勝ち上がる。優勝国となるフランスに敗れはしたが、3位決定戦でオランダを下し堂々の3位に輝いた。また、エースストライカーのスーケルは、7試合で6得点を挙げフランス大会の得点王となった。

DEFAULT FORMATION 5-3-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	レフトサイドアタック
●	アザーサイドアタック	✕	ゾーンプレス

選手データ

選手データ	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
❶ ラジッチ	GK	185	右	13	18	18	13	15	16	18	18	14	15	14	17	13	14	13	15.3	13	20
❻ ダニオ・シリッチ	CB	179	右	14	17	16	17	17	16	16	18	16	16	15	16	15	16	14	15.9	14	20
❺ ユミッチ	CB	188	右	14	17	18	16	16	15	16	16	17	16	15	16	15	16	14	15.8	14	18
❹ チュトル	CB	192	右	15	18	19	17	16	16	17	17	18	16	16	17	15	16	15	16.5	14	24
❸ ヤムニ	SB	180	左	17	15	17	17	19	17	16	16	15	17	17	18	16	17	16	16.7	17	24
❽ スタミッチ	SB	185	右	17	16	17	17	18	17	17	17	17	16	17	17	16	17	15	16.7	16	22
❿ ボバン	DH	183	右	17	15	17	16	16	16	16	16	16	19	19	17	17	19	18	16.9	16	36
⓰ ラバイッチ	OH	183	左	17	13	17	18	18	17	17	17	16	17	16	18	17	18	17	16.9	18	24
⓱ ユクチッチ	OH	188	右	16	14	18	17	17	15	15	18	17	17	17	17	16	16	15	16.3	16	20
❾ スーテル	CF	183	左	18	13	17	16	16	17	17	17	16	18	17	17	19	17	14	16.6	17	32
⓫ ボルシッチ	CF	187	右	18	13	18	17	18	16	17	17	18	17	16	18	18	17	15	16.9	18	24
⓯ ロベウト・コナッチ	CB	182	右	14	16	17	17	16	16	16	17	16	16	15	17	14	16	14	15.8	14	20
⓳ スティナッチ	CB	188	右	14	17	18	16	16	15	17	17	17	15	15	16	14	15	14	15.7	15	20
❷ サキッチ	SB	172	右	16	15	15	17	17	16	16	17	16	16	16	16	15	16	16	16.0	17	20
㉑ ソクド	DH	189	右	15	17	18	16	17	15	16	17	17	16	16	16	15	16	15	16.1	15	20
⓭ マリオ・ツタノキッチ	DH	182	右	15	16	17	17	16	16	16	16	15	16	17	17	16	17	16	16.2	15	24
⓮ ルカリナ	SH	177	右	16	15	16	16	17	16	15	16	15	17	16	16	15	17	16	15.9	16	20
❼ アサロビッチ	OH	186	左	17	14	18	16	17	15	16	16	16	17	18	18	17	18	17	16.7	16	28
⓴ ニコ・コナッチ	CF	176	右	16	14	16	17	16	15	15	15	15	17	17	16	16	17	17	15.9	16	22
㉒ ヨジプ・シリッチ	CF	177	右	17	13	16	17	17	18	17	16	17	17	16	17	17	16	15	16.4	17	20
⓲ ブグリナシ	CF	180	右	17	14	16	16	16	16	16	17	16	17	17	16	17	17	16	16.3	16	20
⓬ パブロシッチ	GK	186	右	13	17	17	14	16	16	17	17	13	14	14	16	13	13	12	14.8	16	16
スタメン能力平均		184.8		16.0	15.4	17.5	16.5	16.9	16.2	16.5	17.0	16.4	16.7	16.3	17.1	16.1	16.6	15.1	16.4	15.7	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●SBのオーバーラップでワイドな攻撃

攻守の要、DHのボバンがゲームを組み立てる。扇状に広がった5人のDFを、まるで束ねるかのようにポジショニングするボバン。組織されたディフェンスで攻撃を断ち切り、抜群のスピードを誇るSBヤムニ、スタミッチのオーバーラップとともに相手陣内に攻め上がろう。OHのラバイッチ、CFのスーテル、ボルシッチらは、ずば抜けた得点能力を持つ。サイド、センター、どこからでも攻め込めるように、速攻、遅攻とメリハリをつけて、フィールド全体を大きく使った攻撃をしかけよう。

応用戦術

●猛烈なサイドからの切り崩し

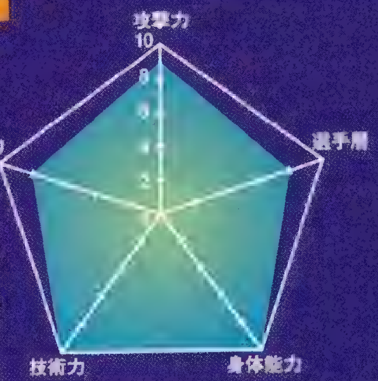
効果的な攻撃の形であるサイドアタックを、より効果的にするための攻撃的な布陣。サイドを広く使ったスリートップがポイントだ。前線の5人に、SBの2人を攻撃参加させてゴールを狙っていく。スピードのあるドリブル&パスでタッチライン際を攻め上がり、WGとの連携でサイドからガンガンと攻めていきたい。

VS CPU

カウンター攻撃で中央突破

シュート精度の高いスーテル、抜群のパス精度を誇るボバン、スピードあるドリブルが武器のラバイッチ、そして、強烈なシュートを枠に入れてくるボルシッチと、タレントの揃った攻撃陣は脅威以外の何者でもない。それぞれにマンマークをつけるなどして対応したい。守備も人数が揃っているので突破は容易でない。中盤でボールを奪うように心がけ、カウンターアタックで攻撃の糸口を見出そう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ユーゴスラビア

YUGOSLAVIA

旧ユーゴスラビア連邦時代を含め、過去9回のワールドカップに出場。優勝こそないがハイレベルで安定した実力を誇る。東欧諸国が上位を占めていた1940年代から80年代の五輪でも、金1、銀3、銅1、と数多くのメダルを獲得。世界でも屈指のタレントが揃う代表チームは、巧みなボールコントロールと華麗なパスワークを得意とする集団だ。

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

DEFAULT STRATEGY

△	センターアタック	□	ゾーンプレス
○	ライトサイドアタック	×	アザーサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
22 クナリ	GK	195	右	13	17	19	14	15	17	17	17	14	14	14	17	13	13	13	15.1	15	18
11 ミナイロビッチ	CB	184	左	16	17	17	17	16	15	15	17	16	17	17	18	18	17	19	16.8	16	32
5 ジュリッチ	CB	177	右	14	17	17	16	16	15	16	17	16	16	16	16	15	16	14	15.8	14	18
3 ジョノビッチ	SB	185	左	14	16	18	17	17	15	15	16	17	15	16	16	14	16	14	15.7	14	24
13 コムレロビッチ	SB	182	右	15	16	17	17	16	16	16	16	15	15	16	17	15	16	16	15.9	14	18
7 ユーロビッチ	OH	177	右	17	15	16	18	17	16	16	16	16	18	18	18	17	17	17	16.8	16	24
4 ヨマノビッチ	DH	191	右	16	16	18	16	16	16	15	16	16	16	16	17	16	17	15	16.1	15	20
17 ドルノビッチ	OH	174	右	16	14	16	16	17	17	16	17	16	17	17	16	16	17	16	16.3	17	20
10 ストイクビッチ	OH	176	右	17	14	16	16	17	15	16	15	17	19	19	16	17	18	18	16.7	17	26
9 ミロネビッチ	CF	190	左	17	13	18	17	17	16	17	17	18	17	17	18	17	17	15	16.7	17	24
8 ミヤタビッチ	CF	177	右	18	13	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	17	15	16.7	17	30
14 サネリッチ	CB	188	右	14	17	18	16	17	15	15	17	16	15	15	17	14	15	14	15.7	14	20
15 ブエニフチェリッチ	CB	190	右	14	16	17	16	16	15	15	16	16	15	15	16	15	15	14	15.4	15	20
2 デュリッチ	SB	180	右	16	16	16	17	17	17	15	16	17	16	15	16	15	16	15	16.0	16	20
21 ナビ	DH	174	左	16	15	15	17	17	17	17	17	16	17	17	18	16	16	16	16.5	16	22
19 J･スタンクビッチ	DH	186	左	16	16	17	16	16	15	16	16	16	17	17	17	16	16	16	16.2	16	20
16 ゴレダリカ	OH	183	右	16	14	17	16	16	17	15	16	15	17	17	17	16	17	17	16.2	17	20
6 D･スタンクビッチ	OH	182	右	17	14	17	18	17	17	17	17	16	18	17	18	17	17	17	16.9	17	24
18 D･コナセビッチ	CF	188	右	17	13	17	17	17	16	17	18	17	17	17	18	17	17	16	16.7	16	24
20 ケズナン	CF	178	両	17	13	16	17	18	17	18	17	16	17	15	18	17	18	15	16.6	18	28
1 コリッチ	GK	188	右	13	17	18	13	15	15	16	16	13	14	13	16	13	13	12	14.5	14	14
12 チコリッチ	GK	193	右	13	16	18	14	15	16	17	17	13	13	13	17	13	13	16	14.9	16	16
スタメン能力平均		182.5		15.7	15.3	17.2	16.5	16.5	15.9	16.0	16.5	16.2	16.5	16.6	16.9	16.0	16.5	15.6	16.2	15.6	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●テクニックを生かした多彩な攻撃展開

中盤に厚みをもたせた変則的な4-4-2は、ユーゴが得意とするパスワークを重視しての布陣。攻撃の中心は、抜群のテクニックでファンタスティックなパスを得意とするストイクビッチ。右サイドに位置するストイクビッチから、CFミロネビッチ、ミヤタビッチに合わせていくのが基本的な形だ。テクニックの高さを生かし、ゴール前でのトリッキーなパス交換も面白い。守備陣では、当たりの強い選手が多いが、絶対的な守備能力を誇る選手がいないので、ゾーンプレスで組織的なディフェンスを展開したい。

応用戦術

●中盤を厚くして得意のパスワークを生かす

控えのD・スタンクビッチは、バランスのよい攻撃能力を持つ攻撃的なMFだ。パスセンスに関しては、さすがにストイクビッチに適わないが、総合的な能力はチームでいちばん高い。中盤に攻撃的な選手を揃えることで、最も得意とするパスワークに磨きをかける。テクニックで相手を翻ろうし、ゴールを狙っていこう。

3-5-2B

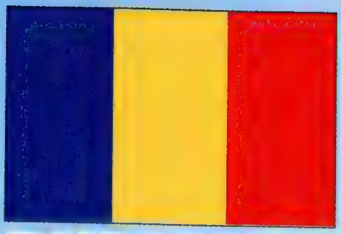
VS CPU

ストイクビッチを徹底マーク

ストイクビッチは、テクニック、パス精度はずば抜けているが、スタミナに乏しく、当たりに弱いという弱点を持っている。フリーの状態からだと、精度の高いパスを通してくるので、ボディバランスの悪さにつけ込んで、スタミナが豊富で当たりに強い、ディフェンシブな選手をマンマークさせておこう。決定的なパスを防ぐだけでなく、マークを外す動きをさせることでスタミナを奪っていくのだ。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



ルーマニア

RUMANIA

記念すべき第1回ワールドカップウルグアイ大会出場など、欧州でも長い歴史を持つ東欧の強国。1930年ウルグアイ大会を皮切りに、1998年フランス大会まで、通算7回のワールドカップ出場経験を誇る。ベテラン中心のメンバーで平均年齢の高さが懸念されるが、世界屈指のゲームメーカー、ハジを筆頭にタレントが揃う。破壊力に優れた攻撃は圧巻。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

△	ライトサイドアタック	□	センターアタック
○	レフトサイドアタック	×	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
⑫ ステメア	GK	190	右	13	17	17	13	16	16	17	16	13	13	14	16	13	13	13	14.7	17	16
⑥ Gh・ポレスク	CB	185	右	16	17	18	16	16	15	16	16	16	18	16	17	17	16	15	16.3	16	24
③ チュモテリュ	CB	188	右	14	17	18	17	16	16	16	17	16	16	15	16	14	15	14	15.8	14	18
④ フィラペスク	CB	187	左	15	16	17	17	17	16	16	16	15	16	17	16	16	16	15	16.1	16	16
⑤ ガルラ	DH	178	左	15	16	16	18	16	16	16	16	16	16	16	18	15	16	15	16.1	16	20
⑧ D・ムンテアム	DH	170	左	16	15	15	16	16	15	15	15	16	17	17	17	16	17	15	15.9	17	20
⑬ チリゥ	SH	183	右	16	15	17	16	17	16	17	17	16	16	16	16	15	16	14	16.0	15	22
② ペノレスク	SH	175	右	16	16	16	17	17	17	17	16	15	16	17	17	16	17	15	16.3	17	24
⑩ ハヴィ	OH	173	左	17	14	15	16	17	15	16	16	17	18	18	18	17	18	18	16.7	16	30
⑪ イリネ	CF	178	右	18	13	17	17	18	17	17	16	17	17	17	18	18	17	16	16.9	18	30
⑨ モンドラン	CF	177	右	17	13	17	17	17	16	17	17	16	17	16	17	17	17	15	16.4	17	24
⑰ ベロデリチ	CB	186	右	13	17	17	15	16	15	16	16	17	15	16	15	15	16	15	15.6	14	20
㉒ コンコラ	SB	176	右	15	16	16	17	17	16	16	15	14	15	15	16	15	16	15	15.6	16	18
⑲ リンケル	DH	180	右	15	16	17	16	16	15	15	16	16	15	15	17	15	15	14	15.5	15	18
⑳ ハルラン	DH	176	右	15	15	16	17	16	16	16	16	15	16	16	16	15	16	16	15.8	16	18
⑭ ペノレ	SH	161	右	16	15	16	18	17	17	15	16	15	16	15	16	16	17	15	16.0	17	20
⑯ ログ	SH	175	右	16	15	17	16	16	16	16	15	15	15	16	15	15	17	15	15.7	17	18
⑮ ルネスク	OH	183	右	16	15	17	15	16	16	15	16	16	15	17	16	16	17	17	16.0	16	24
⑦ ムスゥ	CF	180	右	17	16	16	17	17	18	17	16	16	17	16	17	17	17	17	16.7	17	22
⑱ ガレア	CF	179	右	16	13	16	17	17	16	15	16	17	16	16	17	17	16	16	16.1	16	20
㉑ プルメラ	GK	183	右	13	16	17	16	16	15	16	16	13	13	13	16	13	13	16	14.8	16	16
① ロボンゴ	GK	183	右	12	16	17	14	15	16	17	17	14	14	13	16	13	13	13	14.7	15	16
スタメン能力平均		180.4		15.7	15.4	16.6	16.4	16.6	15.9	16.4	16.2	15.7	16.4	16.3	16.9	15.8	16.2	15.0	16.1	16.3	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●天才レフティ、ハヴィが作る攻撃の形

トップ下に位置するハヴィは、高いパス精度とテクニックを誇るゲームメーカー。ドリブルも上手く、シュート力も高いので自らゴールを狙っていける選手だ。ただし、スタミナには不安があるのでペース配分には気をつけたい。ツートップのイリネ、モンドランはスピードと決定力に優れている。特にイリネはシュート力の値が18と強烈なシュートが武器のCFだ。得点は、ハヴィ、イリネのラインを中心に狙っていこう。守備では目立った選手は見当たらないが、CBチュモテリュをはじめ、それなりの堅さがある。

応用戦術

●キレのあるカウンターでゴールを狙う

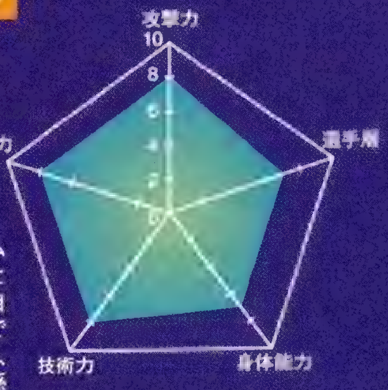
ハヴィを中心とする、得点能力の高い4人を前線に置き、ルーマニアの特徴でもあるカウンターアタックの威力を増す。SBに配置したペノレ、コンコラの、スピードを生かしたサイドからの攻め上がりも効果的だ。また、左右のWG同士でサイドチェンジを行う攻撃方法も、多くの決定機をもたらすだろう。

VS CPU

ディフェンスラインの裏スペースを警戒

守備時に最も気をつけなければならないのが、ハヴィの左足から繰り出されるスルーパス。得意のドリブルで中央を攻め上がってきて、グラウンダーのスルーやロブボールでDFをかわすパスを出してくる。ディフェンスに隙があれば、センターサークル付近からでも長いパスを入れてくるので、集中して守備につきたい。マンマーカーをつけておけば、その危険を減らすことができるはずだ。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ブルガリア

BULGARIA

1956年メルボルン五輪で銅メダル､1968年メキシコ五輪では銀を獲得。ワールドカップには通算7回出場し、1986年メキシコ大会ベスト16、1994年アメリカ大会ではベスト4進出を果たす。アメリカ大会で得点王に輝いた、国民的英雄ストイチコフが代表を去るなど､ベスト4に導いた中心メンバーが抜け､チーム力が低下したことは否定できない状況だ。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	センターアタック
●	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
❶ズノラフコフ	GK	186	右	13	17	17	14	15	16	17	17	13	14	13	16	13	13	13	14.7	15	14
❷キリモフ	CB	183	右	15	16	17	17	16	15	16	17	17	15	15	16	15	16	15	15.9	15	16
❸マーロフ	CB	185	右	14	17	17	16	16	16	15	16	16	15	14	16	14	15	14	15.4	14	16
❹イマイロ・ペロコフ	SB	180	右	16	15	16	17	17	16	16	17	16	16	15	16	15	16	14	15.9	16	16
❺トルサコフ	SH	179	右	16	15	16	18	17	16	15	17	15	15	15	17	15	16	16	15.9	16	18
⓯ヨルマネフ	DH	180	右	15	16	17	16	16	15	15	16	16	16	15	16	16	16	16	15.8	15	20
❼ボリニロフ	SH	184	右	17	13	17	17	17	15	16	16	17	16	17	17	16	17	15	16.2	17	20
❽ミネン・ペロコフ	SH	174	右	17	15	16	17	17	17	16	17	16	17	17	17	16	17	15	16.5	17	24
❿バラノフ	OH	176	左	16	14	16	16	16	15	15	15	16	18	18	17	17	17	17	16.2	17	24
❾ドルコフ	CF	184	右	17	13	17	16	16	17	16	17	16	16	16	17	17	16	15	16.1	16	20
⓴トドノフ	CF	177	右	17	13	16	17	17	18	17	17	17	17	16	16	17	17	14	16.4	17	22
⓭ブラミニロフ	CB	180	右	15	17	17	17	16	17	16	17	16	15	15	17	14	15	14	15.9	14	16
⓮ザモルチッチ	CB	186	右	14	16	16	16	15	15	15	15	16	15	14	16	15	15	14	15.1	15	16
⓱キシレフ	SB	179	右	16	15	17	16	17	16	16	15	15	16	16	16	15	17	15	15.9	16	16
㉒グロウレフ	DH	181	右	15	16	16	17	16	15	15	16	15	15	15	16	15	16	15	15.5	16	20
❻スリアン・ペロコフ	DH	180	右	16	16	16	17	16	16	16	16	15	16	16	17	16	17	16	16.1	16	20
⓰アレキサンドノフ	OH	186	右	16	16	17	16	16	16	15	16	17	16	16	17	16	16	14	16.0	15	18
⓫イミエフ	OH	170	右	17	14	16	16	17	16	16	16	16	17	17	18	17	17	16	16.4	16	24
㉑フリスロフ	CF	194	右	17	13	18	16	18	16	17	17	17	17	16	17	17	16	15	16.5	17	18
⓲ジョーイ・イマノフ	CF	184	右	17	14	17	17	16	16	16	17	17	17	15	16	17	17	16	16.3	17	20
⓳マーチ・ペロコフ	CF	175	右	17	13	16	17	17	17	17	17	17	16	15	17	16	16	14	16.1	16	18
⓬ゴスポリノフ	GK	188	右	13	17	18	13	16	15	16	16	14	13	14	17	13	12	12	14.6	17	14
スタメン能力平均		180.7		15.7	14.9	16.5	16.5	16.4	16.0	15.8	16.5	15.9	15.9	15.5	16.5	15.5	16.0	14.9	15.9	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●司令塔バラノフを軸に一丸となった攻撃展開

パス精度とテクニックに優れたOHバラノフを中心に展開する攻撃陣。オフェンス、ディフェンスとも、それなりのメンバーはいるが、一長一短でず抜けた存在がいない。攻撃、守備ともに、人数をかけて能力の平凡さをフォローしていこう。ポジションによっては、控え選手のほうが使いやすい場合もあるので、デフォルト設定にこだわらず積極的に起用しよう。控えで使ってみたいのはCFフリスロフ。194cmという長身でボディバランスがよく、反応とスピードも持ち合わせた選手だ。

応用戦術

●控えCFフリスロフで攻撃力のアップを

やや迫力に欠ける攻撃陣に、高さとスピードに器用さを兼ね備えたCFフリスロフを起用して、攻撃的なスリートップを組む。2列目にはパス精度の高いバラノフ、イミエフ。攻守の要となるDHには、総合的な能力の高さとバランスのよさからミネン・ペロコフを配置。攻撃力を重視した得点能力の高い布陣だ。

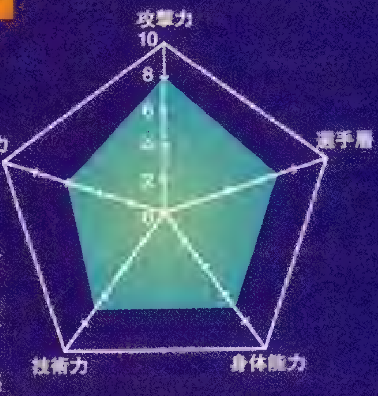
4-3-3A

VS CPU

足元の弱いCBを切り崩す

ブルガリアには突出した守備能力を持つDFがいないので、自軍が得意とする攻撃の形で攻め続ければ、点を取ること自体はそれほど難しくないはず。デフォルトでスタメンのCBキリモフとマーロフは、守備力と当たりの強さはそこそこだが、スピードと反応速度があまりよくないDF。サイドからのクロスを多用するより、中央からスピードで勝負する展開が効果的な攻め方だろう。

チーム力分析



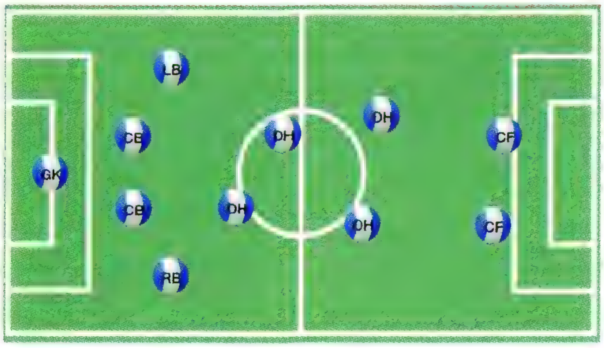
分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ギリシャ

GREECE

世界デビューは1994年ワールドカップアメリカ大会。昨年行われたEURO2000予選では、ノルウェー、スロベニアと同じグループで4勝3敗3分と健闘したが、グループ2位のスロベニアに、勝ち点2届かず敗退。2002年ワールドカップ欧州地区予選では、強豪ドイツ、イングランドと同グループになり苦戦は必至だ。

DEFAULT FORMATION 4-4-2B



DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	カウンターアタック
○	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ニコポニティス	GK	187	右	13	16	18	14	16	15	16	16	13	14	13	16	14	13	12	14.6	14	14
4 ダビラス	CB	182	右	15	17	17	18	16	15	16	17	15	16	15	16	15	15	15	15.9	14	20
5 M・ウルネディス	CB	183	右	14	17	17	16	16	15	16	15	17	14	14	16	14	15	14	15.3	15	20
8 アマナキディス	SB	182	右	15	16	16	16	16	16	15	16	16	15	15	16	15	16	14	15.5	16	16
2 バシラス	SB	180	右	15	16	17	17	17	16	16	16	17	16	15	17	15	15	15	16.0	15	18
3 ゲオルグトス	DH	174	左	17	15	16	17	17	15	16	15	16	16	17	17	16	16	17	16.2	17	20
7 ゲオルグナテス	SH	180	右	17	15	16	17	17	16	16	16	15	16	16	16	15	17	16	16.1	15	18
6 プルマニディス	OH	182	右	16	14	17	16	16	15	16	16	16	17	17	16	16	17	17	16.1	16	20
11 ニニアリス	OH	169	右	16	14	15	17	16	17	15	17	15	17	17	17	16	17	17	16.2	17	20
9 キパリテス	CF	178	右	17	13	16	17	17	16	17	17	17	17	15	16	17	16	15	16.2	16	20
10 ツァルカス	OH	183	左	17	13	17	16	17	16	17	16	16	17	17	16	17	17	16	16.3	17	26
12 カサチス	CB	178	右	14	16	17	17	16	15	16	17	16	14	14	16	15	15	14	15.5	14	16
18 コンスタンミティス	CB	185	右	14	16	17	16	16	16	16	16	15	14	14	16	14	15	14	15.3	15	16
15 ラコス	SB	179	右	17	15	16	17	17	16	17	17	15	15	15	17	16	17	15	16.1	17	18
16 サボラキス	DH	176	右	15	16	17	17	16	15	15	17	16	16	16	17	15	16	15	15.9	16	16
14 グーラス	DH	184	右	15	16	16	17	16	15	16	17	16	15	16	16	16	16	15	15.9	15	16
13 ジロス	SH	174	右	15	16	17	16	17	16	16	16	15	15	15	17	15	17	15	15.9	16	18
17 マフロセニディス	DH	180	右	16	15	17	16	16	15	15	15	15	16	16	16	15	16	15	15.6	16	16
21 フラテスコス	OH	172	右	16	14	17	18	17	15	16	16	16	16	17	17	16	17	16	16.3	16	18
19 リグロフーロス	OH	186	右	16	15	17	16	16	16	17	16	16	16	16	16	17	16	16	16.1	16	16
20 マフナス	CF	183	右	17	13	17	17	17	16	17	17	17	17	16	17	17	17	17	16.6	17	22
22 エテフテロフロス	GK	190	右	13	16	18	15	15	16	16	16	13	13	13	16	12	12	12	14.4	17	10
スタメン能力平均		180.0		15.6	15.1	16.5	16.5	16.5	15.6	16.0	16.1	15.7	15.9	15.5	16.3	15.5	15.8	15.3	15.9	15.6	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●控えのCFマフナスの先発起用

能力の平均は高くないが、戦力のバランスがとれているので扱いにくいチームではない。まずは攻撃陣の整備から。攻撃能力全般をバランスよく備えた、控えのCFマフナフをスタメンで使っていこう。MFはスタメン、控えともに突出した選手がいないので、調子をみて、ポジションに適した選手を起用するようにしたい。全体的にドリブルを得意とする選手が多いので、ドリブルとグラウンダーのパス交換で攻撃を展開していこう。守備は高さにもろい面があるので、ハイボールのクロスには注意したい。

応用戦術

●スピードあるSBで攻守をフォロー

スピードのあるドリブルができる選手を中心に、自軍両サイドの守備を固めた5-3-2システム。CBは高さに弱点があるので、SBのラコスとゲオルグトスで、サイドからのクロスに対するけん制役を任せる。自軍が攻撃のときは、スピードを生かした素早い攻め上がりで攻撃参加し、前線の選手をフォローしよう。

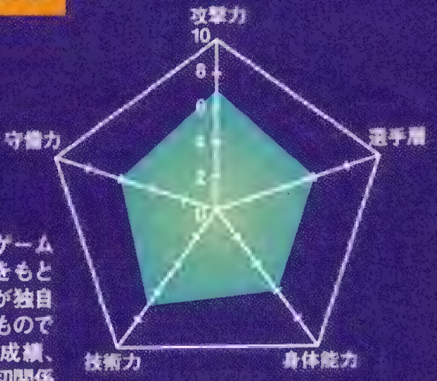
5-3-2A

VS CPU

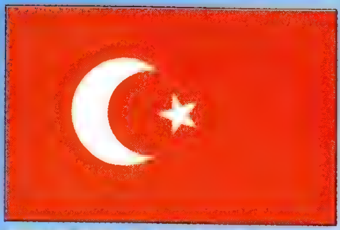
高さのあるクロスボールを放り込む

M・ウルネディスは、身長こそ183cmとそこそこだが、ジャンプ力が弱いので高いボールに対して、あまり強さを発揮しないCBだ。自軍CFに高さがある場合は、サイドから高いクロスを放り込み、ゴール前の空中戦に勝負を持ち込もう。CFが高さをもっていない場合は、反応速度と加速の悪さを突いて、グラウンダーのスルーや低く速いクロスボールを足元に出す攻撃が効果的だ。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



トルコ

TURKEY

今シーズン、ビッグクラブ「インテル」でプレイするストライカー、ハカン・シュキュルを擁する代表チームは、EURO2000の予選で強豪ドイツを破るなど着実にチーム力を上げている。2002年ワールドカップ欧州地区予選では、スウェーデン、スロバキアらと同グループで対戦。1954年スイス大会以来、2回目のワールドカップ出場を目指す。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	カウンターアタック
○	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 リュクツ	GK	185	右	13	17	17	13	16	15	17	17	14	14	13	16	13	13	13	14.7	16	14
5 アルナイ	CB	187	右	14	17	18	17	16	16	16	16	16	15	14	15	14	15	14	15.5	15	16
3 オルン	CB	181	右	13	18	17	16	15	16	16	17	17	16	15	16	15	15	15	15.8	14	20
4 ファティス	CB	180	右	14	16	16	16	16	15	15	16	16	15	14	15	14	14	14	15.1	15	16
8 トゥダイ	DH	175	右	16	16	15	17	16	15	16	17	16	16	15	17	16	15	14	15.8	15	16
14 スラテ	DH	168	右	15	16	16	17	16	17	16	17	16	15	15	16	15	15	14	15.7	15	20
19 アクトラ	SH	183	左	16	15	17	18	17	17	17	15	15	16	17	17	16	18	15	16.4	18	22
11 タイクン	SH	182	右	16	16	17	18	17	16	16	16	16	16	16	17	15	16	15	16.2	15	16
7 オタン	OH	169	右	16	15	15	16	16	17	16	17	16	17	17	17	16	16	16	16.2	16	18
6 アリク	CF	183	右	17	13	17	17	18	15	16	17	17	16	16	17	17	17	16	16.4	17	20
9 ハラン・シュニル	CF	190	右	18	13	18	18	17	16	17	18	19	18	17	18	17	17	14	17.0	18	26
20 ハラン・ユンカル	CB	178	左	14	17	17	16	16	15	16	16	16	15	15	14	14	15	14	15.3	14	18
13 オスラン	CB	188	右	14	16	17	18	17	15	15	17	15	16	16	16	15	16	15	15.9	15	16
16 エルビュン	SB	178	右	15	16	16	17	17	15	15	16	15	16	16	16	15	17	14	15.7	15	20
22 ウニト・ダバン	DH	186	右	16	16	17	18	17	16	16	16	16	17	16	17	16	16	15	16.3	16	20
15 ムニィ	DH	175	右	16	16	17	17	16	16	17	17	16	16	16	17	16	16	16	16.3	16	22
2 タイスル	SH	180	右	17	14	16	18	17	16	15	16	15	17	16	16	15	17	16	16.1	16	18
10 セルデン	OH	181	左	16	14	16	17	16	16	16	16	16	17	17	17	16	17	17	16.3	17	22
17 オクマイ	CF	180	右	17	14	16	16	17	15	16	17	17	17	16	17	17	17	15	16.3	17	18
18 アイマン	CF	177	右	17	13	16	16	16	17	17	16	16	16	15	16	16	16	15	15.9	16	16
12 オマール	GK	184	右	12	16	18	14	15	15	15	17	13	13	13	16	12	13	12	14.3	15	10
21 フェグジ	GK	194	右	12	16	18	14	15	16	16	16	13	13	13	17	12	13	12	14.4	17	12
スタメン能力平均		180.3		15.3	15.6	16.6	16.6	16.4	15.9	16.2	16.6	16.2	15.8	15.4	16.5	15.3	15.5	14.5	15.9	15.8	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●ワールドクラスの得点力で攻めのサッカー

ワールドクラスのストライカー、ハラン・シュニルは、身長190cmの体格と高いジャンプから繰り出す、力強いヘディングが最大の武器。大きな身体からは想像できないキレのよい動きと、テクニック、シュート力までもを兼ね備えた万能型ストライカーでもある。攻撃の選択肢は多い。ハイボールを入れてヘッドに合わせてもいいし、シュニルに当てて、2列目の飛び込みからゴールを狙うという形も可能だ。ただ、決定力からいえばシュニル自身で決めにいったほうが、得点を挙げられる可能性が高いだろう。

応用戦術

●能力の高い選手で攻撃陣を固める

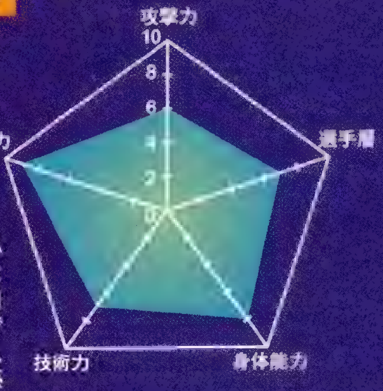
前線の5人のオフェンス陣と、SBのオーバーラップで怒とうの攻撃をしかける攻撃的布陣。ディフェンス陣はやや迫力を欠くが、攻めの意識を前面に押し出した得点力の高い攻撃は、破壊力抜群だ。ノーガードの打ち合いを挑むわけではなく、中盤の高い位置でボールを奪いにいく、攻撃的なディフェンスを心がけよう。

VS CPU

ストップ・ザ・シュニル

ハラン・シュニルをいかにして止めるかが、対トルコ戦の最大のポイントだ。よくある攻撃パターンが、ディフェンスラインの裏を狙ったスルーパスにシュニルが飛び出して流し込むという展開。ヘッドばかりに気をとられていると、痛い目に遭わされてしまうのだ。シンプルにマンマークをつけるという対応もあるが、オフサイドトラップの網にかけるという知的な戦略も実践してみたい。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ウクライナ

UKRAINE

1991年ソビエト連邦崩壊に伴い独立。アトランタ五輪で9つの金を獲得するなど、陸上競技をはじめスポーツの盛んな国。代表はウクライナリーグで活躍する選手を中心に構成され、世界的にも強国と呼べる実力を持っている。2002年ワールドカップ欧州地区予選では、ノルウェー、ウェールズらと同グループに入り、ワールドカップ初出場を目指す。

DEFAULT FORMATION 4-5-1B

DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	■	ゾーンプレス
●	レフトサイドアタック	✕	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ショスコフスキ	GK	191	右	13	18	18	14	15	16	17	18	14	14	14	16	13	12	12	14.9	18	20
5 バスチク	CB	181	右	14	16	17	16	16	16	16	16	16	15	15	16	14	15	14	15.5	15	16
4 ゴロブゴ	CB	185	右	14	17	17	16	16	16	16	17	17	16	15	17	15	15	15	15.9	14	18
3 ミリティン	SB	178	右	17	15	16	17	17	17	16	17	16	15	16	16	15	16	15	16.1	18	20
2 ルキニー	SB	182	右	16	15	17	18	17	16	17	16	15	16	15	16	16	17	14	16.1	17	22
7 ポゾフ	DH	180	右	15	16	16	16	16	16	15	15	16	16	16	17	16	16	15	15.8	16	18
8 コバネフ	DH	176	右	15	16	16	17	16	15	16	15	16	16	16	16	16	16	15	15.8	15	20
11 レグロフ	CF	170	右	17	14	15	17	18	17	17	17	16	18	17	17	18	18	16	16.8	17	32
10 シェルチェンコ	CF	183	右	19	13	17	17	19	18	17	17	17	17	17	18	18	17	16	17.1	19	40
6 グリン	OH	189	右	16	15	17	18	16	16	16	16	16	18	18	17	17	17	17	16.7	16	30
9 スラチェンコ	CF	185	右	18	13	16	17	17	16	16	16	17	17	16	17	17	16	16	16.3	17	24
13 コガル	CB	186	右	14	16	17	16	16	15	15	17	15	15	14	17	14	15	14	15.3	14	16
22 ドミトルニン	SB	175	右	16	16	16	17	16	16	16	17	15	16	15	16	15	17	15	15.9	16	18
19 ミシン	SB	179	右	16	15	16	17	17	16	16	15	14	16	15	16	15	17	15	15.7	16	16
14 キルユシン	DH	183	右	15	16	15	16	16	15	15	16	16	16	16	16	15	15	16	15.6	15	16
15 モロフ	SH	182	右	16	15	16	17	17	16	16	15	15	16	16	17	15	17	15	15.9	17	18
16 マキシノフ	OH	187	右	17	15	18	16	16	17	15	15	16	17	17	17	16	17	17	16.4	17	20
18 ミハイネンコ	OH	188	右	16	15	18	16	17	17	16	16	17	16	16	18	16	16	15	16.3	16	18
17 コソムスキ	OH	172	左	17	14	15	17	17	16	16	17	16	17	17	16	17	17	16	16.3	17	20
20 セレブニソフ	CF	180	右	17	16	17	17	17	17	17	17	16	17	16	17	17	16	15	16.6	17	22
21 コノハロフ	CF	180	右	18	13	17	17	17	16	16	16	17	17	17	18	17	17	16	16.6	18	24
12 ケルノジンゴ	GK	184	右	13	17	17	14	15	15	16	17	13	13	14	16	13	13	12	14.5	15	16
スタメン能力平均		181.8		15.8	15.3	16.5	16.6	16.6	16.3	16.3	16.4	16.0	16.2	15.9	16.6	15.9	15.9	15.0	16.1	16.5	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●前線のトライアングル

変則的な4-5-1システムで戦うウクライナは、ワントップのスラチェンコ、RHシェルチェンコ、LHレグロフの前線に張った三角形で攻撃をしかける。やや下がり気味のOHグリンは、中盤と前線を結ぶ役割を担う。いわば前線に配置された攻撃的なボランチのような感じだ。シェルチェンコをはじめ、控えを含めた攻撃陣は、テクニックと決定力に優れた選手が多く、得点能力はかなり高い。守備陣はやや劣るが、CBのゴロブゴを中心にした組織的なディフェンスで敵の攻撃を阻んでいこう。

応用戦術

●パスワークを重視した充実の中盤

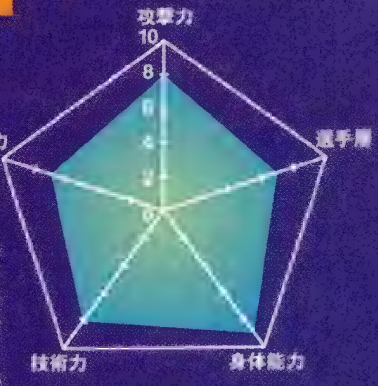
前線から中盤には能力の優れた選手が多く、選手層が充実している。中盤から前線の6人は、いずれも決定力を備えた攻撃的な選手だ。テクニックを生かした巧みなパス回しと、個々の能力の高さでゴールを狙っていく。控えのマキシノフ、コソムスキ、ミハイネンコは中盤の控えとして起用しよう。

VS CPU

ゴールエリア付近の強烈なシュートに警戒

決定力のあるアタッカーが揃った攻撃陣は、個々の能力の高さを生かしたパスワークと、ゴールに対する鋭い嗅覚で、精度の高い強烈なシュートを放ってくる。前が空けばミドルレンジからでも積極的に打ってくるので、ディフェンスラインを統率して、シュートコースを消していくディフェンスを心がけたい。特に右サイドのシェルチェンコは、自慢のスピードを生かして切り込んでくるので要注意。

チーム力分析



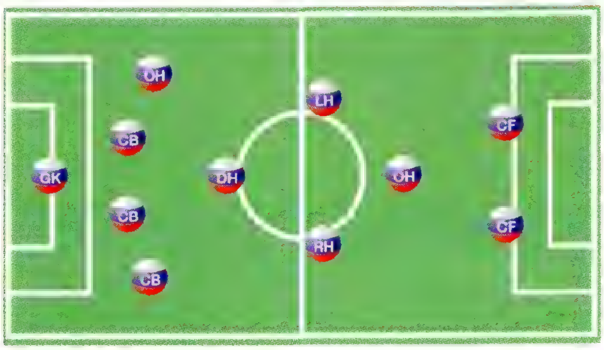
分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ロシア

RUSSIA

1991年ソビエト連邦の崩壊前は、6回のワールドカップに出場。連邦崩壊後、ロシアとしては1994年のアメリカ大会に出場している。五輪での成績は優秀で、1956年メルボルン大会の金をはじめ、72年の大会から3大会連続の銅、88年のソウルでは金を獲得した。2002年ワールドカップ欧州地区予選では、強豪ユーゴスラビアと同グループで戦う。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A



DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	ゾーンプレス
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
12 チェルテロフ	GK	183	右	12	17	17	14	16	15	16	17	14	13	13	16	13	13	12	14.5	14	18
2 チュガイロフ	CB	187	右	15	16	17	17	16	16	16	16	16	15	15	17	14	15	13	15.6	15	16
7 オノルコ	CB	189	右	14	18	18	15	15	16	15	17	17	15	14	16	14	15	14	15.5	14	20
3 ヤロフスキー	CB	187	右	15	17	17	16	17	16	16	16	16	15	15	16	15	15	14	15.7	15	20
5 スネルチン	DH	181	右	15	16	17	17	16	15	16	17	16	16	16	17	16	16	14	16.0	16	16
4 コフノフ	DH	188	右	15	17	17	17	15	16	15	17	16	16	16	17	16	16	14	16.0	16	18
8 カルキン	SH	182	右	17	15	17	17	17	17	16	16	16	17	16	16	16	17	15	16.3	16	18
6 アレニテフ	OH	178	右	16	14	15	17	15	16	17	16	17	17	17	17	17	17	16	16.3	17	22
11 ベスカツニフ	OH	183	右	17	13	16	16	16	15	16	16	16	16	17	17	16	17	15	15.9	16	18
9 チコフ	CF	183	右	17	14	16	18	17	15	16	15	16	18	18	17	17	18	17	16.6	18	28
13 セマフ	CF	170	右	17	13	16	17	17	17	17	17	17	17	16	16	17	16	15	16.3	17	20
15 ソロマフィン	CB	183	右	14	16	18	16	16	15	15	16	16	15	15	17	14	15	14	15.5	14	16
16 クレムトフ	CB	175	右	15	16	15	16	16	15	16	16	16	16	15	16	15	15	15	15.5	15	16
17 テトローゼ	CB	177	右	15	16	16	17	17	15	15	17	16	15	15	16	15	16	15	15.7	15	14
21 ドロスドブ	SB	172	右	16	15	16	17	17	16	16	16	15	15	16	16	15	17	14	15.8	17	16
14 ティロノフ	DH	180	右	15	16	16	17	16	17	16	16	16	16	16	17	16	16	15	16.1	16	18
22 ブッコ	SH	183	左	16	15	17	17	17	16	16	16	16	16	16	18	16	16	14	16.1	16	18
20 ブラトス	OH	183	右	16	15	17	16	16	16	15	16	16	17	16	17	16	17	15	16.1	16	18
19 モスロボイ	OH	179	右	16	14	16	16	16	16	15	15	16	17	17	16	17	17	17	16.1	17	18
10 バノク	CF	166	右	16	14	15	17	17	18	18	17	16	17	16	16	17	16	15	16.3	18	18
18 スチーロ	CF	182	右	17	13	15	16	16	16	17	16	17	16	16	17	16	16	14	15.9	16	18
1 フィリノモフ	GK	193	右	13	16	19	13	15	14	16	16	13	13	13	17	13	13	12	14.4	16	16
スタメン能力平均		182.8		15.5	15.5	16.6	16.5	16.1	15.8	16.0	16.4	16.1	15.9	15.7	16.5	15.5	15.9	14.5	15.9	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●組織力を武器にした堅固サッカー

CFチコフ以外には際立った選手はいないが、全体的にはバランスがとれたチームだ。チコフはテクニックとドリブルに優れたCFで、パスの精度も高い。ツートップの一角に収まっているが、やや下がったところで攻撃の形を作らせたい選手だ。CBオノルコを中心に、高さのある守備はなかなか堅い。中盤に司令塔と呼べるほどの突出した能力を持つ選手がいないので、パスでボールを回しながら、チャンスをうかがう。SBのオーバーラップをからめ、中盤全体で攻め上がる組織的なサッカーでチャンスを作りたい。

応用戦術

●攻撃レベルを切り替えて積極的に攻撃

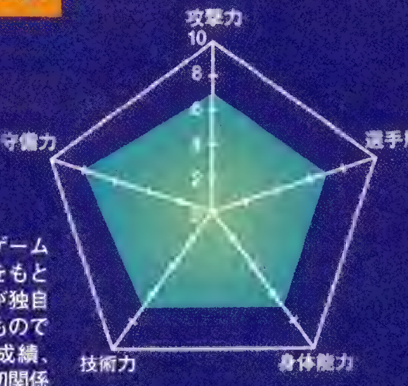
リザーブの選手を含め、守備的な選手が多いのが特徴的なロシア。ゲーム画面では確認できないが、積極性というパラメータも低めの選手が多い。攻撃時は攻守レベルを上げるなどして、選手個々を攻撃的にポジショニングさせるようにしたい。また、前線の攻撃意識を上げるなど、設定の変更で攻撃力アップをはかろう。

VS CPU

ディフェンスラインの統率

パス回しを中心に攻撃を展開してくるロシア。中盤で細かくパスを回されるからといって、それを無闇に追い回すとディフェンスの形が大きく崩れてしまう。中盤が押し上げてきたら、しっかりと形を守ってパスコースを消していくディフェンスを心がけたい。また、サイドからドリブルで攻め上がってきたときには、中盤の選手を早めに向かわせ、自陣深くまで攻め込まれないように食い止めたい。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

モロッコ

MOROCCO

「アトラスのライオン」の異名を持つアフリカの強豪国モロッコは、身体能力の高さが特徴のチーム。スピードとスタミナの能力に優れた選手が多い。1970年にはワールドカップに初出場、1986年にはアフリカ勢初の一次リーグ突破を果たしている。前回のフランス大会でも健闘したが、わずかな差で決勝トーナメントに進めなかった。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	アザーサイドアタック
○	レフトサイドアタック	×	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
⑫ フォマリ	GK	182	右	13	17	17	13	15	16	16	16	13	14	13	16	13	12	12	14.4	14	14
⑤ ネクレス	CB	188	右	14	17	18	17	16	16	17	16	17	15	15	16	15	15	13	15.8	16	16
⑥ ナイメト	CB	180	右	14	17	17	17	17	15	16	17	17	16	15	17	14	16	14	15.9	14	24
③ ハドリーニ	SB	175	左	16	16	15	18	17	16	15	15	15	15	16	15	15	17	14	15.7	17	16
② サバル	SB	181	右	17	15	16	17	18	17	15	16	15	16	15	16	16	16	15	16.0	17	20
⑱ シッピ	DH	184	右	16	16	17	18	17	16	15	17	16	17	16	16	15	16	16	16.3	15	18
⑳ エルカエフ	DH	186	右	16	15	17	16	16	15	16	16	16	16	15	16	16	17	15	15.9	17	16
⑦ ハッゼ	OH	183	右	17	14	17	18	18	17	17	17	17	18	18	17	18	18	17	17.2	17	26
⑧ シパ	OH	183	右	16	14	16	17	17	16	16	17	16	17	16	15	17	17	16	16.2	16	20
⑬ バリャ	CF	178	右	17	13	16	17	17	16	17	16	17	17	16	16	16	17	15	16.2	18	18
⑨ カナット	CF	175	右	17	13	17	17	18	17	17	17	16	17	16	17	17	16	15	16.5	17	22
④ ロッジ	CB	181	右	14	17	17	17	16	16	16	17	16	15	14	16	14	15	13	15.5	14	20
⑰ トリク	CB	181	右	14	17	16	16	15	15	16	17	16	16	14	15	14	15	13	15.3	14	18
⑮ アフラミ	SB	168	右	17	15	15	17	17	17	15	17	15	16	15	16	15	17	15	15.9	17	20
㉑ ベナム	DH	181	右	15	16	17	17	15	16	15	16	17	15	16	17	15	15	14	15.7	15	16
⑯ マイラミ	DH	177	右	16	15	16	17	16	15	16	16	15	16	16	16	16	16	15	15.8	16	16
㉒ ウラキリ	OH	177	右	17	14	16	18	17	15	16	17	16	17	17	15	17	16	16	16.3	16	20
⑲ セルミ	OH	180	右	16	14	17	17	17	16	16	17	16	16	16	16	16	16	15	16.1	15	16
⑩ ラムニ	OH	179	右	16	14	17	17	16	16	17	16	17	17	17	17	16	17	16	16.4	17	20
⑪ アムシネ	CF	178	右	17	14	16	18	17	16	16	16	17	17	16	16	17	17	17	16.5	16	20
⑭ バイール	CF	172	右	18	13	16	17	18	17	17	18	16	18	17	16	18	17	16	16.8	17	24
① ベンゼケリ	GK	180	右	13	17	17	16	16	16	16	17	14	14	13	16	13	13	13	14.9	16	10
スタメン能力平均		181.4		15.7	15.2	16.6	16.8	16.9	16.1	16.1	16.4	15.9	16.2	15.5	16.1	15.6	16.1	14.7	16.0	16.2	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●ハッゼを中心にスピーディーな攻撃を

攻撃の中心はOHのハッゼ。スピードがあり、テクニックも優れたオールラウンダー。チーム全体を見ても、スピードとスタミナの能力が高い選手が多いので、スルーパスなどでディフェンスの裏を取る攻撃が有効だ。SBのハドリーニとサバルはスピードと加速力が高いので、サイドからの攻撃に積極的に使っていく。ディフェンスの中心はCBネクレスとDHシッピ。ネクレスは当たりの強さと高さで攻撃を封じる。シッピは攻撃的な2人のSBが上がってできた、広いスペースを豊富なスタミナでカバーする。

応用戦術

●DHを増やしてSBの攻撃意識を高める

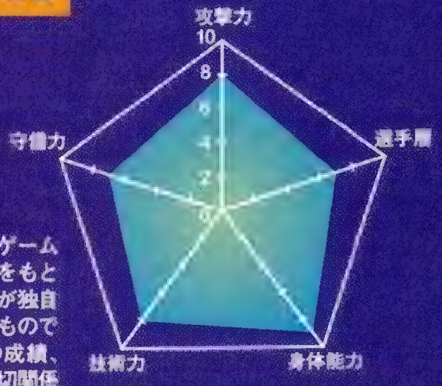
SBの2人の攻撃意識を高めて、サイドからの攻撃を厚くする。薄くなってしまうディフェンスは、DHにシッピとラムニを入れて強化していこう。OHのハッゼはゲームメイクだけでなく、自分でも得点が狙える選手。攻撃意識を高め、ポジションも少し前（やや中央より）にしておくと機能しやすい。

VS CPU

エースをマークして完封を狙え

チームのエース、ハッゼは、パスだけでなく、ドリブル、ミドルシュート、フリーキックが得意なオールラウンダー。必ずマークすること。SBのハドリーニとサバルもスピードがあり、スペースを与えると危険な選手。レーダーで常にSBの動きを確認しておこう。攻撃時に注意したいのは、DHのシッピ。当たりに強く、スタミナもあるので中央からの突破は難しい。サイドから崩していきたい。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

チュニジア

TUNISIA

1966年にワールドカップ（アルゼンチン大会）に初出場。メキシコを3-1で破り、アフリカ勢の初勝利を記録した。続いて強豪国の西ドイツとも引き分け、一躍脚光を浴びたが、この大会後は低迷期に入ってしまう。20年ぶりの出場となった1998年のフランス大会でも、残念ながら予選グループ最下位に終わってしまった。今後の巻き返しに期待したい。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	■	カウンターアタック
●	レフトサイドアタック	✕	ゾーンプレス

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 エル・ウマエル	GK	188	右	13	16	17	13	15	15	16	17	14	15	15	16	13	13	13	14.7	15	10
2 バドワ	CB	182	右	15	17	17	17	17	16	16	16	15	16	14	16	15	16	14	15.8	16	16
3 サニ・トラヘルシ	CB	188	左	16	16	18	18	17	15	16	16	15	16	15	16	16	16	15	16.1	16	16
15 ジャイニー	CB	180	右	15	16	16	17	16	16	15	16	16	15	15	17	14	15	14	15.5	15	16
14 シホ	DH	176	右	15	16	16	17	16	15	15	16	16	16	16	16	15	16	15	15.7	15	16
12 ブーヘイレ	SH	175	右	16	15	16	18	17	15	16	16	15	16	15	16	15	17	14	15.8	17	18
17 タゲット	SH	176	右	16	16	15	17	18	16	16	17	16	16	16	15	15	16	15	16.0	16	16
8 ベラ	OH	180	右	17	14	17	18	17	17	16	16	16	18	17	16	17	18	18	16.8	18	24
18 カウダリ	OH	174	右	16	13	16	17	16	17	15	17	15	17	17	17	16	17	16	16.1	17	20
9 ジュリーヨ	CF	179	右	17	14	16	17	17	15	16	16	16	16	17	16	17	16	15	16.1	16	20
11 セリニ	CF	180	左	18	13	16	17	17	16	17	17	17	17	16	17	18	17	17	16.7	17	22
13 ブアジシ	CB	176	右	16	17	16	17	16	16	16	17	16	17	15	17	15	16	15	16.1	15	18
4 ブカデダ	CB	185	右	14	17	18	16	16	16	15	17	16	16	16	16	14	15	14	15.7	14	16
5 ハテン・トラヘルシ	SB	183	右	16	15	17	18	17	15	16	16	15	17	16	15	15	17	14	15.9	16	18
7 クレイポン	SH	179	右	17	15	17	17	18	16	17	17	16	17	16	15	16	17	16	16.5	17	20
10 ゴドハネ	DH	181	右	16	15	16	18	17	15	16	15	16	16	16	16	16	16	16	16.0	15	18
6 スエイラ	OH	170	右	17	15	16	17	17	16	15	16	16	17	17	16	17	17	16	16.3	16	22
19 ガブリ	OH	172	右	16	14	16	17	16	17	15	16	16	17	17	17	16	18	17	16.3	16	18
20 ジャイリ	CF	179	右	17	13	16	16	17	16	16	17	17	16	16	16	16	16	15	16.0	16	20
16 ジェラヒ	CF	178	右	17	13	16	17	17	15	17	16	16	17	17	16	17	17	16	16.3	17	20
21 スイマネ	CF	170	右	17	13	16	17	18	17	17	18	17	18	17	16	17	18	16	16.8	18	20
22 サルピ	GK	186	右	13	16	18	14	15	14	16	17	13	14	14	17	12	13	13	14.6	15	10
スタメン能力平均		179.8		15.8	15.1	16.4	16.9	16.6	15.7	15.8	16.4	15.5	16.2	15.7	16.2	15.5	16.1	15.1	15.9	16.2	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

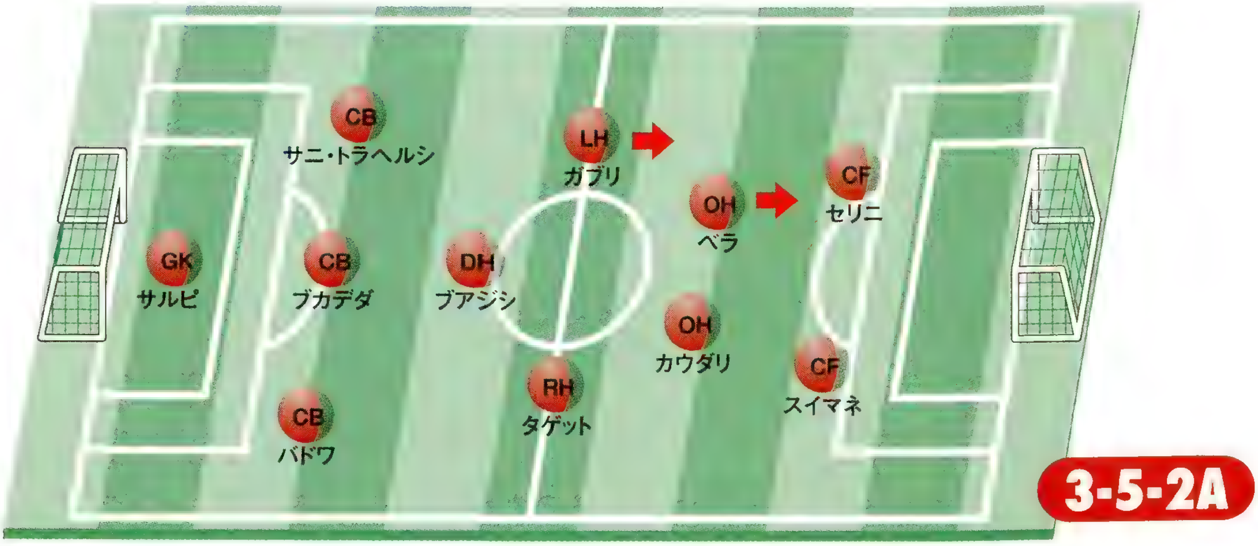
●ディフェンス力を生かして守り勝つ

攻撃の中心はOHのベラとCFのセリニ。ベラは全体的な能力が高く、特にドリブル、テクニック、カーブに優れている。中盤からのボールキープから、セリニへのラストパスを狙っていこう。セリニはシュート精度の高さが武器のストライカー。また、シュート力も高いので、ミドルシュートも積極的に狙える。ディフェンスにはサニ・トラヘルシとバドワを中心に長身の選手が揃っている。スタミナと当たりはもちろん、スピードのある選手が多いので、俊足の相手FWにも対応できる。

応用戦術

●メンバーチェンジで攻守のバランスUP

チーム全体のバランスはいいので、メンバーチェンジだけでチーム力を強化していく。OHのベラを中心に攻撃を組み立てるのはデフォルトと同じだが、ベラとSHのガブリの攻撃意識を高めることで攻め手が大幅に増える。ゴールキーパーは、能力が高いサルピをスタメンで使っていこう。



VS CPU

スルーパスでディフェンスの裏をとる

CPUの攻撃はOHのベラを中心に展開される。CFのセリニへのラストパスが、チュニジアの得点パターンになっているので警戒しよう。チュニジアにはサニ・トラヘルシ、バドワなど、ディフェンスにもスピードのある選手が多いのが特徴だ。相手の裏をとるスルーパスを使って攻めていきたい。SBやSHの選手の上がりを待って、サイドアタックをしかけてもいいだろう。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

エジプト

EGYPT

ワールドカップには2回出場しているものの、近年は低迷が続くエジプト。他のアフリカ勢の活躍が目立つだけに奮起が期待される。1999年に行われたコリア・カップでは3試合を消化。メキシコには2−0で破れたものの、日本のライバルである韓国、前回のワールドカップ（フランス大会）で旋風を巻き起こしたクロアチアと2-2で引き分けている。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 エウサイド	GK	183	右	12	17	17	15	16	16	16	16	13	13	13	16	13	13	12	14.5	16	10
5 エウサカ	CB	181	右	14	16	17	17	16	15	15	17	16	15	14	17	14	15	14	15.5	15	16
2 I・ハサイン	CB	182	右	14	17	17	16	16	15	16	16	17	16	15	16	15	15	15	15.7	14	16
3 オマレ	CB	179	右	15	17	17	17	17	16	15	17	17	15	15	16	15	15	14	15.9	15	16
4 ラムシ	DH	185	右	15	16	17	16	16	15	16	18	16	16	17	17	16	16	16	16.2	15	18
20 カシャラ	DH	180	右	16	15	17	17	17	15	15	16	15	16	15	16	15	16	15	15.7	16	16
15 I・サイーロ	SH	182	右	16	14	16	18	17	16	15	15	15	15	16	16	15	17	14	15.7	17	16
8 ラドラン	SH	176	右	16	15	16	17	17	15	16	16	16	17	17	16	16	16	16	16.1	17	18
11 タレン・サイーロ	OH	177	右	16	14	16	17	17	17	15	16	15	16	16	17	16	16	16	16.0	15	16
19 ホズミー	CF	186	右	17	13	18	16	16	15	16	16	17	17	17	16	16	17	14	16.1	16	18
9 ハッセン	CF	178	右	18	13	17	16	17	15	17	16	17	16	16	17	17	16	15	16.2	17	18
12 カモーラ	CB	185	右	14	17	18	17	16	16	16	17	17	16	15	16	14	15	14	15.9	14	16
7 ユーシフ	SB	184	右	15	16	16	17	17	15	15	16	15	15	15	15	15	17	15	15.6	16	18
16 モネアム	SB	175	右	16	15	16	18	17	16	15	16	16	16	16	15	16	16	16	16.0	17	16
10 サブイ	DH	179	右	15	16	16	17	16	15	16	16	16	15	16	16	15	16	15	15.7	15	16
17 ハナヒ	DH	186	右	15	16	16	17	15	16	15	16	16	16	16	17	16	16	16	15.9	15	16
13 アブトルタリム	SH	175	右	16	14	16	17	16	17	16	17	15	17	17	16	15	17	15	16.1	17	18
21 アムテライツ	OH	177	右	16	15	16	16	17	15	15	16	16	16	17	17	16	16	15	15.9	16	16
6 ハイズ	OH	181	右	17	14	17	17	16	16	16	15	17	17	16	16	16	17	17	16.3	16	16
14 イマヌ	CF	176	右	16	14	16	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16.0	16	16
18 ファルーク	CF	184	右	17	13	17	17	16	17	17	17	17	16	16	16	17	16	14	16.2	18	16
22 エウハダリ	GK	180	右	12	16	17	15	16	17	16	16	13	13	13	16	12	12	12	14.4	15	10
スタメン能力平均		180.8		15.4	15.2	16.8	16.5	16.5	15.5	15.6	16.3	15.8	15.6	15.5	16.4	15.3	15.6	14.6	15.8	15.7	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●ホズミーの高さを生かそう

突出した能力の選手はいないが、チーム全体のバランスはそれほど悪くない。特にディフェンス陣には、当たり、防御力、スタミナに優れた選手が多い。基本戦術は守ってチャンスを待つカウンターサッカーになるだろう。カウンターサッカーを展開する上で、重要な役割を担うのがCFのホズミー。当たりに強いので混戦にも強く、ドリブル、テクニック、シュート精度の能力も高い。チャンスには彼にロングパスを出すようにしよう。

応用戦術

●スリートップでチャンスを増やす

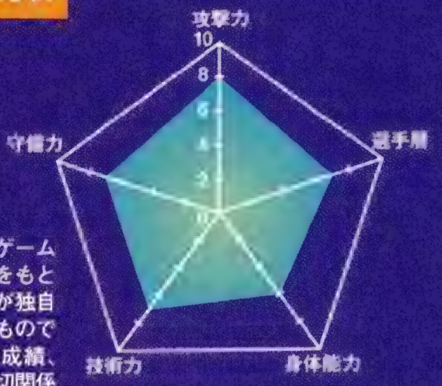
オフェンス面に弱点があるチームなので、スリートップにして強化をはかる。WGの2人は得点を狙うのではなく、サイドからのセンタリングが仕事になる。CFのホズミーに合わせて、ハイボールを供給していこう。ハッセンは2列目に置いて、中央から得点を狙う。攻撃意識を高め、ポジションを少し前に移動しよう。

VS CPU

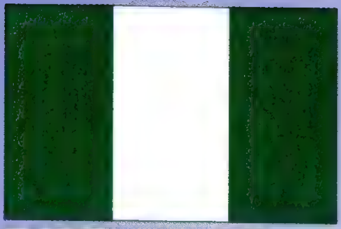
味方のスタミナに注意!

エジプトには、スタミナとスピードの能力が高い選手が多い。相手のペースでダッシュやプレスをしかけていると、味方のスタミナが切れてしまうことも。ハーフタイムなどでは必ず残りのスタミナをチェックして、少ない選手は交代させよう。守備時に注意したいのが、ホズミーの当たりの強さ。ゴール前での混戦に強い選手なので、センタリングは上げさせないようにしよう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



ナイジェリア

NIGERIA

「スーパーイーグルス」の愛称で親しまれているナイジェリア代表チーム。1994年のワールドカップ(アメリカ大会)は初出場でベスト16に進出。1996年のオリンピックでは強豪国を倒し、金メダルに輝いている。しかし、最近ではギリシャに2-0で完敗(1999年、親善試合)。ガーナとは0-0で引き分けるなど(1999年、親善試合)苦戦が続いている。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	カウンターアタック
○	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ショブンム	GK	185	右	13	17	18	14	15	16	17	17	13	13	13	17	13	14	12	14.8	17	20
6 ウェスタ	CB	183	右	14	18	17	17	17	16	17	18	17	15	15	17	14	16	14	16.1	15	24
5 イエネリ	CB	182	右	15	17	17	16	16	17	16	17	16	16	15	16	15	15	15	15.9	15	18
3 ババワロ	SB	175	左	17	15	16	17	18	16	17	18	17	15	15	16	16	16	15	16.3	17	20
21 G・オクパナ	SB	177	右	14	16	16	18	17	16	15	16	16	15	15	16	14	15	14	15.5	17	16
15 オイセー	DH	183	右	17	16	17	18	17	17	16	17	16	17	16	19	16	16	16	16.7	16	24
8 アデポシュ	SB	180	右	16	16	16	17	17	17	15	16	17	16	15	16	15	17	15	16.1	15	16
7 フィニディ	SH	188	右	17	14	17	17	18	17	17	16	16	17	17	17	17	18	17	16.8	16	24
10 オコチ	OH	175	右	17	15	17	17	17	17	17	18	17	18	18	16	17	18	18	17.1	17	26
18 チュルー	CF	190	右	17	13	18	16	16	16	15	17	16	17	16	17	16	17	14	16.1	17	24
4 カム	CF	197	右	17	13	18	16	17	16	17	16	17	18	17	16	17	18	16	16.6	16	30
16 オケチク	CB	185	右	14	17	19	16	16	16	17	17	16	16	14	16	14	15	14	15.8	14	20
12 ソトデ	CB	182	右	15	16	17	17	17	16	16	17	17	15	15	17	14	15	14	15.9	15	18
19 イロサ	SB	173	左	15	15	15	16	18	17	15	17	16	15	16	15	15	16	14	15.7	16	20
2 オパナク	DH	169	右	16	16	16	17	17	16	15	16	15	16	16	16	16	17	15	16.0	16	16
11 ラナル	SH	182	右	16	16	16	18	17	16	16	17	15	16	16	16	16	17	15	16.2	17	20
14 オルナ	OH	176	右	16	15	16	18	17	17	16	17	17	17	16	17	16	17	16	16.5	16	18
13 ババンギタ	WG	170	右	18	13	15	17	19	18	17	19	16	17	17	18	17	17	15	16.9	18	24
17 アボガラ	CF	178	両	17	13	16	17	18	18	18	17	16	17	16	17	17	17	15	16.6	17	20
9 アクオモリエ	CF	175	右	17	13	16	15	17	17	17	17	18	16	16	17	17	16	15	16.3	17	20
20 イクペパ	CF	173	右	17	13	16	17	18	17	17	19	17	17	16	17	17	17	16	16.7	17	22
22 アカジー	GK	182	右	13	16	17	14	16	17	16	17	13	13	12	16	13	14	12	14.6	15	16
スタメン能力平均		183.2		15.8	15.5	17.0	16.6	16.8	16.5	16.3	16.9	16.2	16.1	15.6	16.6	15.5	16.4	15.1	16.2	16.2	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●アフリカンパワーを爆発させろ!

アフリカNO.1のチームだけあり、タレントは豊富に揃っている。特にスピードの能力が高く、ドリブル突破やスルーパスへの飛び出しに力を発揮する。攻撃の中心はオールラウンダーのOHオコチ。そこからツートップのチュルーとカムにボールが供給される。彼らは、高さはもちろん、テクニックとドリブルの能力も高い。得点だけでなくチャンスを演出できるのも強みだ。控えの選手で注目したいのが快足WGのババンギタ。相手DFのスタミナが切れる後半に投入して得点を狙っていこう。

応用戦術

●正面からの打ち合いで勝つ

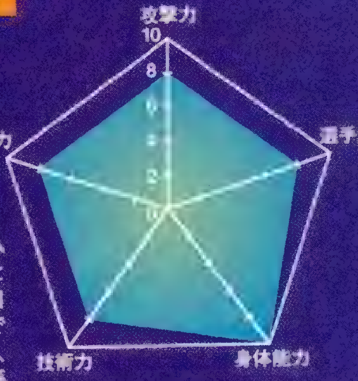
控えの選手も含めて、攻撃陣にはタレントが豊富に揃っている。1点を守るのではなく、相手より多く得点を奪う超攻撃的なサッカーを展開したい。FWはスリートップにして、前線の攻撃力を強化する。さらにSBのフィニティとラナルも攻撃意識を高めて、積極的にサイドアタックをしかけるようにする。

VS CPU

オイセーのキャノンシュートに注意

能力の高い選手が多く、スピーディな攻撃が得意なチーム。守備がしっかりしていないと、大量失点を喫してしまう可能性もある。チーム力にもよるが、守備の人数を増やしておくと守りやすいだろう。ポジションはDHだがオイセーの攻撃参加にも注意が必要。キック力が強く、遠めから強力なシュートを打ってくる。彼がボールを持ったときは、ゴール前を空けないようにしっかりカバーしよう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

カメルーン

CAMEROON

「インダミテーブル・ライオンズ(不屈の獅子)」の愛称を持つアフリカの強豪。ワールドカップではベスト8を実現し、日本でもお馴染みのエムボマ（元ガンバ大阪、現在はセリエA・パルマ所属）など身体能力の高い選手を多く抱えている。フランス大会ではグループリーグ突破は果たせなかったが、ここ最近の代表マッチでは好成績を残している。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ブカユ	GK	182	右	13	17	17	14	15	15	16	17	13	14	13	16	12	13	13	14.5	17	16
6 ヌジャンナ	CB	176	右	14	17	17	17	17	16	16	17	16	16	15	16	15	16	14	15.9	14	20
5 カヤ	CB	192	右	15	17	18	18	17	17	15	16	16	15	16	16	15	16	15	16.1	15	20
4 ソンブ	CB	177	右	15	16	16	17	18	16	16	18	16	16	15	16	14	16	14	15.9	16	22
17 フォレ	DH	190	右	16	16	18	18	16	16	15	17	16	15	16	16	15	16	15	16.1	15	20
3 ウォネ	SH	181	左	16	15	17	17	18	17	16	16	15	16	17	16	16	17	15	16.3	18	22
8 ヌジタック	SH	180	右	17	14	17	18	17	17	16	17	16	17	16	16	15	16	15	16.3	17	20
20 オレンデ	OH	177	左	17	13	16	17	17	16	15	17	17	17	17	18	16	17	17	16.5	17	18
12 マイナー	OH	182	右	16	14	17	17	17	16	15	16	16	17	16	16	16	16	15	16.0	16	20
9 エトモ	CF	180	右	17	12	16	16	17	17	16	17	17	17	17	17	17	16	15	16.3	17	20
10 エムボマ	CF	185	左	18	12	18	16	18	17	17	17	18	18	16	18	17	18	17	17.0	18	28
16 ペンチー・ヒロンク	CB	190	右	14	17	19	17	16	15	15	17	17	15	15	17	14	16	14	15.9	15	18
2 エマンガ	SB	171	右	16	15	16	17	17	17	15	18	17	16	15	16	15	16	15	16.1	17	18
18 エタネ	SB	180	右	17	14	16	17	18	16	15	17	17	17	16	17	16	17	16	16.4	18	20
13 メルトモ	DH	183	右	15	16	17	16	16	16	16	16	16	16	15	17	15	15	14	15.7	15	18
7 チュタンム	SH	172	右	16	14	16	18	17	17	16	17	15	17	15	16	15	17	15	16.1	17	18
15 ヌト	SH	194	右	17	16	18	18	17	16	16	17	16	17	17	17	17	18	15	16.8	16	20
19 アンキベー	OH	192	右	16	17	17	17	16	16	15	16	16	16	16	17	16	16	15	16.1	15	18
11 ヌディレフィー	CF	180	右	17	13	17	17	16	17	16	17	15	17	16	16	17	17	16	16.3	16	18
14 シノ	CF	176	右	17	13	16	17	19	17	17	19	16	16	15	17	16	16	15	16.4	17	18
21 ジョフ	CF	178	右	17	13	16	16	18	17	17	19	17	17	16	16	16	16	16	16.5	17	24
22 ソンボ	GK	182	右	13	18	18	14	16	16	18	18	14	15	14	17	13	13	13	15.3	16	22
スタメン能力平均		182.0		15.8	14.8	17.0	16.8	17.0	16.4	15.7	16.8	16.0	16.2	15.8	16.5	15.3	16.1	15.0	16.1	16.4	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●控え選手の起用が勝利へカギ

スターティングメンバーの能力はもちろん、控え選手の層の厚さがチームの強み。選手の調子を見て、スタメンを決めていこう。攻撃の中心はCFのエムポマ。スピード、テクニック、ドリブルなどの能力が高く、ドリブルでの中央突破やゴール前への飛び出し、ミドルシュートなど多彩な攻撃パターンが期待できる。スタミナに少し難はあるが、控えにはシノ、ジョフなど能力の高いFWが揃っているので、前半から飛ばしていこう。守備の中心はCBのカヤ。長身を生かしたディフェンスでゴールを守る。

応用戦術

●エースをOHにコンバート

エースストライカーのエムポマをOHに起用し、彼のキープ力とスピードを生かす布陣。WGにスピードのあるシノとジョフを起用して、積極的にサイドから攻撃をしかけていこう。中盤のエムポマ、ウォネ、エタネの3人は攻撃意識を高めて、2列目からの攻撃を強化する。広く空いたスペースはDHのヌトが埋める。

VS CPU

スピードの高さに注意しよう

ディフェンス陣もオフェンス陣もスピードが特徴のチーム。不用意なプレスをしかけると、ボールをキープされ、突破される危険がある。一旦抜かれてしまうと追いつくのは難しく、大きなピンチを招きかねない。単独でのダッシュプレスなどは控えたほうがいいだろう。CFのエムポマがチーム最大の得点源なので、ディフェンスに自信がない人はマンマーク設定をして守備を固めよう。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

南アフリカ

SOUTH AFRICA

30年という長い期間、人種差別政策の影響で国際舞台への出場権を剥奪されていた。1992年の復帰以後、身体能力を生かしたサッカーで頭角を現し、4年後にはアフリカ・ネーションズカップで優勝。コンビネーションに課題はあるが、潜在能力の高さは証明された。1998年までは、現日本代表監督トルシエ氏が指揮を取っていたことでも有名。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
22 アテンツァ	GK	180	右	13	17	16	13	15	15	14	16	13	14	14	16	13	13	12	14.3	15	16
4 ラデーゲ	CB	183	右	16	18	18	18	17	16	15	16	17	16	15	16	15	16	15	16.3	15	20
5 フィッス	CB	194	左	14	17	17	16	16	15	16	16	16	15	14	16	14	15	14	15.4	14	18
15 イツサ	CB	195	右	15	17	18	17	16	16	16	17	16	16	15	17	15	15	14	16.0	16	18
21 ティンムラー	DH	183	右	15	16	17	16	16	16	15	16	17	16	15	16	15	16	15	15.8	15	18
11 ムカエレ	SB	175	左	17	15	15	18	17	15	17	17	15	16	16	16	15	16	15	16.0	16	20
19 ヌドゲ	SH	175	右	16	16	16	17	16	17	16	17	16	17	16	16	16	16	16	16.3	16	18
7 フォーキュン	SH	180	右	16	16	17	17	17	16	16	17	17	17	16	17	16	17	16	16.5	15	24
10 モチュー	OH	177	右	17	14	16	16	17	17	16	18	16	18	18	16	17	18	17	16.7	17	22
9 バーツレット	CF	188	右	17	13	17	17	17	17	17	17	17	17	16	17	17	17	15	16.5	17	20
16 ベン・マカティン	CF	180	右	17	13	16	17	18	17	17	18	17	17	17	18	18	18	16	16.9	19	24
2 ムンクニ	CB	170	右	16	17	16	17	16	16	16	17	16	15	14	16	14	16	14	15.7	16	18
3 スロエモン	CB	182	右	14	16	17	17	16	15	15	16	17	15	15	16	15	15	14	15.5	14	16
20 フィニー	DH	174	右	16	16	16	17	17	17	16	17	16	16	15	17	16	17	15	16.3	16	16
8 ムンゴトキ	SH	177	右	15	15	16	16	17	17	15	16	16	16	16	16	15	16	15	15.8	16	16
18 バベラ	SH	177	右	16	14	16	17	17	16	16	17	16	15	15	17	16	17	14	15.9	16	16
13 バッケイ	OH	175	右	16	15	16	17	16	16	15	17	15	16	15	17	14	16	16	15.8	17	16
12 オガステン	OH	174	右	17	14	16	18	17	16	16	17	16	16	16	16	16	17	16	16.3	16	18
14 ヌドガラ	CF	180	右	16	13	17	16	16	15	15	16	16	17	17	16	16	16	16	15.9	16	18
6 マジンガ	CF	187	右	18	12	18	16	17	17	17	18	18	17	16	18	18	17	14	16.7	18	26
17 ノンベネ	CF	169	右	17	13	16	18	18	18	17	18	16	16	16	16	16	16	15	16.4	17	20
1 フォンツ	GK	190	右	13	17	18	14	15	16	16	17	14	14	14	16	13	13	13	14.9	16	14
スタメン能力平均		182.7		15.7	15.6	16.6	16.5	16.5	16.1	15.9	16.8	16.1	16.3	15.6	16.5	15.5	16.1	15.0	16.1	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●モチューからのパスで決定的チャンスを

ツートップのベン・マカティンとバーツレットの破壊力が驚異。そこにテクニックとパス精度の能力が高いモチューが絡むことで、さらに得点力をアップしている。前線にはドリブル、テクニック、スピードの能力が高い選手が多いので、中央突破などの作戦も有効だ。守備陣には長身の選手が多く、ハイボールに対して強さを発揮する。防御力、当たりにも優れ、ゴール前の混戦にも強い。CBはサイドからの攻撃に引きずられないように注意しよう。

応用戦術

●攻撃意識を高めて攻撃パターンを増やす

SBのノンベネ、フィニー、OHのバーツレットの3人の攻撃意識を高めて、より攻撃的なフォーメーションを構成。SBの2人は積極的にサイドアタックを狙い、バーツレットは中央からゴールを狙う。攻撃の起点になるモチューは中盤の要の選手。上がりすぎないようにポジションを少し下げておこう。

5-3-2A

VS CPU

長身ディフェンス陣の裏を狙え

南アフリカのCBは身長が高く、当たりに強い選手が多い。普通にセンタリングを上げていても、跳ね返される可能性が高い。やはり、ディフェンスの裏を狙うスルーパスが有効だろう。南アフリカは、パス精度の低い選手が多い。ボールを奪いにいくときは、無理なプレスはしかけずに、パスコースを消しながら近づき、パスカットを狙う。ボールを奪ったら、速攻をしかけよう。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

アメリカ

UNITED STATES

国自体がサッカーに興味が薄いという弱点もあるが、ここ数年で着実に実力をつけてきたアメリカ。ワールドカップにも1990年から三大会連続（イタリア、アメリカ、フランス大会）で出場を果たしており、北中米カリブ海地区ではメキシコにつぐ強国といえるだろう。最近ではチリを1-2、アルゼンチンに1-0で勝利するなど好調を維持している。

DEFAULT FORMATION 5-3-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	ゾーンプレス
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 メノラ	GK	186	右	13	17	16	13	16	15	17	17	15	14	13	16	14	13	13	14.8	17	14
6 レジフ	CB	178	右	15	17	16	17	17	16	16	17	15	15	14	16	14	16	14	15.7	15	18
4 フレイツァー	CB	186	右	14	17	17	15	15	15	15	16	16	15	15	15	14	15	15	15.3	14	16
23 ポーフ	CB	186	右	17	14	18	18	17	16	17	17	17	15	15	16	15	16	15	16.2	16	22
13 ジョーンス	SB	170	右	16	14	16	17	17	16	16	16	16	16	16	15	16	18	17	16.1	16	20
2 ヘズク	SB	174	右	17	14	16	16	18	17	17	17	15	16	16	16	15	17	14	16.1	18	22
15 ディーミング	DH	185	右	15	16	17	16	16	15	15	16	16	16	16	16	15	16	15	15.7	15	18
7 ルイツ	OH	177	右	16	15	16	17	17	17	16	17	17	17	16	17	16	17	16	16.5	17	20
14 アーナス	OH	171	右	16	15	16	16	16	16	16	15	16	16	16	16	16	17	16	15.9	16	16
9 キロムスキ	CF	180	右	17	14	17	17	17	17	17	16	16	17	17	16	17	17	17	16.6	17	24
20 マクブライト	CF	186	右	16	13	17	16	17	16	18	17	17	17	16	17	18	16	15	16.4	17	22
5 ブナウン	CB	183	右	14	16	17	17	16	16	16	18	16	15	14	17	14	15	14	15.7	15	16
3 バーバルラー	CB	186	右	14	16	17	17	16	16	15	17	16	15	15	16	15	15	14	15.6	15	18
12 リアノサ	SB	181	右	15	17	16	16	16	17	15	16	15	16	15	15	15	16	15	15.7	14	16
19 オルヘン	OH	173	右	15	16	15	16	16	15	16	16	15	15	15	15	16	16	15	15.5	15	16
8 オブライツ	SH	173	右	16	14	16	17	17	16	16	16	15	16	15	17	15	17	15	15.9	17	18
10 レイマ	OH	178	右	16	14	16	16	16	15	15	15	16	17	17	16	16	16	17	15.9	16	18
21 ウィリアン	OH	166	右	17	14	15	17	17	17	16	18	17	16	15	17	17	17	14	16.3	17	18
25 ラティハー	CF	173	右	17	13	16	17	17	17	17	17	16	16	15	17	16	16	15	16.1	18	18
11 ウィナルタ	CF	185	右	18	13	17	17	17	16	17	17	18	17	16	17	17	18	16	16.7	17	22
22 ラゾス	CF	186	右	17	13	17	17	17	15	16	16	16	16	15	16	16	16	14	15.8	16	16
18 ケマー	GK	188	右	13	17	18	13	12	16	18	17	13	13	13	16	13	13	16	14.7	15	16
スタメン能力平均		179.9		15.6	15.1	16.5	16.2	16.6	16.0	16.4	16.5	16.0	15.8	15.5	16.0	15.5	16.2	15.2	15.9	16.2	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●ヘズクのサイドアタックを活かす

攻撃陣で目立つのは、ツートップのキロムスキとマクブライト。しかし、彼らへパスを供給する中盤にタレントが不足している。前線にボールを送る役目は、SBのヘズクに任せたほうがいいだろう。ヘズクは、スピードと攻撃力に優れた選手で、サイドアタックを得意としている。右サイドからのセンタリング機会が増えるだろう。守備の中心はCBのポーフ。スタミナ、スピード、当たりの能力が高く、ゴール前での混戦や相手FWとの1対1で力を発揮する。身長も高いので、セットプレイなどでも活躍が期待できる。

応用戦術

●中盤を厚くして攻撃力をUP

SBのジョーンスとヘズクをSHに起用し、サイドからの攻撃力を生かしつつ、中盤に厚みを持たせる。攻撃意識を高めることでさらに攻撃力がアップするはず。OHにはパス精度の高いキロムスキを起用してゲームメイクをさせる。キロムスキの抜けたCFには、控えのウィナルタを起用しよう。

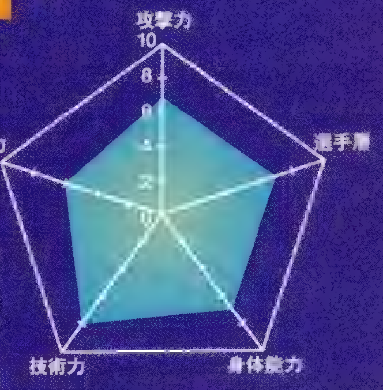
3-5-2B

VS CPU

中盤でボールをキープしチャンスメイク

アメリカの弱点は中盤にある。パス精度の低い選手が多いので、普通に戦えば有利に試合を進められる。ただ、相手のディフェンスラインはしっかりしているので、中盤でボールをキープしながら焦らず攻撃を組み立てよう。守備時に警戒したいのは左右の両サイド。スピードがあり、ドリブルが得意なSBジョーンスとヘズクのオーバーラップは要注意だ。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

メキシコ

MEXICO

メキシコは、過去11回のワールドカップに出場している北中米の強豪（2回、ベスト8に進出）。体格や身体能力が高いとはいえないが、それを補う個人技と組織力には定評がある。170cmに満たない身長ながら、抜群のセンスでゴールを死守するGKカンポスや、抜群の得点能力を誇るエルナンデスなど、個性的で魅力あるタレントを多く揃えている。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	カウンターアタック
○	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 カンポス	GK	168	右	13	19	16	17	17	18	19	19	15	16	16	17	16	17	15	16.7	18	22
5 ダビーヨ	CB	180	右	14	17	17	17	16	15	17	16	16	16	15	16	14	15	14	15.7	14	18
2 スナレス	CB	181	右	14	17	17	16	16	17	16	17	17	15	15	15	15	15	14	15.7	14	20
4 マルエツ	CB	182	右	15	17	17	17	16	16	16	16	16	16	15	16	15	15	15	15.9	15	20
14 ビザ	DH	171	右	15	17	16	18	17	15	16	17	15	16	16	16	15	16	15	16.0	15	18
7 ラノン・ラニエス	SH	172	左	17	15	15	17	18	18	17	17	16	17	17	18	17	17	16	16.8	18	24
13 パルボ	SH	174	右	17	15	16	17	17	16	16	16	15	16	16	16	16	16	15	16.0	17	18
17 パレンチア	OH	173	右	17	14	16	17	17	17	16	17	17	17	17	16	16	17	16	16.5	18	22
19 ゼペタ	SH	178	右	16	14	17	17	17	16	17	17	16	16	16	17	16	17	15	16.3	17	18
10 ブラント	CF	177	右	17	13	16	18	17	17	19	18	17	18	17	16	17	16	15	16.7	16	24
15 エルマンデス	CF	175	右	18	13	17	17	18	17	18	17	17	17	16	17	18	18	17	17.0	17	28
16 メンヒス	CB	185	右	14	16	17	16	17	15	16	16	17	15	14	16	14	15	13	15.4	14	16
3 アルマネラ	SB	179	左	17	15	17	18	17	17	17	16	15	16	15	18	16	17	14	16.3	18	18
21 エストナーデ	SB	172	右	16	15	16	17	17	16	16	17	15	16	15	16	15	16	15	15.9	17	16
6 イゲイロ	DH	177	右	15	16	16	17	16	15	15	15	16	16	16	17	15	16	14	15.7	15	18
18 トラーダ	DH	180	右	16	16	17	16	16	15	15	16	17	16	16	16	16	16	15	15.9	16	18
8 ロドリゴ	OH	174	右	17	14	16	17	17	17	17	16	16	17	17	16	16	17	16	16.4	17	18
20 アレザノ	OH	172	右	16	14	15	17	18	17	16	17	17	17	17	17	17	17	17	16.6	18	20
9 モレ	OH	178	右	17	14	16	18	17	16	17	16	15	17	17	16	16	17	15	16.3	16	18
11 オスロモ	CF	175	右	17	13	16	17	17	17	17	17	16	16	16	17	17	16	14	16.2	17	18
22 アバンテス	CF	179	右	17	13	16	17	16	17	16	17	17	16	15	17	17	16	14	16.1	17	20
12 ペネス	GK	171	右	13	17	16	16	16	17	17	17	14	15	15	16	14	14	13	15.3	15	14
スタメン能力平均		175.5		15.7	15.5	16.4	17.1	16.9	16.5	17.0	17.0	16.1	16.4	16.0	16.4	15.9	16.3	15.2	16.3	16.3	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

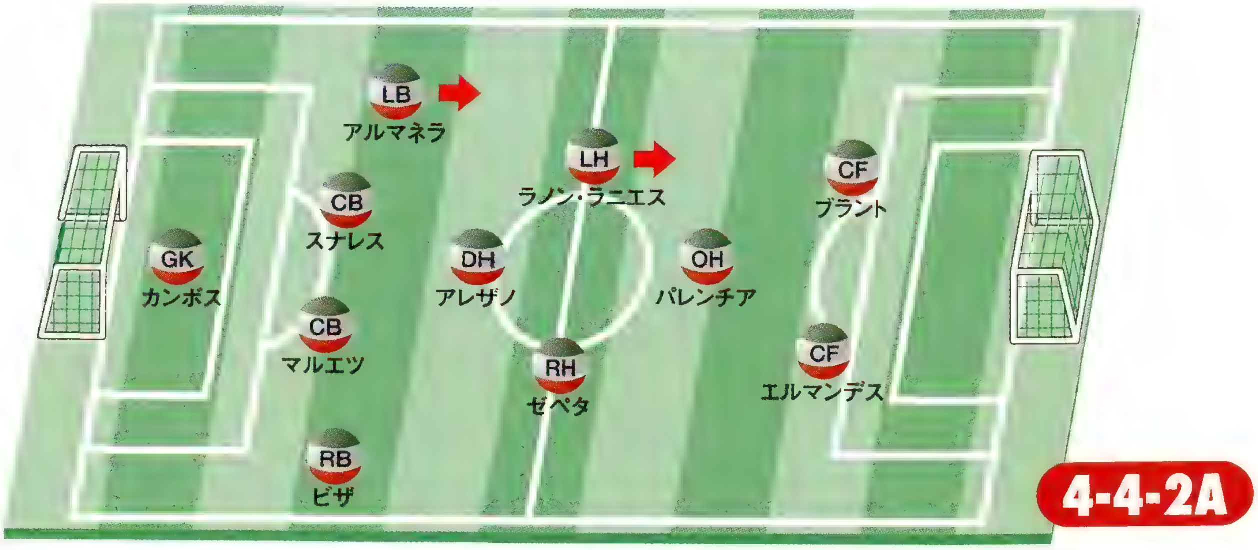
●ツートップの爆発力に期待

メキシコのブラントとエルマンデスはスピードとレスポンスの数値が高い選手。身長は低いが、ゴール前への飛び出しと、決定力の高さで得点を狙う。テクニックとドリブルも得意なので、フィニッシュだけでなく、チャンスメイクもできる。サイド攻撃はSHのラノン・ラニエスが担当。素早い突破からのセンタリングやミドルレンジからのシュートで得点チャンスを作っていく。GKのカンポスは、ハイボールに弱点があるが、前への飛び出しは素早い。ピンチには思い切って前に出そう。

応用戦術

●左サイドから怒濤の攻撃をしかける

LBにアルマネラ、LHにラノン・ラニエスを起用し、左サイドからの攻撃機会を増やす。この2人でワンツーパスを行い、スペースを突くサイド攻撃をしかけたい。さらに、攻撃意識を高めることで、サイド突破の意識を徹底させよう。左サイドが超攻撃的なので、右サイドの選手は攻撃参加をなるべく控え、守備に専念。

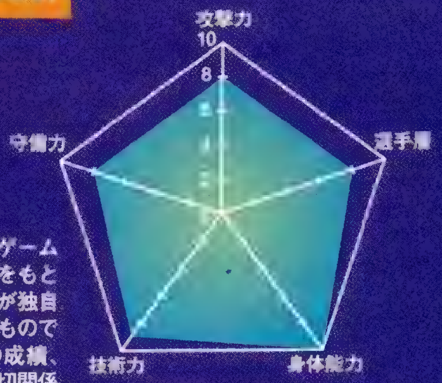


VS CPU

オフサイドトラップの使い方に注意

メキシコのツートップは反応速度に優れているので、スルーパスに注意。特にスリーバックでオフサイドを狙うチームは、しかけるタイミングを間違うと完全にフリーの状態を作ってしまう。作戦の実行は慎重に。また、攻撃時のポイントはゴール前へのセンタリング。キーパーを含めて、ディフェンス陣はハイボールに弱いので積極的にボールをゴール前へ放り込みたい。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ジャマイカ

JAMAICA

1998年のフランスワールドカップに初出場を果たした「レゲエボーイズ」。イングランドのジャマイカ系選手を帰化させるなど、国を挙げての強化策が成功し、着実に力をつけてきている。身体能力の高さは魅力だが、大量失点を許すことも多く、試合内容にムラがあるのも気になる。コンビネーションなどの戦術面を強化して、さらなる進化に期待したい。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	カウンターアタック
○	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
13 ロレンツ	GK	186	右	13	16	18	15	16	16	16	17	13	14	14	16	12	13	13	14.8	17	14
31 ロン	CB	188	左	16	16	18	17	17	16	15	18	16	16	15	17	16	16	15	16.3	16	16
5 グディスン	CB	188	右	14	16	18	17	16	16	17	16	15	15	14	16	14	15	14	15.5	15	16
16 デイヴィー	CB	180	右	15	16	17	17	17	15	15	16	16	16	15	16	15	16	14	15.7	16	16
3 ドーツ	DH	180	右	16	15	17	17	17	16	15	16	15	16	15	16	15	16	15	15.8	15	16
7 グリーヴス	SH	179	右	16	14	16	17	16	17	16	17	16	15	16	16	16	17	15	16.0	16	16
19 シンクメア	SB	175	左	15	15	16	16	17	17	16	16	16	15	15	16	14	16	14	15.6	16	16
11 ウィットノア	OH	186	右	17	14	17	18	17	17	17	17	15	17	17	18	17	18	15	16.7	17	20
6 シンフソン	OH	174	左	15	16	15	17	17	16	16	16	16	16	17	16	15	16	15	15.9	16	18
22 ホーム	CF	173	右	16	13	16	16	17	17	17	18	17	16	16	17	16	17	14	16.2	17	18
8 ゲイム	CF	185	左	17	13	17	17	18	17	17	16	17	17	16	17	17	16	15	16.5	18	20
4 ディフソン	CB	180	右	14	16	17	17	16	17	16	17	15	15	14	16	14	16	14	15.6	15	16
14 スメル	DH	178	右	15	16	16	16	17	16	15	16	16	16	15	16	15	16	15	15.7	15	16
12 ペトラーキン	DH	183	右	15	16	17	16	16	15	16	16	17	16	15	17	15	15	14	15.7	16	16
17 マルコン	SH	164	右	17	14	15	17	18	17	16	17	16	16	16	16	16	16	16	16.2	16	18
15 ガーデマー	SH	188	左	16	15	18	17	18	16	17	16	15	15	15	17	16	17	15	16.2	17	18
20 パウネル	OH	182	右	16	13	17	17	17	16	16	17	17	16	16	17	15	17	15	16.1	16	18
10 フロー	OH	177	右	16	14	16	16	16	16	15	17	15	17	16	16	16	17	16	15.9	16	16
9 ボイト	CF	183	右	16	13	17	16	17	16	16	18	16	16	15	17	16	16	15	16.0	17	18
18 バーノン	CF	177	右	17	13	16	17	18	16	17	17	17	17	16	17	17	17	16	16.5	18	20
2 グリーユ	WG	175	右	17	13	16	17	17	17	17	17	16	16	15	17	16	16	14	16.1	17	16
30 リケップ	GK	198	右	13	16	19	15	16	17	17	16	13	13	14	16	12	13	13	14.9	16	12
スタメン能力平均		181.3		15.5	14.9	16.8	16.7	16.8	16.4	16.1	16.6	15.6	15.7	15.5	16.5	15.2	16.0	14.5	15.9	16.3	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●ウィットノアを攻撃の起点に

攻撃の起点になるのはOHのウィットノア。すべての能力が平均的に高く、なかでもドリブルとシュート力が魅力。中央で相手のディフェンスを崩し、スルーパスやミドルシュートでアシストと得点の両方を狙っていく。ツートップのホームとゲイムはスピードが武器の選手。フライスルーなどでディフェンスの裏にボールを出し、得点を狙わせよう。ディフェンス陣はキーパーを含めて、当たりの強い選手が多い。プレスを積極的にしかけてボールを奪いたい。

応用戦術

●DFの人数を増やして安定感を増す

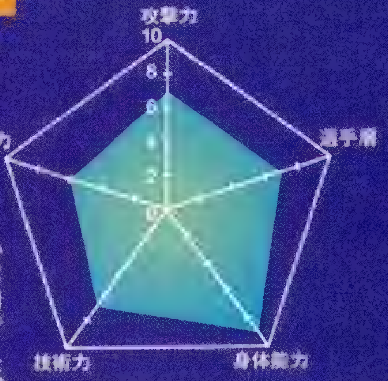
ディフェンダーの人数を4人にして、安定感を増すフォーメーション。SBの2人は、攻撃参加させずに、相手のサイドアタックに対応させるため、攻撃意識をディフェンシブにしておこう。ホームはOHとして起用するが、役割はFWになる。攻撃意識を高めて、ポジションも少し前に移動しておこう。

VS CPU

ウィットノアのミドルシュートに注意

やはり、注意したいのはOHのウィットノア。ゲームメイクだけでなく、強力なミドルシュートで得点も狙ってくる。彼にボールが渡ったら、ゴール前を大きく空けないように注意しよう。相手のツートップは、スピードと反応速度で勝負するFWだ。ルーズボールに対する反応も速いので、ゴール前でのこぼれ球は失点に結びつく可能性が高い。素早くカーソルチェンジをして大きく蹴り出そう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

コロンビア

COLOMBIA

南米で、ブラジル、アルゼンチンに続くサッカー強豪国。レベルの高い南米ワールドカップ予選では、予選敗退を喫することも多かったが、ここ3回は連続出場を果たしている。2002年のワールドカップ予選でも順調に勝ち星を重ね、アルゼンチンに続き2位(2000年9月末日現在)と好位置をキープ。4大会連続の出場は間違いなさそうだ。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	ゾーンディフェンス
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 オスター・コルドナ	GK	185	右	13	17	17	14	15	16	17	17	13	14	14	17	13	13	13	14.9	16	18
5 ベルムテス	CB	190	右	14	17	18	17	17	16	17	16	17	16	15	16	14	15	14	15.9	14	18
2 イナン・コルドナ	CB	175	右	14	18	17	16	17	16	18	17	16	15	14	16	14	15	14	15.8	14	22
15 マルチレス	SB	175	右	16	15	16	17	17	16	16	17	16	15	16	16	15	17	15	16.0	17	16
3 ジェペル	SB	175	右	15	16	16	18	17	17	16	15	16	15	15	16	15	16	14	15.8	16	18
4 ビベラス	DH	180	左	16	16	17	17	16	16	16	16	16	16	16	17	16	17	15	16.2	16	18
21 ボラーロ	SH	174	右	16	15	16	18	16	16	16	17	16	16	16	17	15	16	15	16.1	17	18
8 オヴェート	SH	185	右	16	14	17	16	17	16	16	16	17	16	17	16	16	17	16	16.2	16	22
19 リントン	OH	185	右	16	14	17	15	17	16	15	17	16	17	17	16	16	17	17	16.2	17	24
18 リカルト	CF	183	右	17	13	17	16	17	16	17	17	16	17	16	17	17	16	15	16.3	17	20
9 アンケル	CF	183	右	17	13	16	17	18	17	17	16	16	17	17	18	17	17	16	16.6	17	28
13 コルロナ	CB	184	右	13	16	17	16	16	15	16	16	17	15	15	16	14	15	14	15.4	15	16
14 モレロ	SB	177	左	16	15	16	17	16	16	16	16	15	15	15	16	15	16	15	15.7	16	16
12 ロサーモ	DH	191	右	16	16	18	17	16	16	15	16	16	16	16	17	16	16	15	16.1	15	16
6 ディラス	DH	177	右	15	16	17	18	16	16	16	17	17	16	16	16	15	16	15	16.1	16	18
10 モナンテス	OH	178	左	17	14	17	17	17	16	16	18	16	18	18	17	17	18	17	16.9	17	22
17 モンターヨ	OH	173	右	17	14	16	17	17	16	17	17	16	17	17	17	16	17	16	16.5	17	24
16 ベタンカード	OH	178	右	16	14	17	17	16	17	17	16	15	18	17	16	17	17	17	16.5	17	22
7 マツラマ	CF	174	右	16	14	16	17	17	17	16	17	16	17	15	17	17	16	14	16.1	18	18
11 カスティヨ	CF	180	右	17	13	17	16	16	16	17	16	17	17	16	16	17	17	15	16.2	16	20
20 コンボ	CF	181	右	18	13	17	17	17	17	17	17	17	16	16	17	17	17	14	16.5	17	20
22 モントラゴン	GK	191	右	13	17	18	14	15	16	17	17	17	15	15	16	14	13	13	15.3	16	16
スタメン能力平均		180.9		15.5	15.3	16.7	16.5	16.7	16.2	16.5	16.5	15.9	15.8	15.7	16.5	15.3	16.0	14.9	16.0	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●アンケルにボールを集めよう

攻撃の中心はエースストライカーのアンケル。スピードがあり、シュート力、シュート精度の高い選手だ。ドリブル突破や、ミドルシュートを狙いたい。中盤の軸になるのはOHのリントン。テクニックとパス精度の高さを生かしてゲームをコントロールする。ただ、スタミナの能力が低いので、後半からはモナンテスを起用してもいい。SBのマルチレスとジェペルはサイドアタックが魅力の選手。スタミナ、スピード、加速力に優れているので、積極的に攻撃参加をさせていこう。

応用戦術

●サイドアタックを有効に使う

SBの2人が攻撃的な選手なので、守備を安定させるためにDFの人数を増やす。守備に自信がない人は、CBのベルムテスをSWにしてゴール前を固めよう。OHとCFには控えの選手を起用して攻撃力を強化した。GKは長身で、当たりの能力が高いモントラゴンをスタメンに起用しよう。

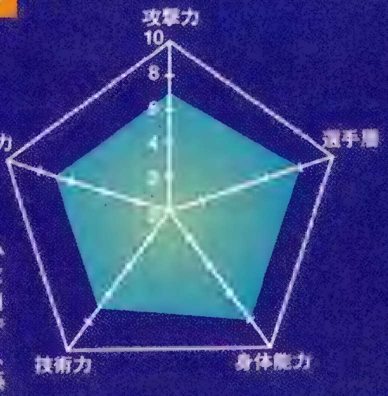
5-3-2A

VS CPU

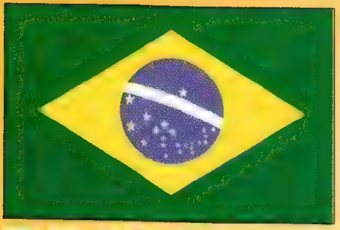
選手交代が少ないCPU戦は有利!?

コロンビアは、スタメンよりも控え選手に能力の高い選手が多い変わったチーム。CPUは、あまり選手交代をしてこないので、これは有利な条件になる。ただし、SBのオーバーラップには注意したい。スピードがあるので、守備の人数が揃う前にサイドを突破されると危険だ。ディフェンス陣はベルムテスを中心に当たりの強い選手が多い。サイドから崩してセンタリングを多く入れていこう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



ブラジル

BRAZIL

過去に開催されたワールドカップ16大会に、唯一連続出場を果たしているブラジル。優勝回数も最多の4回を誇り、自他共に認めるサッカー大国である。しかし、2002年ワールドカップ南米予選では、周囲の予想に反して苦戦を強いられている。ただ、注目カードとなったアルゼンチン戦では完勝して、復調の兆しを見せた。今後の巻き返しに期待したい。

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	ゾーンディフェンス
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ジーラ	GK	196	右	13	18	19	14	16	16	19	17	15	15	14	15	14	14	13	15.5	16	22
4 アウダニール	CB	183	右	15	17	17	16	16	15	16	17	17	16	15	17	15	15	14	15.9	15	24
3 ザーボ	CB	185	右	14	17	17	16	16	16	17	17	16	16	15	16	15	15	14	15.8	14	22
6 ロベウト・カウロス	SB	168	左	17	16	16	18	19	18	17	19	16	17	17	19	17	17	18	17.4	18	36
2 カシュー	SB	175	右	17	16	16	18	18	17	17	16	16	17	17	18	16	17	16	16.8	17	30
5 サンパイロ	DH	177	右	15	16	17	17	16	16	16	17	18	16	16	16	15	16	16	16.2	15	22
8 エメウソン	DH	179	右	16	16	17	17	17	16	16	17	18	17	17	16	16	17	16	16.6	16	28
10 リバルド	OH	186	左	17	14	18	17	18	17	17	17	17	18	18	18	18	18	17	17.3	17	46
15 ゼ・ロベウト	SH	172	左	16	16	16	17	17	16	17	17	16	16	17	16	16	18	14	16.3	17	24
19 エンベル	CF	182	右	18	13	17	17	18	17	18	17	17	17	16	17	18	17	15	16.8	17	32
7 アモローソ	CF	179	右	18	13	16	17	17	18	18	17	16	18	16	16	18	18	16	16.8	17	34
13 カカプ	CB	188	右	16	17	17	17	16	16	16	16	16	16	15	15	15	16	15	15.9	16	20
22 エバニウトン	SB	178	右	16	16	16	17	17	17	17	16	16	16	16	15	15	17	15	16.1	16	20
14 フラシオ・コルセイソ	DH	180	右	16	15	17	18	16	16	15	17	16	16	16	17	16	16	15	16.1	16	22
21 バンペイダ	DH	182	右	15	17	17	17	16	16	15	16	16	17	17	16	15	16	16	16.1	15	22
17 アネックス	OH	174	左	17	14	16	16	17	16	17	17	16	18	18	16	17	18	16	16.6	17	24
16 エムウー	OH	182	右	17	15	16	16	16	16	16	16	15	16	16	16	17	17	15	16.0	17	20
18 エジウトン	CF	167	右	17	13	16	17	18	18	18	17	16	17	16	16	17	19	15	16.7	18	24
20 デニウトン	WG	178	左	18	13	17	17	18	17	17	16	17	18	16	17	17	18	17	16.9	18	28
11 フランタ	CF	171	右	17	14	16	18	17	17	18	18	17	17	17	16	17	17	16	16.8	16	24
9 ロナルド	CF	180	右	19	12	17	16	19	18	17	17	16	19	17	18	18	19	15	17.1	18	50
12 マルクス	GK	193	右	13	17	18	13	15	16	17	17	14	14	13	16	13	13	14	14.9	15	20
スタメン能力平均		180.2		16.0	15.6	16.9	16.7	17.1	16.5	17.1	17.1	16.5	16.6	16.2	16.7	16.2	16.5	15.4	16.5	16.3	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●世界NO.1の破壊力で相手をねじ伏せろ!

スタメン、控えの両方に豊富なタレントを揃えるブラジル。得点感覚に優れたエンベル、アモローソのツートップ、正確なパスとミドルシュートを得意とするOHのリバルドなど攻撃陣は世界有数の実力者ばかり。また、SBのロベウト・カウロスは、サイドアタックからのセンタリングと強力なロングシュートが武器だ。その攻撃陣に比べて弱く感じる守備陣だが、決してレベルは低くない。CBのアウダニールとザーボ、DHにはカシュー、サンパイロとバランスのとれた選手が揃っている。

応用戦術

●超攻撃的なフォーメーションで勝負

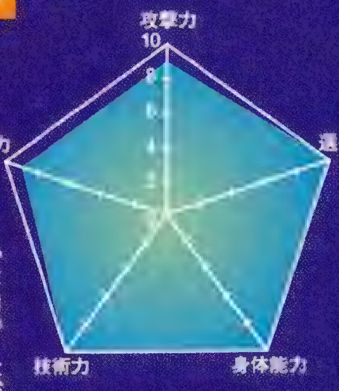
とにかく能力の高い選手が多く、攻撃するのが楽しいチーム。控えにも優秀なFWが揃っているので、遊ばせておく必要はないだろう。スリートップにして、さらに攻撃力を強化していこう。SBのロベウト・カウロスは、トップ下にポジションをチェンジして攻撃力の高さとシュート力を生かす。

VS CPU

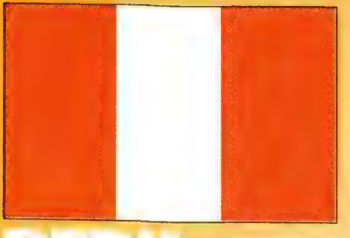
守りを固めてカウンターサッカーで対抗

チームの能力が突出しているため、普通に対抗したのでは勝利は難しい「むずかしい」レベルの攻撃力は驚異。特にチーム力に差がある場合は、DFの人数を増やすなど、守りを固める必要がある。得点チャンスは相手のSBが攻撃参加をしたときに訪れる。素早いチェックでボールを奪い、相手DFが戻りきる前にサイドを突破して、センタリングを上げていこう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



ペルー

PERU

1970年代に黄金期を迎えたが、その後は低迷が続くペルー。チーム力は決して低くないが、隣国に強豪がひしめく南米では下位グループに属してしまう。攻撃陣には、パラシオス、マエストリ、ピサーロなどタレントが揃っているだけに、現在の状況には物足りなさを感じる。2002年ワールドカップ南米予選でも苦戦が続き、本大会出場は難しそうだ。

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

DEFAULT STRATEGY

△	センターアタック	□	ゾーンディフェンス
○	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

選手データ	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 イバレス	GK	186	右	12	17	18	14	15	16	16	17	14	14	14	16	13	13	12	14.7	14	14
3 レボッチオ	CB	173	右	15	17	16	16	17	16	17	16	16	15	14	16	14	15	13	15.5	14	18
5 パレロ	CB	180	右	16	16	17	16	16	16	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16.0	15	16
4 オリバラス	CB	175	右	16	14	16	16	16	17	15	16	15	15	15	16	15	17	14	15.5	18	14
14 ホルケ・ソノ	SB	178	右	15	17	16	17	17	17	17	17	16	16	16	17	15	17	15	16.3	17	20
20 デウ・ソナール	DH	187	左	16	15	17	16	16	15	16	15	15	16	16	16	16	16	17	15.9	15	18
8 ヤオ	DH	170	右	15	16	15	18	17	17	15	16	17	17	17	17	15	17	15	16.3	16	20
7 ソマーノ	SH	177	右	17	14	16	18	18	17	15	18	16	17	18	17	16	18	16	16.7	18	24
10 パナシオス	OH	176	右	17	14	15	17	17	16	16	17	17	18	18	17	17	18	17	16.7	17	24
15 ズニーラ	OH	178	右	17	14	16	16	16	17	16	16	17	16	17	17	16	16	15	16.1	16	20
9 ピサノ	CF	184	両	17	13	17	17	18	17	17	16	17	18	17	18	17	17	15	16.7	17	26
6 ホセ・ソロ	CB	182	右	14	16	17	16	16	15	15	17	16	15	15	17	14	15	16	15.6	16	14
2 ウーナン	SB	179	右	16	14	17	16	17	16	16	16	15	16	15	15	15	16	14	15.6	17	16
12 ペレータ	DH	176	右	15	15	15	18	16	16	16	17	16	16	16	16	16	16	15	15.9	16	18
13 トーネス	DH	173	右	15	16	16	16	16	16	15	16	16	16	16	16	15	16	15	15.7	15	16
22 シウルミサ	SH	172	右	15	15	16	17	17	16	16	16	15	17	16	15	15	17	14	15.8	17	16
16 ソリナ	SH	175	右	16	15	16	17	17	15	17	16	15	16	15	16	15	17	15	15.9	17	20
19 メンドーカ	CF	182	右	18	13	16	17	17	17	16	17	17	17	16	17	17	16	16	16.5	18	20
18 マエストニ	CF	187	右	17	13	18	17	17	16	16	18	18	17	17	18	17	17	16	16.8	16	24
17 ロバソン	CF	175	右	17	14	16	17	16	17	17	16	16	16	15	17	17	16	14	16.1	18	20
11 ホルヘン	CF	180	右	17	13	17	16	17	17	17	16	17	17	16	16	17	16	15	16.3	17	20
21 ブトノン	GK	184	右	13	16	17	13	15	15	16	17	13	13	14	17	13	13	12	14.5	17	12
スタメン能力平均		178.5		15.7	15.2	16.3	16.5	16.6	16.5	15.9	16.4	16.0	16.2	16.2	16.6	15.5	16.4	15.0	16.1	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●控えのマエストニをスタメンに

中盤のパナシオスとソマーノが攻撃の起点となる選手。スピード、スタミナ、ドリブル、パス精度の能力に優れ、前線に決定的なパスや、ドリブル突破でチャンスを作っていく。また、シュート力を生かして、ミドルシュートも積極的に狙いたい。CFのスタメンには、ズニーラが入っているが、ここにはマエストニを起用したい。ピサノとコンビを組ませれば、ツートップの破壊力が格段にアップする。守備が弱いチームなので、DFの攻撃参加は控えたほうがいいだろう。

応用戦術

●2列目からの攻撃で得点を狙う

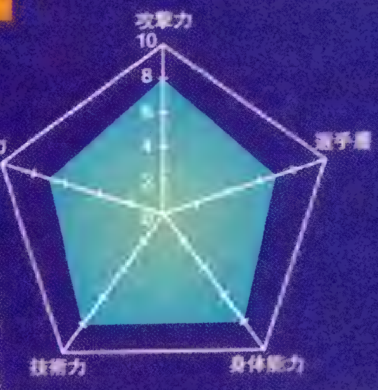
中盤に攻撃的な選手を揃えることで、2列目からの攻撃を強化するフォーメーション。ワントップだが、OH、SHの選手の攻撃意識を高めることで、攻撃力は大幅にアップしている。さらに攻撃力を高めたいときには、RBのホルケ・ソノの攻撃意識を高めて、サイドアタックをしかけていこう。

VS CPU

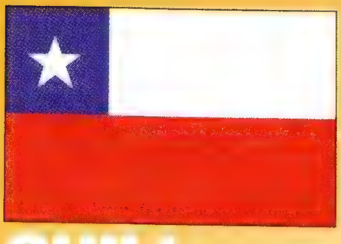
能力の高い攻撃陣に注意!

オフェンス能力の高い選手が多いので、守備時には注意が必要。特に得点力のあるパナシオスとピサノのコンビは要警戒だ。中盤には、シュート力の高い選手が揃っているのでミドルシュートにも注意すること。守備は弱いチームなので、点を奪うのはそれほど難しくないだろう。基本通りのスルーパスやセンタリングで相手デフェンスを崩していこう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



チリ

CHILI

世界に誇るFW、サモラーノとサラスを擁するチリは、超攻撃的なサッカーを展開するチーム。前回のワールドカップでは、そのカラーを存分に見せて予選リーグの突破に成功。ベスト16に進出した。2002年ワールドカップ南米予選では苦戦が続くも、上位との勝ち点差はわずか。今後の戦い方次第では4位以内も十分に狙えるポジションにつけている。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	□	カウンターアタック
●	センターアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 マウセロ・ラミエス	GK	185	右	13	17	18	15	16	16	17	17	13	13	13	16	13	13	13	14.9	16	18
6 レイネス	CB	184	右	14	17	17	17	16	16	16	17	17	15	15	16	15	15	14	15.8	14	20
5 マルカス	CB	185	右	14	16	18	16	16	15	16	16	16	15	15	18	16	15	14	15.7	14	18
4 コントルラス	SB	180	右	14	17	17	16	17	17	17	18	17	14	14	16	14	14	13	15.7	15	20
3 マルドラード	SB	173	右	16	15	15	17	17	16	16	17	15	15	15	16	15	17	15	15.8	17	20
8 クリス・アクーナ	DH	175	右	16	17	17	17	17	16	16	16	16	17	18	17	16	16	16	16.5	16	24
15 テービョ	SH	170	左	17	14	16	16	16	17	15	16	16	17	16	17	17	17	17	16.3	17	22
21 オラマサガル	SH	174	右	16	15	16	17	16	16	15	16	16	16	16	15	15	16	15	15.7	16	20
7 ピサーラ	OH	168	右	16	16	16	17	17	17	17	17	15	16	17	16	17	17	16	16.5	17	22
11 サマス	CF	174	左	19	12	17	18	18	17	19	19	18	17	17	18	18	18	16	17.4	18	32
9 サノラノ	CF	178	右	18	13	17	17	17	17	18	19	18	17	16	17	17	17	14	16.8	17	30
17 フエンデス	CB	175	右	16	16	16	16	17	15	16	15	15	16	16	16	16	16	15	15.8	17	18
14 ミケル・ラミエス	CB	174	右	15	16	16	17	16	16	15	17	16	15	15	17	14	15	14	15.6	15	16
19 バルケス	CB	181	右	14	17	17	17	16	15	16	16	16	15	14	16	15	15	14	15.5	15	18
18 ヴジャオール	SB	173	右	16	15	16	17	17	16	16	17	16	15	16	16	15	16	14	15.9	16	18
2 ロマス	SH	167	右	16	15	15	17	16	17	15	16	15	16	15	15	16	17	15	15.7	16	16
16 アノス	SH	178	右	16	15	16	18	17	16	16	15	16	15	16	16	15	16	14	15.8	16	16
20 エスナイ	OH	171	右	17	14	16	17	17	16	15	17	17	16	17	16	16	17	16	16.3	16	18
10 シーナ	OH	181	左	17	14	17	16	17	17	17	16	16	17	17	17	16	17	17	16.5	17	24
22 パラデス	OH	171	右	16	15	16	17	17	16	16	16	16	16	16	16	17	17	14	16.1	16	18
13 ネリラ	CF	173	右	16	14	15	17	17	17	16	17	17	15	15	17	16	16	15	16.0	17	18
12 タビア	GK	182	右	13	17	17	15	16	17	16	17	14	13	13	16	13	13	13	14.9	16	16
スタメン能力平均		176.9		15.7	15.4	16.7	16.6	16.6	16.4	16.5	17.1	16.1	15.6	15.6	16.5	15.7	15.9	14.8	16.1	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●ツートップの得点に期待

チリの生命線は、やはりサノラノ、サマスのツートップだろう。オールラウンドプレイヤーである2人は、足元のテクニックだけでなく、低い身長を補って余りあるジャンプ力、ヘディング精度、レスポンスでゴール前のハイボールにも絶対的な力を発揮する。サイドアタックからのセンタリングやフライスルーなどで、中盤からボールをどんどん供給していくのがチリのスタイルになる。守備は攻撃に比べると弱く感じるが、高さと当たりの能力は平均以上。SBを含めた4人で組織的に守っていこう。

応用戦術

●OHの選手起用で得点力を高める

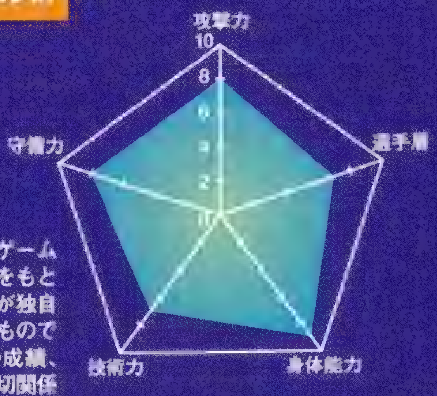
チーム全体のバランスは優れているので、あまり大幅にフォーメーションを変更する必要はない。OHを2人にして、得点源であるツートップへボールを送るパターンを増やしていく。さらに攻撃のオプションを増やしたいなら、LBのマルドラードの攻撃意識を高めて、サイドアタックをしかけていこう。

VS CPU

ゴール前でのポジショニングに注意

チリは攻撃力に優れたチームなので、対戦でのポイントは守備になるだろう。スルーパスなど、トップのスピードを生かした攻撃にも警戒が必要だが、特にセンタリングやコーナーキックへの対応に注意したい。レスポンス、ジャンプ力、当たりの能力が高いので、ディフェンダーは必ず相手FWの前に身体を入れる必要がある。基本的なことだが、確実に実行していかないと大量失点の可能性もある。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

パラグアイ

PARAGUAY

組織的で堅い守備が特徴。チームの中心は強烈なキャプテンシーで仲間を鼓舞し続ける、南米NO.1キーパーのチラベルト。彼はGKでありながら、フリーキックを蹴るなど攻撃面で活躍することでも有名。ワールドカップ本大会では、GKがPK以外で得点を決めた前例はない。南米予選を突破して2002年の大会では、是非ともゴールシーンが見たい。

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	アザーサイドアタック
●	ライトサイドアタック	✕	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
❶ チラベルト	GK	188	左	13	19	19	15	16	17	18	18	14	16	15	18	17	14	17	16.4	18	32
❹ ガナラ	CB	179	右	14	19	17	17	17	16	17	18	18	16	15	17	15	15	15	16.4	15	30
❺ アザラ	CB	179	右	14	18	18	17	17	15	17	17	17	17	15	16	14	16	14	16.1	14	24
❸ カミサ	SB	170	右	16	16	16	17	17	16	16	17	15	16	16	16	15	16	15	16.0	17	18
❷ アルネ	SB	178	右	17	15	16	19	17	17	17	16	16	17	17	17	16	17	17	16.7	17	24
❿ ロベウト・アクーナ	DH	178	右	17	16	17	17	16	16	16	17	16	17	18	17	16	17	17	16.7	17	20
⓰ エンシーホ	DH	171	左	16	17	15	17	17	16	15	16	15	16	16	16	15	16	15	15.9	16	16
❽ パレテス	SH	179	右	16	15	17	17	17	16	15	17	16	16	16	18	16	16	14	16.1	16	20
⓯ キンタラ	OH	178	右	17	14	16	16	17	16	17	16	16	17	17	17	16	17	16	16.3	17	20
❾ カルドロ	CF	183	右	17	13	18	17	16	16	16	18	17	16	16	16	17	17	15	16.3	17	18
❼ サンタクレス	CF	188	右	17	13	17	17	17	17	17	17	18	17	16	17	18	17	14	16.6	18	32
⓭ サラピア	CB	180	右	15	17	16	17	16	16	16	16	16	15	14	16	16	15	14	15.7	15	18
⓳ トレノ	SB	181	右	14	16	17	16	16	17	15	17	16	15	15	17	14	15	13	15.5	15	18
⓮ エスピノーダ	SB	174	右	16	15	16	17	17	17	15	16	16	16	15	16	15	16	15	15.9	17	18
❻ ストゥルベイ	DH	170	右	15	16	16	17	16	15	16	17	17	15	16	16	15	15	14	15.7	15	18
⓲ ガビロン	SH	177	右	16	14	16	17	18	17	16	17	15	16	15	16	15	16	14	15.9	16	20
⓴ アルバネンガ	OH	170	右	17	14	16	17	17	15	15	16	16	17	17	16	16	18	17	16.3	17	22
⓱ ベイテス	OH	170	右	16	14	15	18	18	17	16	17	16	17	17	18	17	18	16	16.7	17	24
⓫ ブリスエラ	OH	178	右	17	13	16	16	17	16	17	16	16	17	16	17	17	16	15	16.1	16	22
㉑ バエフ	CF	180	右	17	13	17	17	17	15	16	17	16	17	16	17	16	16	15	16.1	16	18
㉒ カントス	CF	171	右	17	13	16	17	18	17	17	17	17	17	16	16	17	16	14	16.3	17	20
⓬ タバレニ	GK	182	右	13	17	17	13	15	15	16	17	13	14	14	16	13	13	12	14.5	12	18
スタメン能力平均		179.2		15.8	15.9	16.9	16.9	16.7	16.2	16.5	17.0	16.2	16.5	16.1	16.8	15.9	16.2	15.4	16.3	16.5	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●強力な守りで勝利を呼び込む

パラグアイの特徴は、やはり堅い守備。GKのチラベルトはもちろんだが、CBのガナラとアザラの守備力も驚異。2人とも身長はそれほど高くないがジャンプ力があり、スピード、スタミナ、当たりの能力も高い。SBのカミサとアルネが攻撃的な選手なので、CBの負担は大きいが激しいプレスでゴールを許さない。攻撃の起点はDHのロベウト・アクーナ。パス精度が高く、奪ったボールを正確に前線にフィードしていく。得点力の高いカルドロとサンタクレスにボールを集めていこう。

応用戦術

●スリートップで攻撃パターンを増やす

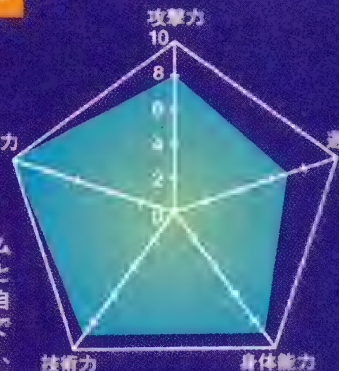
守備面に問題はないが、得点力不足がパラグアイの弱点。スリートップに変更して、攻撃力を高める。攻撃の起点になるトップ下には、パス精度が高いロベウト・アクーナを起用。WGの選手へスルーパスを送ってサイドからの攻撃を形作る。中盤がやや薄くなるので、DHのアルネを攻撃的に使っていこう。

VS CPU

前に出てくるチラベルトに注意

GKのチラベルトは積極性の高い選手なので、前に出てくる回数が多い。自チームのピンチでは、ペナルティエリアの外にまで飛び出してくる場合もある。GKの動きはレーダーでポジショニングを確認しておこう。前に出てきたときは、ロングシュートやループシュートが有効になる。守備時に注意したいのは、アルネのサイドアタック。外に追い出すような組織ディフェンスで対応しよう。

チーム力分析



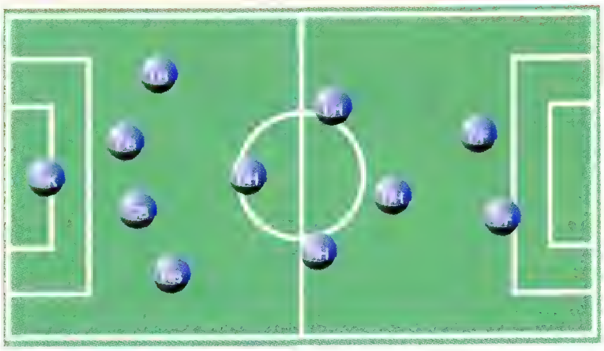
分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ウルグアイ

URUGUAY

記念すべき第1回ワールドカップ（1930年）の開催国であり、初優勝国でもあるウルグアイ。第4回のブラジル大会でも栄光を手にするなど、2回の優勝を誇る。近年では他の南米チームの台頭もあり、これといった成績は残していないが、攻撃力には定評があり、強豪国を倒す力は持っている。現在、ワールドカップ南米予選では上位をキープしている。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A



DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 カリーネ	GK	190	右	13	18	18	14	16	17	18	18	13	15	14	16	14	14	13	15.4	16	24
4 モンケーロ	CB	179	左	15	18	17	17	17	16	18	17	17	16	16	17	15	15	15	16.4	14	26
6 ロトリケス	CB	181	右	14	16	17	16	16	16	16	16	16	15	14	16	14	15	14	15.4	14	16
3 ロペツ	SB	183	右	14	16	16	16	16	15	15	16	16	15	15	16	15	15	14	15.3	15	18
2 メンテス	SB	176	右	15	16	16	16	16	15	16	15	15	16	15	16	15	17	15	15.6	15	16
5 ガルシナ	DH	179	右	15	16	16	17	16	15	15	17	15	16	16	16	15	16	15	15.7	16	18
11 ポゼト	SH	185	右	16	15	18	16	17	16	17	16	15	16	16	16	16	17	15	16.1	17	24
7 コエロ	SH	179	右	16	14	16	17	17	17	16	16	15	17	16	16	16	17	15	16.1	17	18
8 オニーユ	OH	185	右	17	14	17	16	17	17	15	18	16	17	17	17	16	17	16	16.5	17	22
10 レコバ	OH	177	左	18	14	16	17	17	17	17	17	16	18	17	18	18	18	18	17.1	17	32
9 ダリモ・シウバ	CF	179	右	17	13	16	17	16	17	17	16	17	16	15	17	17	16	15	16.1	17	20
12 ラノス	CB	178	右	15	16	14	16	16	16	16	16	16	15	14	15	14	16	14	15.3	14	16
17 レンホ	CB	183	右	14	17	17	16	16	15	15	16	17	15	15	16	14	15	14	15.5	15	18
21 タハレ・シルハ	SB	176	右	16	15	17	17	17	15	15	16	15	15	15	15	15	16	15	15.6	15	16
14 ロン・サルトトス	DH	178	右	16	15	16	18	16	15	15	16	16	16	16	17	15	16	15	15.9	15	16
13 セトレス	SH	176	右	16	14	16	17	17	17	16	16	15	17	17	16	16	17	15	16.1	17	18
16 オニセラ	OH	165	右	17	13	15	16	18	17	17	17	15	17	16	17	17	17	16	16.3	17	20
15 アロンド	CF	179	右	16	14	16	16	17	16	16	17	16	16	17	16	16	16	15	16.0	16	18
18 サラジェサ	CF	185	右	17	13	18	17	17	17	17	18	18	16	15	17	17	17	14	16.5	17	24
19 アルバス	CF	183	右	17	13	17	17	16	17	16	16	16	16	15	16	17	16	13	15.9	16	18
20 フォンメカ	CF	182	左	18	13	16	17	16	17	17	16	17	17	17	17	17	17	17	16.6	17	24
22 ニトラ	GK	186	右	12	16	17	15	15	16	16	18	13	13	13	16	12	12	12	14.4	15	12
スタメン能力平均		181.2		15.5	15.5	16.6	16.3	16.5	16.2	16.4	16.5	15.5	16.1	15.5	16.5	15.5	16.1	15.0	16.0	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●個人技で決定的なチャンスを作る

攻撃の中心はCFのレコバ。本来のポジションがOHということもあり、得点だけでなくゲームメイクもできる選手だ。ツートップを組むダリモ・シウバとのコンビは破壊力があり、ワンツーパスなどで中央、サイドから相手のディフェンスを崩していきたい。SHのポゼトは守備的に、コエロは攻撃的な動きをさせよう。守備の要は、CBのモンケーロ。身長はそれほど高くないが、当たり、ジャンプ力、スピード、防御力の能力が高く、積極的なディフェンスが可能。

応用戦術

●中盤を強化してゲームをコントロール

レコバは本職のOHに起用し、SHにオニセラとセトレスを入れる。中盤の人数を増やすことで、チームのバランスが良くなり、パスが回しやすくなる。右のCBには、高さを生かすためにオニーユをコンバート。防御力は低いがスピード、当たりの能力が高いのでサイドアタックを防ぐのに適している。

3-5-2B

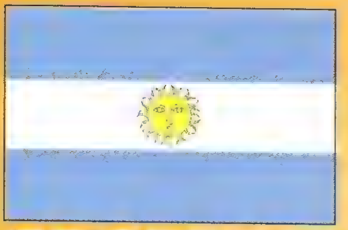
VS CPU

両サイドからの攻撃がポイント

ウルグアイは攻撃陣に比べ、守備に難があるチーム。特にサイドが弱いのでグラウンドを広く使った攻撃が有効。また、中盤のプレスも比較的厳しくないので、落ち着いてゲームを組み立てよう。注意したい選手はCFのレコバ。すべての能力が高く、ミドルレンジからのシュートやラストパスなど攻撃面の軸になる選手。彼はフリーキックも得意なので、ゴール付近でファウルしないようにしたい。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



アルゼンチン

ARGENTINA

ワールドカップや南米選手権など、さまざまな大会で輝かしい成績を残しているアルゼンチン。数多くのスター選手も輩出しており、20世紀を代表するスーパースター、ディエゴ・マラドーナを生んだ国としても知られる。現在行われているワールドカップ南米予選でも予選突破はほぼ間違いなく、2002年には3度目のワールドカップ制覇が期待される。

DEFAULT FORMATION **3-5-2A**

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	レフトサイドアタック
●	ライトサイドアタック	✕	ゾーンディフェンス

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ボラーノ	GK	185	右	13	17	17	14	15	16	16	17	13	13	14	16	13	13	12	14.6	16	18
5 ポケッティーノ	CB	182	右	14	17	18	16	16	16	16	17	16	16	15	16	14	15	14	15.7	14	24
2 アジャマ	CB	177	右	15	18	17	17	17	16	17	17	18	17	16	16	15	16	14	16.4	14	24
6 サムイル	CB	184	右	15	17	18	16	16	15	16	16	16	16	15	16	15	15	14	15.7	15	22
14 シメヨネ	DH	180	右	15	17	17	18	16	15	16	17	19	16	16	16	15	16	14	16.2	16	22
18 キニ・ゴンタロス	SH	175	右	17	15	17	17	17	18	17	16	15	17	16	18	16	17	15	16.5	17	24
8 サメッティ	SH	178	右	17	15	16	17	18	17	17	16	16	17	16	17	16	17	15	16.5	17	26
11 ベーヨン	OH	186	右	18	15	17	18	17	16	16	16	16	18	19	18	17	17	17	17.0	16	38
10 オウテガ	OH	170	右	17	14	15	16	17	16	17	17	16	18	17	16	17	19	18	16.7	19	30
7 クラウド・ロペツ	CF	178	左	18	13	16	17	18	18	17	17	17	18	16	17	18	17	16	16.9	18	32
9 バテストータ	CF	185	右	19	12	17	17	17	18	18	18	18	17	17	19	19	16	16	17.2	17	44
15 センチーニ	CB	178	右	15	17	16	15	16	15	17	16	16	16	16	15	14	15	14	15.5	14	22
4 チャノ	CB	181	右	15	18	17	17	16	15	17	17	17	16	16	17	14	16	14	16.1	15	22
3 ソラン	SB	173	右	16	16	16	17	17	16	16	17	15	16	16	16	15	16	14	15.9	17	18
13 ビハス	SB	166	左	15	16	16	16	17	16	15	16	16	16	16	15	15	16	14	15.7	16	24
12 アウメイダ	DH	173	右	16	17	16	19	16	16	17	17	16	17	17	17	15	16	14	16.4	15	28
16 レドント	DH	186	左	17	16	17	18	17	16	17	16	16	17	17	17	16	17	16	16.7	15	32
21 アイアール	OH	170	右	17	14	15	17	16	16	16	17	15	18	17	16	17	18	17	16.4	17	24
20 ガジャルト	OH	170	右	17	14	15	17	16	16	15	17	17	17	18	16	16	18	17	16.4	16	24
17 グスタホ・ロペツ	OH	174	左	17	13	16	16	16	16	16	16	17	16	16	17	17	16	15	16.0	17	20
19 クレツポ	CF	184	右	18	13	17	18	17	17	18	17	18	17	16	18	18	17	15	16.9	16	32
22 カバレロ	GK	181	右	13	17	17	14	16	15	16	16	13	14	13	16	13	13	12	14.5	15	18
スタメン能力平均		180.0		16.2	15.5	16.8	16.6	16.7	16.5	16.6	16.7	16.4	16.6	16.1	16.8	15.9	16.2	15.0	16.3	16.3	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●バテストータでゴールを量産

中盤の起点はオウテガとベーヨン。オウテガはスピードを生かしたドリブルでチャンスを作り、ベーヨンは正確なサイドチェンジや鋭いスルーパスで攻撃を組み立てる。中盤が作ったチャンスをフィニッシュまで持っていくのが、バテストータとクラウド・ロペツのツートップ。バテストータはヘディングシュートとミドルシュートが武器。センタリングなどは彼に合わせよう。クラウド・ロペツはスピードと加速力に優れた選手。ゴール前でのルーズボールやスルーパスに鋭く反応してゴールを狙う。

応用戦術

●OHの選手起用でラストパスの精度をアップ

下がり目の位置にいるベーヨンをトップ下に起用。パス精度の高い選手なので、ラストパスの精度が格段に上昇する。オウテガはスピードを生かせるSHにコンバート。サイドからの攻撃をしかけていこう。CFにはクラウド・ロペツとクレツポを併用。調子を見てからスタメンを決定しよう。

VS CPU

バテストータのミドルシュートに注意

CFのバテストータは、ゴール前の強さはもちろんだが、強力なミドルシュートも多く打ってくる。シュート精度も高いので、ゴールの枠に飛んでくる可能性が高い。多少ゴールから離れていても、シュートコースを防ぐようなディフェンスを心がけよう。中盤の軸になるオウテガはドリブルが得意な選手だが、当たりには弱い。彼がボールを持ったら、早めに多人数でプレスをかけてボールを奪おう。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

日本

JAPAN

かつてはサッカー後進国だった日本も、Jリーグの発足などにより急速な発展を遂げた。初出場となった1998年のワールドカップでは初勝利を挙げることはできなかったが、中山の歴史的ゴールは確実に世界との差を縮める1点だった。また、若い世代は、オリンピックや世界大会で好成績を残していることを考えても、日本サッカーの未来は明るい。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	レフトサイドアタック	■	オフサイドトラップ
●	アザーサイドアタック	✕	ゾーンディフェンス

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 川口 能活	GK	181	右	14	17	17	14	15	17	17	18	14	13	14	16	13	13	12	14.9	18	18
16 中田 浩二	CB	182	左	15	16	16	16	16	15	15	16	16	16	15	16	15	16	15	15.6	15	18
3 松田 直樹	CB	183	右	15	17	17	17	17	16	17	17	16	15	15	15	15	15	14	15.9	16	18
4 森岡 隆三	CB	180	右	14	17	17	17	16	16	17	17	17	14	15	16	15	15	14	15.8	14	18
10 名波 浩	DH	177	左	16	16	16	17	16	16	16	15	16	17	17	17	16	17	17	16.3	16	18
6 上野 良治	DH	181	右	15	16	16	17	15	15	15	16	16	15	15	16	15	15	15	15.5	15	18
23 中村 俊輔	SH	178	左	17	13	16	16	16	15	16	16	15	17	17	17	17	18	18	16.3	16	18
8 伊東 輝悦	SH	168	右	16	16	16	17	16	16	16	16	16	15	17	16	16	17	15	16.1	15	18
7 中田 英寿	OH	175	右	17	15	17	17	17	16	17	16	16	18	18	17	17	17	17	16.8	16	18
19 西澤 明訓	CF	180	右	17	13	17	16	17	17	17	16	16	16	16	17	17	17	15	16.3	16	18
25 城 彰二	CF	179	右	17	13	17	17	17	17	17	17	17	17	16	16	17	16	15	16.4	16	18
22 中澤 佑二	CB	187	右	14	16	17	16	17	16	16	17	17	14	14	15	14	14	13	15.3	15	18
26 海本 慶治	CB	181	右	14	17	16	16	16	16	17	17	16	14	14	15	14	15	13	15.3	14	18
5 中西 永輔	SB	175	右	16	16	16	17	17	17	17	17	17	16	15	16	16	17	17	16.5	16	18
15 奥 大介	DH	173	右	16	15	16	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	17	15	16.0	16	18
17 三浦 淳宏	SH	176	右	16	14	16	16	17	17	17	17	15	16	16	17	16	17	17	16.3	18	18
12 森島 寛晃	OH	168	右	17	14	16	18	17	17	18	17	17	17	16	16	17	17	16	16.7	17	18
24 久保 竜彦	CF	181	左	17	13	17	16	17	17	17	18	17	16	15	18	16	17	15	16.4	17	18
11 三浦 知良	CF	177	右	16	14	15	15	16	15	17	15	16	17	16	15	17	17	16	15.8	16	18
13 柳沢 敦	CF	177	右	17	14	16	16	17	16	17	17	15	17	16	16	17	16	15	16.1	16	18
9 中山 雅史	CF	178	右	17	13	16	17	16	18	18	17	17	16	16	16	16	15	13	16.1	16	18
20 曽ヶ端 準	GK	186	右	13	16	17	13	15	15	17	17	13	13	13	16	13	13	12	14.4	16	18
スタメン能力平均		178.5		15.7	15.4	16.5	16.5	16.2	16.0	16.4	16.4	15.9	15.7	15.9	16.3	15.7	16.0	15.2	16.0	15.7	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●組織的な守りでオフサイドを狙う

フラットスリーのディフェンスラインは、オフサイドをとりやすい。しかし、オフサイドトラップはハイリスクな作戦。タイミングを間違えると相手選手を完全にゴール前でフリーにしてしまうので注意しよう。攻撃の起点は、OHの中田（英）とSHの中村。スルーパス、センタリングをツートップの西澤、城に供給していく。特に城はハイボールに強く、ポストプレーもこなせる選手。相手ディフェンスの状況によってはヘディングで流してアシストも狙える。

応用戦術

●中村をトップ下に置いて攻撃力強化

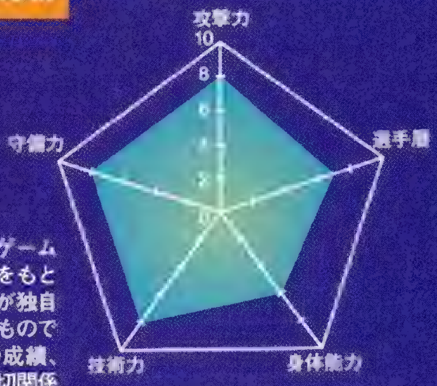
初期設定の状態では中村のポジションは左サイドに配置されている。しかし、彼のオフェンス能力を生かすならばOHで起用したい。ワントップにすることで、空いたサイドのスペースに2列目やサイドの選手を飛び込ませよう。CBには身長があり、ヘディングの強い中澤を起用した。

VS CPU

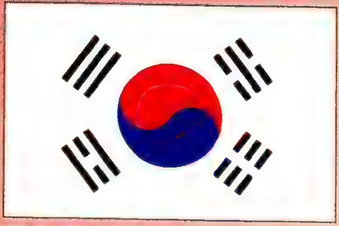
スリーバックの裏を狙う攻撃

日本のディフェンスは、DHを含めて優秀な選手が多いので、中央からの突破は難しい。ディフェンスラインの裏を狙ったスルーパスや、サイドアタックが有効になってくる。攻撃陣で注意したいのは、やはりエースの中田（英）。テクニック、当たり、ドリブル、パス精度の能力が高く、ドリブル突破やスルーパス、ミドルシュートなど、さまざまな攻撃をしかけてくる。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



韓国

KOREA

4大会連続、5回のワールドカップ出場を誇る、アジアの強国。チーム最大の武器は、豊富な運動量とスピード、そして強靭な精神力。エースストライカーの崔龍洙、アジア最高のリベロ洪明甫、正確なセンタリングを上げる左サイドの河錫舟など、豊富なタレントを揃える韓国は、ホスト国となる2002年に悲願のワールドカップ初勝利を目指す。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
12 キヌ・ヨンデ	GK	186	右	13	16	17	14	15	16	17	17	13	12	12	16	13	13	12	14.4	15	12
7 キヌ・テヨヌ	CB	183	右	14	16	17	16	15	15	16	16	16	15	14	16	14	15	14	15.3	14	16
20 ホン・ミョンゴ	CB	181	右	15	17	16	17	16	15	17	16	16	16	16	16	16	15	15	15.9	16	22
15 イ・ミンヨン	CB	182	右	14	16	16	16	16	16	15	16	17	15	15	15	15	15	14	15.4	15	16
17 パス・テタ	DH	177	右	15	16	16	17	15	16	15	17	15	15	15	16	15	15	14	15.5	15	16
16 ハ・ソッシュ	SH	174	左	17	15	15	18	18	17	17	15	15	16	17	15	16	17	15	16.2	18	22
2 カン・キョム	SH	178	右	16	14	16	17	17	17	15	16	16	16	16	16	16	16	15	15.9	16	16
6 ユ・サンチョム	OH	184	右	16	16	17	17	16	16	16	17	17	16	16	16	17	16	16	16.3	17	20
8 ノ・ジュンユム	OH	173	右	17	14	16	17	17	16	16	16	16	17	16	17	16	16	15	16.1	17	16
9 キヌ・ドスン	CF	183	右	18	13	16	17	17	17	17	17	16	17	16	18	17	16	14	16.4	18	20
10 チェ・ヨンツ	CF	183	右	18	13	17	17	17	16	16	18	18	17	16	16	17	16	14	16.4	16	24
13 キヌ・ヒョンシュ	CB	181	右	14	17	17	16	16	15	16	16	16	14	14	16	14	15	14	15.3	14	18
5 イ・インセン	CB	182	右	15	16	17	17	16	15	15	15	15	15	15	14	15	15	14	15.3	15	16
19 イ・ビョングム	DH	175	右	15	16	16	17	16	16	15	16	16	15	15	16	15	16	15	15.7	15	16
3 チェ・ソンロン	DH	173	右	17	15	15	18	17	17	16	17	16	17	16	16	15	16	14	16.1	17	20
21 パス・ジンソフ	SH	178	右	17	14	16	17	17	16	17	15	15	15	16	15	15	17	15	15.8	17	16
14 ユウ・ジョンファウ	OH	173	右	16	14	15	16	16	15	15	15	15	16	17	16	16	17	16	15.7	16	16
4 キヌ・ドゴン	OH	180	左	16	15	16	18	17	15	16	16	15	16	16	16	16	17	16	16.1	16	18
22 ソ・ジョンオン	OH	172	右	16	14	15	17	17	17	16	16	16	17	17	16	17	17	17	16.3	18	20
11 アン・ジョンラン	CF	176	右	17	13	16	17	17	16	17	16	16	15	15	17	17	17	14	16.0	17	20
18 ファン・ソンホム	CF	183	右	17	13	17	16	17	17	18	17	17	17	16	16	17	17	16	16.5	17	24
1 キヌ・ビョンギ	GK	184	右	13	17	17	14	16	15	16	17	13	13	12	17	13	13	12	14.5	16	10
スタメン能力平均		180.4		15.7	15.1	16.3	16.6	16.3	16.1	16.1	16.5	15.9	15.6	15.4	16.1	15.6	15.5	14.4	15.8	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●運動量で相手チームを圧倒

スピードとスタミナが武器の韓国は、運動量で勝負。高い位置から積極的にプレスをしかけて、チャンスを作り出そう。ツートップにはタイプの違うストライカーが並んでいる。キヌ・ドスンはミドルレンジからのシュート、チェ・ヨンツは高い打点のヘディングで得点を狙う。中盤のキーマンはSHのハ・ソッシュ。スピードとスタミナを生かした左サイドの突破から、精度の高いセンタリングが上げられる。守備のキーマンはCBのホン・ミョンゴ。防御力、スタミナ、反応速度に優れた選手だ。

応用戦術

●守備の人数を増やして安定感を高める

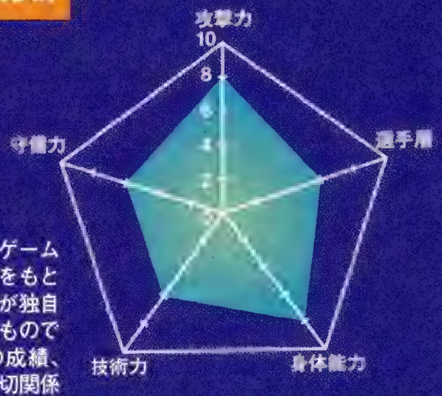
少し安定感に欠けるディフェンスの人数を増やして強化する。両サイドのDFも守備に専念させて、相手チームのサイドアタックに対応。ツートップはデフォルトの状態で問題ないが、中盤は少しメンバーチェンジが必要になる。OHに攻撃力の高いファン・ソンホムを起用して2列目からも点を狙おう。

VS CPU

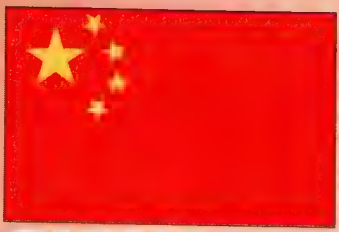
左サイドからの攻撃に注意しよう!

韓国は、テクニック、ドリブル、当たりの能力が比較的低いので、プレスでボールが奪いやすい。スピードのある選手も多いが、組織的に守っていけばそれほど問題はないだろう。警戒するとすれば、左サイドのハ・ソッシュ。彼は、スピードはもちろん、パス精度も高いので、右サイドのディフェンスは注意したい。フリーで上げられると失点の可能性が高くなる。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



中国

CHINA

世界最大の人口を誇り、サッカー人気も高い中国だが、現在までにワールドカップ出場経験はない。今年からユーゴスラビアの名将、ボラ・ミルティノビッチ監督を招聘し、初のワールドカップ出場に向けて強化を開始した。身体能力は近隣国の中でも高いチームなので、組織力や戦術面の強化が成功すればアジアの勢力図を塗り替える可能性もある。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	カウンターアタック
○	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
22 ジュン・ジー	GK	196	右	12	16	17	13	15	15	16	16	13	12	13	16	12	12	12	14.0	15	10
5 ハン・ジイ	CB	183	右	13	17	16	16	15	15	16	17	16	14	14	15	14	14	14	15.1	15	16
3 チャウ・エンハ	CB	183	右	14	16	17	16	16	14	16	17	16	14	14	16	14	14	13	15.1	15	16
4 ウ・チェンヒ	SB	183	右	15	16	16	17	16	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	15.3	15	16
2 シェ・フェレン	SB	182	右	16	15	16	16	17	16	15	16	16	15	14	16	15	16	14	15.5	16	16
8 リー・テオ	DH	178	右	15	15	15	16	16	17	16	15	15	16	15	14	16	16	15	15.5	16	16
9 マ・ミンヤ	SH	176	左	15	16	15	17	17	16	16	16	14	16	16	14	15	17	15	15.7	17	18
7 ヤイ・ショ	SH	174	右	16	14	16	18	18	17	15	16	16	17	16	15	16	17	15	16.1	18	18
16 スン・ジンジャン	OH	177	右	16	13	16	16	16	15	15	15	16	15	16	16	16	16	14	15.4	16	16
11 リー・ブン	CF	186	右	17	12	18	16	16	17	16	18	18	16	15	16	16	16	15	16.1	16	18
10 ハイ・ハオデン	CF	180	右	18	13	16	17	16	17	17	17	17	17	16	16	17	16	15	16.3	17	20
14 マウ・イズン	CB	186	右	14	17	17	16	16	15	16	16	15	14	14	15	13	14	14	15.1	14	18
21 スー・ジサイ	CB	183	右	13	17	17	17	16	16	17	17	17	15	15	16	15	15	13	15.7	14	18
19 ウェイ・チン	SB	178	右	16	15	16	17	17	16	16	15	16	16	16	15	15	16	15	15.8	16	16
6 リー・モン	DH	180	右	15	16	16	18	16	15	16	16	16	15	16	16	15	16	14	15.7	16	16
17 リー・ジョイ	DH	176	右	16	13	16	16	17	16	15	16	15	17	17	15	16	17	15	15.8	17	18
20 ペウ・ウェイゴ	OH	168	右	16	14	15	17	17	16	15	16	16	17	17	15	17	17	17	16.1	17	18
12 ス・マオゼイ	OH	186	右	16	14	18	16	16	15	15	16	15	16	16	17	16	15	14	15.7	16	16
15 シュン・シイ	CF	179	右	17	13	16	16	17	15	16	17	16	15	15	16	17	16	15	15.8	17	16
13 ヤン・チン	CF	185	右	18	13	17	17	16	17	17	17	17	16	16	17	16	16	15	16.3	16	18
18 ガラ・フォン	CF	180	右	17	13	17	16	18	17	16	16	16	16	15	16	17	16	13	15.9	18	20
1 オウ・チュラン	GK	180	右	12	16	17	14	15	15	15	17	13	12	13	16	12	12	12	14.1	14	10
スタメン能力平均		181.6		15.2	14.8	16.2	16.2	16.2	15.8	15.7	16.2	15.6	15.2	14.9	15.4	15.1	15.4	14.2	15.5	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●高さを生かしてカウンター攻撃

テクニック、パス精度の低い中国では、中盤から細かいパスを多用するような戦法は得策でない。FWの選手に身長が高い選手が多いので、ロングボールを前線に送り、ポストプレーを使った攻撃をしかけよう。また、ツートップはゴール前の混戦にも強いので、ハイボールのセンタリングを多く上げて得点を狙わせる。ディフェンスは工夫が必要だ。SBのウ・チェンヒやシェ・フェレンの攻撃参加は控えさせ、守備に専念。

応用戦術

●DHを増やして中盤と前線をつなげる

中国はパス精度が低い。DHの選手を増やして中盤と前線の間を密にし、パスミスを少なくするのが目的。ボランチを2人置くことで、ディフェンスも強化できるだろう。最終ラインの頭数は減るが、DHが走り回ってカバーすれば問題ない。DHはスタミナを多く消費するので選手交代も考えておこう。

VS CPU

高さ以外は警戒の必要なし

身長の高さ以外は特徴のない中国。攻守ともに基本的な約束事を守れば恐れることはない。守備時は、サイド突破からセンタリングを上げられないように注意。いくら パス精度の低い相手とはいえ、万が一ということがある。攻撃する際は、相手のプレスを受けないように素早いパス回しを心がけたい。また、攻撃参加したSBの背後にボールを送り込めばチャンスとなる。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

イラン

IRAN

アジアNO.1の攻撃力を誇るイラン。ドイツのブンデスリーガなど他国のプロリーグで活躍する選手が多く、フィジカルの強い選手が多い。攻撃陣にはダエイ、アジジを筆頭にタレントが揃っており、オフェンス能力だけならワールドクラスのチームといえるだろう。1998年のフランスワールドカップでは、アジア勢で唯一の勝ち点を挙げている。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 タバタナエイ	GK	183	右	12	17	17	14	16	15	17	17	13	13	13	16	13	12	12	14.5	16	12
5 ハシミナタブ	CB	188	右	14	16	17	16	16	16	15	17	15	15	15	16	14	15	14	15.4	15	14
3 ザリンケ	CB	175	右	14	17	17	17	16	15	16	17	16	15	14	16	15	16	14	15.7	15	18
8 ハメカニ	DH	178	右	17	13	15	17	17	15	16	16	17	15	15	17	16	17	16	15.9	18	16
13 D・ヤズカニ	DH	175	右	16	15	16	17	17	16	16	16	15	15	16	17	16	17	16	16.1	17	18
19 イマニハー	SH	175	左	16	15	16	17	17	17	15	16	14	16	16	16	14	16	15	15.7	16	16
2 マハナヒキア	SH	171	右	17	15	16	18	18	18	17	17	15	16	16	17	16	17	15	16.5	18	22
18 ディールモハマド	OH	166	左	15	15	15	16	16	16	15	17	15	17	15	16	16	17	15	15.7	16	16
6 バレリ	OH	186	右	17	14	17	17	16	17	17	17	17	18	17	18	18	17	17	16.9	16	26
9 ムサシ	CF	183	右	17	13	16	17	17	17	17	17	16	16	15	17	16	17	14	16.1	17	18
10 ダレイ	CF	189	右	18	13	18	17	17	16	16	18	18	17	16	17	18	17	16	16.8	17	28
4 ハスプール	CB	178	右	14	16	17	17	16	15	15	17	16	14	14	16	14	14	14	15.3	15	16
20 パサノデ	CB	187	右	15	17	17	16	17	16	16	17	16	15	14	17	14	15	13	15.7	14	18
17 キャリニ	SB	184	左	16	14	17	16	17	16	17	17	16	16	15	16	14	18	14	15.9	18	16
21 ミナハント	SB	183	左	14	15	17	17	17	16	16	16	16	15	15	15	14	15	14	15.5	17	14
15 ハラニ	DH	187	右	16	14	17	17	16	17	15	16	15	16	17	16	15	16	15	15.9	15	16
22 フェクニ	DH	178	右	16	15	16	17	16	17	15	16	15	16	16	17	16	16	15	15.9	16	16
14 ナバリ	SH	178	右	16	15	16	17	16	16	16	15	14	16	17	16	17	17	17	16.1	16	16
7 マジレイ	OH	180	右	16	14	16	17	17	16	17	17	16	16	16	17	17	17	16	16.3	17	18
16 ハシェニヤン	CF	179	右	17	13	16	17	17	17	16	17	16	16	16	17	17	16	15	16.2	16	18
11 アシシ	CF	169	右	17	13	16	17	18	17	18	18	17	18	17	16	17	18	17	16.9	18	24
12 ナリサ	GK	188	右	13	16	17	15	17	16	16	16	13	13	12	16	13	13	13	14.6	16	10
スタメン能力平均		179.0		15.7	14.8	16.4	16.6	16.6	16.2	16.1	16.8	15.5	15.7	15.3	16.6	15.6	16.2	14.9	15.9	16.5	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●右サイドを中心にオフェンスを展開

イランのオフェンスで最大の武器になるのは、右サイドからの攻撃。スタミナ、スピード、加速力に優れたマハナヒキアの突破でチャンスを多く作れる。早い展開の攻撃で、相手ディフェンスを崩していこう。センタリングは、高さと決定力を併せ持つダレイに合わせる。OHのバレリはシュート力が魅力の選手。ミドルレンジからのシュートを積極的に狙っていきたい。ディフェンスは、右のCBハメカニが防御力が低く、狙われると厳しい。DHのD・ヤズカニでカバーしよう。

応用戦術

●ディフェンスラインを強化して安定感を増す

イランの弱点はやはりディフェンス。人数を増やして守備力を強化する。LBとRBにはハイボール対策として、キャリニとパサノデを起用する。オフェンスは、ダレイをワントップにして前線にスペースを作る。2列目にスピードのある選手が多いので、サイドアタックやワンツーパスが使いやすくなる。

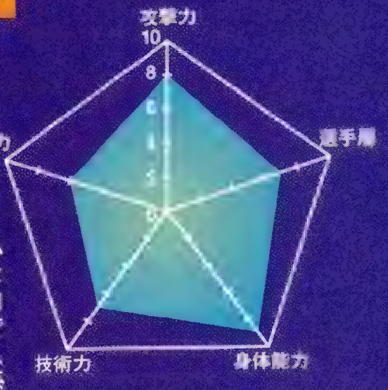
4-5-1A

VS CPU

ミドルシュートを警戒しよう!

イランにはバレリ、ダレイ、マハナヒキアなどシュート力の高い選手が多く、多少距離があっても安心はできない。ボールを奪いにいくときでも、必ずシュートコースを消しながら守る必要がある。また、FWには身長が高く、ジャンプ力のある選手が並んでいるので、サイドからの崩しには注意したい。簡単にセンタリングを上げさせない守りが重要になる。攻撃時には弱点の右サイドから攻めていこう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

UAE

UAE

正式国名はアラブ首長国連邦。1990年にはワールドカップ（イタリア大会）に出場しているが、1998年に開催された、前回のフランス大会は地区予選で敗退している（韓国、日本に次ぐ3位）。他国と比べ、平均年齢は高いがチームカラーである豊富な運動量は落ちていない。チームの課題は得点力の強化。FWの頑張りに期待したい。

DEFAULT FORMATION 5-3-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	□	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ジュナ・ラシード	GK	184	右	12	16	18	15	16	17	16	17	13	13	12	16	12	12	12	14.5	16	10
5 イスミル・ラシード	CB	182	右	14	17	17	17	16	16	15	17	16	14	14	17	14	14	14	15.5	15	16
4 ハッカン・スキル	CB	176	右	14	16	17	16	16	15	16	17	16	15	14	15	14	15	14	15.3	14	16
6 ラハム・アルハート	CB	181	右	14	16	16	15	17	16	15	16	16	15	15	16	14	15	14	15.3	15	16
3 ムンケル・アレ	SB	178	右	17	15	16	17	17	17	16	16	15	16	16	16	15	17	15	16.1	17	18
2 ガナース	SB	175	右	16	15	15	17	17	16	16	16	15	15	15	15	15	16	15	15.6	17	16
7 アメト・イクラウム	DH	165	右	15	15	15	18	16	16	15	17	14	17	16	16	15	16	15	15.7	15	16
8 サイード	OH	183	右	16	14	16	17	17	16	16	17	14	16	16	15	16	17	16	15.9	16	18
10 モハマト・アレ	OH	175	右	17	14	16	18	16	17	17	16	16	17	17	17	17	17	17	16.6	17	20
9 ハリス・サート	CF	166	右	17	13	15	17	17	18	17	18	17	17	15	16	17	17	16	16.5	18	20
11 ズヒル・バイト	CF	175	右	17	13	15	16	17	16	16	17	17	17	16	16	16	16	15	16.0	17	18
13 ラハム・イクラウム	CB	184	右	14	16	17	17	16	16	15	17	16	15	14	16	14	15	14	15.5	15	16
14 ユニフ・フケイン	CB	182	右	14	16	17	15	15	15	15	17	16	15	14	16	14	15	14	15.2	14	16
15 ファーロ・アレ	SB	180	右	16	15	16	18	18	16	15	17	14	16	15	15	15	17	15	15.9	17	18
16 アフトル・アズー	DH	176	右	15	16	16	17	16	16	15	16	15	15	16	15	14	15	15	15.5	16	16
17 アフテル・アフノラ	DH	172	右	15	15	15	17	16	16	16	17	15	16	15	16	15	16	16	15.7	15	16
18 アテル・マザール	OH	178	右	16	15	16	16	15	16	15	16	16	16	16	16	15	17	16	15.8	16	16
19 アテル・サネ	OH	171	右	16	14	16	16	16	16	15	16	16	17	16	15	16	17	16	15.9	17	16
20 アレ・シャナイヒ	OH	168	右	17	13	15	17	17	17	15	18	17	16	17	16	16	16	16	16.2	17	18
21 アレ・タラニ	CF	177	右	16	14	16	16	17	17	16	16	17	17	16	17	17	17	15	16.3	18	20
22 バイト・サート	CF	172	右	17	13	17	13	17	16	17	17	16	16	15	16	16	16	14	15.7	16	18
12 ムフリン・ムサラフ	GK	181	右	12	17	18	15	17	16	15	16	13	12	12	15	13	12	12	14.3	14	10
スタメン能力平均		176.5		15.4	14.9	16.0	16.6	16.5	16.4	15.9	16.7	15.4	15.6	15.1	15.9	15.0	15.6	14.8	15.7	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●スルーパスでチャンスを作れ！

FWに長身の選手がいないので、ハイボールを使ったセンタリングでは得点するのが難しい。スピードを生かしたスルーパスでの攻撃が中心になる。スピードとスタミナの能力は高いチームなので、スペースを見つけたら、どんどんパスを出していこう。パスを出すのはOHのモハマト・アレ。シュート力があるので、ミドルシュートも狙っていける。守備の要となるのはCBのイスミル・ラシード。彼は、防御力、当たり、スタミナ、ジャンプ力に優れた選手だ。

応用戦術

●フォーメーション変更でバランスをアップ

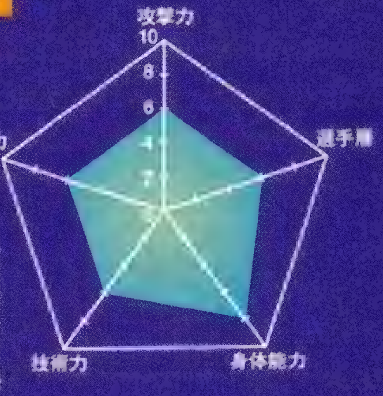
ディフェンスの人数を減らして中盤を厚くする。4-4-2のフォーメーションに変更することで中盤が密になり、パスが通りやすくなるはずだ。選手交代でポイントになるのはCFの選手。ズヒル・バイトに代えて、シュート精度、シュート力に優れた控えのアレ・タラニを起用しよう。

VS CPU

サイドに追い込むディフェンスを

攻撃的なSBのムンケル・アレはサイドアタックが得意な選手。積極的にオーバーラップしてくるので、ポジションの確認は怠らないように。ただ、UAEにはゴール前で力を発揮するタイプのFWがいないので、サイドからセンタリングを上げられる分には、それほど恐さを感じない。相手ボールになったときは、タッチラインに追い込むようなディフェンスで対応していこう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

サウジアラビア

SOUDI ARABIA

1994年のアメリカワールドカップで、初出場ながらベスト16に進出。堅い守備と鋭いカウンターアタックで負けないサッカーをしてくるチームだ。“アジアの黒蜘蛛”の異名を持つモハメド・デアイエは、アジアNO.1キーパーの呼び声が高い。ニックネームからも分かるように、長い手足を使ってスーパーセーブを連発する、ワールドクラスの選手だ。

DEFAULT FORMATION 5-3-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	アザーサイドアタック
●	レフトサイドアタック	✕	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 デライエ	GK	188	右	13	18	17	15	17	18	18	19	15	15	13	16	13	14	13	15.6	18	20
3 ハナウィ	CB	175	右	14	17	17	16	16	16	16	17	16	15	14	16	14	15	14	15.5	15	16
4 セベルナウィ	CB	181	右	14	17	17	17	17	16	15	17	17	15	14	16	14	15	14	15.7	15	16
15 ダルード	CB	184	右	15	16	17	16	16	15	16	16	16	15	15	16	15	16	15	15.7	15	16
13 スリマイ	SB	172	左	17	15	15	17	18	17	17	16	15	15	16	15	15	16	15	15.9	17	20
2 ジャハリ	SB	175	右	15	16	16	17	17	16	16	16	15	16	15	16	15	16	15	15.8	17	16
12 ハクビ	DH	177	右	15	16	16	17	16	15	15	16	16	16	15	15	15	16	14	15.5	15	16
14 ムアリト	OH	180	左	16	16	16	17	17	17	16	18	16	17	18	16	17	17	17	16.7	16	20
7 シャハマリ	OH	182	右	16	14	16	17	17	17	16	17	16	16	16	17	16	17	16	16.3	17	18
9 ジャラー	CF	175	右	17	13	16	17	18	17	17	18	17	16	15	16	17	18	15	16.5	18	20
10 オワイナン	CF	182	左	17	15	16	16	16	16	15	16	16	18	17	16	17	17	17	16.3	17	18
5 マラニ	CB	178	右	14	17	17	17	16	15	16	18	17	15	14	16	14	15	14	15.7	14	16
17 アネト・ドマリ	SB	180	右	16	14	17	17	17	16	15	16	16	16	15	16	16	16	16	15.9	17	18
19 ジャノリ	SB	175	左	16	16	16	17	17	17	16	16	15	17	16	15	15	17	15	16.1	17	18
16 ハリス・ドマリ	DH	180	右	16	16	16	17	16	17	16	16	16	16	16	16	16	16	15	16.1	15	16
20 サテー	DH	183	左	15	16	17	16	16	16	15	16	17	16	16	16	15	17	16	16.0	16	16
6 アリン	DH	177	右	16	16	17	18	17	16	15	16	16	16	16	15	15	17	15	16.1	16	16
18 テミナト	OH	182	右	16	15	16	17	17	17	16	17	16	17	17	16	16	16	16	16.3	16	20
22 オタンビ	CF	177	右	17	13	16	17	17	17	16	17	16	17	15	16	17	17	14	16.1	18	16
8 オウヘト・ドマリ	CF	173	右	16	13	16	17	18	16	16	18	16	16	15	17	16	16	15	16.1	17	16
11 メハネル	CF	170	右	17	13	15	17	17	17	17	17	17	17	16	16	17	17	16	16.4	17	20
21 サディフ	GK	183	右	13	16	17	16	16	16	16	16	13	14	12	16	13	13	13	14.7	15	10
スタメン能力平均		179.2		15.4	15.7	16.3	16.5	16.8	16.4	16.1	16.9	15.9	15.8	15.3	15.9	15.3	16.1	15.0	16.0	16.4	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●ムアリトの正確なパスを生かす

OHの選手が2人並んでいるが、中央でゲームをコントロールするのはムアリトの仕事。ムアリトは、パス精度の低いサウジアラビアでは貴重なパサー。中央、サイドにスルーパスを繰り出す。もう1人のOHシャハマリは、右サイドからの突破でチャンスを作っていく。シュート力もあるので、ゴールが見えたらミドルシュートを打ちたい。FWのジャラーは、長身ではないが、ジャンプ力があり、ヘディングの精度も高い。センタリングはハイボールを中心に使っていこう。

応用戦術

●SHのサイドアタックでチャンスメイク

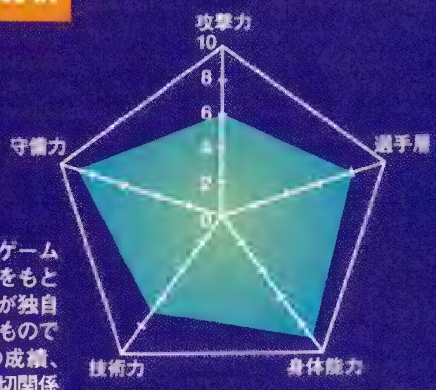
SHにスピードのあるムアリトとテミナトを起用して、両サイドからの攻撃を強化する。センタリングはジャンプ力があり、ヘディングの強いジャラーに合わせていこう。ディフェンスラインには、防御力の高いマラニを起用して強化をはかる。彼は守備的な選手なので攻撃参加はさせないほうがいい。

VS CPU

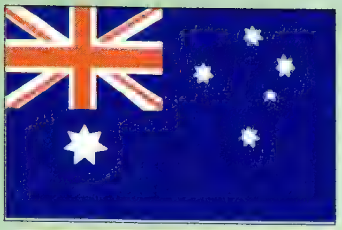
パスカットを狙って速攻をしかける

サウジアラビアは、中盤の選手のパス精度が低いのでミスパスが多い。高い位置からプレスをかければ、パスの精度がさらに落ちるので、インターセプトが狙える。残りのスタミナを考えながら、積極的にプレスしていこう。守備時に注意すべきは、ジャラーのスピード。加速とレスポンスの高い彼に、ゴール付近でパスが出されると危険だ。パスの出どころを押さえよう。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。



オーストラリア

AUSTRALIA

ワールドカップの出場経験はないが、その実力はあなどれない。1994年（アメリカ大会）の予選では、アルゼンチンとのプレイオフに破れ、1998年（フランス大会）の予選では本大会出場を目前にしながら、イランとのプレイオフに破れる。2002年のワールドカップの予選では、南米の5位とプレイオフになる。オセアニア地区NO.1の意地を見せたい。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	レフトサイドアタック
●	ライトサイドアタック	✕	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
①ボルニッチ	GK	186	左	13	17	18	14	15	16	17	17	14	13	13	17	13	13	13	14.9	16	20
⑤ポポリッチ	CB	193	左	14	17	19	16	16	15	16	16	17	15	14	16	14	15	14	15.6	14	18
③ムルア	CB	178	右	15	16	17	17	16	15	16	16	16	16	16	15	15	15	14	15.7	15	16
⑥トミー・ビトナー	DH	185	右	15	15	18	16	17	17	15	16	17	17	17	16	16	17	15	16.3	17	18
②マルカット	SB	181	右	15	16	16	17	16	15	15	16	15	16	16	16	15	15	14	15.5	15	16
⑧オトン	DH	180	右	16	16	17	17	17	15	15	17	16	17	17	16	15	16	15	16.1	16	24
⑦スロコ	OH	177	右	17	13	17	16	17	16	16	17	17	16	16	17	16	16	15	16.1	16	16
⑨ティナット	SH	170	右	16	14	16	18	17	16	16	16	15	16	17	17	15	17	15	16.1	17	18
⑭コミカ	OH	173	右	16	14	16	17	16	17	16	16	15	17	16	16	16	17	16	16.1	15	20
⑪キューメル	WG	180	左	17	13	17	17	18	17	18	16	15	17	17	17	18	18	16	16.7	18	30
⑩ビロカ	CF	188	左	17	13	18	16	17	16	16	16	16	16	16	17	17	16	15	16.1	16	20
⑫フォックル	CB	193	右	15	17	18	17	17	16	16	17	16	16	15	17	16	15	16	16.3	16	20
④レイナット	CB	189	右	14	16	18	16	15	16	16	15	16	15	15	17	14	15	13	15.4	14	20
⑮マーシィ	CB	185	右	15	16	17	16	16	15	15	16	17	16	15	16	15	15	14	15.6	15	18
⑯ラガリディス	SB	179	右	14	16	16	17	16	16	16	17	17	15	14	15	14	15	14	15.5	13	16
㉑エレス	DH	176	右	15	16	17	17	16	16	15	15	16	16	16	15	15	16	14	15.7	16	16
⑬フォスカー	SH	182	右	16	14	17	17	17	16	16	15	16	16	16	16	16	17	15	16.0	16	16
⑲ゼビッチ	SH	187	右	16	14	18	16	16	16	16	16	16	17	17	16	16	17	16	16.2	16	18
㉒エガートン	OH	179	右	16	14	17	16	16	15	15	16	15	16	16	17	16	17	15	15.8	16	16
⑳ジョンロン	OH	179	右	16	14	16	17	17	17	16	17	16	16	16	16	17	16	16	16.2	17	18
⑰アゴステーノ	CF	183	右	17	14	17	16	16	16	17	16	17	17	16	17	17	17	15	16.3	15	20
⑱カナッチ	GK	184	右	13	16	17	14	15	16	16	17	13	13	13	16	13	13	13	14.5	17	12
スタメン能力平均		181.0		15.5	14.9	17.2	16.5	16.5	15.9	16.0	16.3	15.7	16.0	15.9	16.4	15.5	15.9	14.7	15.9	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●キューメルのスピードを生かす

オーストラリアの特徴は高い身体能力。スタミナ、スピード、当たりに強い選手が多い。攻撃の核になるのは、FWのキューメル。スピードがあり、左サイドからの突破は破壊力十分。シュート精度もチームNO.1なので、フィニッシュは彼に任せよう。中盤のキーマンはティナット。サイドからディフェンスを崩して、センタリングを上げる。FWは2人とも高さがあるのでセンタリングはハイボールを多く使っていこう。守備にもフィジカルに優れた選手が多い。当たり負けすることはないだろう。

応用戦術

●控えの優秀な選手をスタメンに

選手の適性値とチームバランスを考えてフォーメーションは変更せずに、選手起用だけでチーム強化をしていく。ディフェンスには控えのフォックルをCBに起用。ハイボールへの対応が安定し、格段に守りやすくなる。OHには平均的に能力の高いアゴステーノを起用して、2列目からの攻撃を強化しよう。

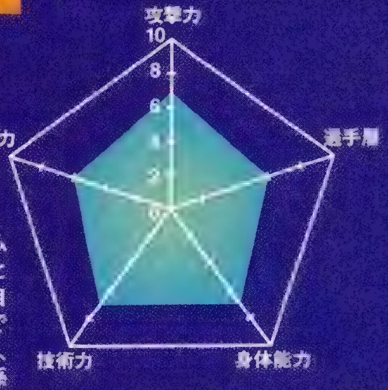
4-4-2A

VS CPU

エースストライカーのキューメルに注意

オーストラリアの選手で注意したいのは、エースストライカーのキューメル。スピードのあるドリブルと正確なシュートが特徴の選手だ。ワンツーでの中央突破や左サイドへ流れる動きを警戒したい。守備の要はCBのポポリッチ。防御力、当たりの能力が高く、190cmの長身を生かしたヘディングでハイボールを跳ね返していく。彼の裏をとるスルーパスで崩したい。

チーム力分析



分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

ユーロオールスターズ

EURO ALL STARS

オランダ、スペイン、フランス、イタリアなど、欧州強豪国の主要選手で構成されたチーム。イメロ、スタン、ダーウィッツ、ベッキャム、ジダム、ビアモフ、シェルチェンコは前作に続いての登場。注目はEURO2000で活躍したポルトガルの2人。ドリブルテクニックに優れたフィート、控えにはジダムと並び称されるファンタジスタ、ルイ・コスナがいる。

DEFAULT FORMATION 3-4-3A

DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	□	アザーサイドアタック
●	レフトサイドアタック	✕	カウンター

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
❶ ファンテルサール	GK	197	右	14	19	18	14	16	16	18	17	14	15	15	16	15	14	14	15.7	16	26
⓫ ミナイロビッチ	CB	184	左	16	17	17	17	16	15	15	17	16	17	17	18	18	17	19	16.8	16	32
❹ イメロ	CB	187	右	16	18	18	17	16	16	17	17	17	17	17	18	17	16	16	16.9	15	32
❺ スタン	CB	191	右	15	19	18	17	16	16	17	18	17	16	15	16	15	15	13	16.2	14	32
❻ ダーウィッツ	DH	169	左	16	16	17	19	18	18	17	19	17	17	17	19	17	17	15	17.3	17	36
⓱ フィート	SH	180	右	17	14	17	17	17	17	17	17	16	18	18	17	17	19	17	17.0	18	24
❼ ベッキャム	SH	183	右	18	15	16	17	17	16	15	16	15	18	19	17	18	18	19	16.9	17	40
❿ ジダム	OH	185	右	18	14	18	17	17	16	16	16	16	18	19	18	17	19	18	17.1	17	40
⓳ ビアモフ	CF	191	右	18	13	18	16	17	16	17	18	19	17	16	18	17	16	15	16.7	18	36
⓬ ラムール	CF	180	左	18	13	17	17	17	17	18	16	16	18	17	17	18	18	17	16.9	17	40
㉒ シェルチェンコ	CF	183	右	19	13	17	17	19	18	17	17	17	17	17	18	18	17	16	17.1	19	40
❸ マルデーニ	CB	185	両	16	17	17	18	17	16	16	17	16	17	17	17	16	16	15	16.5	16	32
❽ ドゥカイー	CB	185	右	15	18	18	17	17	16	16	18	17	16	16	16	15	15	14	16.3	14	30
❷ ペノレスク	SB	175	右	16	16	16	17	17	17	17	16	15	16	17	17	16	17	15	16.3	17	24
⓯ グァルテオナ	DH	180	右	17	16	17	17	17	16	16	17	16	18	18	17	16	17	17	16.8	16	34
⓮ ルイ・コスナ	OH	180	右	18	14	17	17	17	16	17	16	17	18	19	18	17	18	18	17.1	17	36
⓲ ストイクビッチ	OH	176	右	17	14	16	16	17	15	16	15	17	19	19	16	17	18	18	16.7	17	26
㉑ トッチィ	OH	180	右	17	13	17	17	17	17	17	17	17	18	17	18	17	18	16	16.9	17	32
⓭ ギルス	WG	180	左	18	13	16	17	18	19	17	17	16	18	17	18	18	18	18	17.2	18	36
❾ アメルカ	CF	184	右	18	12	17	18	17	18	18	18	17	17	16	17	18	16	15	16.8	18	30
⓴ オーネン	CF	175	右	17	12	16	17	19	18	17	17	17	18	16	17	18	18	15	16.8	19	44
⓰ バルケス	GK	183	左	13	18	18	14	16	17	18	18	14	14	14	17	14	13	13	15.4	17	26
スタメン能力平均		184.5		16.8	15.5	17.4	16.8	16.9	16.5	16.7	17.1	16.4	17.1	17.0	17.5	17.0	16.9	16.3	16.8	16.7	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

ワールドオールスターズ

WORLD ALL STARS

南米のブラジルとアルゼンチンの選手を中心に、アフリカ、アジア諸国から優れた選手を集めたチーム。注目はアジア勢の3人。アジア最高のリベロ、ホン・ミョンゴや日本が誇るMFニラサキ、快足SHのマハナヒキアが参加している。FWは前回に引き続き、決定力の高いバテストゥータが務める。また、けがでリハビリ中の"怪物"ロナルドも控えで登場。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

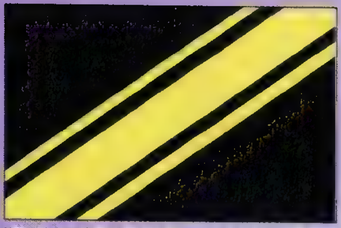
DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	□	アザーサイドアタック
●	レフトサイドアタック	×	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 チラベルト	GK	188	左	13	19	19	15	16	17	18	18	14	16	15	18	17	14	17	16.4	18	32
4 イナン・コルドナ	CB	175	右	14	18	17	16	17	16	18	17	16	15	14	16	14	15	14	15.8	14	22
5 アジャマ	CB	177	右	15	18	17	17	17	16	17	17	18	17	16	16	15	16	14	16.4	14	24
6 ロベウト・カウロス	SB	168	左	17	16	16	18	19	18	17	19	16	17	17	19	17	17	18	17.4	18	36
3 アルネ	SB	178	右	17	15	16	19	17	17	17	16	16	17	17	17	16	17	17	16.7	17	24
8 レドント	DH	186	左	17	16	17	18	17	16	17	16	16	17	17	17	16	17	16	16.7	15	32
10 リバルド	OH	186	左	17	14	18	17	18	17	17	17	17	18	18	18	18	18	17	17.3	17	46
14 ハッゼ	OH	183	右	17	14	17	18	18	17	17	17	17	18	18	17	18	18	17	17.2	17	26
7 レコバ	OH	177	左	18	14	16	17	17	17	17	17	16	18	17	18	18	18	18	17.1	17	32
18 キューメル	WG	175	右	17	14	16	16	17	17	16	16	15	17	16	16	16	16	16	16.1	17	18
11 バテストータ	CF	185	右	19	12	17	17	17	18	18	18	18	17	17	19	19	16	16	17.2	17	44
20 ホン・ミョンゴ	CB	181	右	15	17	16	17	16	15	17	16	16	16	16	16	16	15	15	15.9	16	22
2 カシュー	SB	175	右	17	16	16	18	18	17	17	16	16	17	17	18	16	17	16	16.8	17	30
13 エメウソン	DH	179	右	16	16	17	17	17	16	16	17	18	17	17	16	16	17	16	16.6	16	28
21 マハナヒキア	SH	171	右	17	15	16	18	18	18	17	17	15	16	16	17	16	17	15	16.5	18	22
22 オコチ	OH	175	右	17	15	17	17	17	17	17	18	17	18	18	16	17	18	18	17.1	17	26
15 ニラサキ	OH	175	右	17	15	17	17	17	16	17	16	16	18	18	17	17	17	17	16.8	16	28
16 ベーヨン	OH	186	右	18	15	17	18	17	16	16	16	16	18	19	18	17	17	17	17.0	16	38
19 サンタクレス	CF	188	右	17	13	17	17	17	17	17	17	18	17	16	17	18	17	14	16.6	18	32
17 サマス	CF	174	左	19	12	17	18	18	17	19	19	18	17	17	18	18	18	16	17.4	18	32
9 ロナルド	CF	180	右	19	12	17	16	19	18	17	17	16	19	17	18	18	19	15	17.1	18	50
12 カリーネ	GK	190	右	13	18	18	14	16	17	18	18	13	15	14	16	14	14	13	15.4	16	24
スタメン能力平均		179.8		16.5	15.5	16.9	17.1	17.3	16.9	17.2	17.1	16.3	17.0	16.5	17.4	16.7	16.5	16.4	16.7	16.5	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。



クラシックユーロオールスターズ

CLASSIC EURO ALL STARS

各ポジションに過去のワールドカップ等で活躍した欧州の超有名選手が集まったチーム。注目は1988年に欧州チャンピオンとなったオランダの4人。クーラン、フリッツ、ライカーウト、ファンバスチンの4人だ。そして、栄光のCFの座に就いたのは、フランス人ながらマンチェスターのアイドルになったカムトナだ。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	ゾーンプレス
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
❶ ヤチン	GK	184	右	13	19	18	14	16	16	19	19	15	14	14	16	13	12	13	15.4	17	30
❽ クーラン	CB	182	右	16	18	18	17	16	16	17	17	16	16	17	18	17	16	16	16.7	17	32
❺ ベッケンバウヤ	CB	181	右	16	18	17	17	16	16	17	17	17	17	18	16	16	17	16	16.7	17	40
❻ バレーシ	CB	176	右	16	19	17	17	16	16	18	17	16	17	17	15	16	16	15	16.5	15	36
❹ フリッツ	DH	186	右	17	16	18	18	17	18	17	18	18	18	17	17	18	17	16	17.3	16	36
⓫ ジャリッチ	WG	174	左	17	14	17	17	18	16	16	16	15	18	17	17	17	18	17	16.7	17	28
❷ ベスティ	WG	174	右	17	15	15	18	17	16	15	17	16	17	16	17	16	19	15	16.4	18	32
❿ プラティネ	OH	178	右	17	14	16	16	16	17	16	16	16	19	19	16	18	18	18	16.8	16	44
⓮ クアイフ	OH	176	右	17	15	16	17	17	17	18	16	16	19	18	17	19	19	18	17.3	17	50
❼ カムトナ	CF	188	右	18	13	18	17	17	18	17	17	18	17	17	18	18	17	16	17.1	17	40
❾ ミューアー	CF	175	右	18	13	17	17	18	16	19	17	17	17	16	18	19	17	15	16.9	17	36
❸ ムーヤ	CB	178	右	15	18	17	17	17	16	17	17	17	16	16	16	15	16	15	16.3	16	24
㉒ フォスク	SB	168	右	15	18	17	17	17	18	16	17	16	16	15	16	15	16	15	16.3	15	24
⓯ ライカーウト	DH	190	右	16	18	18	18	17	17	17	18	18	16	16	17	16	16	15	16.9	16	32
⓭ プセカス	OH	172	左	17	14	16	16	16	16	16	16	17	17	16	17	18	18	16	16.4	17	30
⓴ シーホン	OH	175	右	17	14	16	16	16	16	16	15	16	18	19	16	18	18	17	16.5	16	32
⓲ チャーウトン	OH	173	右	17	13	16	17	17	16	16	16	15	17	18	19	18	17	15	16.5	17	42
⓰ シンドアー	CF	179	右	17	13	16	16	16	16	15	16	16	18	17	18	17	18	16	16.3	17	24
⓱ エウサビオ	CF	175	右	18	14	17	18	18	17	17	17	17	18	16	19	18	17	16	17.1	17	40
⓳ ファンバスチン	CF	181	右	19	12	18	17	17	17	18	18	18	18	16	17	19	18	16	17.2	17	44
㉑ リエカー	CF	177	右	17	13	17	16	17	17	18	16	16	18	16	16	18	16	15	16.4	17	32
⓬ ゾフィ	GK	182	右	13	19	18	14	16	16	18	18	14	14	14	16	13	13	12	15.2	15	30
スタメン能力平均		179.5		16.5	15.8	17.0	16.8	16.7	16.5	17.2	17.0	16.4	17.2	16.9	16.8	17.0	16.9	15.9	16.7	16.7	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

クラシックワールドオールスターズ

CLASSIC WORLD ALL STARS

世界のスーパースター軍団。このチームには、日本に縁のある人物が多い。日本代表監督も務めた「ローマの鷹」ファウカンやJリーグ監督の「アルゼンチンの知将」アウディレス、そしてJリーグ創設期に大きな影響を与えた「黄金のカルテット」の1人ジート。忘れてはならないのが、「天才」の名を神から与えられたアルゼンチンのマラドーネだ。

DEFAULT FORMATION 3-4-3B

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	ゾーンプレス
●	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 イキータ	GK	176	右	15	18	17	15	16	17	18	18	14	15	15	16	13	15	12	15.6	19	24
6 チュンピテス	CB	168	右	15	17	17	16	17	16	17	17	17	16	15	16	15	15	14	16.0	15	22
4 カーロスアウベウト	CB	180	右	16	18	17	17	17	16	16	17	16	17	15	17	16	16	15	16.4	16	24
5 アンドアーデ	CB	179	右	16	17	17	18	17	16	16	17	16	17	16	16	16	17	14	16.4	14	24
2 ファウカン	DH	183	右	16	16	16	17	16	16	15	16	16	17	17	16	17	16	15	16.1	16	26
7 アウディレス	DH	169	右	16	15	15	17	16	16	16	16	16	18	18	16	16	17	17	16.3	16	30
8 ジート	OH	172	右	17	14	16	16	16	16	17	16	16	19	19	17	18	18	18	16.9	16	44
10 マラドーネ	OH	166	左	18	14	17	18	17	18	17	17	16	19	18	17	18	19	18	17.4	16	50
9 ペリ	CF	171	右	19	13	17	17	18	17	18	18	19	19	17	18	19	18	16	17.5	17	44
11 ケンプス	CF	181	右	18	13	17	17	18	18	18	17	17	17	16	17	18	17	15	16.9	18	26
18 フランコステリ	CF	180	右	17	14	16	16	17	16	17	16	17	18	17	17	19	18	16	16.7	17	30
3 オスカル	CB	178	右	15	18	17	17	17	16	16	18	17	16	16	16	15	15	14	16.2	15	24
13 トニーノ・セレーゾ	DH	181	右	15	16	17	17	16	16	16	16	16	17	17	16	16	16	16	16.2	17	28
14 ソクアテス	OH	192	右	16	15	17	17	16	16	16	16	17	17	18	18	16	17	16	16.5	16	32
15 クビジス	OH	173	右	17	14	16	18	17	17	16	16	16	18	17	17	17	18	17	16.7	17	26
16 ジズ	OH	174	右	16	15	16	17	17	16	17	17	16	18	19	16	16	17	18	16.7	16	30
17 ロゼ・ミア	CF	176	右	18	13	17	16	18	18	16	18	18	17	16	17	18	17	15	16.8	17	30
12 サンテス	CF	173	右	18	13	16	18	18	18	18	18	17	17	16	18	18	17	15	17.0	16	26
19 ブワウヤ	CF	180	左	18	13	17	18	17	17	17	17	17	18	17	17	17	18	17	17.0	17	30
20 ガインシャ	CF	169	右	19	12	16	18	18	18	18	17	17	19	17	17	18	19	18	17.4	18	40
21 デステハノ	CF	175	右	18	13	16	17	18	18	17	16	16	17	16	17	18	17	14	16.5	17	36
22 ヌコネ	GK	183	右	13	18	17	13	16	17	19	19	14	14	13	17	13	13	13	15.3	16	24
スタメン能力平均		175.0		16.6	15.4	16.5	16.7	16.8	16.5	16.8	16.8	16.4	17.5	16.6	16.6	16.8	16.9	15.5	16.6	16.4	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

獲得コスト別選抜チームを作ろう

ここでは、各ポジションの適性値の高い選手を、獲得コスト別に選抜したチームを掲載している。欧州や南米の強豪国以外にも、有能な選手はたくさんいる。特に、マスターリーグのやりはじめは、ここに載せたチームを参考にして、コストパフォーマンスの高いチームを作ろう。

獲得コスト 30〜26選抜

FORMATION ▶ 3-5-2A
スタメン能力平均 ▶ 16.7

世界選抜といってもいいくらいの豪華な布陣。強豪チームが集まるマスターリーグでも、このチームはトップクラスの実力だ

獲得コスト 24〜20選抜

FORMATION ▶ 4-4-2A
スタメン能力平均 ▶ 16.6

30〜26選抜チームに見劣りのしないメンバーを集めることができた。この水準のチームであれば、マスターリーグ制覇は、そう遠くない。

獲得コスト 18以下選抜

FORMATION ▶ 4-4-2A
スタメン能力平均 ▶ 16.2

日本代表・日本U-23代表の中田を中心に据えたチーム。低コストながらも、マスターリーグを十分に戦っていくことができるはずだ。

CHAPTER4

オリンピックモード
攻略編

オリンピックモードガイド

OLYMPIC MODE GUIDE

U-23日本代表チームを率いて、優勝を目指すモード。アジア最終予選を突破し、グループリーグ、決勝トーナメントを戦う。目指すは金メダルだ！

U-23代表 メダルへの挑戦！

U-23代表で頂点を目指そう！

オリンピックモードでは、A代表を使用して参加することはできない。日本を含む全18チームはU-23（23歳以下）の選手で構成されている。プレイヤーは、アジア最終予選、グループリーグを勝ち抜き、決勝トーナメントで優勝するのが目的になる。グループリーグまでは、実際の組み合わせと同じになっているぞ。

アジア最終予選

まずは、ここを1位で突破するのが目標！　本大会出場を決めろ!!

本大会

本大会は、予選となるグループリーグと決勝トーナメントに分れているぞ。

オリンピックモードの主な流れ

メダル獲得までの道のりは長い！

ここでは、オリンピックモードのゲームの流れを説明していく。アジア最終予選は9ヶ国、3グループに分かれ、各グループの1位が本大会に進む。本大会は16ヶ国、4グループで総当たり戦を行い、上位2チームが決勝トーナメントに進める。

次代のスター候補が揃うU-23代表チーム。実力は拮抗している。

ゲームスタート	
各種設定	まず、試合時間とレベル(難易度)、参加プレイヤー数を決める
アジア最終予選	日本代表チームは、カザフスタン、タイと総当たり戦を行う
予選突破	グループ1位が条件
本大会	アジア最終予選を突破したチームは本大会出場が決定
グループリーグ	ブラジル、南アフリカ、スロバキアと総当たり戦を行う
グループリーグ突破	グループ上位2位が条件
決勝トーナメント	

アジア最終予選

本大会に出場する、アジア代表を決める予選大会。ここでは実際の予選と同じく、日本は、タイ、カザフスタンと同じグループで戦う。グループ1位が本大会に出場できる。

ホーム＆アウェイの総当たり戦で、グループ1位になるのが絶対条件だ！

チーム力を考えたら、こんなところでつまずけない。全勝を目指そう！

U-23日本代表チームで本大会出場を狙え！

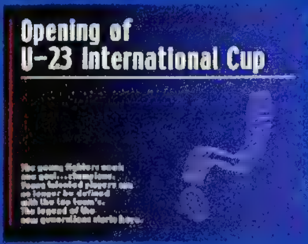
アジアを飛び出し世界の舞台へ

本大会出場への切符をかけたアジア最終予選。U-23日本代表は、タイ、カザフスタンとホーム＆アウェイで戦うことになる。本大会へ出場できるのは、勝ち点トップのチームだけなので、できれば全勝で突破しておきたい。

得失点差で泣くのは悔しい。全勝できればその心配はないのだが…。

グループリーグの勝ち点について

試合方法	90分間（前後半45）の試合を行い、勝敗を決定する。勝敗が決定しない場合は引き分けになり、試合は終了となる。延長戦やPK戦は行わない。
勝点	勝ち点 勝利：3点 引き分け：1点 敗戦0点
順位の決定	総当たり戦が終了した時点で、勝ち点の多い1チームが本大会に出場できる。ただし、勝ち点が同じ場合は 1.得失点差 2.総得点 の結果により、順位を決定する。 ＊リーグ戦の勝ち点は、アジア最終予選も本大会のグループリーグでも同じシステムを採用している。最終予選はグループ1位が、グループリーグでは上位2チームが次のステップに進める。



念願の本大会出場。ここで安心してはいけない。ここからが正念場だ。

U-23日本

JAPAN

トルシエ監督の指揮下で、急速な成長をとげたU-23日本代表チーム（23歳以下で構成）。現日本代表の選手も多く、守備力、攻撃力ともに史上最強チームの呼び声が高い。U-23日本代表チームは、メキシコ以来のメダルが期待されている。チームのエースはMFの中田英寿。得意のキラーパスで決定的なチャンスを作っていく。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

- ▲ センター
- ■ アザーサイドアタック
- ● ゾーンディフェンス
- ✕ オフサイドトラップ

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 曽ヶ端 準	GK	186	右	13	16	17	13	15	15	17	17	13	13	13	16	13	13	12	14.4	16	18
16 中田 浩二	CB	182	左	15	16	16	16	16	15	15	16	16	16	15	16	15	16	15	15.6	15	18
3 松田 直樹	CB	183	右	15	17	17	17	17	16	17	17	16	15	15	15	15	15	14	15.9	16	18
5 中澤 佑二	CB	187	右	14	16	17	16	17	16	16	17	17	14	14	15	14	14	13	15.3	15	18
6 稲本 潤一	DH	181	右	16	16	16	16	16	16	15	15	16	16	17	16	16	17	14	15.9	16	18
7 明神 智和	DH	173	右	15	15	15	16	16	16	15	16	16	15	15	15	15	15	14	15.3	15	18
8 本山 雅志	SH	175	右	16	14	15	16	17	16	16	15	15	16	15	15	15	18	15	15.6	17	18
22 市川 大祐	SB	181	右	16	15	16	16	17	17	16	16	15	15	16	15	15	17	15	15.8	17	18
10 中村 俊輔	OH	178	左	17	13	16	16	16	15	16	16	15	17	17	17	17	18	18	16.3	16	18
19 高原 直泰	CF	181	右	17	13	17	16	17	17	18	17	16	16	16	17	17	17	14	16.3	16	18
17 平瀬 智行	CF	184	右	17	13	17	16	17	17	17	17	17	16	15	16	16	16	15	16.1	17	18
2 宮本 恒靖	CB	176	右	14	17	16	16	16	15	16	16	16	16	15	15	14	15	14	15.4	14	18
4 戸田 和幸	CB	178	右	14	16	16	16	17	15	16	17	16	14	14	15	15	15	13	15.3	14	18
20 遠藤 保仁	DH	177	右	16	15	15	16	16	15	16	16	16	16	16	17	15	16	16	15.8	16	18
28 中田 英寿	OH	175	右	17	15	17	17	17	16	17	16	16	18	18	17	17	17	17	16.8	16	18
13 福田 健二	CF	178	右	17	13	16	15	17	17	17	17	17	16	15	16	16	16	14	15.9	17	18
11 小島 宏美	CF	177	右	17	13	15	16	18	17	17	16	17	16	15	15	16	15	15	15.9	17	18
18 南 雄太	GK	185	右	13	17	17	14	15	17	18	17	15	13	14	16	14	13	12	15.0	17	18
14 酒井 友之	DH	170	右	15	16	16	18	16	16	16	17	17	16	16	16	15	16	16	16.1	15	18
15 西 紀寛	SH	175	右	16	14	15	17	17	16	16	16	15	16	15	15	16	17	15	15.7	17	18
12 藤本 主税	OH	168	右	16	14	16	17	17	16	17	15	16	17	17	17	16	18	17	16.4	17	18
9 北嶋 秀朗	CF	182	右	17	13	17	16	17	16	18	17	17	16	16	16	17	16	14	16.2	16	18
スタメン能力平均		181.0		15.5	14.9	16.3	15.8	16.5	16.0	16.2	16.3	15.6	15.4	15.3	15.7	15.3	16.0	14.5	15.7	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

基本戦術

●中盤のコンビネーションが重要

攻撃を組み立てる中盤にはタレントが揃っている。中央の中村はキープ力があり、パス精度の高い選手。ラストパスや左サイドからの攻撃を多く仕掛けていける。SHの本山、市川はスピードが最大の武器。両サイドからのアタックでセンタリングを狙う。中盤からのパスをゴールに流し込むのは高原と平瀬。スピード、反応速度、ジャンプ力に優れ、ヘディング、足元の両方で点が狙える選手だ。全体的にスタミナの数値が低い選手が多いので、選手交代は大事になる。ハーフタイムでのチェックを忘れずに。

応用戦術

●エース・中田（英）に期待！

デフォルトでは控えになっている中田をトップ下、OHの中村を左サイドに起用する。選手変更によって、中盤でのパス回しがスムーズになり、攻撃力も大幅にアップする。中田（英）のミドルシュートが使えるのも大きい。ワントップの陣形だがMFの攻撃意識を高めれば問題なし。2列目から得点を狙っていこう。

3-6-1B

VS CPU

スリーバックのサイドを攻める

スリーバックの弱点、サイドからの攻撃がCPU戦のポイントになる。SHの本山、市川の裏にできるスペースに、スルーパス（フライスルーパス）を出していこう。守備面では、本山、市川のサイドアタックに注意する。スピードがあり、抜かれると決定的なセンタリングを上げられてしまう。比較的、当たりに弱い選手なので、しっかりとプレスをすればボールは奪えるぞ。

チーム力分析

分析表は、ゲーム中のデータをもとに、編集部が独自に算出したものです。実際の成績、能力とは一切関係ありません。

対策

カザフスタン

最終予選のライバル国

日本代表がアジア最終予選を戦う上で、ライバルになるのがカザフスタン。フィジカルの強い選手が多く、当たりに強いのが特徴のチームだ。特にOHにバルジレフ、シェフレンコとパス精度の高い選手が並んでいるので、ゴール前へのスルーパスやセンタリングに注意したい。

予選を突破するためには、絶対に勝たねばならない相手。ホーム＆アウェイで2回戦うが、最低でも1勝1引き分けで乗り切りたい。

攻撃のポイント

カザフスタンの守備を崩すには、やはりサイドからの攻撃がポイントになる。SBの選手が押し上げてきているときにボールを奪えれば大きなチャンスが生まれる。サイドのスペースにスルーパスを出してセンタリング、シュートを狙っていこう。

守備のポイント

OHの2人が攻撃の起点になるチーム。パス精度の高さは注意しなければならない。CFのガミッチ、ウラザレフもシュート力のある好選手だ。多少遠い場合でも、ミドルシュートを打ってくるので、シュートコースを空けないようにしよう。

要注意選手

OH シェフレンコ

カザフスタンの攻撃の核になる選手。高いパス、シュート精度が武器で、ゲームメイクだけでなく得点力も高い。ミドルレンジからのシュートにも注意。

カザフスタンのエースは、中盤のオールラウンダー。

GK ロニア

カザフスタンの守護神。積極的なGKで、前の飛び出しが魅力の選手。ジャンプ力、当たりの能力に優れているので、ハイボールの対処も的確だ。

積極的な飛び出しが武器。スピードのあるGKだ。

対策 タイ

スピードとスタミナが武器

ムエタイ、セパタクローと足を使った競技が盛んな国。サッカーの人気も高く、レベルは年々上昇している。チームの特徴は、高いスタミナとスピード。テクニックなどの能力は低いが、攻守ともに豊富な運動量でカバーしてくる。しかし、日本代表が普通に戦えば負ける相手ではない！

タイの最大の特徴は、豊富なスタミナ。どの選手も運動量とスピードを武器にしている。しかし、テクニック面の能力はかなり低いレベルだ。

攻撃のポイント

タイは、かなり守備の弱いチーム。しかもスリーバックなので、点を奪うのは難しくない。基本通りにサイドから崩してもいいし、中央からスルーパスを使ってもいい。得失点差も考えて、タイ戦ではなるべく多くの得点を奪っておきたい。

守備のポイント

チーム力は高くないが、スタミナとスピードは侮れない。特にCFのトンソクの動きには注意が必要だ。ディフェンスは裏を取られないようにして守っていこう。高さはないチームなので、ハイボールなどは簡単にクリアできるだろう。

要注意選手

CF トンソク

タイのエースストライカー。チームNO.1のシュート精度と攻撃力を持っている。スピードもあり、スルーパスなどへの飛び出しも鋭い選手だ。

スタミナの能力もチームで一番。豊富な運動量は驚異。

SH ブットン

右サイドからの攻撃を得意とする中盤の選手。スピードとスタミナの能力が高く、ドリブルも得意。センタリングを上げてくるが、精度は高くない。

右サイドから攻撃を仕掛けてくる。マークしておこう。

本大会 グループリーグ

アジア最終予選を突破したら、本大会の本番がスタートする。予選では南アフリカ、スロバキア、ブラジルと総当たり戦を行い、上位2チームが決勝トーナメントに出場できる。

日本と同じグループD組には、サッカー王国、ブラジルがいる。

上位2チームが決勝トーナメントに進出できる。目標は2勝1引き分け。

グループリーグを突破し、8強を狙え！

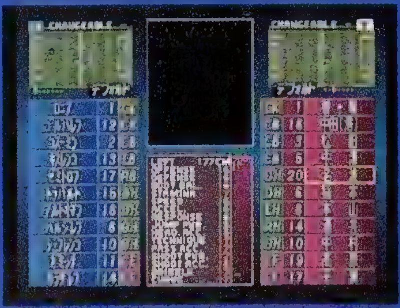
決勝トーナメントへのサバイバルマッチ

アトランタでは、ブラジルに勝利した日本。再び同グループになったが…。

本大会でメダルを獲得するには、まずグループリーグを突破する必要がある。勝ち点の多い2チームが決勝トーナメントに進出できる。3試合を行うリーグ戦なので、累積警告などにも注意する必要がある。ムダなファールは避けよう。

オーバーエイジ選手とは？

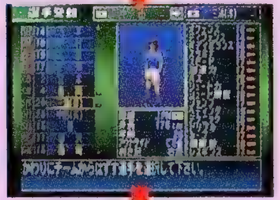
本大会に出場する各国の代表チームは、U-23（23歳以下）で構成されているが、特別ルールとして、3人までは24歳以上の選手を登録できるようになっている。本来のルールでは、オーバーエイジの選手はグループリーグからの参加になっているが、ゲーム中ではアジア最終予選から使うことができるぞ。ここでは、オーバーエイジ選手の登録方法を詳しく説明していこう。



経験豊富な選手は、勝つためには絶対に必要になる。

オーバーエイジ選手を登録する

ゲームオプションの選手登録を選び、登録したい選手を決定する。



登録先になるチームを選び、代わりに外す選手を決定する。

画面上で選手の能力を確認し、登録を完了する。

対策

南アフリカ

本大会のダークホースチーム

アフリカらしく、身体能力（スピード、ジャンプカ、スタミナ）の高さが武器のチーム。守備に多少問題があるものの、スピーディーで破壊力のある攻撃力は驚異だ。初戦の相手としてはかなり厳しいチームだが、ここで負けるようでは、グループリーグの突破は難しくなってしまう。

驚くべきスピードでサッカーレベルを上げているアフリカ勢。身体能力を生かしたアフリカンサッカーのペースで戦うのは危険だ。

攻撃のポイント

スタミナが豊富で、スピードのある選手が多いので、ボールに対するチェックも早い。長くボールを持ちすぎると奪われる可能性が高くなるので、ショートパスを使って攻撃を組み立てる必要がある。SBの裏のスペースを使ってサイドアタックをしかけよう。

守備のポイント

中盤にパスの精度が高い選手はいないが、CFにスピードのある選手が並んでいる。ジャンプカ、スピード、加速、反応速度の能力が高いので、ゴール前にボールを入れられると厄介だ。中盤でのボール支配率を高め、相手CFがボールに触る回数を減らそう。

要注意選手

CF ノンベネ

スピードと加速力が武器の快足FW。サイド、中央の両方から攻撃をしかけてくる。シュート精度、シュート力は低いが、DFの裏をとられると危険だ。

南アフリカの最大の武器は強力なツートップ。

CF ベン・マカティン

南アフリカのエース・ストライカー。ドリブルが得意な選手で、得点能力も高い。ミドルシュートも強力なので、徹底的にマークして押さえ込もう。

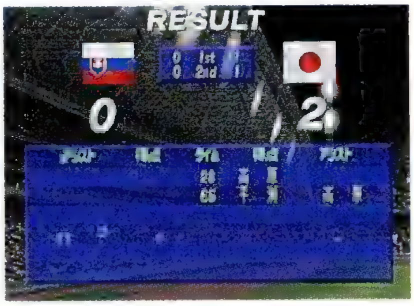
高い打点のヘッドも驚異。ゴール前で仕事をさせるな。

対策

スロバキア

攻守バランスのいい好チーム

突出した能力を持った選手はいないが、攻守のバランスはとれている。グループリーグの中では実力が落ちるチームなので、日本代表としては必ず勝利したいチームだ。左サイドからの攻撃が多く、スピードのあるSBグラスト（実際のポジションはSH）のドリブルに注意したい。



グループリーグを勝ち抜くためには、ここで確実に勝ち点3を挙げておきたい。得失点差を考えても、無駄な失点は防ごう。

攻撃のポイント

左のSBグラストは積極性が高く、攻撃的な選手。彼のサイドアタックはスロバキアの大きな武器だが、ボールを奪えたときには左サイドに大きなスペースができる。右SHの選手を走らせ、スルーパスが通れば大きな得点チャンスが生まれるぞ。

守備のポイント

スロバキアのCFはそれほど身長が高くないので、普通に守ればそれほど怖さは感じない。スリーバックはサイドからの攻撃に弱いので、守備に自信のない人は、DFの人数を増やすなどして、フォーメーションチェンジで強化してみよう。

要注意選手

SB(SH)
グラスト

実際のポジションがSHということもあり、左サイドから頻繁に攻撃参加してくる。スピード、テクニック、ドリブルの能力に優れ、キープ力も高い。

攻撃的なディフェンダーは、ミドルシュートも得意。

CF(SH)
ネレス

本来は中盤の選手だが、高い得点力を生かすためCFに起用されている。加速力と反応速度が高いので、ゴール前でのポジショニングに優れている。

低いセンタリングや、スルーパスに鋭く反応する。

対策 ブラジル

本気になった王者・ブラジル

攻撃陣にA代表にも選出されているメンバーを入れてきた。しかし、意外なことだが、サッカー王国のブラジルは、本大会で金メダルを獲得したことがない。ブラジルが本気になる条件は揃っている。日本が勝利するためには先に点を奪って、逃げ切るサッカーをしたい。

ブラジルを相手に、リードを許す展開はかなり厳しい。前半は守備に重点を置き、スタミナが切れる後半に得点を奪いにいこう。

攻撃のポイント

どちらかといえば、ブラジルは守備に課題のあるチーム。普通に崩すのは難しいが、SBのアタリソンが攻撃的な選手なので、彼がオーバーラップしたときにチャンスが生まれる。サイドからディフェンスを崩したら、ニアサイドに低いセンタリングを入れていこう。

守備のポイント

ブラジルには、スピードと加速力の高い選手が多く、2列目からの攻撃にも破壊力がある。スタミナがある前半は、守備を固めて攻撃をしのいでいこう。ブラジルの攻撃陣はスタミナの数値が低い選手が多いので、必ず後半にチャンスが訪れるはずだ。

要注意選手

OH アネックス

ブラジルの攻撃を指揮するゲームメイカー。テクニック、ドリブルに優れ、高いキープ力を誇る。シュート精度も高いので、得点力も高いOHだ。

正確なスルーパスで、得点チャンスを演出する。

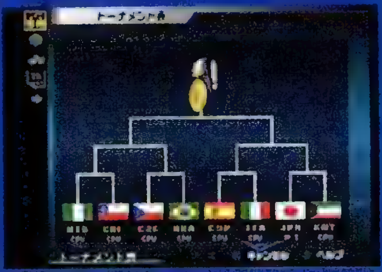
CF ロマウロ

ブラジルのエース・ストライカー。キープ力、得点力はもちろん、ミドルシュートも打てる。身長はそれほど高くないが、ヘディングでも強さを発揮する。

ゴール前での反応速度はチームで一番の切れ味。

決勝
トーナメント

グループリーグを突破すれば8強が出揃う。決勝はノックアウト形式のトーナメント戦になるので、ここから負けは許されない。決勝戦で勝利をもぎとり、栄光の金メダルを手に入れよう！


決勝トーナメントには各グループを勝ち抜いた強豪が並ぶ。

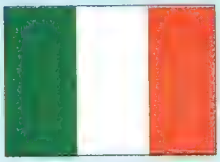
3回勝利すれば、栄光の金メダルを獲得することができるぞ。

強豪国を倒し！　狙え金メダル!!

対戦相手はランダム!?

決勝トーナメントの組み合わせは、各グループの順位によって決定されるが、他のグループの結果は、プレイするたびに変化してしまう。どのチームが上がってくるかはわからないが、ここでは、決勝トーナメントに残る可能性の高い、強豪国とその特徴を解説していこう。

イタリア

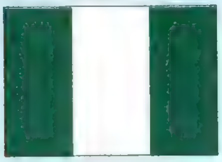


ヨーロッパのサッカー強豪国だけあり、各選手の能力は高い。守備陣、攻撃陣ともにタレントが揃い、本大会の優勝候補であることは間違いないだろう。A代表に比べ、ディフェンスが多少弱いので、スリーバックの裏をとって、先取点を奪えれば勝機は生まれる。

スペイン

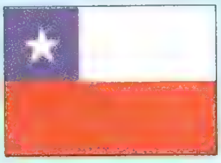
イタリアと並び、優勝候補に挙げられているスペイン。スピードのあるサイドアタックと強力なツートップを擁し、攻撃的なサッカーをしかけてくる。当たりの能力が高い選手が多く、守備も堅い。少ないチャンスをモノにして、守りきるサッカーで対抗しよう。

ナイジェリア



ナイジェリアは、A代表と同じく身体能力を生かしたサッカーを展開してくる。WG、SBにスピードのある選手が揃い、サイドからの攻撃は破壊力十分。ナイジェリアと戦う場合はスリーバックではなく、DFの人数を増やして、サイドを固める必要があるだろう。

チリ



チームのバランスが良く、攻撃的なSB、SHが揃っている。サイドアタックを得意とし、決定力のあるCFにボールを放り込んでくる。高さはないが、加速力、反応速度に優れた選手が多いので、低いセンタリングや、こぼれ球などのセカンドチャンスに強さを発揮する。

オーストラリア

本大会のホスト国。フィジカルに優れた選手が多く、当たりに強いのがチームの特徴だ。CBのフォックルは身長が高く、ジャンプ力もある選手。ゴール前での競り合いはもちろん、セットプレイではヘディングシュートにも注意する必要がある。

ワンポイントアドバイス 強豪国との戦い方

POINT 1 カード、調子を考えた選手起用

主要メンバーを累積警告などで欠くようでは、強豪国との戦いに勝利するのは難しい。点差や状況を考えて、カードをもらっている選手を下げるのも重要な作戦になる。ファールは控えめに。

激しく試合をすれば、自然と警告は多くなるが、出場停止だけは避けたい。カード枚数には気をつけよう。

カードをもらった選手をベンチに下げるのも作戦のひとつ。大きな痛手となる前に、選手交代をしよう。

POINT 2 ゴール付近でのファールは厳禁

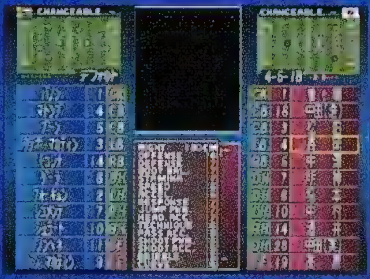
対戦国は、直接フリーキックの精度が高い。特に決勝トーナメントに登場するチームのキッカーはフリーキックを得意とする選手が多いので、ペナルティエリア付近でのファールは危険だ。

壁に当たったこぼれ球は、必ずマイボールにしよう。前線に渡すことができれば、速攻のチャンス。

GKの能力が高くても、正確なフリーキックを止めるのは難しい。あとは、外れるのを祈るしかない!?

POINT 3 相手に合わせたフォーメーションを

日本代表のフォーメーションは、3－5－2だが、相手チームによっては戦いにくい場合もある。サイドアタックを多くしかけられるようなら、DFの数を増やして対抗してもいいだろう。



スピードのあるアフリカ勢と戦う場合は、サイドアタックを防ぐためにもDFの数を増やしておきたい。

状況に応じてフォーメーションを代えれば有利に試合を進められる。攻撃的、守備的の両方を使い分けよう。

SPAIN

スペイン

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

ヨーロッパの強豪国であるスペイン。若い世代にも多くのタレントが揃っている。注目の選手はSBのプロムとCFのホレナリ。プロムは右サイドからの攻撃参加が魅力で、正確なセンタリングを上げる。そのボールをゴールへ入れるのがホレナリ。高さのあるヘディングと反応のよさを生かして得点を狙う。控えのアンヘロ、トミー、タモーレも能力が高い。

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	ゾーンディフェンス
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手データ	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 アランサバル	GK	184	右	12	17	18	14	15	16	17	17	13	14	14	17	13	12	12	14.7	16	14
3 カウデオラ	CB	181	左	16	16	17	16	17	16	16	17	16	15	16	17	15	16	15	16.1	16	20
5 マルキナ	CB	183	右	14	17	17	16	16	15	15	16	16	15	15	16	14	15	14	15.4	14	14
2 ラコルス	SB	175	右	16	15	16	17	17	17	16	15	15	16	16	16	15	16	14	15.8	17	20
12 プロム	SB	178	右	16	17	18	16	17	17	16	16	15	16	16	17	14	17	15	16.2	16	24
10 シャディ	DH	170	右	16	16	16	17	17	16	16	17	15	17	18	16	16	17	17	16.5	16	24
6 イウナエル	DH	188	右	15	17	17	16	16	15	15	15	16	16	16	17	15	16	15	15.8	15	20
8 ガウリ	OH	175	右	17	13	16	17	17	17	16	16	16	17	17	16	17	17	16	16.3	17	22
11 ファミオル	SH	172	右	16	16	16	17	17	17	16	16	15	17	17	17	16	16	17	16.4	16	20
19 ルカ	CF	183	右	17	13	17	16	16	16	17	17	16	16	17	16	17	17	16	16.3	16	20
9 ホレナリ	CF	185	右	17	13	17	17	17	17	18	17	17	17	16	16	17	16	15	16.5	17	26
14 ドナート	SB	180	右	16	16	16	17	16	16	16	16	15	16	16	16	15	16	15	15.9	16	18
15 アウベート	DH	181	右	15	16	17	16	16	16	15	17	15	16	16	17	15	16	14	15.8	15	18
18 フレモン	SH	178	右	16	14	16	17	17	16	15	16	16	17	17	16	16	17	16	16.1	17	18
7 アンヘロ	OH	180	右	17	13	17	17	17	17	16	17	17	17	16	17	17	17	15	16.5	17	22
17 トミー	CF	173	右	17	13	15	17	17	18	15	17	16	17	17	16	16	16	16	16.2	17	18
16 タモーレ	CF	180	右	17	13	16	16	17	17	17	15	16	15	14	15	17	18	15	15.9	19	18
13 ライエス	GK	180	右	12	16	17	14	15	15	16	16	13	13	13	16	13	13	12	14.3	16	14
スタメン能力平均		179.5		15.6	15.5	16.8	16.3	16.5	16.3	16.2	16.3	15.5	16.0	16.2	16.5	15.4	15.9	15.1	16.0	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

ITALY

イタリア

ファンタジスタを多く生み出しているイタリアは、今大会の優勝候補。中盤にガトーソ、ピレロと優秀な選手を揃えている。イタリアといえば「カテナッチオ」と呼ばれる堅い守りを思い浮かべるが、この世代のチームに、注目すべきDFはいない。守りの要はGKのアビナーティになるだろう。守備力、当たり、ジャンプ力の能力が高い選手だ。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

△	センターアタック	□	ゾーンディフェンス
○	レフトサイドアタック	×	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
❶アビナーティ	GK	190	右	13	18	18	15	17	17	17	18	13	13	13	16	13	13	12	15.1	17	20
⑮チゲーロ	CB	182	右	14	17	17	16	16	16	15	16	17	16	15	15	15	15	14	15.6	14	20
❷グラナドーネ	CB	180	右	14	16	17	16	16	15	15	16	15	15	15	16	14	15	13	15.2	15	16
❹ザーギ	CB	178	右	14	17	17	17	17	15	16	17	16	16	16	16	14	16	14	15.9	14	20
⑰ザニアーティ	DH	180	右	16	16	17	17	16	16	16	16	15	16	16	16	16	17	16	16.1	16	20
❽バローリオ	DH	175	右	16	16	16	17	17	16	16	16	16	17	17	17	16	17	17	16.5	16	24
⑬コト	SH	181	右	16	15	17	17	17	16	15	17	15	17	16	16	15	17	15	16.1	17	22
❻ガトーソ	SH	177	右	16	16	18	19	17	16	16	16	16	16	16	17	15	17	14	16.3	17	24
❿ピレロ	OH	177	右	17	13	15	17	17	16	17	16	16	18	18	17	17	18	17	16.6	17	28
❼コナンムーリ	CF	180	右	16	14	16	17	16	16	16	17	16	17	16	16	17	17	15	16.1	16	20
❾ベントーニ	CF	185	右	18	13	18	16	17	17	18	17	17	16	16	18	17	17	14	16.6	18	26
❺フェロータ	CB	181	右	14	17	17	17	17	17	17	17	16	16	15	16	14	16	14	16.0	16	20
❸メッツァルモ	CB	181	右	14	16	16	16	16	15	16	17	16	15	15	16	14	16	14	15.5	14	16
⑱フィルナーレ	DH	181	右	15	15	16	17	17	16	15	15	14	15	15	17	16	16	15	15.6	16	16
⑯バヌッティ	SH	178	右	17	14	16	16	17	16	16	15	16	17	17	16	17	17	17	16.3	17	20
⑪ペローテ	OH	178	右	16	14	16	18	16	16	15	16	15	16	15	16	16	17	15	15.8	15	16
⑳スチネーリ	CF	184	右	16	13	17	16	16	17	17	16	16	16	15	16	17	16	14	15.9	17	18
⑫サンクリス	GK	190	右	12	17	18	14	16	15	16	17	13	14	13	15	13	13	12	14.5	15	18
スタメン能力平均		180.5		15.5	15.5	16.9	16.7	16.6	16.0	16.1	16.5	15.6	16.1	15.8	16.4	15.4	16.3	14.6	16.0	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

CZECH

チェコ

チェコは、テクニシャンを揃えるバランスのとれたチーム。特に中盤から前線にキープ力の高い選手が多いので、試合を有利に進められるだろう。スタメンで攻撃の中心になるのはOHのヤコロウスキとCFのリーゲル。また、控えにもスピードに乗ったドリブルが武器のSHデヴィス、得点力の高いCFドレク・トタスなど、攻撃陣の選手層はかなり厚い。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	□	ゾーンディフェンス
●	レフトサイドアタック	✕	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 アイエス	GK	188	右	13	17	18	13	16	15	17	16	13	13	14	17	13	12	12	14.6	15	14
6 ティエ・ローワン	CB	177	右	14	17	17	16	16	16	16	17	17	15	15	16	15	15	13	15.7	15	18
8 ウヤーリ・トタス	CB	186	右	14	16	17	16	16	15	15	16	16	15	14	17	14	15	13	15.3	14	14
3 アナン	SB	180	右	15	16	16	16	17	16	15	16	15	16	15	16	15	16	14	15.6	16	14
2 ルクス	SB	178	右	16	15	16	17	17	16	16	15	16	16	16	15	15	17	15	15.9	17	16
5 レネ・ローワン	DH	182	右	15	16	17	17	16	15	15	16	16	16	17	17	15	15	15	15.9	15	18
4 ズメレツ	SH	175	右	16	15	16	17	16	17	16	16	15	17	17	16	15	18	17	16.3	16	16
12 ポーラ・ファン	SH	180	右	17	14	17	16	17	16	15	17	16	17	16	17	16	17	16	16.3	16	16
9 ヤコロウスキ	OH	177	右	17	14	17	17	17	15	16	15	16	18	17	16	17	17	17	16.4	16	22
19 ヘイ・マレル	OH	183	右	17	14	17	16	16	15	15	16	16	17	17	16	17	17	17	16.2	15	20
7 リーゲル	CF	174	右	17	13	16	17	17	16	17	17	17	17	16	16	17	17	15	16.3	17	20
14 エリク	CB	184	右	14	16	17	16	16	15	15	16	16	14	15	17	14	15	14	15.3	15	14
13 イライ	DH	180	右	15	16	16	16	16	15	15	16	16	16	16	16	15	16	14	15.6	15	14
15 デヴィス	SH	172	右	17	14	15	18	17	16	17	15	15	17	17	17	15	17	17	16.3	17	16
18 シモウ・ファン	OH	172	右	16	16	15	17	16	16	16	16	16	16	17	16	16	17	16	16.1	16	16
11 ミラーノ	CF	181	右	17	14	16	16	16	15	16	16	17	17	16	17	16	16	16	16.1	16	18
10 ドレク・トタス	CF	175	右	17	13	16	17	17	17	17	17	16	18	17	16	17	17	15	16.5	16	20
16 ヤコウロフ	GK	185	右	13	16	17	14	15	16	16	17	13	14	14	16	13	13	12	14.6	18	14
スタメン能力平均		180.3		15.5	15.2	16.7	16.2	16.5	15.6	15.7	16.1	15.7	16.1	15.8	16.3	15.4	16.0	14.9	15.8	15.6	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

SLOVAKIA

スロバキア

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

スロバキアの攻撃は、スピード、加速に優れる、バルクック、キネル、ネレス、バラニクの4人。スピードに乗ったサイドアタックや、スルーパスへの飛び出しがスロバキアの大きな武器になっている。守備陣は当たりに強く、高さのある選手が揃っているので、ゴール前での競り合いなどに強さを発揮する。控えでは、SHヴィスカッリに注目したい。

DEFAULT STRATEGY

△	センターアタック	□	レフトサイドアタック
○	ライトサイドアタック	×	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 コントラバスキ	GK	186	右	14	17	18	14	15	16	17	16	13	13	13	16	13	13	12	14.7	17	14
4 フリスカ	CB	186	右	14	16	17	16	16	15	15	16	16	15	15	16	14	15	14	15.3	14	16
5 レロード	CB	188	右	14	17	17	16	16	15	16	18	17	15	14	17	14	16	15	15.8	15	22
2 グラスト	SH	183	左	17	15	17	17	17	16	16	16	15	17	16	17	15	18	16	16.3	17	22
18 チロムスキ	SB	185	右	16	15	16	17	17	16	15	16	15	15	15	16	14	16	14	15.5	17	16
9 チレーデ	DH	174	右	16	15	16	18	17	16	16	17	15	16	16	16	16	16	15	16.1	16	16
19 ペロナス	DH	187	右	15	16	17	16	16	15	15	16	16	15	15	17	15	15	14	15.5	14	18
11 バルクック	OH	176	右	16	14	16	17	17	16	16	17	17	16	17	16	16	17	15	16.2	17	18
7 キネル	SH	177	右	17	14	16	17	17	17	17	17	16	16	16	16	17	16	17	16.4	18	18
8 ネレス	SH	175	右	16	14	16	16	17	18	18	16	16	17	16	16	17	17	15	16.3	16	18
10 バラニク	CF	176	右	17	13	16	17	17	17	17	17	17	16	15	17	17	16	14	16.2	17	20
15 メルマロス	CB	181	右	14	16	16	16	16	16	15	17	16	16	15	17	14	15	13	15.5	14	16
3 ヒュンター	SB	177	右	17	14	16	17	17	18	15	17	15	16	16	16	15	16	14	15.9	18	18
13 セゾラグ	DH	176	右	15	15	16	17	16	17	16	17	15	16	17	16	15	17	16	16.1	16	16
6 クレスト	DH	186	右	14	16	17	16	16	16	15	16	16	15	15	17	15	15	14	15.5	15	16
17 ヴィスカッリ	SH	170	右	16	14	15	17	17	17	17	16	16	17	16	16	16	17	17	16.3	17	18
16 ミステル	OH	180	右	16	14	16	16	16	15	16	17	16	17	16	16	17	17	16	16.1	16	18
12 バガルスキ	GK	182	右	13	16	17	14	16	15	16	17	13	14	13	17	13	12	12	14.5	15	14
スタメン能力平均		181.3		15.6	15.1	16.5	16.5	16.5	16.1	16.2	16.5	15.7	15.5	15.3	16.4	15.3	15.9	14.6	15.9	16.2	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

MOROCCO

モロッコ

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

ツートップの攻撃力は高いのだが、中盤にパス精度の高い選手が少ないのが気になる。センタリングなどは合いにくいので、スルーパスなどで相手の裏をとる攻撃をしかけたい。エルハタリとモウルタミアの出来が、チーム浮沈のカギを握るだろう。スターティングメンバーはデフォルトの状態で問題ないが、途中交代で控えのハトルニを使いたい。

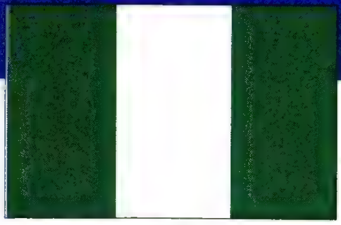
DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	□	レフトサイドアタック
○	ライトサイドアタック	✕	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 イラクニ	GK	181	右	12	16	17	15	16	17	16	17	14	13	12	16	12	12	12	14.5	17	10
4 ラルーヒ	CB	184	右	14	16	17	16	16	16	15	16	17	15	14	16	14	14	14	15.3	15	12
5 アルバラル	CB	177	右	14	16	17	17	17	15	16	17	16	16	15	16	15	15	13	15.7	14	12
3 チトレ	SB	175	左	16	15	16	17	17	15	16	16	15	15	14	15	15	15	14	15.4	16	12
2 ヤルナ	SB	173	右	17	15	15	18	17	17	15	17	15	15	15	16	15	16	14	15.8	17	16
6 ハバリ	DH	180	右	15	16	17	16	16	16	14	16	16	16	15	17	16	15	15	15.7	15	12
8 ジリンデン	DH	178	右	15	15	16	17	16	15	15	16	15	17	16	17	16	16	15	15.8	16	12
11 ハルヒ	OH	182	右	16	15	16	16	17	16	16	17	17	16	16	17	16	17	16	16.3	16	16
7 リマヒ	OH	175	右	16	14	15	18	16	16	15	16	16	17	17	16	17	18	17	16.3	17	18
9 エルハタリ	CF	180	右	18	13	17	16	18	17	17	17	17	16	16	17	16	17	15	16.5	18	18
10 モウルタミア	CF	176	右	17	12	16	17	17	18	17	16	17	16	15	16	17	16	16	16.2	17	16
13 ウイルレ	CB	180	右	14	16	17	17	16	15	16	16	16	15	14	16	14	14	13	15.3	14	12
17 ハトルニ	SB	170	右	16	15	16	18	17	16	17	16	15	14	15	15	15	17	14	15.7	15	16
14 ジェンダ	DH	175	右	15	16	16	17	17	15	16	15	16	15	15	16	15	15	14	15.5	16	12
16 クルロ	OH	171	右	16	14	15	17	17	15	17	17	16	17	17	15	17	17	16	16.2	17	18
15 バハダ	CF	175	右	17	14	15	17	17	16	17	16	16	16	16	16	17	16	15	16.1	16	16
18 ラキプ	CF	180	右	17	13	16	16	16	17	16	18	17	15	15	17	16	17	14	16.0	18	12
12 ドイス	GK	177	右	12	16	17	15	17	16	16	17	13	12	12	16	12	12	12	14.3	15	10
スタメン能力平均		178.3		15.5	14.8	16.3	16.6	16.6	16.2	15.6	16.5	15.9	15.6	15.0	16.3	15.4	15.5	14.6	15.8	16.2	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。



NIGERIA

ナイジェリア

DEFAULT FORMATION 4-3-3B

アトランタで優勝したナイジェリアは、本大会でも優勝候補に挙げられる。スピードのある選手が多いのが特徴で、ピッチを広く使う、両サイドからの攻撃が得意なチームだ。A代表で活躍している選手も多く、控えにもカマ、アボガラ、ババンジラなどスタメン以上の力を持つ選手がいる。調子を見て、スタメンを決めよう。

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	カウンターディフェンス
○	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
❶ エタノー	GK	183	右	13	17	17	14	16	17	17	18	14	13	13	16	13	13	16	15.1	15	14
❹ アオラジ	CB	186	右	14	16	17	16	16	16	15	16	16	15	14	17	14	14	13	15.3	15	12
❺ イエネリ	CB	182	右	15	17	17	16	16	17	16	17	16	16	15	16	15	15	15	15.9	15	18
❸ ババワロ	SB	175	左	17	15	16	17	18	16	17	18	17	15	15	16	16	16	15	16.3	17	20
❷ シャカタケ	SB	179	右	16	15	17	17	18	16	16	17	15	16	15	15	15	17	15	16.0	16	16
❻ カツ	DH	186	右	16	16	17	17	16	16	15	16	17	16	15	18	15	16	14	16.0	15	20
⓯ オイセ	DH	179	右	16	15	16	18	17	16	16	17	15	16	16	16	15	17	15	16.1	16	18
❿ エリネレ	OH	173	右	17	14	16	16	17	16	15	17	15	17	17	16	17	18	17	16.3	16	24
❼ アガチャ	CF	193	両	16	16	18	17	16	16	16	17	18	16	17	17	16	17	15	16.5	17	22
❾ エミリヤ	WG	180	右	17	13	16	17	17	17	17	17	16	17	16	17	17	18	15	16.5	17	20
⓫ イケドラ	WG	166	右	16	13	15	17	18	17	17	18	16	16	15	16	17	16	14	16.1	17	18
⓭ イロムアシ	CB	181	右	13	17	17	16	16	16	16	17	16	15	14	16	14	15	13	15.4	15	16
⓮ エイク	CB	183	右	14	16	17	16	17	15	15	16	16	16	15	16	15	16	14	15.6	14	18
⓰ カマ	SB	180	右	16	15	16	18	17	17	15	17	15	17	16	17	15	16	15	16.1	16	16
❽ フルレーン	SB	177	右	16	15	16	17	18	17	15	17	16	16	15	16	15	16	14	15.9	16	18
⓱ アボガラ	CF	178	両	17	13	16	17	18	18	18	17	16	17	16	17	17	17	15	16.6	17	20
⓲ ババンジラ	CF	179	右	18	13	16	17	19	17	17	17	17	16	15	16	17	16	14	16.3	18	24
⓬ オコノメ	GK	188	右	12	16	18	14	15	16	16	17	13	13	13	17	13	12	12	14.5	17	16
スタメン能力平均		180.6		15.7	15.2	16.5	16.5	16.8	16.4	16.1	17.1	15.9	15.7	15.3	16.4	15.5	16.1	14.9	16.0	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

CAMEROON

カメルーン

カメルーンは、アフリカの強豪国。スタミナとスピードの能力を生かした豊富な運動量で試合を構成していく。中盤のタレント不足が気になるが、控えのディコルネ（OH）をスタメンで起用すれば問題ないだろう。チームNO.1のスピードを持つシノは、カメルーンの秘密兵器的存在。後半に投入して、試合を決める得点を狙っていこう。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	レフトサイドアタック
○	ライトサイドアタック	×	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ヌドジャワ	GK	176	右	12	17	17	16	16	17	16	16	13	13	12	17	12	12	12	14.5	17	12
4 レゼ	CB	185	右	14	17	17	16	16	15	15	17	17	15	14	17	13	15	13	15.4	15	14
5 ムソンゴ	CB	177	右	14	16	17	17	17	15	16	18	16	16	15	16	14	15	14	15.7	16	12
3 ハルガ	SB	173	右	15	15	16	18	18	17	16	17	15	16	15	16	15	17	14	16.0	17	16
15 イブラエマ	SB	187	右	16	15	17	16	17	16	15	16	16	16	15	16	15	16	14	15.7	16	12
6 ヌジンカ	DH	176	右	15	16	16	17	16	16	14	16	16	16	16	16	15	16	14	15.7	15	12
7 エムドニ	SH	185	右	16	15	16	17	17	17	15	16	16	17	16	17	16	17	15	16.2	16	16
2 ヌジタック	SH	180	右	17	14	17	18	17	17	16	17	16	17	16	16	15	16	15	16.3	17	20
10 オレンデ	OH	177	左	17	13	16	17	17	16	15	17	17	17	17	18	16	17	17	16.5	17	18
11 コノル	CF	180	右	18	13	17	17	17	18	17	18	17	16	16	17	18	17	15	16.7	17	20
9 キロロ	CF	190	右	18	12	18	16	18	17	17	17	18	17	16	17	17	17	14	16.6	18	20
13 チューチョ	CB	182	右	14	16	17	16	16	16	15	17	16	14	14	16	14	15	13	15.3	14	14
14 ソンボ	SB	177	右	14	17	16	18	17	16	16	16	17	16	16	16	15	15	13	15.9	14	12
17 ビコラ	DH	176	右	15	15	16	18	16	15	16	16	16	16	15	17	15	16	14	15.7	15	12
18 ディコルネ	OH	166	右	17	13	16	17	17	16	15	18	16	17	17	17	17	18	17	16.5	16	20
12 イドリヨー	CF	188	右	17	13	17	16	17	16	17	17	17	16	17	16	17	16	16	16.3	18	18
8 シノ	CF	176	右	17	13	16	17	19	17	17	19	16	16	15	17	16	16	15	16.4	17	18
16 カメナ	GK	182	右	12	17	17	16	17	16	15	17	13	13	13	16	12	12	12	14.5	15	10
スタメン能力平均		181.0		15.6	14.8	16.7	16.8	16.9	16.5	15.6	16.8	16.1	16.0	15.3	16.6	15.1	15.9	14.3	15.9	16.5	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

SOUTH AFRICA

南アフリカ

南アフリカのツートップは、全チームの中で屈指の破壊力を誇る。2人は、スピードがあり、当たり、反応速度、加速の能力に優れたストライカーだ。パス精度は低いので、細かいパスが苦手。長いボールを前線に出して、走り込ませるようにしたい。また、SHのサイドアタックも大きな武器になっている。スタメンはデフォルトの状態でOKだ。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

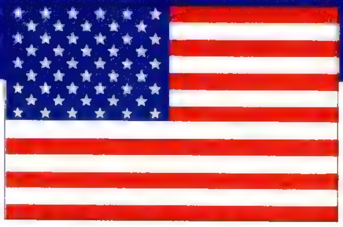
DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	レフトサイドアタック
●	ライトサイドアタック	✕	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 バノン	GK	185	右	13	16	17	13	16	16	16	17	15	13	13	15	13	14	12	14.6	15	12
4 マトンブ	CB	178	右	14	16	16	16	17	15	16	17	16	14	14	15	14	15	14	15.3	15	14
5 ブーン	CB	192	右	14	17	16	17	16	15	17	18	17	16	15	16	15	14	15	15.9	14	16
3 ファボ・マカティン	SB	178	右	16	15	17	16	17	16	15	16	16	15	15	16	15	16	13	15.6	15	14
14 モコレナ	SB	173	右	15	15	15	16	18	17	16	18	15	16	16	16	16	17	15	16.1	17	18
6 グーラ	DH	177	右	16	14	16	18	16	15	15	16	15	16	15	16	16	16	15	15.7	16	16
2 フォーキュン	SH	180	右	16	16	17	17	17	16	16	17	17	17	16	17	16	17	16	16.5	15	24
7 レコメンデ	SH	173	右	17	14	15	17	18	16	15	17	15	16	15	17	15	16	15	15.9	18	16
10 シェラート	OH	177	右	16	14	16	16	16	17	16	16	15	17	17	17	17	17	17	16.3	16	18
11 ノンベネ	CF	169	右	17	13	16	18	18	18	17	18	16	16	16	16	16	16	15	16.4	17	20
9 ベン・マカティン	CF	180	右	17	13	16	17	18	17	17	18	17	17	17	18	18	18	16	16.9	19	24
13 カネメアテ	CB	173	右	15	16	16	18	17	17	15	17	14	15	14	15	15	16	14	15.6	18	14
8 エンブト	DH	176	右	15	15	16	17	17	15	16	17	16	15	16	16	15	15	14	15.7	15	14
17 プル	SH	180	右	16	14	16	16	17	17	14	16	15	15	15	16	15	18	14	15.6	16	18
15 クサネ	OH	179	右	17	14	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	16	17	16	15.9	17	16
16 マロウ	CF	179	右	17	13	16	17	17	16	17	16	16	15	15	17	16	17	15	16.0	17	18
18 ヌレソウ	CF	185	右	16	12	17	15	16	15	15	17	17	17	16	16	17	16	14	15.7	16	16
12 フェルナンド	GK	181	右	13	15	17	14	15	17	15	17	14	14	13	16	12	13	13	14.5	17	12
スタメン能力平均		179.1		15.5	14.8	16.1	16.5	17.0	16.2	16.0	17.1	15.8	15.7	15.4	16.3	15.5	16.0	14.8	15.9	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。



UNITED STATES

アメリカ

サッカー後進国のアメリカだが、ここ数年の発展はめざましいものがある。守備の中心は、CBのコラエス。防御力、当たり、スピードに優れ、1対1で強さを発揮する選手だ。攻撃のキーマンは、SHのソラントンとCFのアルブランド。ソラントンは右サイドからの突破が得意な選手。アルブランドは万能型のCFで、ミドルシュートも打てる。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
18 ハラーモ	GK	188	右	12	16	18	14	16	15	17	16	13	13	13	17	13	12	12	14.5	16	10
4 カリブ	CB	183	右	14	16	17	16	15	15	16	16	17	15	15	16	14	15	13	15.3	14	12
12 コラエス	CB	185	右	14	17	17	17	16	16	16	17	16	16	15	17	15	16	14	15.9	15	16
6 シェナンドロ	SB	168	右	16	15	15	17	17	16	17	17	15	15	15	15	14	16	14	15.6	16	12
14 オルヘン	OH	173	右	15	16	15	16	16	15	16	16	15	15	15	15	16	16	15	15.5	15	16
3 チャボ・マカティ	DH	180	右	15	16	17	16	16	16	16	16	17	16	16	16	15	16	15	15.9	16	16
5 オブライツ	SH	173	右	16	14	16	17	17	16	16	16	15	16	15	17	15	17	15	15.9	17	18
8 ソラントン	SH	173	右	17	15	15	18	18	17	15	16	16	17	16	16	15	17	16	16.3	18	20
10 ヴァレアス	OH	173	右	16	14	16	17	16	15	16	16	15	17	17	16	16	17	15	15.9	16	16
16 ウルグ	CF	175	左	17	14	16	17	16	16	17	16	16	16	16	16	17	17	14	16.1	17	16
11 アルブランド	CF	185	右	17	12	17	17	17	15	17	16	16	17	17	17	17	17	16	16.3	17	18
7 デンドン	CB	175	右	15	16	16	17	17	16	17	17	16	14	14	17	15	15	13	15.7	15	16
2 ドンテル	SB	183	右	16	15	17	16	17	15	15	16	15	16	15	16	15	17	15	15.7	17	16
15 ウィンテル	DH	178	右	15	16	17	16	16	16	16	16	16	17	17	17	15	16	17	16.2	16	16
9 ビーズリー	OH	170	右	18	12	15	18	17	18	16	18	17	16	16	17	16	16	15	16.3	18	18
13 ドノラン	CF	173	右	17	13	16	18	17	18	17	17	16	16	16	17	17	17	14	16.4	17	16
17 カーリー	CF	185	右	17	13	17	16	16	17	16	16	17	16	15	18	17	16	13	16.0	17	16
1 ブライアン	GK	196	右	13	16	19	13	15	14	16	16	13	13	13	16	13	12	12	14.3	17	12
スタメン能力平均		178.9		15.4	15.0	16.3	16.5	16.4	15.6	16.3	16.2	15.5	15.7	15.5	16.2	15.2	16.0	14.5	15.7	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

HONDURAS

ホンジュラス

ホンジュラスは、SBトゥルキス、SHゲレーラ、CFオスカルロと、左サイドに攻撃的な選手を揃えている。当然、攻撃は左サイドが中心になる。シュート力の高いゲレーラとオスカルロはミドルシュートも狙える。GKのヴァララエスは積極性が高く、思い切りのいい飛び出しが魅力。スーパーサブのCFカルメラは、勝負どころで投入しよう。

DEFAULT FORMATION 4-3-3A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	□	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手データ	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
22 ヴァララエス	GK	181	右	13	16	17	14	15	17	17	17	13	13	12	17	12	13	12	14.5	18	12
4 イサフイエ	CB	180	右	13	16	16	17	17	15	16	17	16	14	15	17	13	15	14	15.4	16	14
5 モンジャヤ	CB	177	右	14	16	16	16	16	16	15	16	15	15	14	16	14	15	13	15.1	15	12
19 トゥルキス	SB	172	右	16	14	15	18	17	18	16	16	15	15	15	15	15	16	14	15.7	18	14
8 ロザリオ	SB	177	右	15	15	16	17	17	15	15	16	15	16	15	16	14	15	15	15.5	17	12
7 スエゾー	DH	178	右	15	15	16	17	16	15	15	17	16	16	15	16	15	15	14	15.5	15	14
2 ゲレーラ	SH	174	右	16	14	16	18	17	16	15	17	16	15	16	17	15	17	16	16.1	17	14
3 グータレス	SH	177	右	15	15	16	17	16	17	16	16	15	16	16	16	15	16	15	15.8	16	14
9 オスカルロ	CF	176	右	17	13	16	17	18	17	17	18	16	16	15	17	17	16	14	16.3	17	16
14 ラニエル	CF	179	右	16	14	16	17	17	15	17	16	17	16	16	16	17	17	16	16.2	17	14
18 パドン	CF	179	右	17	13	17	16	17	16	17	17	16	16	15	17	16	16	15	16.1	16	14
6 ロピツ	CB	183	右	15	16	17	16	16	17	15	16	17	14	15	16	14	15	13	15.5	14	12
15 フリモ	SB	180	右	16	15	16	17	17	15	16	17	15	15	15	17	15	16	14	15.7	17	14
13 オリーブラ	DH	178	右	14	16	17	16	16	16	16	17	15	16	16	17	15	15	16	15.9	15	12
17 チミノス	OH	175	右	16	14	16	17	17	15	15	15	16	16	17	15	16	16	15	15.7	16	14
16 フィッポ	CF	177	右	16	14	16	16	17	16	17	16	15	17	15	16	17	17	14	15.9	17	16
11 カルメラ	CF	169	右	17	12	15	17	18	17	17	17	17	16	15	17	16	16	13	16.0	18	14
1 リビエラ	GK	185	右	12	16	17	13	15	16	16	17	13	12	12	16	13	13	12	14.2	17	10
スタメン能力平均		177.3		15.2	14.6	16.1	16.7	16.6	16.1	16.0	16.6	15.5	15.3	14.9	16.4	14.8	15.5	14.4	15.6	16.5	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

BRAZIL

ブラジル

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

U-23ブラジルは、サッカー王国の名に恥じないタレント集団。GKからCFまで能力の高い選手を揃えている。SBのサイドアタックやアネックスのスルーパス、ロマウロのドリブルなど、多くの攻撃パターンを使っていける。どこからでも得点が奪えるチームだが、ディフェンスに不安要素もある。SBが攻撃参加したときにできるスペースに注意。

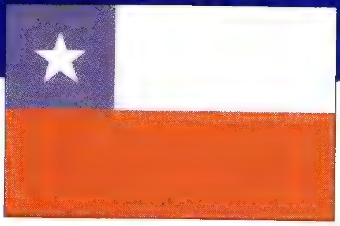
DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
⑫ ファリオ	GK	185	右	12	16	17	13	15	17	17	17	13	13	13	17	12	13	12	14.5	15	16
④ アルマロ	CB	183	右	14	16	17	16	16	15	15	17	16	15	14	16	14	15	14	15.3	15	18
③ ビルラ	CB	180	右	14	17	17	17	17	16	16	17	17	15	15	16	15	16	15	16.0	16	20
⑥ アウレリア	SB	175	左	15	16	16	17	16	16	15	16	15	16	15	15	15	17	15	15.7	15	22
⑯ アタリソン	SB	177	左	17	15	15	16	17	15	15	16	15	17	17	16	16	18	17	16.1	17	24
⑮ パルロ	DH	178	右	16	16	16	17	16	15	15	17	15	16	16	18	16	16	14	15.9	16	20
⑧ ファビエロ	DH	172	右	15	17	17	18	16	16	17	17	16	17	16	16	15	17	16	16.4	16	20
⑤ バイダーロ	SH	176	右	17	14	16	16	16	16	15	16	16	17	17	16	16	17	17	16.1	16	22
⑩ アネックス	OH	174	左	17	14	16	16	17	16	17	17	16	18	18	16	17	18	16	16.6	17	24
⑦ ロマウロ	CF	176	右	18	12	16	17	18	17	18	17	16	17	16	17	18	18	15	16.7	17	30
⑳ ルハス	CF	178	両	17	13	16	16	18	16	17	18	17	16	16	16	17	16	14	16.2	16	24
⑭ アウレルト	CB	185	右	13	17	18	16	16	17	15	16	16	15	15	16	14	15	14	15.5	14	18
② マンキーリ	SB	177	右	15	16	17	17	16	15	16	16	15	16	15	16	15	16	14	15.7	15	20
⑪ モーサヌト	DH	174	右	16	16	17	16	16	16	15	15	15	18	18	16	16	17	17	16.3	16	22
⑲ エムゥー	OH	182	右	17	15	16	16	16	16	16	16	15	16	16	16	17	17	15	16.0	17	20
⑨ ジムアール	CF	186	右	17	14	16	17	17	17	17	16	17	17	16	16	17	18	18	16.7	17	24
⑱ ワーレン	CF	186	右	17	13	18	16	17	16	17	16	16	16	15	16	17	16	14	16.0	18	20
① シウリオ	GK	198	右	12	16	18	13	15	16	16	16	14	13	13	16	13	13	12	14.4	14	20
スタメン能力平均		178.0		15.6	15.1	16.3	16.3	16.5	15.9	16.1	16.8	15.6	16.1	15.7	16.3	15.5	16.5	15.0	16.0	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。



CHILI

チリ

A代表と違い、絶対的なエースがいないU-23チリ代表。攻守のバランスで戦うチームだ。特にCBのコントルラス、マルドラードがしっかりしているので、どんな相手でもゲームを作れるのが強みになっている。攻撃の中心はOHのピサーラ。ツートップに正確なパスを供給していく。相手DFを引きつけてから、スルーパスを通すようにしよう。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	アザーサイドアタック
●	レフトサイドアタック	✕	ゾーンディフェンス

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ディグレロ	GK	186	右	13	16	17	13	16	17	17	17	13	13	13	17	12	12	12	14.5	18	12
7 コントルラス	CB	180	右	14	17	17	16	17	17	17	18	17	14	14	16	14	14	13	15.7	15	20
3 マルドラード	CB	173	右	16	15	15	17	17	16	16	17	15	15	15	16	15	17	15	15.8	17	20
6 テービョ	SH	170	左	17	14	16	16	16	17	15	16	16	17	16	17	17	17	17	16.3	17	22
2 アレダレス	SB	174	右	16	14	16	17	18	16	16	15	15	16	15	16	15	16	15	15.7	17	14
19 オマーラ	DH	182	右	15	16	17	16	15	16	15	16	16	16	16	17	15	15	15	15.7	15	16
10 フチェゲス	SH	177	右	16	14	17	17	17	16	15	16	15	16	17	17	16	17	16	16.1	16	18
17 オラマサガル	SH	174	右	16	15	16	17	16	16	15	16	16	16	16	15	15	16	15	15.7	16	20
8 ピサーラ	OH	168	右	16	16	16	17	17	17	17	17	15	16	17	16	17	17	16	16.5	17	22
9 タピオ	CF	175	右	16	14	15	17	17	17	17	16	16	17	16	17	17	17	15	16.3	17	20
20 ロミオ・ヌレス	CF	181	右	17	13	17	16	16	17	16	17	17	17	17	16	17	16	16	16.3	16	18
15 メレンケ	CB	185	右	14	16	18	16	16	15	15	16	16	15	14	17	14	15	13	15.3	14	14
5 ダウニッチ	DH	178	右	15	16	17	17	16	16	16	17	16	16	16	16	15	16	14	15.9	15	16
4 ヘンリク	SH	175	右	16	14	16	17	17	15	16	15	16	16	17	17	15	17	16	16.0	17	16
14 サンキス	OH	178	右	16	15	17	18	17	18	17	16	17	17	16	16	17	16	16	16.6	17	20
16 リゴス	OH	172	右	16	14	16	17	17	16	15	16	15	17	17	17	16	17	17	16.2	16	18
11 ナリア	CF	179	右	17	13	17	17	16	17	17	17	16	16	15	17	17	16	15	16.2	17	20
12 フェイエ・ヌレス	GK	182	右	13	16	17	13	16	15	15	17	13	14	13	16	13	13	12	14.4	15	14
スタメン能力平均		179.2		15.6	14.9	16.3	16.3	16.5	16.5	16.0	16.5	15.5	15.7	15.6	16.4	15.5	15.8	15.0	15.9	16.5	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

KOREA

韓国

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

ツートップのチェ・チュルウとセノル・キセオンはシュート精度の高さが武器の選手。高さもあるので、ゴール前でのヘディングにも強さを発揮する。ディフェンスが少し弱いチームなので、DHキヌ・ドチュンの運動量が守備時のポイントになるだろう。控えのナ・ヒケンとイ・ドングウも能力が高いので、調子次第ではスタメンに起用したい。

DEFAULT STRATEGY

△	ノーマル	□	カウンターアタック
○	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
18 キヌ・ヨンデ	GK	186	右	13	16	17	14	15	16	17	17	13	12	12	16	13	13	12	14.4	15	12
3 パル・ジェコン	CB	185	右	14	16	16	16	17	15	15	16	16	15	15	16	14	15	13	15.3	15	12
5 シュウ・ジェロン	CB	183	右	14	16	17	16	16	15	16	17	16	15	14	15	14	15	13	15.3	14	12
19 パル・ドンフ	CB	185	右	15	16	17	17	16	15	16	16	15	14	14	16	15	14	14	15.3	15	12
6 キヌ・ドチュン	DH	183	右	15	15	16	17	16	15	15	16	15	16	15	16	15	15	15	15.5	15	12
2 パル・ジサン	SH	175	右	16	15	16	18	16	16	16	17	15	16	17	15	16	16	16	16.1	17	14
4 パス・ジンソフ	SH	178	右	17	14	16	17	17	16	17	15	15	15	16	15	15	17	15	15.8	17	16
22 イ・クンテウ	OH	174	右	17	13	15	17	17	16	15	16	16	17	17	14	16	18	16	16.0	17	16
12 イ・ヨンホ	OH	176	右	16	14	16	17	16	17	16	16	15	16	16	16	16	16	16	15.9	16	14
7 チェ・チュルウ	CF	184	右	18	14	17	16	17	17	16	17	16	16	16	17	17	16	14	16.3	17	16
9 セノル・キセオン	CF	184	右	17	13	17	16	16	17	17	16	17	16	15	16	17	16	15	16.1	16	16
23 チョ・セロン	CB	183	右	15	16	17	16	16	16	15	16	16	15	15	15	14	15	14	15.4	15	12
21 ナン・キション	CB	182	右	14	16	16	17	16	15	16	17	15	14	14	16	15	16	15	15.5	14	12
14 アン・デホン	OH	180	右	16	14	16	16	16	17	15	16	15	16	16	17	16	17	16	15.9	17	14
16 アン・ヒョレン	CF	183	右	16	14	17	17	16	15	16	16	17	15	16	15	16	15	15	15.7	16	12
11 ナ・ヒケン	CF	179	右	17	13	16	17	17	17	17	16	16	16	15	16	17	16	15	16.1	17	16
20 イ・ドングウ	CF	185	右	17	13	18	18	17	15	17	17	17	16	15	16	17	16	15	16.3	16	18
1 キヌ・テチン	GK	185	右	13	16	17	13	15	15	15	17	14	12	13	15	13	12	12	14.1	15	10
スタメン能力平均		181.0		15.6	14.7	16.4	16.5	16.3	15.9	16.0	16.3	15.4	15.3	15.2	15.6	15.3	15.5	14.5	15.6	15.8	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

THAILAND

タイ

チームの能力で目立つのは、スタミナとジャンプ力の能力。しかし、他の能力が低く設定されているので、攻守の両方に物足りなさを感じる。攻撃はスピード、シュート精度が高いCFのトンソクが中心になる。守備力が弱いチームなので、フォーメーション変更でDFの人数を増やさないと厳しいだろう。作戦のカウンターをうまく利用していこう。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	□	アザーサイドアタック
●	ライトサイドアタック	✕	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
18 サインハ	GK	179	右	13	16	16	13	15	16	16	17	13	12	13	16	12	13	12	14.2	14	10
16 ムジンノバス	CB	178	右	14	16	16	16	16	15	16	16	15	14	14	15	14	14	13	14.9	14	12
8 スイアシン	CB	180	右	15	16	17	17	16	17	16	17	16	16	15	16	15	15	16	16.0	15	14
19 ジアンイン	CB	179	右	14	15	16	16	16	16	15	16	16	15	14	15	14	15	13	15.1	15	12
21 ウォルベッタ	DH	177	右	15	16	16	17	15	16	16	17	16	15	16	17	15	15	14	15.7	15	12
2 パジヤッタカ	SB	177	右	15	15	16	17	17	16	15	17	16	15	15	16	15	16	14	15.7	17	12
14 プットン	SH	172	右	16	13	15	18	17	17	15	17	15	16	15	16	15	17	14	15.7	18	14
7 ポーロン	OH	177	右	15	15	16	17	16	16	15	16	15	16	16	15	15	16	15	15.6	15	12
13 パタ	OH	175	右	16	14	16	17	17	16	16	17	16	15	16	16	16	17	15	16.0	16	12
11 トンソク	CF	170	右	17	12	15	18	17	17	17	17	16	16	15	16	17	16	13	15.9	17	14
23 スクラムキッド	CF	171	右	17	13	16	17	16	16	16	17	17	16	15	16	16	17	14	15.9	17	12
3 ポールアンカエ	CB	175	右	14	15	16	16	16	15	15	17	16	14	14	16	14	14	13	15.0	14	12
4 ジャカルン	CB	180	右	14	16	17	16	16	15	15	16	16	15	14	17	14	15	13	15.3	15	12
10 ヴィノル	OH	177	右	16	15	16	17	17	17	16	15	15	16	16	16	15	16	15	15.9	16	14
15 ポヤサク	CF	170	右	17	12	15	17	17	16	16	17	17	15	15	16	16	17	14	15.8	18	10
9 ブンブリオ	CF	166	右	17	12	15	17	17	18	17	17	16	17	15	16	17	16	13	16.0	17	14
12 シンタン	CF	174	右	16	13	16	16	16	16	16	16	15	15	16	16	16	16	14	15.5	16	12
1 パヌラト	GK	175	右	13	15	16	13	15	15	15	16	13	13	12	16	12	12	12	13.9	16	10
スタメン能力平均		175.9		15.2	14.6	15.9	16.6	16.2	16.2	15.7	16.7	15.5	15.1	14.9	15.8	14.9	15.5	13.9	15.5	15.7	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

KAZAKHSTAN

カザフスタン

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

OHのバルジレフ、シェフレンコがカザフスタンの中心選手。パス精度が高く、フリーキックでも力を発揮する。FWのガミッチ、ウラザレフは、スピードはないがシュート力が高い。ミドルシュートを多く狙っていこう。守備のキーマンは、GKのロニア。安定した守備でゴールを守る。控えではSHのスナコフのスピードに期待したい。

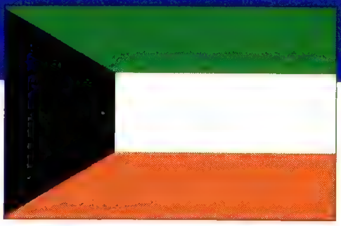
DEFAULT STRATEGY

▲	ノーマル	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ロニア	GK	183	右	12	17	18	14	15	17	18	17	13	13	13	17	13	12	12	14.7	17	16
3 クリスレコフ	CB	176	右	14	17	17	16	16	16	16	17	16	15	15	16	14	15	14	15.6	15	14
2 コスーミン	CB	183	右	15	16	16	15	16	15	15	16	17	14	14	17	14	14	14	15.2	14	14
13 キスレンコ	SB	181	右	16	15	17	16	17	15	16	16	15	16	15	16	15	16	15	15.7	16	14
17 ゼミトロフ	SB	179	右	16	15	16	18	16	15	16	15	15	15	14	15	15	16	14	15.4	16	14
15 トラバルト	DH	179	右	15	16	17	16	16	15	16	16	16	17	16	16	15	16	16	15.9	17	16
16 アルトオマフ	SH	190	右	16	15	18	16	16	15	16	16	17	16	15	16	15	17	15	15.9	15	16
6 バルジレフ	OH	172	右	16	14	16	17	17	16	16	16	15	17	17	16	16	17	17	16.2	16	20
10 シェフレンコ	OH	165	右	17	14	16	17	17	17	17	16	15	17	17	16	17	17	15	16.3	17	22
11 ガミッチ	CF	181	右	17	13	17	16	16	15	17	16	16	16	16	17	17	16	15	16.0	16	18
14 ウラザレフ	CF	179	左	17	14	17	16	16	16	16	17	17	15	16	17	16	17	16	16.2	15	12
12 ゴルバレフ	CB	179	右	15	16	16	16	16	16	16	17	16	15	14	16	14	15	14	15.5	15	12
7 ビヤロフ	SB	178	右	15	15	16	16	17	15	15	16	15	16	15	15	15	15	15	15.4	17	12
8 スナコフ	SH	178	右	16	15	17	17	17	15	16	15	16	16	16	17	16	16	17	16.1	16	14
9 アミレフ	OH	182	右	15	16	17	16	15	16	16	16	16	15	16	16	15	15	16	15.7	15	12
4 ガルクータ	CF	184	右	17	14	17	16	16	15	15	16	17	17	17	17	16	16	15	16.1	16	16
5 ウラルマスキン	CF	176	右	16	15	16	17	16	16	16	15	16	15	16	16	16	16	15	15.8	17	16
18 ソルナレンコ	GK	181	右	12	16	17	13	16	15	16	16	13	13	13	16	13	12	12	14.2	15	10
スタメン能力平均		178.9		15.5	15.1	16.8	16.1	16.2	15.6	16.3	16.2	15.6	15.5	15.3	16.3	15.2	15.7	14.8	15.8	15.8	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。



KUWAIT
クウェート

DEFAULT FORMATION 5-3-2A

クウェートチームの特徴は、高いスタミナを生かした豊富な運動量だろう。高い位置から積極的にプレスをかけて決定的なチャンスを作っていきたい。攻撃のキーマンはラヒーユとアルフレイティのツートップコンビ。ラヒーユはスピードを生かしたドリブル、アルフレイティはミドルシュートが大きな武器になる。控え選手でオススメはCFのフーレイメだ。

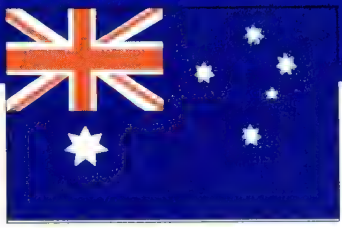
DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ジョレム	GK	185	右	12	17	17	14	15	16	17	17	13	13	12	15	12	12	12	14.3	17	10
4 アルバレティ	CB	179	右	14	16	16	17	16	15	16	17	16	14	14	16	14	15	13	15.3	15	10
5 アブドラフナン	CB	180	右	14	17	17	16	15	16	15	16	16	15	15	16	14	14	13	15.3	14	14
13 ムナラキ	CB	176	右	15	16	16	16	16	15	16	17	15	15	14	15	15	15	14	15.3	15	12
3 シャマル	SB	182	右	16	15	17	16	17	16	15	15	16	16	15	16	15	16	14	15.7	16	12
2 アゼリ	SB	175	右	17	14	15	17	17	17	16	16	14	15	15	16	15	17	15	15.7	17	14
6 アルハライソ	DH	178	右	15	15	16	18	16	16	16	16	15	16	16	15	15	16	15	15.7	15	12
7 サジーン	OH	179	右	16	15	16	17	16	17	15	16	16	17	17	16	16	17	16	16.2	16	16
10 ホダレ	OH	174	右	16	14	15	17	17	17	16	15	15	16	16	17	16	17	15	15.9	17	16
9 ラヒーユ	CF	176	右	17	13	15	17	18	17	17	16	17	16	16	16	17	16	13	16.1	18	18
20 アルフレイティ	CF	185	右	18	13	17	16	17	16	17	17	17	17	16	17	17	17	15	16.5	17	20
14 カンガリ	CB	183	右	14	17	17	16	16	15	15	16	16	14	14	16	14	15	13	15.2	15	12
16 ムナイリ	SB	170	右	16	15	15	17	16	16	16	15	15	15	15	15	14	16	13	15.3	16	10
8 アブドラシス	DH	176	右	15	16	16	16	16	16	14	17	16	16	16	16	15	15	14	15.6	15	12
18 サネル	OH	175	右	16	14	15	16	17	15	16	16	15	16	17	15	16	17	16	15.8	17	16
11 フーレイメ	CF	175	右	17	14	15	17	17	17	17	18	16	16	16	17	16	17	15	16.3	16	18
17 オルナン	CF	180	右	17	13	17	16	16	17	15	16	17	15	15	16	17	16	14	15.8	17	14
12 ファライ	GK	177	右	12	16	17	13	15	16	15	16	13	12	12	16	12	12	12	13.9	15	10
スタメン能力平均		179.0		15.5	15.0	16.1	16.5	16.4	16.2	16.0	16.2	15.5	15.5	15.1	15.9	15.1	15.6	14.1	15.6	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。



AUSTRALIA

オーストラリア

絶対的なエースは存在しないが、当たりの強さを生かせば、どのチームとも互角に戦える戦力を持っているチーム。ディフェンダーには、身長の高い選手が多く、ハイボールには絶対的な強さを見せる。特にCBのフォックルは193cmの長身を誇り、ジャンプ力も高い。守備だけでなく、コーナーキックなどのセットプレイでも活躍が期待できるぞ。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	ゾーンディフェンス
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

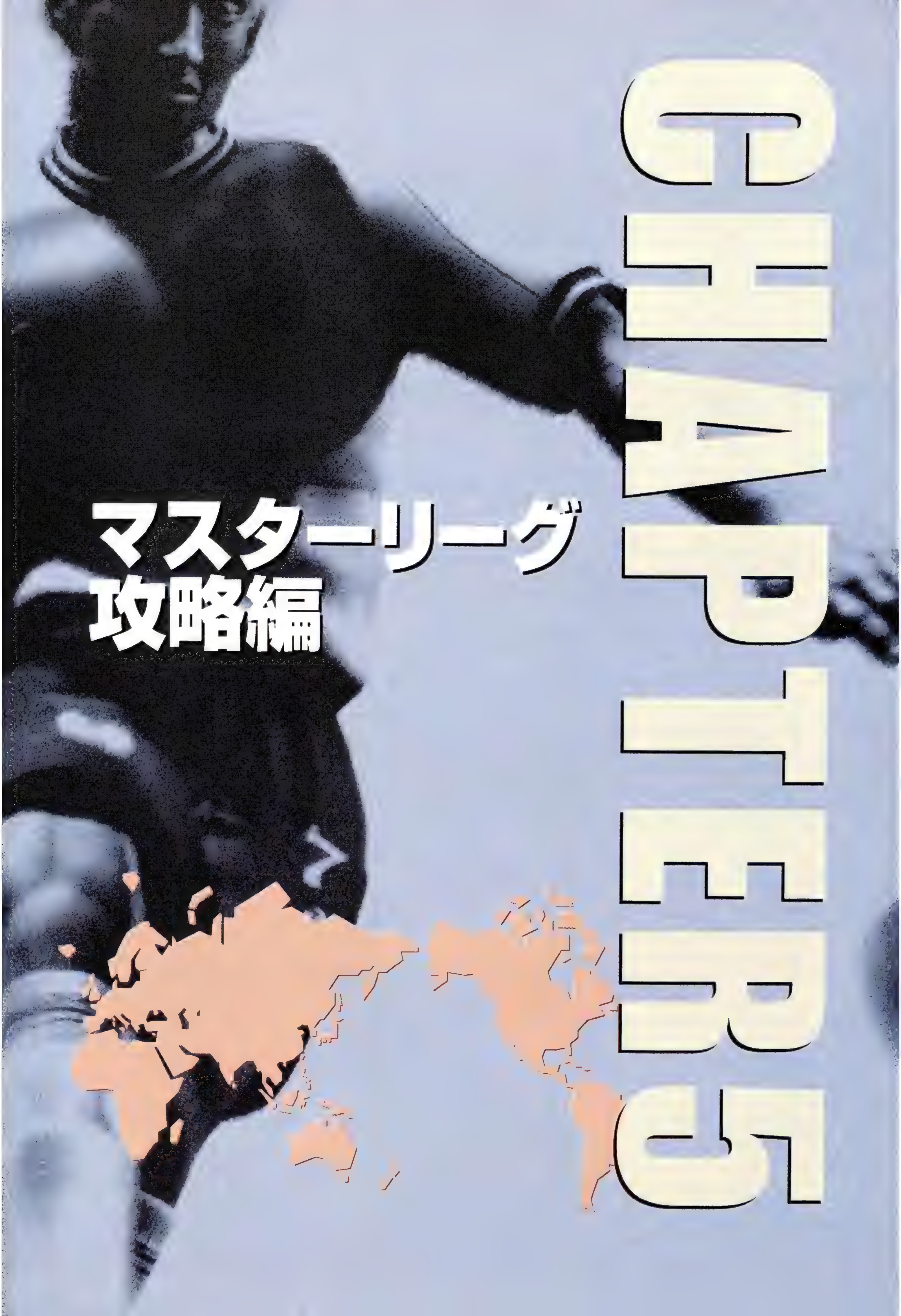
選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ゾリス	GK	186	右	12	17	17	13	15	16	16	17	13	13	13	16	13	12	12	14.3	17	10
4 レイナット	CB	189	右	14	16	18	16	15	16	16	15	16	15	15	17	14	15	13	15.4	14	20
2 フォックル	CB	193	右	15	17	18	17	17	16	16	17	16	16	15	17	16	15	16	16.3	16	20
5 コニール	CB	185	右	16	15	17	16	16	15	15	15	15	15	15	16	15	16	15	15.5	16	10
6 ベーグマン	DH	177	右	15	16	16	17	17	15	16	15	16	16	15	15	14	15	14	15.5	15	12
7 ベーハー	SH	189	右	16	16	17	16	17	15	16	15	15	15	15	15	15	16	15	15.6	16	14
3 ネリル	SB	185	右	16	14	16	16	16	15	15	15	16	16	17	16	16	17	15	15.7	16	14
8 ブレシアロ	OH	179	右	16	14	16	17	17	16	16	15	15	17	17	16	16	16	15	15.9	16	16
11 リゾット	OH	182	右	17	13	17	16	16	16	16	15	17	17	16	17	16	17	16	16.1	16	16
10 キューメル	WG	175	右	17	14	16	16	17	17	16	16	15	17	16	16	16	16	16	16.1	17	18
9 エマーソン	CF	185	右	16	13	17	16	16	16	17	16	17	17	16	16	17	16	16	16.1	16	14
13 ボスワン	CB	184	右	14	17	18	16	16	15	15	15	17	15	15	16	14	15	14	15.5	14	16
17 グレナ	DH	178	右	15	16	17	17	16	16	16	16	16	16	15	15	15	16	14	15.7	15	14
14 ステルスキ	SH	176	右	16	14	16	17	17	15	16	17	15	16	16	16	15	17	15	15.9	17	16
15 バラムス	OH	178	右	16	14	16	17	16	15	15	16	15	17	17	17	16	17	16	16.0	16	16
16 クチナ	OH	182	右	17	13	16	16	16	16	15	16	16	17	16	16	16	16	15	15.8	15	16
18 オーソルーブ	CF	187	右	17	13	17	16	16	15	16	17	17	16	16	16	17	17	14	16.0	15	18
12 ディロミカ	GK	188	右	13	16	18	14	14	16	17	16	14	13	13	17	12	12	16	14.7	14	14
スタメン能力平均		183.5		15.5	15.0	16.8	16.0	16.3	15.7	15.9	15.5	15.5	15.8	15.5	16.1	15.3	15.5	14.8	15.7	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

CHAPTER 5

マスターリーグ攻略編



マスターリーグガイド

MASTER LEAGUE GUIDE

欧州、南米から選りすぐられた、世界屈指のクラブチームがチャンピオンの座を競うマスターリーグ。世界最強の主（マスター）を決めるべく、熱戦が繰り広げられる。

世界最強のクラブチームを目指せ!

世界屈指の24チーム参戦！ 2部リーグ制でしのぎを削る

マスターリーグは、ディビジョン1（以降D1）16チーム、ディビジョン2（以降D2）8チームの、計24チームによる2部リーグ制。最終節終了後に、D2の上位2チームとD1の下位2チームが入れ替えとなる。プレイヤーはD2からのスタートとなり、まずはD1昇格を目指す。D1とD2では、試合後の獲得ポイントに2倍もの差がつけられているのだ（下表参照）。D1で勝ち星を積み重ねることが、マスターへの近道だ。

D1、D2の違い

D1

●参戦16チーム全30節
●獲得ポイントのベース
勝ち…8P　引き分け…4P
●全節終了時下位2チームはD2降格

D2

●参戦8チーム全28節
●獲得ポイントのベース
勝ち…4P　引き分け…2P
●全節終了時上位2チームはD1昇格

マスターリーグ参戦全24チーム

マスターリーグの流れ

マスターリーグ開幕に向けて

ゲームレベルが「むずかしい」だと、試合勝利後の獲得ポイントのボーナス（得失点差）が「ふつう」の倍。腕に自信がある人は挑戦してみよう。ベースチームのメンバーはオリジナル選手で固定されているので、どのチームでも能力は同じなのだ。

好みのクラブをベースにチームを作り上げよう

ベースチームの能力はどのチームを選んでも同じになるのだ。

1. ゲームレベルの設定（新規スタート）
2. ベースチームの選択（新規スタート）
3. 情報画面
4. 選手獲得
5. 試合
6. 全節終了　D1、D2入れ替え
7. 次シーズンへ

（3〜5 繰り返す）

情報画面

マスターリーグの基本画面で、順位表、各チーム情報やスケジュール表などチームに関する情報や、ゴール、アシストランキングなど選手個人の情報などが確認できる。選手獲得もこの画面から移動する。

チーム情報画面では、選手個人のカードの情報やチームの勝率といった数字も確認できる。

選手獲得

他チームに在籍する選手の獲得作業を行う。マスターリーグに参戦するチームだけでなく、各国代表選手の獲得も可能だ。いくらポイントが貯まっていても、一度の作業で2人までしか獲得できない。

エディット選手の獲得も可能。エディット選手獲得には、一律50Pのコストがかかるのだ。

試合

マスターリーグの試合は、参戦しているディビジョンのスケジュールに従って行われる。試合に勝つか引き分ければポイントを入手。負けた場合、ポイントは入らないがマイナスされることはない。

試合に勝った場合は、得点差によってボーナスポイントが手に入る。1得点でも多く狙おう。

D1、D2入れ替え

D1、D2とも全節が終了した時点で、D1の下位2チームとD2の上位2チームの入れ替えが行われる。成績によっては大量の獲得ポイントが手に入るので、上位進出を目指して最後まで戦い抜こう。

D1とD2では、獲得ポイントが大きく違ってくる。D1存続はチーム建設の最低条件だ。

オリジナルチーム戦術

能力の低さを戦術でカバー

ベースチームのメンバーは、どのポジションにも目立った能力を持つ選手がいない。個々の能力で劣る分は、プレイヤーの技術と戦術でカバーしていかなければならない。能力を把握して、プレイスタイルにあった選手起用、戦術を確立しよう。

スタメン、フォーメーション、作戦などには、自分のカラーを出していこう。対戦相手のフォーメーションや戦い方など、状況に応じて3パターンくらいの戦術を使い分けられるようにしたい。

選手データ	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 イヴァロフ	GK	183	右	12	16	16	13	16	16	16	17	13	13	13	16	12	12	12	14.2	18	14
5 ストリーマー	CB	183	右	14	16	17	16	16	15	15	16	15	15	14	16	14	14	14	15.1	15	16
17 ドゥリッチ	CB	179	右	13	17	16	15	15	15	16	16	17	16	15	15	15	16	14	15.4	14	16
4 ヴァレニ	CB	180	右	15	15	17	17	17	15	15	17	16	14	14	17	14	15	13	15.4	16	18
15 ヨウガ	DH	181	右	16	15	17	16	15	16	15	15	16	16	15	16	15	15	15	15.5	15	16
8 チェルニーリ	DH	175	右	15	16	17	17	16	15	16	17	16	16	16	15	16	16	14	15.9	16	18
7 ヒメレス	SH	174	左	16	15	15	16	16	16	16	15	14	16	15	16	15	18	16	15.7	17	15
14 エスピマス	SH	180	右	15	15	16	18	17	16	15	16	15	15	16	18	14	15	15	15.7	17	20
10 ミナンダ	OH	177	右	16	14	16	16	16	15	16	16	16	17	17	16	16	17	17	16.1	16	22
20 カストロ	CF	170	右	17	12	15	18	17	17	17	17	17	17	15	16	16	16	14	16.1	17	20
11 バロータ	CF	183	右	16	13	17	16	16	15	16	16	16	16	16	15	17	16	15	15.7	16	20
2 セシウ	CB	185	右	15	16	17	16	16	16	15	16	15	15	15	16	16	15	17	15.7	15	20
13 フォルネンダー	CB	190	右	15	17	18	15	15	14	16	15	16	15	16	15	14	16	14	15.4	14	16
3 エディンソン	SB	169	左	16	15	16	18	16	17	14	16	14	15	15	16	15	15	14	15.5	17	16
16 ナハデカル	SB	176	右	15	16	16	15	16	15	15	15	16	17	16	15	16	17	16	15.7	16	14
6 ハーディ	DH	179	右	15	16	16	17	16	16	16	16	17	15	15	16	15	15	14	15.7	15	16
25 マッコ	SH	174	右	16	15	15	17	17	16	15	15	15	16	15	15	15	17	15	15.6	16	16
18 オストバウト	OH	180	右	16	14	16	16	16	15	15	16	14	16	17	15	17	17	15	15.7	17	20
21 バーチャット	WG	178	右	17	12	15	15	18	15	17	17	16	15	14	16	15	15	14	15.4	18	18
19 ニョルゴ	CF	186	右	17	13	17	16	15	16	15	16	17	16	16	16	16	17	14	15.8	16	16
9 ホイレンス	CF	175	右	16	13	15	17	16	16	18	17	16	15	15	16	17	16	14	15.8	17	18
12 ケウゼン	GK	187	右	12	17	17	14	15	15	17	16	13	14	14	16	13	13	12	14.5	14	14
スタメン能力平均		178.6		15.2	14.9	16.2	16.1	16.0	15.5	15.7	16.0	15.5	15.5	15.2	15.8	15.1	15.6	14.5	15.5	16.0	

基本戦術

攻守のバランス重視した選手起用

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

- ▲ ノーマル
- ● ライトサイドアタック
- ■ アザーサイドアタック
- ✕ カウンターアタック

中盤の5人のMFで押し上げて、ツートップまでつなげていくのが理想的な攻撃の形だ。個々のパス精度の低さは、人数でカバーしたい。相手ゴール前ではOHミナンダを中心に展開していく。決定力不足から、ゴール前で混戦になることがしばしばある。2列目以降がこぼれ球に詰める形をつねに想定しておこう。

攻撃的戦術

ピッチを幅広く使った波状攻撃

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

前線、中盤に、SBの攻撃参加で展開に厚みと幅を持たす狙い。決定力の低さを厚みのある攻撃でフォローしていく。守備に不安がある場合は、DHを2人して中盤の底を厚くするといいだろう。

守備的戦術

守備的人員を増やしてカウンター狙い

DEFAULT FORMATION 5-3-2B

ファイブバック、ダブルボランチでしっかりと守り、カウンターで得点を狙っていく。SBは攻撃意識を上げて攻撃陣のフォローをさせよう。基本的には前線の3人でゴールを狙っていく形だ。

選手獲得で戦力アップ

弱点を補強して戦闘能力を高める

選手獲得の手順は、弱点と感じるポジションの中軸となる選手を補強していくようにしよう。選手の能力によってコストが違ってくるので、どこを補強するのかプランを立てて試合に挑みたい。

D1
- ●勝利・・・・・・・・8P
- ●敗戦・・・・・・・・0P
- ●引き分け・・・・4P
- ●得失点差ボーナス
  1点差ごと・・・・1P
  ※「むずかしい」では2P

D2
- ●勝利・・・・・・・・4P
- ●敗戦・・・・・・・・0P
- ●引き分け・・・・2P
- ●得失点差ボーナス
  1点差ごと・・・・1P
  ※「むずかしい」では2P

点が取れない!

FW補強で得点力アップ

攻撃の形は作れるものの、どうしても点が取れないという場合は、決定力を持ったFWを補強しよう。FWにもヘディングが得意な選手、ディフェンスラインの裏に抜け出すのが得意な選手など、いろいろなタイプの選手がいる。自分が得意とする形に適した攻撃力の高い選手を獲得しよう。

デフォルトの選手は決定力が乏しい。決定力をアップして得点を稼ぎ出せ！

攻撃の形が作れない!

OH、DH補強で中盤強化

シュートを打つのは得意だが、どうにもチャンスを作れないという場合には、MFを補強して中盤を強化しよう。OHは決定的な場面を演出する攻撃的な役割。DHは相手の攻撃を断ち切り、攻撃の起点となる重要なポジションだ。中盤に能力の高い選手を置けば、ゲームメイクが楽になるぞ。

支配率が上がれば自然と攻撃の形ができてくる。得点力アップにも繋がる。

失点を減らしたい!

DF、GK補強で鉄壁守備

攻撃の形はある程度できるし、得点能力もそこそこある。けれども失点がそれを上回ってしまうという場合には、DF、GKを補強して、相手に得点を許さない鉄壁の守備陣を敷こう。守備力が高いだけでなく、身長やジャンプ力、反応速度などを重視して、選手を補強するようにしよう。

守備能力の優れた選手でゴール前を固めれば、安心して攻撃に集中できる。

オススメ!

コストパフォーマンスに優れた選手TOP5

FW、OH（攻撃的MF）、DH（守備的MF）、DF、GKの各ポジションごとに、30P以内で獲得できる“能力が高くて、コストは低い”というオススメの現役選手たちを紹介する。獲得ポイントが少ない発展途上のクラブにとっては、ありがたい存在の選手たちだ。各選手の詳細データについては、P242からの「ポジション別コスト表」を参照してほしい。

FW

選手名	ポイント	国籍	所属チーム名	コメント
ハラン・シュニル	26P	TUR	トルコ代表	190cmの長身から繰り出すヘディングとシュート力が魅力
マジンガ	26P	RSA	南アフリカ代表	高い打点のヘディングと威力、精度の高いシュートが武器
ケニー・アンテソン	24P	SWE	スウェーデン代表	193cmのボディバランスに優れた身体は空中戦で威力を発揮
ボルシッチ	24P	CRO	ラツィオ	スピード、ヘディング、決定力に長けた積極性のあるプレイヤー
エムポマ	28P	CMR	カメルーン代表	アフリカを代表するストライカー。技術力と決定力を兼ね備える

OH

選手名	ポイント	国籍	所属チーム名	コメント
ヘルトーク	24P	AUS	オーストリア代表	オーストリアの司令塔。卓越したボールコントロール技術を持つ
ストイクビッチ	26P	YUG	ユーゴスラビア代表	抜群のテクニックとパス精度を誇る、世界でも指折りの司令塔
ハッゼ	26P	MOR	モロッコ代表	高いパス能力に、スピード、決定力を備えた前線の万能選手
フィート	24P	POR	バルセロナ	優れたパス能力とテクニックあふれるドリブルは一級品
オコチ	26P	NGR	ナイジェリア代表	アフリカ屈指のテクニシャン。優れたパスセンスを誇る

DH

選手名	ポイント	国籍	所属チーム名	コメント
ロー・キーヌ	28P	IRL	アイルランド代表	豊富な運動量と攻守のバランスのよさは大黒柱にふさわしい
ヌト	20P	CMR	カメルーン代表	身体能力の高さが光る。ドリブル、決定力も備えた頼りになる存在
ガトーソ	24P	ITA	ミラノ	優れたボディバランスと豊富な運動量を誇る。U-23イタリア代表
カマンブー	24P	FRA	マドリッド	身体能力の高さが魅力。フランス代表も務める能力に信頼感あり
アガチャ	22P	NGR	U-23ナイジェリア代表	193cmの恵まれた身体。両足利きという器用さはパス精度も高い

DF

選手名	ポイント	国籍	所属チーム名	コメント
チュトル	24P	CRO	トリノ	192cmという高さは空中戦で絶大な威力を発揮。シュート力も高い
ネスティ	24P	ITA	ラツィオ	イタリア代表カテナチオの一角を担う守備能力の高さは信頼感抜群
ブナン	26P	FRA	インターナショナル	フランス代表DFも務める高い守備能力は、安定した力を発揮する
ヤムニ	24P	CRO	クロアチア代表	卓越したスピードのドリブル、シュート力の高さはSBが適任
スタミッチ	22P	CRO	パルマ	CF、SBをこなすバランスのよさが最大の魅力。クロアチア代表

GK

選手名	ポイント	国籍	所属チーム名	コメント
ジーラ	22P	BRA	ブラジル代表	196cmの長身ながらボールに対する反応は抜群。当たりにも強い
ファンテルサール	26P	NED	トリノ	鉄壁の守備を誇る197cmの長身キーパー。反応速度も優れている
トード	24P	ITA	フィレンツェ	ボディバランスとキック力の強さが魅力。積極的な守備が特徴的
カリーネ	24P	URU	ウルグアイ代表	守備力、ボディバランスのよさはもとより、加速力の高さが光る
デライエ	20P	KSA	サウジアラビア代表	抜群のジャンプ力、前に出るスピードが持ち味の積極的なGK

MANCHESTER

MANCHESTER

マンチェスター

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

充実した攻撃陣、堅固な守備陣とバランスのとれた好チーム。攻撃陣は、テクニック、スピード、決定力を備え、パスワークとドリブルでゴールを襲ってくる。ミドルシュートにも警戒が必要だ。フリーで持たせないように前線からしっかりと詰めていこう。守備を崩すには、カウンターからの速攻で糸口をつかみたい。DFの裏を突くスルーで勝負しよう。

DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	■	アザーサイドアタック
●	ゾーンプレス	✕	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ボルニッチ	GK	186	左	13	17	18	14	15	16	17	17	14	13	13	17	13	13	13	14.9	16	20
6 スタン	CB	191	右	15	19	18	17	16	16	17	18	17	16	15	16	15	15	13	16.2	14	32
27 シューベストル	CB	184	右	14	17	18	17	16	16	16	17	16	16	15	16	14	15	13	15.7	14	18
3 アーミン	SB	173	右	17	16	16	16	16	16	16	16	15	16	16	17	17	17	16	16.2	17	20
2 ガリー・ネイル	SB	178	右	16	16	16	16	17	17	16	16	15	17	16	16	15	16	15	16.0	16	24
16 ロー・キーヌ	DH	179	右	17	17	17	18	17	16	17	17	17	17	17	17	16	16	15	16.7	15	28
11 ギルス	SH	180	左	18	13	16	17	18	19	17	17	16	18	17	18	18	18	18	17.2	18	36
7 ベッキャム	SH	183	右	18	15	16	17	17	16	15	16	15	18	19	17	18	18	19	16.9	17	40
18 スコールス	OH	171	右	17	14	16	18	17	17	17	17	17	17	18	18	17	17	16	16.9	18	32
19 ヨルク	CF	175	右	18	13	17	17	18	17	18	18	18	18	16	17	18	17	15	17.0	17	36
9 コーン	CF	178	右	18	13	17	17	18	17	17	18	17	17	16	17	18	17	15	16.8	17	36
21 ヘミング・ベルヌ	CB	180	右	15	17	17	16	16	16	16	17	15	16	16	17	14	15	14	15.8	15	20
13 カーディス	CB	178	右	14	16	16	16	16	15	17	17	16	15	15	16	14	15	13	15.4	14	18
30 ウォーローク	CB	175	右	15	16	17	17	16	15	16	15	15	16	15	16	15	16	15	15.7	15	20
12 フィル・ネイル	SB	180	右	15	15	17	17	17	16	15	15	15	16	16	16	15	17	15	15.8	17	22
8 バットゥ	DH	178	右	16	16	16	17	17	16	16	16	15	16	17	16	16	16	15	16.1	15	22
25 フォーキュン	SH	180	右	16	16	17	17	17	16	16	17	17	17	16	17	16	17	16	16.5	15	24
34 グリーティング	OH	183	右	16	15	17	17	16	17	15	16	15	16	16	16	16	16	14	15.9	17	22
14 クラリフ	OH	185	左	17	13	17	17	17	17	16	17	16	17	17	17	17	17	17	16.6	17	24
10 シェリンゲム	CF	185	右	18	14	18	16	17	15	17	17	18	17	17	16	17	16	15	16.5	16	26
20 ソルスメア	CF	180	右	17	13	17	17	17	17	18	17	17	17	16	17	18	17	15	16.7	17	32
17 ファンデルホフ	GK	190	右	12	17	18	15	15	16	16	16	14	14	13	15	13	12	12	14.5	16	16
スタメン能力平均		179.0		16.0	15.4	16.9	16.6	16.6	16.3	16.4	16.7	15.9	16.4	16.0	16.6	15.9	16.0	15.0	16.2	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

LONDON

LONDON

ロンドン

高さのあるツートップを狙い、サイドからクロスを入れてくる形が基本的な攻撃パターン。サイドを自由に使われないように、SBを配置する布陣でスペースを埋めておこう。攻撃では、CBのスピード、反応速度の悪さを突いた展開が有効。相手SBが上がったスペースを利用して、サイドから中央に切れ込んでのラストパス、シュートで得点したい。

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	レフトサイドアタック	□	オフサイドトラップ
○	ゾーンプレス	×	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 シーナン	GK	193	右	12	18	18	13	16	16	16	16	14	13	13	16	14	12	12	14.6	14	24
6 アダモス	CB	190	右	14	17	18	16	16	15	15	16	17	15	15	16	14	15	13	15.5	14	22
5 キーロン	CB	185	右	14	17	17	16	16	15	16	17	16	16	15	16	14	15	13	15.5	14	22
16 シルバーニョ	SB	173	右	16	16	16	17	17	16	17	17	16	17	16	16	15	17	13	16.1	15	22
2 ディキソン	SB	172	右	14	17	17	16	16	16	15	16	15	16	15	17	15	15	14	15.6	15	20
17 プレイ	DH	185	左	17	16	17	17	17	16	16	17	17	17	17	17	16	16	17	16.7	16	24
4 ビレイラ	DH	192	右	16	17	17	17	16	16	15	17	17	16	16	17	15	17	15	16.3	15	22
8 リュンクベルク	OH	176	右	17	13	17	17	18	17	17	16	17	16	17	17	17	17	16	16.6	17	24
15 パルラー	OH	179	右	16	14	16	17	16	16	15	16	16	17	17	17	16	16	15	16.0	16	24
10 ベウカンプ	CF	185	右	17	14	17	16	17	16	16	16	17	19	18	17	18	18	17	16.9	17	38
14 アスリ	CF	187	右	17	13	17	17	18	17	17	17	17	17	16	17	18	18	16	16.8	18	24
18 グリマヌディ	CB	180	右	14	16	17	16	16	15	16	17	16	15	15	17	14	15	14	15.5	15	16
3 ウィンタバン	SB	173	左	14	17	16	16	16	15	15	16	16	16	15	15	15	16	15	15.5	16	20
22 ルキニー	SB	182	右	16	15	17	18	17	16	17	16	15	16	15	16	16	17	14	16.1	17	22
7 ビハス	SB	166	左	15	16	16	16	17	16	15	16	16	16	16	15	15	16	14	15.7	16	24
30 ベルナッタ	DH	175	右	16	16	15	17	16	16	16	16	15	15	16	16	15	16	15	15.7	15	18
19 モルツ	OH	182	右	16	16	16	17	17	16	16	16	15	16	16	16	16	16	15	16.0	15	20
26 ヒュール	OH	182	右	16	15	17	16	16	15	16	17	16	16	17	16	16	16	16	16.1	16	20
11 オヘルマウス	WG	173	右	17	14	16	17	18	18	18	16	16	18	17	17	17	18	15	16.8	18	28
9 スーテル	CF	183	左	18	13	17	16	16	17	17	17	16	18	17	17	19	17	14	16.6	17	32
25 カム	CF	197	右	17	13	18	16	17	16	17	16	17	18	17	16	17	18	16	16.6	16	30
13 マリンガー	GK	187	右	12	17	18	14	15	16	16	16	14	13	14	17	13	12	12	14.6	13	18
スタメン能力平均		174.7		15.5	15.5	16.8	16.3	16.5	16.0	16.1	16.4	16.0	16.2	15.9	16.4	15.7	16.0	14.6	16.0	15.7	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

CHELSEA

CHELSEA

チェルシー

前線右サイドの人数が多いという変則的な4-4-2システムながら、左サイドも使ってくるので油断禁物。サイドからT・A・フロンにクロスを合わせてくる攻撃が多いが、彼はポストもこなせる選手。2列目からの飛び込みにも注意しよう。守備陣はドゥカイーを中心に高さがあり堅い。サイド突破からマイナス方向へのグラウンダーのクロスが有効。

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	■	センターアタック
●	レフトサイドアタック	✕	ゾーンプレス

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 エドデムーイ	GK	197	右	13	17	19	13	15	14	17	16	13	13	13	16	13	13	13	14.5	16	18
6 ドゥカイー	CB	185	右	15	18	18	17	17	16	16	18	17	16	16	16	15	15	14	16.3	14	30
5 ルルフ	CB	183	右	15	17	17	16	16	15	15	17	17	15	15	16	14	15	14	15.6	14	24
14 ルスオ	SB	178	左	16	16	17	17	17	17	16	16	15	16	16	16	15	17	16	16.2	17	22
17 フェレーラ	SB	170	右	17	16	15	17	17	16	17	16	16	17	16	17	16	17	15	16.3	17	22
7 デサン	DH	174	右	16	17	17	18	16	15	17	17	16	17	17	16	16	16	16	16.5	15	24
11 ワイツ	SH	169	右	16	15	16	17	16	17	16	16	16	17	17	16	16	16	15	16.1	17	22
8 ポゼト	SH	185	右	16	15	18	16	17	16	17	16	15	16	16	16	16	17	15	16.1	17	24
2 ペノルスク	SH	175	右	16	16	16	17	17	17	17	16	15	16	17	17	16	17	15	16.3	17	24
19 T・A・フロン	CF	194	右	18	12	18	16	17	17	17	17	17	18	17	18	18	18	16	16.9	17	36
25 ゾア	CF	168	右	17	14	16	17	16	17	15	16	16	18	18	18	18	18	19	16.9	17	36
4 ホール	CB	184	右	14	17	17	16	16	15	17	18	17	16	15	15	14	15	16	15.9	14	20
30 エメウトン	CB	186	右	14	17	18	16	16	16	16	18	17	16	15	16	14	16	14	15.9	15	20
3 ババワロ	SB	175	左	17	15	16	17	18	16	17	18	17	15	15	16	16	16	15	16.3	17	20
21 ランプード	DH	182	右	15	17	17	16	17	16	15	17	17	15	14	16	14	15	14	15.7	15	20
16 デマテオ	DH	178	右	16	16	17	18	16	16	15	16	17	17	17	17	16	17	16	16.5	16	24
20 モイス	OH	165	右	17	15	15	16	17	16	16	17	15	16	16	16	16	17	16	16.1	16	18
34 ハーニー	OH	174	左	16	15	16	17	17	17	15	16	15	16	16	16	16	16	14	15.9	16	20
9 サッコン	CF	192	左	17	13	18	17	16	17	17	17	18	16	15	17	16	16	14	16.3	17	24
10 カシアギ	CF	182	右	17	13	17	16	17	18	18	16	18	17	15	17	17	16	15	16.5	18	28
31 ウェラ	CF	185	右	18	13	17	16	17	18	17	17	17	18	16	17	18	18	15	16.8	17	30
13 ヒンチコック	GK	185	右	12	16	17	13	15	15	16	16	14	14	14	15	12	12	12	14.2	17	18
スタメン能力平均		172.0		15.9	15.7	17.0	16.5	16.5	16.1	16.4	16.5	15.7	16.3	16.2	16.5	15.7	16.3	15.3	16.2	16.2	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

LIVERPOOL

LIVERPOOL

リバプール

快足オーネンを使ったロングボール、スルーパスが基本的な攻撃の形。オーネンは中盤でボールを持つと、トリッキーな動きで抜きにくるケースがほとんど。1人で抜け出してきたときは、タッチライン際に追い込むようにプレスをかけよう。中盤にはマークすべき選手はいないが、シュート力のある選手が多いのでミドルからのシュートには注意したい。

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	□	カウンターアタック
●	レフトサイドアタック	✕	ゾーンプレス

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ベクターフェスト	GK	179	右	13	17	17	14	16	16	18	18	14	14	14	17	14	14	13	15.3	14	20
12 ヒッキア	CB	192	右	15	17	18	16	16	16	17	16	17	15	15	17	14	15	15	15.9	14	16
2 エムロス	CB	185	右	14	17	17	17	16	16	16	17	17	16	15	16	14	15	14	15.8	14	18
21 マテヨ	SB	185	右	15	16	16	16	16	15	15	17	16	15	15	16	15	15	14	15.5	14	16
4 ソンブ	CB	177	右	15	16	16	17	18	16	16	18	16	16	15	16	14	16	14	15.9	16	22
16 ジェランド	DH	185	右	15	16	17	18	16	17	15	15	15	16	16	18	16	16	16	16.1	16	22
28 ハーラン	DH	189	右	16	16	17	17	16	16	16	16	15	16	17	16	15	16	15	16.0	15	24
15 ベルマー	OH	187	左	17	14	17	17	17	18	18	16	16	17	17	18	17	18	17	16.9	18	30
25 トンプトン	SH	170	右	17	14	16	17	17	16	16	16	15	16	16	18	16	17	16	16.2	17	22
10 オーネン	CF	175	右	17	12	16	17	19	18	17	17	17	18	16	17	18	18	15	16.8	19	44
8 ヘスリー	CF	188	右	18	13	18	16	17	17	17	15	16	17	17	17	17	16	14	16.3	16	28
6 バップ	CB	182	右	14	17	18	16	17	16	15	18	17	15	15	17	14	14	14	15.8	15	20
5 ストーンホン	SB	180	左	16	16	16	17	17	16	16	17	16	16	15	16	15	16	17	16.1	16	16
20 ビョムンビー	SB	179	左	16	16	16	17	17	16	16	16	15	16	15	16	16	17	15	16.0	17	20
14 ヘンゲル	SB	179	右	15	16	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	14	16.0	14	18
23 キャラハー	DH	182	右	15	17	17	17	16	16	16	17	16	16	16	16	15	15	14	15.9	15	20
11 レドマップ	DH	178	右	16	15	17	16	16	16	16	15	15	16	17	18	16	16	18	16.2	16	26
7 スミテル	CF	180	右	17	13	16	18	18	17	17	17	16	16	16	17	17	17	14	16.4	17	28
18 メイナー	CF	189	右	17	13	18	17	16	16	16	17	17	16	15	17	16	15	15	16.1	17	20
9 ファウマー	CF	176	左	17	13	16	16	17	17	17	16	16	17	16	18	17	18	17	16.5	18	28
22 カマロ	CF	184	右	18	13	17	18	17	17	15	18	17	16	15	17	17	17	14	16.4	17	20
19 フリーデウ	GK	193	右	12	17	19	13	15	16	16	17	13	13	13	16	12	13	13	14.5	15	20
スタメン能力平均		177.5		15.7	15.2	16.9	16.5	16.7	16.4	16.2	16.6	15.8	15.9	15.5	16.8	15.5	15.9	14.9	16.0	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

LEEDS

LEEDS

リーズ

豊富な運動量とスピーディで組織的なサッカーを展開。FWは決定力があり、中盤からのパスを確実にフィニッシュまで持ってくるので注意が必要だ。中盤にはパス精度の高い選手が見当たらないので、攻撃の形を作らせないように中盤を厚くして挑もう。中盤からロングボールを入れてくることもあるので、FWにマンマークをつけておくのも一案だ。

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	□	カウンターアタック
●	レフトサイドアタック	✕	ゾーンプレス

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 マルティン	GK	190	右	12	17	17	14	15	17	17	17	14	14	13	15	13	12	12	14.6	15	18
6 ウッドレイト	CB	187	左	14	17	17	16	17	17	16	17	17	16	15	16	15	15	14	15.9	16	20
5 ラデーゲ	CB	183	右	16	18	18	18	17	16	15	16	17	16	15	16	15	16	15	16.3	15	20
3 ハルツ	SB	177	左	17	16	16	17	17	16	17	15	15	16	16	18	16	17	16	16.3	17	24
2 ガーリー・ケニー	SB	173	右	16	15	16	17	16	16	16	15	15	16	16	15	16	16	14	15.7	17	16
4 ハーナンド	DH	179	右	15	16	17	16	16	15	15	16	16	15	15	16	15	15	14	15.5	15	18
19 エニク・バッケ	OH	180	右	16	15	17	18	16	16	15	17	16	16	16	17	16	16	15	16.1	17	20
16 ウィルコ	SH	179	左	16	15	16	17	17	16	16	16	15	16	17	17	16	16	16	16.1	17	20
11 ボウナー	SH	177	左	17	14	16	18	17	17	16	17	15	16	16	17	16	17	14	16.2	17	24
10 キューメル	WG	180	左	17	13	17	17	18	17	18	16	15	17	17	17	18	18	16	16.7	18	30
8 ブリックス	CF	182	右	18	12	17	17	17	17	17	17	17	16	16	17	17	17	16	16.5	15	24
21 ハイセン	CB	181	右	15	17	17	17	17	16	16	17	15	15	14	16	15	16	16	15.9	15	18
22 デュバニー	CB	186	右	14	16	18	17	16	15	15	16	16	15	14	16	14	15	14	15.4	14	16
18 ミウズ	SB	180	右	16	15	17	17	16	17	15	16	15	16	15	16	15	16	16	15.9	16	18
23 バッキィー	DH	172	右	15	16	17	17	16	15	16	15	16	17	16	16	16	16	14	15.9	16	24
14 マクファレル	DH	177	左	16	15	16	17	17	16	15	16	15	16	16	17	15	16	16	15.9	16	20
7 ホプシン	DH	175	右	15	16	16	17	17	16	16	16	16	16	16	16	15	16	15	15.9	16	22
20 ジョールス	OH	180	右	15	16	16	17	16	16	15	16	15	16	16	16	15	16	14	15.7	15	18
35 マシューム	CF	187	右	17	13	18	16	16	16	16	16	17	17	16	16	16	16	15	16.1	16	22
12 ハッカリー	CF	175	右	17	12	16	16	17	17	16	16	15	16	16	16	16	18	14	15.9	17	20
17 アラン・スミシー	CF	175	右	17	12	16	17	17	17	17	17	16	17	15	18	17	17	15	16.3	18	22
13 ロビントン	GK	193	右	13	16	18	14	15	15	16	16	13	13	13	16	13	13	13	14.5	15	14
スタメン能力平均		180.8		15.6	15.1	16.8	16.7	16.5	16.2	16.0	16.2	15.5	15.8	15.4	16.4	15.5	15.9	14.7	15.9	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

WEST HAM

WEST HAM

ウェストハム

GKヒスラップをはじめ、守備陣は当たりに強く高さがあるので、クロスボールはほとんど無効。ボールに対する反応もよく守備は堅い。最も効果的なのは、ドリブルと細かいパス交換でサイドから切り込んでシュートという形だ。守備では前線のスピードのあるドリブルに注意。簡単にゴール前まで切り込まれないよう、距離を詰めながらプレスしたい。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	ゾーンプレス
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ヒスラップ	GK	198	右	12	17	18	14	15	16	17	16	14	14	14	16	15	13	12	14.9	15	18
6 ラダック	CB	188	右	14	17	18	16	16	15	15	16	16	15	15	16	14	15	13	15.4	14	18
15 R・ファーテナント	CB	190	右	15	17	18	17	17	16	17	18	17	16	15	17	15	16	14	16.3	15	24
5 スティナッチ	CB	188	右	14	17	18	16	16	15	17	17	17	15	15	16	14	15	14	15.7	15	20
13 フォレ	DH	190	右	16	16	18	18	16	16	15	17	16	15	16	16	15	16	15	16.1	15	20
8 シンクリア	SH	177	右	17	14	16	18	18	17	16	18	16	16	16	17	16	17	15	16.5	17	24
11 ロマンス	DH	183	右	16	15	17	16	16	16	16	16	15	16	15	15	16	16	16	15.8	16	18
26 コーウ	OH	175	右	17	14	16	17	17	16	17	16	16	18	18	17	17	18	17	16.7	17	30
18 ランカード	OH	177	右	16	14	16	16	17	16	16	15	16	17	17	15	16	17	17	16.1	16	22
10 カーリオ	OH	178	右	17	12	17	16	16	18	16	16	16	18	17	17	17	18	17	16.5	19	26
12 ワンチャペ	CF	193	右	17	13	17	17	17	16	16	16	17	16	15	16	17	16	14	16.0	16	24
30 マルカス	CB	185	右	14	16	18	16	16	15	16	16	16	15	15	18	16	15	14	15.7	14	18
4 ポック	SB	170	右	16	15	16	16	16	15	15	16	16	16	16	15	15	16	15	15.6	17	18
38 ニューコン	SB	168	右	17	15	15	17	17	16	16	17	16	15	15	16	15	17	15	15.9	17	16
3 S・ピアンス	SB	177	左	16	16	17	15	16	15	17	16	15	15	15	15	14	16	14	15.5	16	18
2 チャームズ	SB	175	右	16	15	16	16	17	15	16	15	16	15	15	16	15	15	15	15.5	16	16
16 モーカー	DH	177	右	16	15	16	17	16	16	16	17	15	16	16	17	15	16	15	15.9	15	18
35 バイヤン	SH	180	右	16	14	17	17	17	16	15	16	16	16	15	16	16	17	14	15.9	16	16
7 ケメール	SH	175	右	17	14	16	16	17	17	16	16	15	17	16	16	16	16	16	16.1	17	18
21 キャラック	WG	183	右	17	13	17	16	17	16	16	17	16	17	16	17	17	17	16	16.3	18	22
24 アズー	CF	182	右	17	13	17	17	17	18	17	17	17	16	15	17	17	16	15	16.4	17	24
22 フォレクト	GK	195	右	12	17	18	14	15	16	17	16	14	13	13	16	13	13	13	14.7	16	18
スタメン能力平均		184.5		15.7	15.0	16.9	16.3	16.5	16.0	16.1	16.4	15.8	15.8	15.5	16.2	15.5	16.0	14.8	15.9	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

BARCELONA

BARCELONA

バルセロナ

攻撃的なスリートップを機能的に使う、ワイドな攻撃が主なパターン。攻撃陣は得点能力の高い選手が多いので、守備の人数を増やして対応したい。テクニシャンが揃っているため、ゴール付近でのトリッキーな個人技にも注意。攻撃では、DFを引きつけてからのスルーパスなど、ディフェンスラインの裏を突くグラウンダーのパスでチャンスを作ろう。

DEFAULT FORMATION **4-3-3B**

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
13 ヘシプ	GK	194	右	13	17	18	14	16	16	16	17	13	13	13	16	13	13	13	14.7	15	16
6 ファンク・デムール	CB	180	左	16	17	17	16	16	16	16	17	16	17	17	17	15	16	16	16.3	15	32
5 アベランド	CB	180	右	15	17	17	16	16	15	16	16	16	15	15	16	15	15	14	15.6	14	20
17 ボハウデ	SB	190	左	15	17	18	17	17	16	15	16	16	16	16	16	15	16	14	16.0	14	22
32 ブロム	SB	178	右	16	17	18	16	17	17	16	16	15	16	16	17	14	17	15	16.2	16	24
4 グァルテオナ	DH	180	右	17	16	17	17	17	16	16	17	16	18	18	17	16	17	17	16.8	16	34
15 コツ	SB	182	左	17	16	17	17	17	16	17	16	16	17	16	17	16	17	16	16.5	16	24
10 リトマレン	OH	181	右	18	14	18	17	17	17	17	16	17	18	17	17	18	17	17	17.0	17	30
9 クラウハート	CF	187	右	18	13	18	17	17	18	17	18	18	18	16	17	18	16	14	16.9	16	40
11 リバルド	OH	186	左	17	14	18	17	18	17	17	17	17	18	18	18	18	18	17	17.3	17	46
7 フィート	SH	180	右	17	14	17	17	17	17	17	17	16	18	18	17	17	19	17	17.0	18	24
3 デュース	CB	187	右	14	17	18	16	16	15	17	17	16	16	15	16	14	15	13	15.7	14	16
2 レチハー	SB	178	右	17	16	16	17	18	17	16	17	16	16	16	17	16	17	15	16.5	16	24
26 シャディ	DH	170	右	16	16	16	17	17	16	16	17	15	17	18	16	16	17	17	16.5	16	24
23 ゼンテン	SH	172	左	17	15	16	17	17	18	17	17	16	17	17	17	16	17	15	16.6	17	24
29 マロエ	OH	166	右	16	16	16	16	16	16	16	16	15	16	16	17	16	15	15	15.9	15	16
20 シマロ	OH	170	右	16	14	16	17	17	17	17	16	16	16	16	17	16	18	15	16.3	17	22
28 ガウリ	OH	175	右	17	13	16	17	17	17	16	16	16	17	17	16	17	17	16	16.3	17	22
21 ルイス・エンリコ	OH	180	右	17	13	17	17	18	16	16	17	17	17	17	17	17	18	16	16.7	18	30
18 ロナト・デムール	SH	183	右	16	15	17	17	17	16	16	16	16	18	19	16	16	17	18	16.7	17	32
19 ダネ	CF	182	右	17	13	17	16	17	17	17	17	17	17	16	16	17	16	14	16.3	18	22
25 アルラウ	GK	186	右	12	17	18	14	15	15	16	16	14	13	13	16	13	12	12	14.4	15	16
スタメン能力平均		192.0		16.1	15.3	17.1	16.5	16.8	16.4	16.4	16.6	15.9	16.5	16.4	16.6	15.9	16.4	15.3	16.3	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

MADRID

MADRID

マドリッド

高さのあるツートップ、スピードのある左サイド、積極的な攻撃参加を見せるCB、そして豊富な運動量を誇る中盤。高さと当たり強さを備えたディフェンスは堅く、磐石の布陣を誇る。前がかりの攻撃的なフォーメーションなので、カウンターが決まれば攻撃の形は作りやすい。高い位置でボールを奪えるように、中盤を厚くした布陣で挑もう。

DEFAULT FORMATION 3-5-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	レフトサイドアタック
●	ゾーンプレス	×	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
27 カリカス	GK	184	右	12	17	17	14	16	17	18	17	13	13	14	16	13	13	13	14.9	17	20
18 カラムカ	CB	181	右	14	18	17	17	16	15	17	17	16	15	15	16	15	16	14	15.9	15	24
4 イメロ	CB	187	右	16	18	18	17	16	16	17	17	17	17	17	18	17	16	16	16.9	15	32
12 イランカーボ	CB	185	右	15	17	18	17	17	16	17	18	17	16	14	16	16	15	14	16.2	14	22
6 レドント	DH	186	左	17	16	17	18	17	16	17	16	16	17	17	17	16	17	16	16.7	15	32
3 ロベウト・カウロス	SB	168	左	17	16	16	18	19	18	17	19	16	17	17	19	17	17	18	17.4	18	36
2 サルナト	SB	176	右	16	16	16	17	17	17	17	16	15	16	16	16	15	17	16	16.2	17	24
7 ラムール	CF	180	左	18	13	17	17	17	17	18	16	16	18	17	17	18	18	17	16.9	17	40
8 マクマネマン	SH	183	右	16	15	16	16	17	17	15	15	15	17	17	16	16	17	15	16.0	16	26
9 モイエンテス	CF	186	右	17	13	17	17	16	16	18	17	17	17	17	17	17	17	15	16.5	17	24
19 アメルカ	CF	184	右	18	12	17	18	17	18	18	18	17	17	16	17	18	16	15	16.8	18	30
5 サンキス	CB	177	右	14	18	17	17	17	15	17	17	17	16	15	16	14	15	14	15.9	14	22
23 ジュニオ・セサーロ	CB	186	右	14	17	17	17	17	16	16	17	16	16	15	16	15	16	15	16.0	15	22
21 ヌジタック	SH	180	右	17	14	17	18	17	17	16	17	16	17	16	16	15	16	15	16.3	17	20
15 エルゲサ	DH	185	右	15	16	17	17	17	15	15	17	16	16	16	16	15	16	14	15.9	15	18
22 カマンブー	DH	180	右	16	16	18	18	17	16	16	18	17	17	16	16	16	16	15	16.5	16	24
24 アウバロ	DH	178	右	15	16	16	17	17	15	15	16	15	16	15	17	15	16	15	15.7	16	20
14 グチ	OH	185	左	17	14	17	17	16	17	16	16	16	17	17	17	16	17	15	16.3	16	22
11 サビロ	OH	175	左	18	13	16	17	17	16	16	17	16	18	18	16	17	18	17	16.7	17	26
25 オグネオビッチ	CF	171	右	17	14	15	18	17	16	16	17	16	17	16	17	17	17	16	16.4	17	22
20 バニッチ	CF	185	右	17	13	18	16	16	17	16	16	16	17	16	16	17	17	16	16.3	16	24
1 イウクナー	GK	190	右	12	18	19	13	16	16	18	17	14	13	13	16	13	12	13	14.9	16	24
スタメン能力平均		184.0		15.8	15.5	17.0	16.9	16.8	16.3	16.6	16.9	15.9	16.4	15.9	16.5	15.8	16.1	15.2	16.2	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

VALENCIA

ヴァレンシア

中盤から前線にスピードのある選手が多く、両サイドを幅広く使った攻撃が多い。なかでもCFクラウド・ロペツは、スピード、シュート精度、テクニックに長けており、ゴール付近では鋭くトリッキーな動きをするので要注意だ。ディフェンス陣は反応速度の悪い選手が多いので、グラウンダーの速いパス回しで、一気にゴール前まで詰め寄りたい。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

△	ライトサイドアタック	□	カウンターアタック
○	レフトサイドアタック	×	ゾーンプレス

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 カリサレス	GK	181	右	13	16	17	14	15	16	17	17	13	13	13	16	13	13	12	14.5	16	18
2 ペジェクリーオ	CB	193	左	14	17	18	16	16	16	16	17	16	16	15	16	15	15	14	15.8	14	24
5 ジュリッチ	CB	177	右	14	17	17	16	16	15	16	17	16	16	16	16	15	16	14	15.8	14	18
20 アングロラ	SB	181	右	16	16	17	16	16	17	15	16	16	16	16	17	15	17	14	16.0	16	22
15 カルボーリ	SB	179	右	16	15	16	16	16	16	16	16	15	16	15	16	15	17	15	15.7	16	20
8 ファミオル	SH	172	右	16	16	16	17	17	17	16	16	15	17	17	17	16	16	17	16.4	16	20
18 キニ・ゴンタロス	SH	175	右	17	15	17	17	17	18	17	16	15	17	16	18	16	17	15	16.5	17	24
6 メンデータ	SH	173	右	16	16	16	18	17	16	16	16	16	17	17	16	16	17	16	16.4	17	24
14 ジェハルト	OH	180	右	17	14	17	17	17	16	16	17	17	17	17	17	17	17	17	16.7	16	24
7 クラウド・ロペツ	CF	178	左	18	13	16	17	18	18	17	17	17	18	16	17	18	17	16	16.9	18	32
10 アンヘロ	OH	180	右	17	13	17	17	17	17	16	17	17	17	16	17	17	17	15	16.5	17	22
3 ビヨルカント	CB	184	右	14	17	17	16	16	15	16	16	16	15	15	16	14	15	14	15.5	14	16
4 カマロサ	CB	183	右	14	17	17	16	16	15	16	17	16	15	14	15	15	15	13	15.4	14	20
16 ロゼ	SB	182	右	15	16	17	16	16	16	16	16	15	16	15	16	15	16	14	15.7	15	18
21 ミラ	DH	173	右	15	16	16	16	16	15	15	16	15	16	16	16	16	16	15	15.7	15	18
23 アウベート	DH	181	右	15	16	17	16	16	16	15	17	15	16	16	17	15	16	14	15.8	15	18
22 セルラン	OH	175	右	16	15	16	16	16	16	15	15	16	16	15	16	15	16	15	15.6	16	20
9 オスタル・ガウシア	OH	184	右	17	13	18	16	16	15	16	17	17	17	16	17	16	17	15	16.2	16	22
17 サンテス	CF	172	右	17	14	16	17	17	18	18	16	16	16	15	16	17	16	14	16.2	18	22
19 ブナオビッチ	CF	176	右	17	13	16	17	17	16	17	17	17	17	16	17	17	17	15	16.4	17	24
11 イリネ	CF	178	右	18	13	17	17	18	17	17	16	17	17	17	18	18	17	16	16.9	18	30
25 バラップ	GK	181	右	13	16	17	13	15	15	16	17	14	13	13	16	13	12	13	14.4	17	18
スタメン能力平均		184.3		15.7	15.2	16.7	16.2	16.4	16.2	16.1	16.5	15.8	16.1	15.5	16.5	15.6	16.0	14.7	15.9	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

MONACO

モナコ

CFトレセレの頭を狙い、徹底してサイドからクロスを入れてくる攻撃展開。SBを配置してスペースを埋め、簡単にクロスを上げさせないようにしたい。ツートップは動き出しも早いので、スペースにも気を配ろう。守備陣はフランス代表GKバルケスを筆頭に、なかなか堅い。手薄な両サイドを突いて攻め上がり、裏を突くパスで勝負していこう。

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	■	アザーサイドアタック
●	ゾーンプレス	✕	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 バルケス	GK	183	左	13	18	18	14	16	17	18	18	14	14	14	17	14	13	13	15.4	17	26
4 マルエツ	CB	182	右	15	17	17	17	16	16	16	16	16	16	15	16	15	15	15	15.9	15	20
5 クイスタンバル	CB	185	右	14	17	17	17	17	17	16	18	16	15	16	17	14	17	14	16.1	15	22
17 レオマール	SB	187	左	15	17	18	16	16	16	16	17	15	15	15	16	14	16	15	15.8	17	20
19 サノル	SB	180	右	15	15	17	17	16	16	15	15	15	15	16	16	15	16	15	15.6	16	16
6 ジェトー	DH	180	右	14	16	17	18	17	16	15	17	16	14	15	17	14	15	13	15.6	15	20
7 ラヌシ	DH	175	右	15	16	16	17	16	16	16	17	17	16	17	15	15	15	15	15.9	15	18
10 ガジャルト	OH	170	右	17	14	15	17	16	16	15	17	17	17	18	16	16	18	17	16.4	16	24
8 ジュニー	OH	164	右	17	14	15	17	17	16	17	16	15	16	17	15	16	17	16	16.1	16	20
11 シボーネ	CF	170	右	17	13	16	17	17	17	17	17	16	17	16	16	18	17	15	16.4	17	28
9 トレセレ	CF	185	右	17	13	17	17	17	17	18	16	18	17	16	17	17	17	15	16.6	17	28
2 コントルラス	SB	180	右	14	17	17	16	17	17	17	18	17	14	14	16	14	14	13	15.7	15	20
3 ピノル	SB	178	左	15	15	16	16	17	15	15	16	15	15	15	16	15	15	15	15.4	17	16
18 ダコステ	DH	181	右	15	16	16	18	17	16	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16.3	16	22
28 リーテ	SH	185	右	16	16	17	17	17	16	16	16	16	16	16	17	16	16	15	16.2	16	20
21 ファウネルト	OH	177	右	16	15	16	16	16	15	15	15	15	16	16	16	16	16	15	15.6	16	16
25 ディラオ	OH	186	右	16	14	17	18	16	17	16	16	16	17	16	17	16	17	16	16.3	16	18
22 ヌディナエ	CF	181	右	17	13	17	17	17	17	17	17	17	16	15	17	17	16	14	16.3	17	18
26 ヌドラン	CF	182	右	18	13	16	16	18	17	16	18	16	16	15	17	16	16	14	16.1	18	20
12 エオイ	CF	185	右	17	14	17	16	16	16	16	16	16	15	16	16	16	16	15	15.9	16	18
20 プルト	CF	190	右	17	13	18	16	16	16	16	16	16	17	17	16	17	17	16	16.3	16	24
16 オブイ	GK	176	右	12	17	16	14	16	15	15	17	15	13	13	16	12	13	14	14.5	16	14
スタメン能力平均		175.7		15.5	15.1	16.6	16.5	16.5	16.2	16.1	16.6	16.0	15.6	15.6	16.3	15.4	15.8	14.8	15.9	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

MARSEILLE

マルセイユ

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

OHルサンからディフェンスラインの裏を狙ったボールと、両SHからツートップにクロスを合わせるという2パターンが基本的な攻撃の形だ。守備では両サイドのチェックを早めにして、フリーでクロスを上げさせないようにしよう。守備陣は反応速度の悪い選手が多いので、速攻からディフェンスラインの裏を突くボールで決定的な形を作りたい。

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	アザーサイドアタック
●	レフトサイドアタック	✕	ゾーンプレス

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ポルト	GK	184	右	12	17	17	14	15	15	17	17	13	13	13	16	13	12	12	14.4	15	18
23 ガヤ	CB	181	右	15	16	17	18	17	17	15	17	16	15	15	16	14	16	15	15.9	16	16
21 キルリアン	CB	185	右	14	17	18	17	16	15	15	17	17	15	14	16	15	15	14	15.7	14	18
3 ペネス	SB	178	右	16	15	17	16	17	16	15	16	16	15	15	15	15	15	15	15.6	16	18
2 ブオンドー	SB	174	右	15	16	16	16	16	15	16	16	15	16	15	15	15	16	14	15.5	16	16
27 アバウドマド	DH	184	右	16	16	17	16	16	15	15	16	15	16	15	17	15	15	15	15.7	15	18
12 ダルナット	OH	186	右	17	14	18	18	17	16	16	17	16	17	17	16	16	17	17	16.6	17	28
8 ブロンド	SH	176	右	16	14	16	16	17	16	15	15	16	16	16	16	15	16	15	15.7	16	16
26 ルサン	OH	178	右	15	16	15	17	16	16	16	17	15	16	17	17	15	16	16	16.0	15	18
7 ピレフ	OH	185	右	16	15	17	17	16	17	16	17	16	17	17	16	17	17	16	16.5	16	28
9 モールス	CF	176	右	17	13	15	17	17	16	17	16	16	17	16	17	17	17	16	16.3	17	24
4 イツサ	CB	195	右	15	17	18	17	16	16	16	17	16	16	15	17	15	15	14	16.0	16	18
24 フィシェーロ	CB	181	右	14	16	17	17	16	16	15	17	16	15	15	15	14	15	14	15.5	14	16
19 マルティリ	SB	182	右	15	16	16	17	17	16	16	16	16	15	15	16	15	15	14	15.7	16	16
13 ルノイ	DH	183	右	16	15	17	17	16	15	15	16	15	15	16	16	15	16	15	15.7	15	18
18 モンテネモロ	OH	178	右	17	13	16	16	17	15	15	16	16	16	16	16	17	16	15	15.8	17	22
17 ケンタ	OH	183	右	17	13	16	18	17	17	16	17	16	16	16	17	16	17	14	16.2	18	20
10 デ・ラ・ペーナ	OH	172	右	17	12	16	16	16	16	15	17	16	18	18	17	16	18	18	16.4	17	26
15 ラカンダリア	CF	175	右	17	13	16	15	17	17	16	16	16	17	17	16	16	17	16	16.1	16	22
22 バカオコ	CF	175	両	17	12	16	16	18	18	17	17	17	16	15	17	16	17	14	16.2	18	24
11 プゼ	CF	176	右	17	13	16	16	17	16	17	16	16	16	16	16	17	16	15	16.0	17	22
16 トレビナン	GK	180	右	12	16	17	13	15	17	16	17	14	13	14	16	13	14	12	14.6	17	16
スタメン能力平均		180.2		15.6	14.8	16.5	16.4	16.5	16.0	15.8	16.5	15.7	15.7	15.6	16.2	15.3	15.8	14.8	15.8	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

AMSTERDAM

AMSTERDAM

アムステルダム

抜群のスピードを誇るスリートップとSBの上がりを含めた、スピーディでパワフルな攻撃が脅威的。CFラウドルックが攻撃の中心となり、中央からサイドからと波状攻撃をしかけてくる。一方、攻撃にかかる人数が多い分、守備は手薄。自軍ディフェンスの人数を増やしてしっかり守り、一気に攻撃に転じるカウンターでゴールを狙っていこう。

DEFAULT FORMATION 4-3-3B

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	カウンターアタック
●	ライトサイドアタック	✕	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 フイム	GK	188	右	12	17	18	14	16	16	16	17	14	13	13	16	12	12	12	14.5	15	16
4 ファン・ハウスト	CB	177	右	14	17	17	16	16	16	16	17	16	16	15	15	15	15	13	15.6	14	20
3 フィエルカウ	CB	178	右	14	16	17	17	17	16	15	18	16	15	14	16	14	15	14	15.6	14	16
17 チリゥ	SH	183	右	16	15	17	16	17	16	17	17	16	16	16	16	15	16	14	16.0	15	22
15 デ・クネル	SB	183	右	16	15	16	17	17	16	15	16	15	15	16	17	15	17	15	15.9	16	20
6 ヴィンツァー	DH	173	右	15	16	16	17	16	15	16	17	16	16	15	17	15	15	15	15.8	15	26
8 ビチュヘ	DH	182	左	15	16	17	17	15	15	15	17	16	16	16	17	15	16	15	15.9	15	20
13 クノッテル	OH	181	右	17	14	17	17	16	16	16	16	16	17	17	17	17	17	17	16.5	17	28
10 ラウドルック	CF	186	右	18	13	17	16	17	18	17	17	17	17	17	17	18	18	15	16.8	18	30
11 グノンケア	WG	187	右	16	15	17	17	17	17	16	16	16	16	16	17	16	17	15	16.3	16	20
24 アウベラーゼ	CF	181	右	17	13	17	16	17	18	17	16	16	16	15	17	17	17	14	16.2	16	24
2 トビヤセン	CB	189	右	15	17	18	17	17	16	15	17	17	15	14	17	15	16	14	16.0	15	24
5 フェルナート	CB	184	右	14	16	17	16	16	15	16	16	17	16	15	15	15	16	13	15.5	14	20
22 モコレナ	SB	173	右	15	15	15	16	18	17	16	18	15	16	16	16	16	17	15	16.1	17	18
16 ニューエンブーグ	DH	177	右	16	16	17	18	16	16	16	17	15	16	16	17	15	16	15	16.1	16	22
18 オブライツ	SH	173	右	16	14	16	17	17	16	16	16	15	16	15	17	15	17	15	15.9	17	18
14 ダネ	SH	178	右	17	15	16	16	17	16	17	16	16	16	15	16	16	17	15	16.1	17	20
21 イケドラ	WG	166	右	16	13	15	17	18	17	17	18	16	16	15	16	17	16	14	16.1	17	18
9 マフナス	CF	183	右	17	13	17	17	17	16	17	17	17	17	16	17	17	17	17	16.6	17	22
7 ワンベウト	CF	168	右	18	13	16	17	17	17	17	17	17	17	16	16	16	17	16	16.5	16	20
19 ババンギタ	WG	170	右	18	13	15	17	19	18	17	19	16	17	17	18	17	17	15	16.9	18	24
12 ロボンゴ	GK	183	右	12	16	17	14	15	16	17	17	14	14	13	16	13	13	13	14.7	15	16
スタメン能力平均		180.2		15.6	14.9	16.6	16.5	16.7	16.3	16.2	16.9	15.9	15.9	15.4	16.5	15.5	16.1	14.6	16.0	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

INTERNATIONAL

INTERNATIONAL

インターナショナル

控えを含め、リーグ最強ともいえる豪華な攻撃陣が揃っている。ツートップの一角のレコパは、強烈で精度の高いシュートを持っているうえ、本来OHの選手なので、パスセンスにも優れた要注意人物だ。攻撃陣は一様にスピードがあるので、動きに翻ろうされて守備体系を崩さないように気をつける。攻撃は、サイドのスペースを使って揺さぶりたい。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	ゾーンプレス
●	ライトサイドアタック	✕	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ペルッチ	GK	181	右	12	18	18	14	16	16	18	17	14	14	15	17	14	13	13	15.3	14	24
21 イナン・コルドナ	CB	175	右	14	18	17	16	17	16	18	17	16	15	14	16	14	15	14	15.8	14	22
5 ブナン	CB	190	右	15	18	18	16	17	15	17	16	17	16	16	15	16	15	14	16.1	13	26
13 ダニオ・シリッチ	CB	179	右	14	17	16	17	17	16	16	18	16	16	15	16	15	16	14	15.9	14	20
23 デビアシオ	DH	175	右	15	16	16	19	16	15	16	16	16	16	17	17	15	16	15	16.1	14	22
15 コルエ	DH	175	右	16	16	16	17	16	16	15	16	15	16	17	16	15	16	15	15.9	16	20
6 セレーラ	SH	178	右	16	16	17	17	17	16	15	15	15	16	16	15	15	17	14	15.8	16	22
4 サメッティ	SH	178	右	17	15	16	17	18	17	17	16	16	17	16	17	16	17	15	16.5	17	26
14 シードルク	OH	177	右	16	16	16	19	17	17	17	18	17	17	17	18	16	17	16	16.9	16	36
20 レコパ	OH	177	左	18	14	16	17	17	17	17	17	16	18	17	18	18	18	18	17.1	17	32
18 サノラノ	CF	178	右	18	13	17	17	17	17	18	19	18	17	16	17	17	17	14	16.8	17	30
3 コオンネーゼ	CB	181	右	15	16	17	17	17	16	15	17	16	16	15	17	14	16	14	15.9	15	20
17 ドノロー	CB	180	右	14	17	17	17	17	15	15	17	16	14	14	17	14	15	14	15.5	14	20
2 パヌッキィー	SB	180	右	16	16	16	17	17	17	17	16	16	17	17	16	16	17	15	16.4	17	26
31 ゲオルグトス	DH	174	左	17	15	16	17	17	15	16	15	16	16	17	17	16	16	17	16.2	17	20
7 モニエーロ	OH	173	右	16	15	16	17	17	16	16	16	16	17	17	17	16	17	15	16.3	17	24
8 ユーロビッチ	OH	177	右	17	15	16	18	17	16	16	16	16	18	18	18	17	17	17	16.8	16	24
16 ムスゥ	CF	180	右	17	16	16	17	17	18	17	16	16	17	16	17	17	17	17	16.7	17	22
32 ビレリ	CF	187	左	19	13	18	18	17	18	18	17	18	17	16	18	18	17	15	17.1	18	46
10 R・バッゾ	CF	174	右	17	13	16	15	16	16	17	15	16	19	18	16	18	18	18	16.5	16	32
9 ロナルド	CF	180	右	19	12	17	16	19	18	17	17	16	19	17	18	18	19	15	17.1	18	50
22 フェーノン	GK	183	右	12	16	17	13	15	15	16	17	14	13	13	16	13	12	12	14.3	15	20
スタメン能力平均		180.2		15.9	15.5	16.6	16.7	16.9	16.3	16.5	16.5	16.0	16.4	16.1	16.8	15.8	16.3	15.0	16.2	15.8	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

TORINO

TORINO

トリノ

司令塔ジダムを起点に多彩な攻撃パターンを持つ。CFデウピエロも攻撃を組み立てる能力があるので、ゴール付近では絶対にフリーにしないように。ジダムは世界でもトップクラスのパス精度を誇る。スペースを与えないようDFを増やして挑みたい。中盤は運動量が多くプレスも早い。細かくパスをつないで、サイド突破から形を作っていこう。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

△	センターアタック	□	アザーサイドアタック
○	ライトサイドアタック	×	ゾーンプレス

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ファンテルサール	GK	197	右	14	19	18	14	16	16	18	17	14	15	15	16	15	14	14	15.7	16	26
13 ユリヤーノ	CB	187	右	13	18	18	17	16	16	17	17	16	16	15	16	15	16	14	16.0	15	22
4 モンケーロ	CB	179	左	15	18	17	17	17	16	18	17	17	16	16	17	15	15	15	16.4	14	26
2 フェラーナ	SB	180	右	16	17	16	17	17	17	17	16	14	16	16	16	16	17	15	16.2	17	20
26 ダーウィッツ	DH	169	左	16	16	17	19	18	18	17	19	17	17	17	19	17	17	15	17.3	17	36
20 タッキナウディ	DH	187	右	16	16	17	18	17	16	16	17	16	17	16	18	15	16	14	16.3	15	22
23 ザンブロッテ	SH	181	右	17	15	17	17	17	16	16	16	16	17	17	17	16	17	16	16.5	17	24
8 コンティ	SH	178	右	16	16	17	18	16	15	17	16	15	16	16	17	15	16	15	16.1	15	20
21 ジダム	OH	185	右	18	14	18	17	17	16	16	16	16	18	19	18	17	19	18	17.1	17	40
10 デウピエロ	CF	173	右	18	14	16	17	17	17	16	16	17	18	18	16	18	19	18	17.0	17	40
9 F・インツァーキ	CF	181	右	18	13	17	16	18	17	18	17	17	17	16	16	18	16	15	16.6	18	32
19 チュトル	CB	192	右	15	18	19	17	16	16	17	17	18	16	16	17	15	16	15	16.5	14	24
3 ミウコビッチ	CB	186	右	16	16	17	17	17	16	16	16	15	16	16	16	16	17	15	16.1	16	22
17 ペスット	SB	173	右	16	16	16	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	14	16.1	16	22
15 ビインデッリ	SB	176	右	16	15	16	17	17	16	15	17	15	16	16	16	15	16	15	15.9	16	18
5 オイセー	DH	183	右	17	16	17	18	17	17	16	17	16	17	16	19	16	16	16	16.7	16	24
14 バチーネ	SH	175	左	16	14	16	17	17	17	15	15	16	16	16	15	16	17	15	15.9	17	22
24 マラスカ	OH	180	右	17	16	16	17	17	16	16	16	15	15	16	17	16	16	15	16.1	15	20
32 エスナイデウ	OH	182	右	17	13	17	16	16	17	16	17	16	17	15	17	17	17	16	16.3	17	22
18 D・コナセビッチ	CF	188	右	17	13	17	17	17	16	17	18	17	17	17	18	17	17	16	16.7	16	24
11 フォンメカ	CF	182	左	18	13	16	17	16	17	17	16	17	17	17	17	17	17	17	16.6	17	24
12 ランプーダ	GK	188	右	12	17	18	13	15	16	16	16	14	13	14	16	14	12	12	14.5	15	20
スタメン能力平均		180.2		16.1	15.6	17.0	16.8	16.7	16.4	16.5	16.6	15.9	16.3	16.2	16.8	16.0	16.3	15.2	16.3	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

MILANO

MILANO

ミラノ

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

シュート力のあるシェルチェンコ、ヘディングに強いビアモフという強烈なFWを擁する。攻撃の起点はOHボパンで、中央、サイドに精度の高いパスを入れてくるのでスペースの確認をしっかりとしよう。中盤も厚く、なかなか攻撃の形を作らせてくれない。守備の人数を増やして守りを固め、カウンターから一気にゴール前に展開して勝負だ。

DEFAULT STRATEGY

▲	レフトサイドアタック	□	アザーサイドアタック
●	ゾーンプレス	✕	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
12 アビナーティ	GK	190	右	13	18	18	15	17	17	17	18	13	13	13	16	13	13	12	15.1	17	20
3 マルデーニ	SB	185	両	16	17	17	18	17	16	16	17	16	17	17	17	16	16	15	16.5	16	32
5 コスタクウタ	CB	180	右	15	18	17	17	17	16	16	17	16	17	16	15	14	16	14	16.1	14	28
19 チャノ	CB	181	右	15	18	17	17	16	15	17	17	17	16	16	17	14	16	14	16.1	15	22
23 アンブロシーニ	DH	180	右	16	17	16	18	16	16	16	17	16	17	16	17	16	17	15	16.4	16	24
15 デ・アルヘンティス	DH	178	右	15	16	16	18	17	17	15	17	15	16	16	16	15	16	14	15.9	14	22
27 セルフィーヨ	SH	181	左	17	14	17	17	18	18	16	16	15	17	16	16	16	17	17	16.5	18	28
8 ガトーソ	SH	177	右	16	16	18	19	17	16	16	16	16	16	16	17	15	17	14	16.3	17	24
10 ボパン	DH	183	右	17	15	17	16	16	16	16	16	16	19	19	17	17	19	18	16.9	16	36
20 ビアモフ	CF	191	右	18	13	18	16	17	16	17	18	19	17	16	18	17	16	15	16.7	18	36
7 シェルチェンコ	CF	183	右	19	13	17	17	19	18	17	17	17	17	17	18	18	17	16	17.1	19	40
14 アジャマ	CB	177	右	15	18	17	17	17	16	17	17	18	17	16	16	15	16	14	16.4	14	24
26 サヤ	CB	188	右	14	17	17	16	16	15	15	17	16	15	15	16	14	15	14	15.5	14	20
13 ウェスタ	CB	183	右	14	18	17	17	17	16	17	18	17	15	15	17	14	16	14	16.1	15	24
4 アルベルテーニ	DH	177	右	16	16	16	17	16	16	15	16	15	17	17	17	16	17	16	16.2	15	24
24 グレロー	SH	185	右	16	15	17	17	17	17	16	15	16	17	17	16	16	17	16	16.3	17	24
2 ヘルゼク	SH	177	右	17	15	16	18	17	17	17	16	17	16	17	16	16	17	16	16.5	17	24
21 ジュンジー	OH	178	右	16	15	16	17	16	16	15	16	15	16	16	16	15	16	15	15.7	15	22
18 レオナウド	OH	177	左	17	14	16	16	16	16	16	15	16	18	18	16	18	18	18	16.5	17	30
41 ホレナリ	CF	185	右	17	13	17	17	17	17	18	17	17	17	16	16	17	16	15	16.5	17	26
40 フィオラ	GK	185	右	12	17	17	14	15	15	16	17	14	13	13	16	13	12	12	14.4	15	18
1 ロッジ	GK	194	右	12	17	18	13	16	16	17	17	14	13	14	16	13	12	12	14.7	15	20
スタメン能力平均		180.2		15.6	15.9	16.9	16.7	16.7	16.3	16.3	16.7	16.0	16.2	16.0	16.5	15.4	16.0	14.8	16.1	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

LAZIO

ラツィオ

OHベーヨンから、中央、サイドへと精度の高いパスで攻撃を組み立ててくる。FWはヘディングが強いので、サイドからのクロスに注意したい。サマスはヘッドだけでなく、動き出しが早く決定力の高い選手なので、オフサイドトラップで動きをけん制するのも手。守備陣は高さがあり堅固。カウンターで速攻をしかけ、サイドのスペース使って形を作りたい。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

▲ センターアタック	■ アザーサイドアタック
● ゾーンプレス	✕ カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 マウケジャーニ	GK	188	右	12	17	18	14	15	16	16	16	13	13	13	16	13	13	12	14.5	15	24
11 ミナイロビッチ	CB	184	左	16	17	17	17	16	15	15	17	16	17	17	18	18	17	19	16.8	16	32
13 ネスティ	CB	187	右	15	18	18	17	17	16	17	17	17	16	16	16	15	16	14	16.3	15	24
15 パンカルロ	SB	181	右	16	15	17	17	17	16	16	17	16	16	15	16	15	16	15	16.0	16	20
2 ネクロ	CB	182	右	15	17	17	16	16	15	16	17	16	16	15	16	15	15	14	15.7	14	22
25 アウメイダ	DH	173	右	16	17	16	19	16	16	17	17	16	17	17	17	15	16	14	16.4	15	28
14 シメヨネ	DH	180	右	15	17	17	18	16	15	16	17	19	16	16	16	15	16	14	16.2	16	22
7 セリオ・コンメイト	SH	177	右	16	15	17	18	17	16	16	17	16	16	17	17	17	17	15	16.5	16	32
23 ベーヨン	OH	186	右	18	15	17	18	17	16	16	16	16	18	19	18	17	17	17	17.0	16	38
9 サマス	CF	174	左	19	12	17	18	18	17	19	19	18	17	17	18	18	18	16	17.4	18	32
21 シマロ・インツァーキ	CF	183	右	17	13	17	16	17	17	18	17	17	17	16	16	17	16	15	16.4	17	28
24 フェルマン・コール	CB	184	右	14	17	18	17	17	16	17	17	17	16	16	17	15	15	14	16.2	15	26
6 センチーニ	CB	178	右	15	17	16	15	16	15	17	16	16	16	16	15	14	15	14	15.5	14	22
5 ファヴァーリ	SB	181	右	16	16	17	17	17	16	15	17	15	16	15	17	14	17	14	15.9	16	20
17 ゴッタウディ	DH	174	右	16	16	16	18	16	16	15	16	16	16	16	16	15	16	15	15.9	16	18
18 ネトレト	SH	177	右	17	15	16	18	17	17	17	17	16	17	17	17	16	17	15	16.6	17	22
4 ロンバウド	OH	175	右	16	15	16	16	16	15	16	16	17	17	17	17	16	16	16	16.1	16	24
10 マンティーニ	OH	179	右	17	14	16	15	16	16	17	16	17	18	18	17	18	18	17	16.7	17	30
20 D・スタンクビッチ	OH	182	右	17	14	17	18	17	17	17	17	16	18	17	18	17	17	17	16.9	17	24
33 ラニエリ	CF	188	左	18	15	18	17	16	17	18	17	18	16	16	17	17	16	14	16.7	18	30
19 ボルシッチ	CF	187	右	18	13	18	17	18	16	17	17	18	17	16	18	18	17	15	16.9	18	24
22 バロータ	GK	181	右	12	17	17	14	15	15	16	16	14	13	13	16	13	12	12	14.3	14	18
スタメン能力平均		180.2		16.0	15.5	17.0	16.8	16.5	16.0	16.5	16.8	16.4	16.3	16.1	16.8	15.8	16.0	14.9	16.2	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

PARMA

PARMA

パルマ

OHオウテガをはじめとする、前線3人のドリブル突破から形を作り上げるのが目立った攻撃パターン。ペナルティエリア付近では、巧みなパスワークにつられてスペースを空けないように注意しよう。前線から積極的にプレスをかけて、フリーでボールを持たせないよう心がけたい。DFは高さがあり足元も強い。サイドから揺さぶりをかけて崩そう。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

△	センターアタック	□	アザーサイドアタック
○	ゾーンプレス	×	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 ブッフォン	GK	188	右	13	18	17	14	16	17	19	18	13	14	14	17	13	13	12	15.2	19	28
17 カンナバーレ	CB	175	右	15	19	17	17	17	17	17	18	16	17	16	16	15	16	14	16.5	14	28
21 チュナム	SB	182	右	16	18	17	17	18	17	17	19	17	17	16	18	16	17	15	17.0	18	30
2 サウトル	CB	182	右	14	18	17	16	17	16	15	17	17	16	16	17	15	16	14	16.1	15	22
14 ボゴシヤン	DH	185	右	15	17	17	18	16	15	17	16	16	16	16	16	15	16	15	16.1	15	24
8 D・バッジ	DH	185	右	17	15	17	17	17	16	16	17	16	17	17	18	16	17	16	16.6	16	24
24 バナーリ	SB	184	左	16	15	17	18	17	16	15	16	15	16	15	15	15	17	15	15.9	17	22
7 フセール	SH	183	右	16	15	17	18	17	16	16	17	15	16	16	17	16	16	15	16.2	16	24
10 オウテガ	OH	170	右	17	14	15	16	17	16	17	17	16	18	17	16	17	19	18	16.7	19	30
11 アモローソ	CF	179	右	18	13	16	17	17	18	18	17	16	18	16	16	18	18	16	16.8	17	34
9 クレツポ	CF	184	右	18	13	17	18	17	17	18	17	18	17	16	18	18	17	15	16.9	16	32
6 ラッシッチ	CB	185	右	15	16	18	17	17	16	16	17	17	15	14	17	14	15	14	15.9	15	20
19 トニージ	CB	185	右	14	17	17	16	16	15	16	16	17	15	15	15	15	14	14	15.5	14	20
3 ベナニーヴォ	SB	170	右	17	15	15	17	17	16	16	16	16	17	17	16	16	17	16	16.3	17	24
16 パルロ・ソーラ	DH	177	右	16	17	16	16	16	16	17	16	16	17	17	16	16	16	16	16.3	16	30
5 ダゴ	DH	183	右	15	16	18	17	16	16	16	17	17	17	16	18	15	16	14	16.3	15	22
29 ボラーロ	SH	174	右	16	15	16	18	16	16	16	17	16	16	16	17	15	16	15	16.1	17	18
15 ロンゲ	OH	179	右	17	14	17	16	17	16	15	16	16	16	16	16	17	17	16	16.1	17	20
25 ワーム	OH	169	左	17	14	15	17	17	17	16	17	16	18	18	16	16	17	17	16.5	17	24
13 スタミッチ	SB	185	右	17	16	17	17	18	17	17	17	17	16	17	17	16	17	15	16.7	16	22
20 ディ・バイロ	CF	178	右	17	13	16	17	17	17	17	16	17	17	16	17	17	16	15	16.3	17	24
12 グアルダウベン	GK	183	右	12	17	17	14	15	15	15	17	14	13	13	17	13	12	12	14.4	15	16
スタメン能力平均		180.2		15.8	15.7	16.6	16.7	16.7	16.3	16.5	16.9	16.1	16.3	15.9	16.6	15.6	16.1	15.0	16.2	16.3	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

FIRENZE

フィレンツェ

司令塔ルイ・コスナからディフェンスラインの裏を狙ったスルーパス、両サイドへのワイドな展開と、スリートップを存分に生かした攻撃を展開してくる。DFの人数を増やすなどして数で負けないように対応したい。攻撃は、スリーバックの手薄なサイドを突いた攻撃が有効。CBは高さがあるので、低く、速いクロスを流し込むような展開が理想的だ。

DEFAULT FORMATION 3-4-3A

DEFAULT STRATEGY

▲ ライトサイドアタック　□ センターアタック
● レフトサイドアタック　× カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 トード	GK	196	右	13	18	19	14	16	16	18	17	13	13	14	17	13	13	13	15.1	17	24
6 フィリカーロ	CB	184	右	14	17	17	16	16	15	15	16	16	16	15	16	15	15	14	15.5	14	18
23 ピェリンニ	CB	185	右	15	16	18	17	16	16	16	16	17	15	15	16	14	16	14	15.8	15	20
2 レスカ	CB	183	右	14	18	17	18	17	16	17	18	16	15	16	16	14	14	14	16.0	14	24
16 デリービヨ	OH	173	右	16	15	16	17	16	16	15	16	16	16	17	17	16	16	16	16.1	16	24
17 ハイムリッヒ	SH	185	右	16	15	17	18	17	17	16	16	16	17	17	17	16	17	17	16.6	17	24
3 トリチェッシ	SB	183	右	16	17	17	18	17	16	16	17	16	16	16	17	15	16	14	16.3	16	26
10 ルイ・コスナ	OH	180	右	18	14	17	17	17	16	17	16	17	18	19	18	17	18	18	17.1	17	36
9 バテストータ	CF	185	右	19	12	17	17	17	18	18	18	18	17	17	19	19	16	16	17.2	17	44
8 ミヤタビッチ	CF	177	右	18	13	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	17	15	16.7	17	30
20 キエーサ	CF	175	右	18	13	16	17	17	17	18	17	16	16	16	17	17	16	14	16.3	17	24
4 アダリ	CB	183	右	14	16	17	17	16	16	15	16	16	15	15	16	14	15	13	15.4	15	18
5 パダニーノ	CB	180	右	14	17	17	17	17	16	16	17	17	16	15	16	15	16	14	16.0	15	22
27 タロッティー	CB	178	右	14	16	16	16	16	15	15	16	16	15	14	16	14	15	14	15.2	14	18
15 オトン	DH	180	右	16	16	17	17	17	15	15	17	16	17	17	16	15	16	15	16.1	16	24
14 コイン	DH	178	右	16	15	16	17	16	15	16	16	16	16	16	17	15	16	14	15.8	16	20
11 ロッセット	SH	178	右	17	14	16	17	17	17	16	15	15	17	15	17	15	17	15	16.0	17	22
21 ブレッソン	SH	177	右	16	15	16	17	17	16	15	15	16	16	16	16	16	16	15	15.9	17	20
19 アモロード	OH	176	右	16	13	16	16	16	15	16	16	16	17	17	16	16	17	16	15.9	16	22
7 アムール	OH	174	右	16	15	16	17	16	16	15	17	16	16	16	17	16	17	15	16.1	15	20
18 バンボ	CF	181	右	17	14	17	16	16	17	17	16	17	17	17	17	17	17	17	16.6	17	28
12 タリヤラテーナ	GK	183	右	13	17	18	13	15	17	17	17	13	14	13	15	13	13	12	14.7	16	18
スタメン能力平均		180.2		15.7	15.3	16.8	16.6	16.5	16.1	16.2	16.5	16.0	16.0	15.9	16.6	15.5	15.9	14.8	16.0	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

ROMA

ローマ

リーグ中唯一の日本国籍選手ニラサキが所属するクラブ。中盤から前線にはテクニシャンが多く、巧みなパスワークで攻撃の形を作ってくる。DHも積極的に上がってくるので攻撃は厚く多彩だが、守備の人数は少なくなるため、カウンターが決まればゴール前まですんなりと展開できる。GKと1対1になるケースも少なくないので、落ち着いて決めたい。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	ライトサイドアタック	■	センターアタック
●	アザーサイドアタック	✕	ゾーンプレス

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
22 アンポローニ	GK	188	右	13	17	18	15	15	16	17	17	14	13	14	16	14	12	12	14.9	15	20
20 マンガーネ	CB	185	右	14	17	17	16	16	16	17	17	16	16	15	16	14	15	13	15.7	14	20
6 アウダニール	CB	184	右	15	17	17	16	16	15	16	17	17	16	15	17	15	15	14	15.9	15	24
3 ザーボ	CB	185	右	14	17	17	16	16	16	17	17	16	16	15	16	15	15	14	15.8	14	22
11 デフランテスコ	DH	177	右	17	14	16	17	17	16	15	16	15	18	17	17	17	18	17	16.5	17	28
8 ニラサキ	OH	175	右	17	15	17	17	17	16	17	16	16	18	18	17	17	17	17	16.8	16	28
32 カンベラ	SH	180	左	16	16	16	18	17	17	16	17	16	17	16	18	16	16	15	16.5	14	26
2 カシュー	SB	175	右	17	16	16	18	18	17	17	16	16	17	17	18	16	17	16	16.8	17	30
10 トッチィ	OH	180	右	17	13	17	17	17	17	17	17	17	18	17	18	17	18	16	16.9	17	32
24 デルベッキア	CF	186	右	17	14	17	16	17	17	18	17	17	17	16	17	17	16	14	16.5	17	24
9 モンテッサ	CF	172	左	18	14	16	17	17	18	18	17	17	17	16	16	18	17	15	16.7	17	26
23 リバルディ	CB	183	右	14	17	17	17	17	16	17	17	15	15	15	16	15	15	13	15.7	14	20
19 グランコ	SB	172	右	16	16	16	16	17	16	16	16	15	17	15	16	15	16	14	15.8	16	18
17 トマーシ	DH	177	右	16	16	16	17	16	17	16	16	16	16	16	16	15	16	16	16.1	15	22
5 アクンソン	DH	178	右	16	16	17	17	16	16	16	17	15	17	17	16	16	16	15	16.2	16	24
4 ザニアーティ	DH	180	右	16	16	17	17	16	16	16	16	15	16	16	16	16	17	16	16.1	16	20
16 トニッチ	OH	178	右	17	15	16	17	17	16	15	16	15	17	17	16	16	17	17	16.3	15	22
13 ブラザ	SH	178	右	16	15	16	17	17	15	16	16	15	16	17	16	16	16	15	15.9	15	20
21 デアゴステルノ	CF	182	右	17	14	16	16	16	16	15	16	16	16	16	16	17	17	16	16.0	17	18
27 ジムアール	CF	186	右	17	14	16	17	17	17	17	16	17	17	16	16	17	18	18	16.7	17	24
18 パブロ・ポッチ	CF	181	右	17	15	16	16	17	16	17	16	16	16	16	16	17	17	15	16.2	17	18
12 ルバッテラ	GK	188	右	12	17	18	14	15	16	16	17	14	13	13	16	14	12	12	14.6	15	16
スタメン能力平均		180.2		15.9	15.5	16.6	16.5	16.5	16.3	16.5	16.5	15.7	16.3	15.9	16.5	15.9	16.0	15.0	16.1	15.7	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

DORTMUND

DORTMUND

ドルトムント

スピードとヘディングを武器にするCFに、クロスを合わせるというのが目立った攻撃パターン。控えのCFも似たタイプが多い。守備時は、オフサイドトラップで相手の出ばなをくじく作戦が有効だ。失敗のないように、慎重にタイミングをはかりたい。攻撃はグラウンダーの速いパス回しを使って、ディフェンスラインを崩しにかかろう。

DEFAULT FORMATION 3-5-2B

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	ゾーンプレス
●	ライトサイドアタック	✕	カウンターアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 レーナン	GK	190	右	13	17	17	15	16	16	17	16	13	14	13	17	14	13	13	14.9	16	24
5 コーナー	CB	186	右	14	17	18	15	16	15	17	16	17	15	15	16	14	15	14	15.6	14	24
7 ロンター	CB	181	右	15	16	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	15	16	15	15.9	16	24
2 ベルンツ	CB	185	右	15	17	18	17	17	16	16	17	16	16	16	17	14	16	14	16.1	14	24
4 スタビッチ	DH	179	右	15	16	16	17	16	16	15	16	16	17	16	16	16	16	17	16.1	16	20
8 ネウリンガー	DH	182	左	15	16	17	16	16	16	16	16	16	16	16	17	15	16	15	15.9	15	20
29 ブッコ	SH	183	左	16	15	17	17	17	16	16	16	16	16	16	18	16	16	14	16.1	16	18
19 アッゴ	SH	189	右	17	14	18	17	17	17	17	17	16	17	16	17	16	17	15	16.5	17	20
18 リッテン	OH	178	右	17	14	16	18	17	17	16	17	15	17	17	17	17	17	16	16.5	18	30
20 ボリッチ	CF	188	両	16	14	18	17	17	16	16	17	18	17	16	17	16	16	14	16.3	16	26
24 イクペパ	CF	173	右	17	13	16	17	18	17	17	19	17	17	16	17	17	17	16	16.7	17	22
27 ファイヤジンガ	CB	183	右	16	17	17	16	17	16	16	17	16	17	17	17	16	17	15	16.5	16	22
15 ネイハウス	CB	188	右	14	16	17	16	15	16	15	16	16	15	14	16	15	15	14	15.3	14	18
3 エバニウトン	SB	178	右	16	16	16	17	17	17	17	16	16	16	16	15	15	17	15	16.1	16	20
16 カペタモリッチ	DH	181	右	16	15	17	17	16	15	15	15	16	17	17	16	16	17	17	16.1	16	22
17 ジシ	SH	176	右	17	14	16	18	17	17	16	17	16	17	16	17	16	18	16	16.5	18	24
14 バウバレス	OH	186	左	16	13	17	16	16	15	16	16	17	17	16	16	17	16	15	15.9	16	16
10 メナー	OH	180	右	17	15	16	16	17	15	15	17	17	18	18	17	17	18	17	16.7	17	28
22 タンゴ	CF	178	右	17	13	17	18	17	18	16	18	16	16	15	17	16	16	15	16.3	17	22
13 レイラ	CF	180	右	16	14	17	16	16	16	17	16	16	17	17	16	17	17	16	16.3	16	20
11 ヘルリッキ	CF	186	右	17	13	18	17	16	17	16	17	17	16	16	17	17	17	14	16.3	17	24
12 デビーウ	GK	185	右	12	17	18	14	15	16	16	16	13	13	13	17	13	12	12	14.5	15	16
スタメン能力平均		180.2		15.6	15.1	17.0	16.5	16.5	16.2	16.1	16.5	16.0	16.2	15.8	16.6	15.7	16.1	15.0	16.1	16.0	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

MUNCHEN

MUNCHEN

ミュンヘン

左サイドの突破から強引なシュート、そして、こぼれ球に詰めるという、前線の人数を生かしたパワープレイが特徴的。スピード、テクニックも備えており、中盤での展開はなかなか巧妙だ。DFの能力も高く守備も堅いが、守備的な人数が少ないのでカウンターにはもろい面がある。カウンターからサイドに展開し、DFが浮き足立ったところを突きたい。

DEFAULT FORMATION 3-4-3A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	■	アザーサイドアタック
●	レフトサイドアタック	✕	ゾーンプレス

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 カール	GK	190	右	13	18	19	15	16	17	18	16	13	14	13	17	14	13	13	15.3	14	24
25 リヌケ	CB	182	右	14	17	17	16	16	14	17	17	17	16	15	16	14	15	15	15.7	16	22
5 パティ・アンテソン	CB	185	右	14	17	18	16	17	16	16	18	17	16	16	16	14	15	14	16.0	14	20
2 バッゲル	CB	189	右	15	17	18	17	16	16	16	16	16	16	15	16	15	15	14	15.9	14	22
16 イェレニース	DH	176	右	16	17	17	18	17	16	17	17	15	17	17	17	15	17	16	16.6	16	28
3 リザマス	SB	169	左	17	16	16	17	17	16	16	16	16	16	16	17	15	16	15	16.1	18	26
20 サイハミジッチ	SH	176	右	17	14	16	17	16	16	17	16	16	18	18	16	17	18	18	16.7	16	24
11 エフェンベウグ	DH	186	右	17	15	18	17	16	16	16	16	16	18	18	17	17	17	18	16.8	16	30
9 エンベル	CF	182	右	18	13	17	17	18	17	18	17	17	17	16	17	18	17	15	16.8	17	32
7 ショム	OH	176	右	17	14	16	17	17	15	16	16	15	17	18	16	17	18	17	16.4	17	28
13 パオロ・セルシオ	SH	180	右	17	14	17	17	18	17	17	17	16	18	16	17	17	17	15	16.7	18	30
4 クホー	CB	175	右	14	18	17	18	17	16	16	18	16	16	15	17	14	15	14	16.1	15	24
23 ウィブリハウザ	SB	180	右	16	15	16	17	17	17	15	15	15	16	15	16	15	16	15	15.7	17	20
31 ヤオリム	DH	172	右	16	16	15	16	16	15	15	16	16	16	16	18	16	16	16	15.9	16	20
17 フィムク	DH	181	右	15	16	17	17	15	15	16	15	16	16	16	17	16	16	15	15.9	15	18
18 タウナト	SH	186	左	17	16	18	17	17	17	16	16	17	17	16	18	16	17	16	16.7	17	24
8 シュトルンス	SH	181	右	16	15	17	17	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16.3	16	20
6 ビーシンカー	OH	168	右	16	14	16	17	17	17	16	17	16	17	17	16	16	17	17	16.4	16	22
24 サンタクレス	CF	188	右	17	13	17	17	17	17	17	17	18	17	16	17	18	17	14	16.6	18	32
21 ジッコラー	CF	188	右	17	13	18	17	17	17	17	16	17	16	16	17	17	16	15	16.4	16	22
19 ヤンガー	CF	193	右	17	13	18	17	16	17	16	16	18	17	16	17	17	17	15	16.5	18	32
12 シェアー	GK	187	右	12	17	18	14	16	15	15	18	13	13	13	16	13	12	12	14.5	16	18
スタメン能力平均		180.2		16.0	14.9	16.7	16.5	16.4	16.0	16.1	16.1	15.5	15.6	15.5	16.5	15.4	15.9	14.4	15.8	15.9	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

LEVERKUSEN

LEVERKUSEN

レヴァークーゼン

DEFAULT FORMATION 4-3-3B

スリートップは、抜け出しの速さとドリブルを武器に攻撃を展開してくる。当たりの強さを生かした強引なドリブルに注意が必要だ。中央にDFを集めてゴール前を固めておこう。ディフェンスは、高さがあり当たりも強いので、ハイボールのクロスはあまり効果なし。カウンターから速攻をかけて、ラインの裏を狙ったパスでゴールを狙いたい。

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	アザーサイドアタック
●	ゾーンプレス	✕	カウンターアタック

選手データ

	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 マティレク	GK	191	右	13	17	18	13	15	15	17	16	13	13	14	16	13	13	13	14.6	14	14
5 ノロトニー	CB	187	右	14	17	18	17	16	16	16	17	17	16	15	16	15	16	15	16.1	15	20
2 ロベウト・コナッチ	CB	182	右	15	17	17	16	17	16	17	17	17	16	15	16	15	15	14	16.0	14	22
6 ジルコリッチ	CB	182	右	16	17	18	17	16	16	16	17	16	16	16	17	15	16	15	16.3	16	22
4 レイク	SB	182	右	16	16	17	17	17	16	15	16	15	16	15	16	16	17	15	16.0	16	24
10 エメウソン	DH	179	右	16	16	17	17	17	16	16	17	18	17	17	16	16	17	16	16.6	16	28
13 バナック	OH	189	右	16	15	17	17	16	16	16	16	17	16	17	16	16	17	15	16.2	16	20
28 ラメノウ	OH	185	右	16	15	18	17	16	16	15	16	15	16	16	16	16	16	16	16.0	16	20
9 キルスレン	CF	175	右	17	13	16	16	17	16	16	17	17	17	15	18	17	17	15	16.3	18	26
8 ゼ・ロベウト	SH	172	左	16	16	16	17	17	16	17	17	16	16	17	16	16	18	14	16.3	17	24
27 ヌリル	WG	171	右	17	13	16	18	18	18	17	16	16	17	17	17	17	17	16	16.7	17	24
14 ホーマン	CB	188	右	14	17	18	16	16	16	16	16	17	15	15	16	14	15	14	15.7	15	22
3 バリッチ	CB	186	右	15	16	17	16	17	16	15	16	16	16	15	17	15	16	15	15.9	15	24
19 グラスト	SH	183	左	17	15	17	17	17	16	16	17	15	16	15	17	18	16	16	16.3	18	22
39 ヴライエ	DH	184	右	16	16	17	17	16	15	15	15	16	17	16	16	16	17	17	16.1	15	20
18 ヘズク	SB	174	右	17	14	16	16	18	17	17	17	15	16	16	16	15	17	14	16.1	18	22
22 バインリシ	SH	180	左	17	15	17	18	16	16	16	17	17	17	17	17	16	17	17	16.7	17	28
25 シュライダー	SH	176	右	16	15	16	17	17	16	16	16	16	17	16	16	16	17	16	16.2	17	24
16 スピラク	CF	186	右	16	14	17	16	16	16	16	16	16	17	16	16	17	16	16	16.1	17	22
12 ブルダニッチ	CF	185	右	17	13	17	17	16	15	17	17	17	16	15	17	16	17	14	16.1	16	24
11 リンツ	CF	184	右	17	13	18	17	16	16	16	16	17	17	16	16	17	17	14	16.2	16	24
20 ユニッチ	GK	196	右	13	16	19	13	15	14	15	16	13	13	13	16	13	12	13	14.3	15	18
スタメン能力平均		180.2		15.8	15.3	17.1	16.5	16.5	15.9	16.0	16.4	16.0	16.0	15.6	16.4	15.7	16.2	15.0	16.0	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

RIO DE JANEIRO

RIO DE JANEIRO

リオデジャネイロ

DEFAULT FORMATION 4-4-2B

キレのあるドリブルから精度の高いシュートを放ってくるロマーニオをはじめ、パスを使った展開よりもドリブルでの攻め上がりが目立つ。ゴール付近では、サイドから切り込んでくるドリブルを要警戒だ。ゴール前を固めるようにDFを配置しておこう。守備陣は高さがあるのでサイドからのクロスよりも、細かいパス回しで形を崩してゴールを狙おう。

DEFAULT STRATEGY

△	センターアタック	□	カウンターアタック
○	ライトサイドアタック	×	レフトサイドアタック

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
1 C・ジェルマーロ	GK	192	右	13	18	18	13	15	17	17	17	15	14	14	16	15	14	13	15.3	15	22
4 カルバノ	CB	180	右	14	18	17	16	15	15	17	17	16	16	16	16	14	15	13	15.7	14	20
3 オルヴァン	CB	180	右	15	17	17	17	16	14	16	17	17	16	15	17	15	15	13	15.8	16	20
13 ジルマート	SB	189	左	16	16	17	16	16	16	15	17	16	16	15	16	16	16	15	15.9	16	22
2 ジョルニーノ	SB	175	右	16	16	16	15	16	17	17	17	16	17	17	17	16	16	16	16.3	14	22
6 フェシペ	DH	175	左	17	15	16	18	17	17	17	16	15	17	16	18	16	18	16	16.6	17	26
5 アマガウ	DH	170	右	16	17	16	17	16	16	16	16	15	17	16	16	16	17	15	16.1	15	20
8 ジュリーヨ	OH	178	右	17	14	16	17	17	16	16	17	16	17	17	17	17	17	17	16.5	16	24
9 ラノン	OH	170	右	16	14	16	18	17	15	17	16	15	17	17	16	16	17	17	16.3	15	24
11 ロマーニオ	CF	168	右	18	12	17	16	17	18	19	18	17	18	16	16	18	17	15	16.8	17	32
10 エジヌンド	CF	172	右	18	13	17	16	17	17	17	16	16	17	16	18	17	18	14	16.5	18	30
17 ジノル・バーノ	CB	192	右	14	17	18	16	16	15	16	17	17	15	15	16	14	15	13	15.6	14	22
14 トリス	CB	187	右	15	17	18	15	16	15	16	17	17	16	15	15	15	15	13	15.7	15	20
22 アレック	CB	185	右	14	16	17	16	16	16	17	17	16	16	15	16	14	15	13	15.6	14	18
15 パウオ・ミランガ	SB	177	右	15	16	17	16	16	15	16	17	16	16	15	17	14	17	13	15.7	16	18
23 A・オリメイナ	OH	176	左	16	15	16	17	16	16	15	16	15	16	16	16	16	16	16	15.9	16	18
16 ペドリーノ	OH	170	右	16	14	15	17	16	15	16	16	15	15	16	16	16	16	14	15.5	15	18
21 ナラ	OH	174	右	16	15	16	16	17	17	16	16	15	16	15	16	16	16	16	15.9	15	20
18 バベル	OH	178	右	16	14	16	16	16	16	16	16	15	16	16	15	16	16	15	15.7	15	18
7 ドニチデテ	CF	180	右	18	12	17	17	18	16	17	17	17	17	16	17	17	17	14	16.5	17	24
19 ヴィオレ	CF	175	左	17	13	16	16	17	17	16	16	17	17	16	16	17	18	15	16.3	17	24
12 エルソン	GK	186	右	12	18	17	14	15	16	18	17	14	14	13	16	14	13	12	14.9	15	22
スタメン能力平均		180.2		15.7	15.3	16.6	16.1	16.3	16.0	16.5	16.6	15.8	16.2	15.6	16.3	15.7	16.1	14.5	16.0	15.5	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

BUENOS AIRES

ブエノスアイレス

スピードのある選手が多く、両サイドを使ったスピーディな展開が特徴的。なかでもCFサビオナは、素早い抜け出しから精度の高いシュートを打ってくる要注意人物。サイドからの展開も多いが、最も注意したいのは中央突破だ。攻撃では、空いているサイドを突いたロングボールが効果的。プレスが速いので、シンプルなボールさばきでかわそう。

DEFAULT FORMATION 4-4-2A

DEFAULT STRATEGY

▲	センターアタック	□	カウンターアタック
●	レフトサイドアタック	✕	ゾーンプレス

選手データ

選手	ポジション	身長	利き足	攻撃力	防御力	当たり	スタミナ	スピード	加速力	反応速度	ジャンプ力	ヘッド精度	テクニック	パス精度	シュート力	シュート精度	ドリブル	カーブ	能力平均	積極性	獲得ポイント
⑫ ボラーノ	GK	185	右	13	17	17	14	15	16	16	17	13	13	14	16	13	13	12	14.6	16	18
⑭ ロンバルリィ	CB	175	右	15	16	16	17	17	15	15	17	16	15	15	16	14	16	14	15.6	15	20
⑤ トロッサ	CB	178	右	14	17	17	16	16	16	17	16	17	15	15	15	15	15	14	15.7	14	18
⑬ ブラツェンテ	SB	175	左	15	16	16	17	17	16	16	16	15	16	16	16	15	16	15	15.9	16	20
⑥ ジェペル	SB	175	右	15	16	16	18	17	17	16	15	16	15	15	16	15	16	14	15.8	16	18
④ ベニーソ	DH	184	右	14	17	18	16	16	15	16	17	17	16	16	17	15	16	14	16.0	15	22
⑰ レデスナ	SH	174	右	16	14	15	18	17	17	15	16	15	17	17	17	16	18	15	16.2	17	20
㉙ クエダス	SB	186	右	17	15	17	17	16	16	16	16	15	17	16	16	15	17	16	16.1	17	16
⑩ アイアール	OH	170	右	17	14	15	17	16	16	16	17	15	18	17	16	17	18	17	16.4	17	24
⑦ サビオナ	CF	168	右	16	13	16	17	18	18	18	17	16	18	17	17	18	18	17	16.9	18	36
⑪ カルレッティー	CF	178	右	17	13	16	17	17	17	17	16	17	17	16	16	17	17	15	16.3	16	28
⑲ サラピア	CB	180	右	15	17	16	17	16	16	16	16	16	15	14	16	16	15	14	15.7	15	18
② ラノス	CB	178	右	15	16	14	16	16	16	16	16	16	15	14	15	14	16	14	15.3	14	16
③ ソラン	SB	173	右	16	16	16	17	17	16	16	17	15	16	16	16	15	16	14	15.9	17	18
⑮ フロンコ	DH	178	右	15	16	16	18	16	15	15	17	16	16	15	15	15	16	14	15.7	15	18
㉕ ガンテド	DH	180	右	15	16	17	17	16	15	16	16	16	15	16	17	15	16	15	15.9	15	20
⑯ サバタ	SH	175	右	16	14	16	17	17	17	15	17	15	17	16	15	16	17	16	16.1	17	22
⑧ エスクレロ	SH	177	右	16	15	16	18	16	16	15	16	16	16	16	15	16	16	15	15.9	16	18
㉑ コウデソ	SH	178	右	17	13	16	17	17	18	16	17	15	17	15	16	16	17	15	16.1	17	22
㉖ アレバルス	OH	171	右	17	14	16	16	16	17	15	16	16	17	17	16	17	17	16	16.2	16	22
⑨ アンケル	CF	183	右	17	13	16	17	18	17	17	16	16	17	17	18	17	17	16	16.6	17	28
① コスサンド	GK	187	右	12	16	17	14	15	16	17	16	13	14	14	16	13	13	15	14.7	17	18
スタメン能力平均		177.1		15.4	15.3	16.3	16.7	16.5	16.3	16.2	16.4	15.6	16.1	15.8	16.2	15.5	16.4	14.8	16.0	16.1	

上記の選手パラメータは、コナミ独自の算出法で出したデータです。

マスターリーグ
ポジション別適性値&コスト表

ここでは、編集部が独自に算出したポジション別適性値の上位選手に絞って掲載した。この表は、能力の高い選手がわかるだけでなく、マスターリーグで選手を獲得する際に必要なコストも、併載しているので、効率のよい選手獲得の指針にもなる。
また、本来のポジション以外でも能力を発揮する選手をみつけることができる。選手には好不調の波があるので、複数のポジションを任せられる選手がいれば、チームとしても心強い。上手に活用して、自分なりに最強チームを作ってみよう。

表の見方

選手名 ❶	C ❷	Ave. ❸	A代表 ❹	U-23代表 ❺	マスターリーグ ❻	オールスターズ ❼	CF適性値 ❽
ペリ	44	17.5				クラシックワールド	770
サマス	32	17.4	チリ		ラツィオ	ワールド	767
バテストータ	44	17.2	アルゼンチン		フィレンツェ	ワールド	766
ファンバスチン	44	17.2				クラシックユーロ	765
ビレリ	46	17.1			インターナショナル		765
ロナルド	50	17.1	ブラジル		インターナショナル	ワールド	761
シェルチェンコ	40	17.1	ウクライナ		ミラノ	ユーロ	759
ガインシャ	40	17.4				クラシックワールド	757
カムトナ	40	17.1				クラシックユーロ	753
クラウハート	40	16.9	オランダ		バルセロナ		752

❶ 選手名
❷ マスターリーグで選手を獲得する際に必要となるコスト
❸ 選手の能力平均値
❹ この欄に書かれている国名のA代表選手であることを表わす。
❺ この欄に書かれている国名のU-23代表選手であることを表わす。
❻ この欄に書かれているマスターリーグ登録チームの選手であることを表わす。
❼ この欄に書かれているオールスターチームの所属選手であることを表わしている(表内では、オールスターズを省いて表記している)。
❽ 各ポジション別に編集部が独自に算出した適性値。ポジションごとに数値のバラつきはあるが、ポイントが高くなるほど、そのポジションに適している選手ということになる。

コストパフォーマンスの高い選手をみつけよう

マスターリーグの醍醐味は、選手を獲得しながら、チームを強化していくこと。しかし、マスターリーグ序盤では、強豪チームに勝つのが難しく、選手を獲得する際に必要なポイントを稼ぐのに苦労する。そこで、チームを効率よく強化するために重宝するのが、高能力・低コストの選手。無名なために埋もれている選手を見過ごしてしまうのはもったいない。貴重なポイントを有効に使うために、次ページから始まるデータを参考にしてほしい。

CF（センターフォワード）

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	CF適性値
ペリ	44	17.5				クラシックワールド	770
サマス	32	17.4	チリ		ラツィオ	ワールド	767
バテストータ	44	17.2	アルゼンチン		フィレンツェ	ワールド	766
ファンバスチン	44	17.2				クラシックユーロ	765
ビレリ	46	17.1			インターナショナル		765
ロナルド	50	17.1	ブラジル		インターナショナル	ワールド	761
シェルチェンコ	40	17.1	ウクライナ		ミラノ	ユーロ	759
ガインシャ	40	17.4				クラシックワールド	757
カムトナ	40	17.1				クラシックユーロ	753
クラウハート	40	16.9	オランダ		バルセロナ		752
ハラン・シュニル	26	17.0	トルコ				751
T・A・フロン	36	16.9	ノルウェー		チェルシー		751
エムポマ	28	17.0	カメルーン				750
ヨルク	36	17.0			マンチェスター		749
マジンガ	26	16.7	南アフリカ				749
クレツポ	32	16.9	アルゼンチン		パルマ		748
ボルシッチ	24	16.9	クロアチア		ラツィオ		748
フリッツ	36	17.3				クラシックユーロ	747
ミューアー	36	16.9				クラシックユーロ	747
ケンプス	26	16.9				クラシックワールド	747
シナラー	36	16.8	イングランド				747
ギルス	36	17.2	ウェールズ		マンチェスター	ユーロ	746
アメルカ	30	16.8	フランス		マドリッド	ユーロ	746
キロロ	20	16.6		U-23 カメルーン			746
リバルド	46	17.3	ブラジル		バルセロナ	ワールド	745
サンテス	26	17.0				クラシックワールド	745
カルー	30	16.6	ノルウェー				745
エウサビオ	40	17.1				クラシックユーロ	744
ケニー・アンテソン	24	16.9	スウェーデン				744
エンベル	32	16.8	ブラジル		ミュンヘン		744
ウェヤー	30	16.8			チェルシー		744
ビアモフ	36	16.7	ドイツ		ミラノ	ユーロ	744
エルマンデス	28	17.0	メキシコ				743
ロマーニオ	32	16.8			リオデジャネイロ		743
ラウドルック	30	16.8			アムステルダム		743
ロゼ・ミア	30	16.8				クラシックワールド	742
サノラノ	30	16.8	チリ		インターナショナル		742
ダレイ	28	16.8	イラン				741
マラドーネ	50	17.4				クラシックワールド	740
リトマレン	30	17.0	フィンランド		バルセロナ		740
クラウド・ロペツ	32	16.9	アルゼンチン				740
コーン	36	16.8			マンチェスター		740
ベントーニ	26	16.6		U-23 イタリア			740
ハッゼ	26	17.2	モロッコ			ワールド	739
イリネ	30	16.9	ルーマニア		ヴァレンシア		739
コノル	20	16.7		U-23 カメルーン			739
ラムール	40	16.9	スペイン		マドリッド	ユーロ	738
ラニエリ	30	16.7			ラツィオ		738
F・インツァーキ	32	16.6	イタリア		トリノ		738
ブワウヤ	30	17.0				クラシックワールド	737
オーネン	44	16.8	イングランド		リバプール	ユーロ	737
アモローソ	34	16.8	ブラジル		パルマ		737
デニウトン	28	16.9	ブラジル				736
アスリ	24	16.8	フランス		ロンドン		736

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	CF適性値
ロマウロ	30	16.7		U-23 ブラジル			735
ミヤタビッチ	30	16.7	ユーゴスラビア		フィレンツェ		735
ウィナルタ	22	16.7	アメリカ				735
ジダム	40	17.1	フランス		トリノ	ユーロ	734
ルイ・コスナ	36	17.1	ポルトガル		フィレンツェ	ユーロ	734
ベン・マカティン	24	16.9	南アフリカ	U-23 南アフリカ			734
ババンギタ	24	16.9	ナイジェリア		アムステルダム		734
ヴィクトール	24	16.8	フランス				734
モンテッサ	26	16.7	イタリア		ローマ		734
ファンキイトンク	24	16.7	オランダ				734
ミロネビッチ	24	16.7	ユーゴスラビア				734
スーテル	32	16.6	クロアチア		ロンドン		734
サンタクレス	32	16.6	パラグアイ		ミュンヘン	ワールド	734
クアイフ	50	17.3				クラシックユーロ	733
レコバ	32	17.1	ウルグアイ		インターナショナル	ワールド	733
ベルマー	30	16.9	チェコ		リバプール		733
ウルハイス	24	16.5	スペイン				733
ロビー・キーヌ	22	16.4	アイルランド				733
ロベウト・カウロス	36	17.4	ブラジル		マドリッド	ワールド	732
ピサノ	26	16.7	ペルー				732
フィリックス	30	16.5	イングランド				732
サラジェサ	24	16.5	ウルグアイ				732
マッカーニ	22	16.3	オランダ				732
バイール	24	16.8	モロッコ				731
マエストニ	24	16.8	ペルー				731
ソルスメア	32	16.7	ノルウェー		マンチェスター		731
クナ	28	16.7	チェコ				731
ヌノ・ゴンツア	24	16.7	ポルトガル				731
トレセレ	28	16.6	フランス		モナコ		731
デステハノ	36	16.5				クラシックワールド	731
ストルパス	24	16.5	ベルギー				731
ドニチデテ	24	16.5			リオデジャネイロ		731
ダーウィッツ	36	17.3	オランダ		トリノ	ユーロ	730
トッチィ	32	16.9	イタリア		ローマ	ユーロ	730
バレリ	26	16.9	イラン				730
カム	30	16.6	ナイジェリア		ロンドン		730
カシアギ	28	16.5			チェルシー		730
ブリックス	24	16.5			リーズ		730
フリスロフ	18	16.5	ベルギー				730
ラバイッチ	24	16.9	クロアチア				729
シャフイザ	30	16.7	スイス				729
シェリンゲム	26	16.5			マンチェスター		729
コンボ	20	16.5	コロンビア				729
デウピエロ	40	17.0	イタリア		トリノ		728
アシシ	24	16.9	イラン				728
キューメル	30	16.7	オーストラリア		リーズ		728
ブラント	24	16.7	メキシコ				728
ムロ・ムレーザ	20	16.5	ベルギー				728
アルフレイティ	20	16.5		U-23 クウェート			728
エルハタリ	18	16.5		U-23 モロッコ			728
ヘスリー	28	16.3	イングランド		リバプール		728
ババンジラ	24	16.3		U-23 ナイジェリア			728
オコチ	26	17.1	ナイジェリア			ワールド	727
ベーヨン	38	17.0	アルゼンチン		ラツィオ	ワールド	727
フィート	24	17.0	ポルトガル		バルセロナ	ユーロ	727
オヘルマウス	28	16.8	オランダ		ロンドン		727
フィニティ	24	16.8	ナイジェリア				727
D・コナセビッチ	24	16.7	ユーゴスラビア		トリノ		727
セリニ	22	16.7	チュニジア				727

OH(オフェンシブハーフ)

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	OH適性値
マラドーネ	50	17.4				クラシックワールド	757
ジダム	40	17.1	フランス		トリノ	ユーロ	757
クアイフ	50	17.3				クラシックユーロ	755
ボバン	36	16.9	クロアチア		ミラノ		755
ガインシャ	40	17.4				クラシックワールド	754
ルイ・コスナ	36	17.1	ポルトガル		フィレンツェ	ユーロ	753
ベッキャム	40	16.9	イングランド		マンチェスター	ユーロ	751
ジート	44	16.9				クラシックワールド	749
ペリ	44	17.5				クラシックワールド	748
プラティネ	44	16.8				クラシックユーロ	748
ベーヨン	38	17.0	アルゼンチン		ラツィオ	ワールド	746
ストイクビッチ	26	16.7	ユーゴスラビア			ユーロ	745
リバルド	46	17.3	ブラジル		バルセロナ	ワールド	744
デウピエロ	40	17.0	イタリア		トリノ		743
ハッゼ	26	17.2	モロッコ			ワールド	742
ロナルド	50	17.1	ブラジル		インターナショナル	ワールド	742
ベウカンプ	38	16.9	オランダ		ロンドン		742
ギルス	36	17.2	ウェールズ		マンチェスター	ユーロ	739
フィート	24	17.0	ポルトガル		バルセロナ	ユーロ	739
オコチ	26	17.1	ナイジェリア			ワールド	738
ゾア	36	16.9			チェルシー		738
R・バッゾ	32	16.5			インターナショナル		737
レコバ	32	17.1	ウルグアイ		インターナショナル	ワールド	736
エフェンベウグ	30	16.8			ミュンヘン		735
スフォルガ	30	16.8	スイス				735
ラムール	40	16.9	スペイン		マドリッド	ユーロ	734
ロナト・デムール	32	16.7	オランダ		バルセロナ		734
ヘルトーク	24	16.7	オーストリア				734
シーホン	32	16.5				クラシックユーロ	734
サマス	32	17.4	チリ		ラツィオ	ワールド	733
ブワウヤ	30	17.0				クラシックワールド	733
T・A・フロン	36	16.9	ノルウェー		チェルシー		733
リトマレン	30	17.0	フィンランド		バルセロナ		732
モナンテス	22	16.9	コロンビア				732
ジズ	30	16.7				クラシックワールド	732
サイハミジッチ	24	16.7			ミュンヘン		732
チコフ	28	16.6	ロシア				732
フリッツ	36	17.3				クラシックユーロ	731
ファンバスチン	44	17.2				クラシックユーロ	731
ケニー・アンテソン	24	16.9	スウェーデン				731
コーウ	30	16.7			ウェストハム		731
ハヴィ	30	16.7	ルーマニア				731
ニラサキ	28	16.8			ローマ	ワールド	730
ユーロビッチ	24	16.8	ユーゴスラビア		インターナショナル		730
マンティーニ	30	16.7			ラツィオ		730
サビロ	26	16.7			マドリッド		730
レオナウド	30	16.5			ミラノ		730
ラートン	24	17.1	スウェーデン				729
ベラ	24	16.8	チュニジア				729
バレリ	26	16.9	イラン				728
グァルテオナ	34	16.8	スペイン		バルセロナ	ユーロ	728
ジョムカエフ	32	16.7	フランス				728
グリン	30	16.7	ウクライナ				728
パナシオス	24	16.7	ペルー				728

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	CH適性値
ピレロ	28	16.6		U-23 イタリア			728
バテストータ	44	17.2	アルゼンチン		フィレンツェ	ワールド	727
シェルチェンコ	40	17.1	ウクライナ		ミラノ	ユーロ	727
エムボマ	28	17.0	カメルーン				727
D・スタンクビッチ	24	16.9	ユーゴスラビア		ラツィオ		727
メナー	28	16.7			ドルトムント		727
ロベウト・カウロス	36	17.4	ブラジル		マドリッド	ワールド	726
アサロビッチ	28	16.7	クロアチア				726
モチュー	22	16.7	南アフリカ				726
カムトナ	40	17.1				クラシックユーロ	725
トッチィ	32	16.9	イタリア		ローマ	ユーロ	725
ベルマー	30	16.9	チェコ		リバプール		725
エウサビオ	40	17.1				クラシックユーロ	724
ハラン・シュニル	26	17.0	トルコ				724
サビオナ	36	16.9			ブエノスアイレス		724
デニウトン	28	16.9	ブラジル				724
アシシ	24	16.9	イラン				724
オウテガ	30	16.7	アルゼンチン		パルマ		724
クビジス	26	16.7				クラシックワールド	724
フランコステリ	30	16.7				クラシックワールド	723
ジャリッチ	28	16.7				クラシックユーロ	723
カム	30	16.6	ナイジェリア		ロンドン		723
アネックス	24	16.6	ブラジル	U-23 ブラジル			723
デ・ラ・ペーナ	26	16.4			マルセイユ		723
フィニティ	24	16.8	ナイジェリア				722
ポポフスキー	28	16.8	チェコ				721
ダイクラー	26	16.7	ドイツ				721
ヘスナー	28	16.5	ドイツ				721
カーリオ	26	16.5			ウェストハム		721
ビレリ	46	17.1			インターナショナル		720
スコールス	32	16.9	イングランド		マンチェスター		720
イリネ	30	16.9	ルーマニア		ヴァレンシア		720
レグロフ	32	16.8	ウクライナ				720
ミナイロビッチ	32	16.8	ユーゴスラビア		ラツィオ	ユーロ	720
オヘルマウス	28	16.8	オランダ		ロンドン		720
ミグウ	28	16.5	フランス				720
エルマンデス	28	17.0	メキシコ				719
アモローソ	34	16.8	ブラジル		パルマ		719
バイール	24	16.8	モロッコ				719
ピサノ	26	16.7	ペルー				719
ロベウト・アクーナ	20	16.7	パラグアイ				719
ワーム	24	16.5	ベルギー				719
ワーム	24	16.5			パルマ		719
ベン・マカティン	24	16.9	南アフリカ	U-23 南アフリカ			718
スイマネ	20	16.8	チュニジア				718
キューメル	30	16.7	オーストラリア		リーズ		718
デフランテスコ	28	16.5			ローマ		718
クラウド・ロベツ	32	16.9	アルゼンチン				717
ラウドルック	30	16.8			アムステルダム		717
ウェヤー	30	16.8			チェルシー		717
ヌト	20	16.8	カメルーン				717
ソマーノ	24	16.7	ペルー				717
デュロフスキー	22	16.5	スロバキア				717
ショム	28	16.4	ドイツ		ミュンヘン		717
A・ニールレン	24	16.4	デンマーク				717
ヨルク	36	17.0			マンチェスター		716
ラバイッチ	24	16.9	クロアチア				716
アルネ	24	16.7	パラグアイ			ワールド	716
スーテル	32	16.6	クロアチア		ロンドン		716

SH(サイドハーフ)

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	SH適性値
ロベウト・カウロス	36	17.4	ブラジル		マドリッド	ワールド	699
ダーウィッツ	36	17.3	オランダ		トリノ	ユーロ	698
クアイフ	50	17.3				クラシックユーロ	690
マラドーネ	50	17.4				クラシックワールド	687
フリッツ	36	17.3				クラシックユーロ	686
ハッゼ	26	17.2	モロッコ			ワールド	685
リバルド	46	17.3	ブラジル		バルセロナ	ワールド	684
シードルク	36	16.9	オランダ		インターナショナル		682
カシュー	30	16.8	ブラジル		ローマ	ワールド	682
ヌト	20	16.8	カメルーン				682
ペリ	44	17.5				クラシックワールド	680
ロナルド	50	17.1	ブラジル		インターナショナル	ワールド	680
ラートン	24	17.1	スウェーデン				680
ガインシャ	40	17.4				クラシックワールド	679
ジダム	40	17.1	フランス		トリノ	ユーロ	678
フィート	24	17.0	ポルトガル		バルセロナ	ユーロ	678
ヤムニ	24	16.7	クロアチア				678
ベイテス	24	16.7	パラグアイ				678
オコチ	26	17.1	ナイジェリア			ワールド	677
ポポフスキー	28	16.8	チェコ				677
オヘルマウス	28	16.8	オランダ		ロンドン		677
スタミッチ	22	16.7	クロアチア		パルマ		677
エウサビオ	40	17.1				クラシックユーロ	676
チュナム	30	17.0	フランス		パルマ		676
レグロフ	32	16.8	ウクライナ				676
ソマーノ	24	16.7	ペルー				676
ギルス	36	17.2	ウェールズ		マンチェスター	ユーロ	675
デウピエロ	40	17.0	イタリア		トリノ		675
ラノン・ラニエス	24	16.8	メキシコ				675
ベスティ	32	16.4				クラシックユーロ	675
サビオナ	36	16.9			ブエノスアイレス		674
ベッキャム	40	16.9	イングランド		マンチェスター	ユーロ	673
ボパン	36	16.9	クロアチア		ミラノ		673
フィニティ	24	16.8	ナイジェリア				673
エジウトン	24	16.7	ブラジル				673
サマス	32	17.4	チリ		ラツィオ	ワールド	672
シェルチェンコ	40	17.1	ウクライナ		ミラノ	ユーロ	672
ベーヨン	38	17.0	アルゼンチン		ラツィオ	ワールド	672
ベン・マカティン	24	16.9	南アフリカ	U-23南アフリカ			672
オーネン	44	16.8	イングランド		リバプール	ユーロ	672
ロー・キーヌ	28	16.7	アイルランド		マンチェスター		672
ムアリト	20	16.7	サウジアラビア				672
フェシペ	26	16.6			リオデジャネイロ		672
レチハー	24	16.5	オランダ		バルセロナ		672
ゼ・ロベウト	24	16.3	ブラジル		レバークーゼン		672
ルイ・コスナ	36	17.1	ポルトガル		フィレンツェ	ユーロ	671
ラバイッチ	24	16.9	クロアチア				671
グァルテオナ	34	16.8	スペイン		バルセロナ	ユーロ	671
レドント	32	16.7	アルゼンチン		マドリッド	ワールド	671
ジャリッチ	28	16.7				クラシックユーロ	671
ウィットノア	20	16.7	ジャマイカ				671
マハナヒキア	22	16.5	イラン			ワールド	671
アクトラ	22	16.4	トルコ			・	671
レコパ	32	17.1	ウルグアイ		インターナショナル	ワールド	670

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	SH適性値
ベルマー	30	16.9	チェコ		リバプール		670
ババンギタ	24	16.9	ナイジェリア		アムステルダム		670
ユーロビッチ	24	16.8	ユーゴスラビア		インターナショナル		670
タウナト	24	16.7			ミュンヘン		670
ムスゥ	22	16.7	ルーマニア		インターナショナル		670
ガトーソ	24	16.3		U-23 イタリア	ミラノ		670
アシシ	24	16.9	イラン				669
クビジス	26	16.7				クラシックワールド	669
アルネ	24	16.7	パラグアイ			ワールド	669
エルマンデス	28	17.0	メキシコ				668
サンテス	26	17.0				クラシックワールド	668
モナンテス	22	16.9	コロンビア				668
ベラ	24	16.8	チュニジア				668
アスリ	24	16.8	フランス		ロンドン		668
スイマネ	20	16.8	チュニジア				668
キューメル	30	16.7	オーストラリア		リーズ		668
エメウソン	28	16.6	ブラジル		レバークーゼン	ワールド	668
メンデータ	24	16.4	スペイン		ヴァレンシア		668
ベウカンプ	38	16.9	オランダ		ロンドン		667
メナー	28	16.7			ドルトムント		667
オイセー	24	16.7	ナイジェリア		トリノ		667
イェレニース	28	16.6	ドイツ		ミュンヘン		667
サメッティ	26	16.5	アルゼンチン		インターナショナル		667
フォーキュン	24	16.5	南アフリカ	U-23 南アフリカ	マンチェスター		667
ピサーラ	22	16.5	チリ	U-23 チリ			667
パヌッティ	26	16.4			インターナショナル		667

DH（ディフェンシブハーフ）

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	DH適性値
ダーウィッツ	36	17.3	オランダ		トリノ	ユーロ	537
シードルク	36	16.9	オランダ		インターナショナル		531
フリッツ	36	17.3				クラシックユーロ	526
ロー・キーヌ	28	16.7	アイルランド		マンチェスター		525
ヌト	20	16.8	カメルーン				521
ガトーソ	24	16.3		U-23 イタリア	ミラノ		520
ロベウト・カウロス	36	17.4	ブラジル		マドリッド	ワールド	519
カマンブー	24	16.5	フランス		マドリッド		518
アガチャ	22	16.5		U-23 ナイジェリア			517
タッキナウディ	22	16.3			トリノ		517
ムアリト	20	16.7	サウジアラビア				516
カンベラ	26	16.5	フランス		ローマ		514
ウニト・ダバン	20	16.3	トルコ				514
レドント	32	16.7	アルゼンチン		マドリッド	ワールド	513
グリン	30	16.7	ウクライナ				513
デマテオ	24	16.5			チェルシー		513
エメウソン	28	16.6	ブラジル		レバークーゼン	ワールド	512
マルデーニ	32	16.5	イタリア		ミラノ	ユーロ	512
アウメイダ	28	16.4	アルゼンチン		ラツィオ		512
シッピ	18	16.3	モロッコ				512
フォレ	20	16.1	カメルーン		ウェストハム		512
カシュー	30	16.8	ブラジル		ローマ	ワールド	511
メンデータ	24	16.4	スペイン		ヴァレンシア		511
ラナル	20	16.2	ナイジェリア				511
タイクン	16	16.2	トルコ				511
オイセー	24	16.7	ナイジェリア		トリノ		510
ダニー・アンテソン	18	16.3	スウェーデン				510

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	DH適性値
ライカーウト	32	16.9				クラシックユーロ	510
スタミッチ	22	16.7	クロアチア		パルマ		510
イェレニース	28	16.6	ドイツ		ミュンヘン		509
パヌッキィー	26	16.4			インターナショナル		509
サニ・トラヘルシ	16	16.1	チュニジア				509
グァルテオナ	34	16.8	スペイン		バルセロナ	ユーロ	508
ハイムリッヒ	24	16.6			フィレンツェ		508
フォーキュン	24	16.5	南アフリカ	U-23 南アフリカ	マンチェスター		508
ニューエンブーグ	22	16.1			アムステルダム		508
シャディ	24	16.5		U-23　スペイン	バルセロナ		507
ゼ・ロベウト	24	16.3	ブラジル		レバークーゼン		507
ミリト	20	16.3	スウェーデン				507
コンティ	20	16.1	イタリア		トリノ		507
ロナト・デムール	32	16.7	オランダ		バルセロナ		506
ソクアテス	32	16.5				クラシックワールド	506
セリオ・コンメイト	32	16.5	ポルトガル		ラツィオ		506
デサン	24	16.5	フランス		チェルシー		506
アンドアーデ	24	16.4				クラシックワールド	506
アクトラ	22	16.4	トルコ				506
ペノレスク	24	16.3	ルーマニア		チェルシー	ユーロ	506
ユ・サンチョム	20	16.3	韓国				506
ロン	16	16.3	ジャマイカ				506
アリン	16	16.1	サウジアラビア				506
ハーラン	24	16.0	ドイツ		リバプール		506
ラートン	24	17.1	スウェーデン				505
ジズ	30	16.7				クラシックワールド	505
アルネ	24	16.7	パラグアイ			ワールド	505
プレィ	24	16.7	フランス		ロンドン		505
バローリオ	24	16.5		U-23 イタリア			505
ピサーラ	22	16.5	チリ	U-23 チリ			505
トリチェッシ	26	16.3			フィレンツェ		505
アクンソン	24	16.2			ローマ		505
リーテ	20	16.2	ノルウェー		モナコ		505
オトン	24	16.1	オーストラリア		フィレンツェ		505
ロサーモ	16	16.1	コロンビア				505
タウナト	24	16.7			ミュンヘン		504
ロベウト・アクーナ	20	16.7	パラグアイ				504
サンキス	20	16.6		U-23 チリ			504
ミウコビッチ	22	16.1			トリノ		504
ベルクトルノ	18	16.1	ノルウェー				504
イズレニッチ	16	16.1	スロベニア				504
チュナム	30	17.0	フランス		パルマ		503
ミナイロビッチ	32	16.8	ユーゴスラビア		ラツィオ	ユーロ	503
アンブロシーニ	24	16.4	イタリア		ミラノ		503
ファミオル	20	16.4		U-23　スペイン	ヴァレンシア		503
ムニィ	22	16.3	トルコ				503
カーレチ	20	16.2	スロベニア				503
ファウカン	26	16.1				クラシックワールド	503
デビアシオ	22	16.1	イタリア		インターナショナル		503
ハッゼ	26	17.2	モロッコ			ワールド	502
ベーヨン	38	17.0	アルゼンチン		ラツィオ	ワールド	502
イメロ	32	16.9	スペイン		マドリッド	ユーロ	502
セレブニソフ	22	16.6	ウクライナ				502
クリス・アクーナ	24	16.5	チリ				502
ビベラス	18	16.2	コロンビア				502
シルバーニョ	22	16.1			ロンドン		502
バットゥ	22	16.1			マンチェスター		502
バギー	20	16.0	イングランド				502
クアイフ	50	17.3				クラシックユーロ	501

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	DH適性値
オコチ	26	17.1	ナイジェリア			ワールド	501
ユーロビッチ	24	16.8	ユーゴスラビア		インターナショナル		501
オルナ	18	16.5	ナイジェリア				501
レクザル	24	16.3	ノルウェー				501
ダコステ	22	16.3	ポルトガル		モナコ		501
フセール	24	16.2			パルマ		501
アルベルテーニ	24	16.2	イタリア		ミラノ		501
ルドイヤ	24	16.2	スロベニア				501
ルスオ	22	16.2			チェルシー		501
エバニウトン	20	16.1	ブラジル		ドルトムント		501
ルジッチ	18	16.1	スウェーデン				501
ハルガ	16	16.0		U-23 カメルーン			501
ゴッタウディ	18	15.9			ラツィオ		501
ムスゥ	22	16.7	ルーマニア		インターナショナル		500
ピレフ	28	16.5	フランス		マルセイユ		500
コツ	24	16.5	オランダ		バルセロナ		500
トミー・ビトナー	18	16.3	オーストラリア				500
ヌドゲ	18	16.3	南アフリカ				500
サルナト	24	16.2	スペイン		マドリッド		500
ヴァレモン	20	16.2	スペイン				500
ザニアーティ	20	16.1		U-23 イタリア	ローマ		500
モルツ	20	16.0			ロンドン		500
ペレータ	18	15.9	ペルー				500
カルマン	16	15.9	スロバキア				500
ベッケンバウヤ	40	16.7				クラシックユーロ	500
ネトレト	22	16.6	チェコ		ラツィオ		500

CB（センターバック）

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	CB適性値
ライカーウト	32	16.9				クラシックユーロ	487
チュトル	24	16.5	クロアチア		トリノ		487
スタン	32	16.2	オランダ		マンチェスター	ユーロ	486
ガナラ	30	16.4	パラグアイ				478
イメロ	32	16.9	スペイン		マドリッド	ユーロ	477
ネスティ	24	16.3	イタリア		ラツィオ		477
チュナム	30	17.0	フランス		パルマ		476
チラベルト	32	16.4	パラグアイ			ワールド	476
ファンテルサール	26	15.7	オランダ		トリノ	ユーロ	476
ドゥカイー	30	16.3	フランス		チェルシー	ユーロ	475
ブナン	26	16.1	フランス		インターナショナル		475
ジーラ	22	15.5	ブラジル				475
ヘンドニー	24	16.2	スコットランド				474
コンテルラン	22	16.2	オランダ				473
ヤチン	30	15.4				クラシックユーロ	473
フリッツ	36	17.3				クラシックユーロ	471
R・ファーテナント	24	16.3			ウェストハム		471
シュナイケル	30	15.3	デンマーク				471
ベッケンバウヤ	40	16.7				クラシックユーロ	470
バレーシ	36	16.5				クラシックユーロ	470
カンナバーレ	28	16.5	イタリア		パルマ		470
キャンベル	24	16.1	イングランド				470
クーラン	32	16.7				クラシックユーロ	469
アジャマ	24	16.4	アルゼンチン		ミラノ	ワールド	469
ウェスタ	24	16.1	ナイジェリア		ミラノ		469
ユリヤーノ	22	16.0	イタリア		トリノ		469
レスカ	24	16.0	チェコ		フィレンツェ		468

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	CB適性値
モンケーロ	26	16.4	ウルグアイ		トリノ		468
アガチャ	22	16.5		U-23 ナイジェリア			467
アザラ	24	16.1	パラグアイ				467
エッケン	22	15.9	ノルウェー				467
ベルムテス	18	15.9	コロンビア				467
ツオネラ	18	15.8	フィンランド				467
ラデーゲ	20	16.3	南アフリカ		リーズ		466
フェルマン・コール	26	16.2	ポルトガル		ラツィオ		466
ソクド	20	16.1	クロアチア				466
パティ・アンテソン	20	16.0	スウェーデン		ミュンヘン		466
ペンチー・ヒロンク	18	15.9	カメルーン				466
ヒッキア	16	15.9	フィンランド		リバプール		466
ムーヤ	24	16.3				クラシックユーロ	465
フォックル	20	16.3	オーストラリア	U-23 オーストラリア			465
オスカル	24	16.2				クラシックワールド	465
イランカーボ	22	16.2			マドリッド		465
チャノ	22	16.1	アルゼンチン		ミラノ		465
カヤ	20	16.1	カメルーン				465
イツサ	18	16.0	南アフリカ		マルセイユ		465
ジノル・バーノ	22	15.6			リオデジャネイロ		465
デライエ	20	15.6	サウジアラビア				465
ポポリッチ	18	15.6	オーストラリア				465
トード	24	15.1	イタリア		フィレンツェ		465
サウトル	22	16.1			パルマ		464
ショーンベルク	20	15.6	デンマーク				464
オノルコ	20	15.5	ロシア				464
ゾフィ	30	15.2				クラシックユーロ	464
ヌト	20	16.8	カメルーン				463
カンポス	22	16.7	メキシコ				463
ビレイラ	22	16.3	フランス		ロンドン		463
シメヨネ	22	16.2	アルゼンチン		ラツィオ		463
ノロトニー	20	16.1	ドイツ		レバークーゼン		463
エメウトン	20	15.9			チェルシー		463
ネクレス	16	15.8	モロッコ				463
スティナッチ	20	15.7	クロアチア		ウェストハム		463
モントラゴン	16	15.3	コロンビア				463
トビヤセン	24	16.0			アムステルダム		462
サンキス	22	15.9			マドリッド		462
ブーン	16	15.9		U-23 南アフリカ			462
ペジェクリーオ	24	15.8			ヴァレンシア		462
C・ジェルマーロ	22	15.3			リオデジャネイロ		462
ロー・キーヌ	28	16.7	アイルランド		マンチェスター		461
コスタクウタ	28	16.1			ミラノ		461
ベルンツ	24	16.1			ドルトムント		461
ボハウデ	22	16.0			バルセロナ		461
フルムカ	18	16.0	ハンガリー				461
ウッドレイト	20	15.9			リーズ		461
カモーラ	16	15.9	エジプト				461
ブラグスタンド	20	15.7	ノルウェー				461
イウクナー	24	14.9			マドリッド		461
スタミッチ	22	16.7	クロアチア		パルマ		460
マルデーニ	32	16.5	イタリア		ミラノ	ユーロ	460
クイスタンバル	22	16.1			モナコ		460
ベニーソ	22	16.0			ブエノスアイレス		460
オケチク	20	15.8	ナイジェリア				460
バップ	20	15.8	アイルランド		リバプール		460
レーネル	18	15.8	ドイツ				460
ホーマン	22	15.7			レバークーゼン		460
トリス	20	15.7			リオデジャネイロ		460

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	CB適性値
ドラグナル	16	15.6	ハンガリー				460
カーロスアウベウト	24	16.4				クラシックワールド	459
ファンネイル	20	16.0	ベルギー				459
カラムカ	24	15.9			マドリッド		459
オルン	20	15.8	トルコ				459
チュモテリュ	18	15.8	ルーマニア				459
ユミッチ	18	15.8	クロアチア				459
デュース	16	15.7			バルセロナ		459
コーナー	24	15.6			ドルトムント		459
アダモス	22	15.5	イングランド		ロンドン		459
カリーネ	24	15.4	ウルグアイ			ワールド	459
ショスコフスキ	20	14.9	ウクライナ				459
ラヴァネイ	30	16.7			ラツィオ		458
クホー	24	16.1			ミュンヘン		458
ロベウト・コナッチ	22	16.0			レバークーゼン		458
バッゲル	22	15.9	ドイツ		ミュンヘン		458
ホール	20	15.9	デンマーク		チェルシー		458
リンカ	20	15.9	ドイツ				458
カール	24	15.3	ドイツ		ミュンヘン		458
アビナーティ	20	15.1		U-23 イタリア	ミラノ		458
タウナト	24	16.7			ミュンヘン		457
ジルコリッチ	22	16.3			レバークーゼン		457
アンキベー	18	16.1	カメルーン				457
レロード	22	15.8		U-23 スロバキア			457
エムロス	18	15.8	スイス		リバプール		457
サネリッチ	20	15.7	ユーゴスラビア				457

SB（サイドバック）

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	SB適性値
ロベウト・カウロス	36	17.4	ブラジル		マドリッド	ワールド	407
ダーウィッツ	36	17.3	オランダ		トリノ	ユーロ	403
チュナム	30	17.0	フランス		パルマ		400
ヤムニ	24	16.7	クロアチア				399
カシュー	30	16.8	ブラジル		ローマ	ワールド	398
ハッゼ	26	17.2	モロッコ			ワールド	395
ライカーウト	32	16.9				クラシックユーロ	395
フリッツ	36	17.3				クラシックユーロ	394
シェルチェンコ	40	17.1	ウクライナ		ミラノ	ユーロ	394
スタミッチ	22	16.7	クロアチア		パルマ		394
カンナバーレ	28	16.5	イタリア		パルマ		394
シードルク	36	16.9	オランダ		インターナショナル		393
ロー・キーヌ	28	16.7	アイルランド		マンチェスター		393
ソマーノ	24	16.7	ペルー				393
イェレニース	28	16.6	ドイツ		ミュンヘン		393
リバルド	46	17.3	ブラジル		バルセロナ	ワールド	392
ベーヨン	38	17.0	アルゼンチン		ラツィオ	ワールド	392
ポポフスキー	28	16.8	チェコ				392
ヌト	20	16.8	カメルーン				392
カンボス	22	16.7	メキシコ				392
マルデーニ	32	16.5	イタリア		ミラノ	ユーロ	392
マハナヒキア	22	16.5	イラン			ワールド	392
ラデーゲ	20	16.3	南アフリカ		リーズ		392
ハ・ソッシュ	22	16.2	韓国				392
マラドーネ	50	17.4				クラシックワールド	391
エウサビオ	40	17.1				クラシックユーロ	391
ババンギタ	24	16.9	ナイジェリア		アムステルダム		391

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	SB適性値
レチハー	24	16.5	オランダ		バルセロナ		391
アンドアーデ	24	16.4				クラシックワールド	391
ガトーソ	24	16.3		U-23 イタリア	ミラノ		391
ソラントン	20	16.3		U-23 アメリカ			391
ロナルド	50	17.1	ブラジル		インターナショナル	ワールド	390
レドント	32	16.7	アルゼンチン		マドリッド	ワールド	390
ラノン・ラニエス	24	16.8	メキシコ				390
アルネ	24	16.7	パラグアイ			ワールド	390
クリス・アクーナ	24	16.5	チリ				390
ガインシャ	40	17.4				クラシックワールド	389
ラートン	24	17.1	スウェーデン				389
グァルテオナ	34	16.8	スペイン		バルセロナ	ユーロ	389
オヘルマウス	28	16.8	オランダ		ロンドン		389
ベイテス	24	16.7	パラグアイ				389
アジャマ	24	16.4	アルゼンチン		ミラノ	ワールド	389
トリチェッシ	26	16.3			フィレンツェ		389
ネスティ	24	16.3	イタリア		ラツィオ		389
ウォネ	22	16.3	カメルーン				389
ルドイヤ	24	16.2	スロベニア				389
コスタクウタ	28	16.1			ミラノ		389
カヤ	20	16.1	カメルーン				389
ペリ	44	17.5				クラシックワールド	388
クアイフ	50	17.3				クラシックユーロ	388
ベッキャム	40	16.9	イングランド		マンチェスター	ユーロ	388
ユーロビッチ	24	16.8	ユーゴスラビア		インターナショナル		388
フィニティ	24	16.8	ナイジェリア				388
ジャリッチ	28	16.7				クラシックユーロ	388
オイセー	24	16.7	ナイジェリア		トリノ		388
バレーシ	36	16.5				クラシックユーロ	388
サメッティ	26	16.5	アルゼンチン		インターナショナル		388
クレイポン	20	16.5	チュニジア				388
ガナラ	30	16.4	パラグアイ				388
メンデータ	24	16.4	スペイン		ヴァレンシア		388
カーロスアウベウト	24	16.4				クラシックワールド	388
ドゥカイー	30	16.3	フランス		チェルシー	ユーロ	388
ムーヤ	24	16.3				クラシックユーロ	388
フォスク	24	16.3				クラシックユーロ	388
ファーラソン	24	16.2	スコットランド				388
クホー	24	16.1			ミュンヘン		388
レスカ	24	16.0	チェコ		フィレンツェ		388
ギルス	36	17.2	ウェールズ		マンチェスター	ユーロ	387
ジダム	40	17.1	フランス		トリノ	ユーロ	387
オコチ	26	17.1	ナイジェリア			ワールド	387
オーネン	44	16.8	イングランド		リバプール	ユーロ	387
レグロフ	32	16.8	ウクライナ				387
ベッケンバウヤ	40	16.7				クラシックユーロ	387
ヌリル	24	16.7			レバークーゼン		387
ムアリト	20	16.7	サウジアラビア				387
カマンブー	24	16.5	フランス		マドリッド		387
シンクリア	24	16.5			ウェストハム		387
アウメイダ	28	16.4	アルゼンチン		ラツィオ		387
モンケーロ	26	16.4	ウルグアイ		トリノ		387
ヤオ	20	16.3	ペルー				387
セムニ	18	16.3	オーストリア				387
オスカル	24	16.2				クラシックワールド	387
ヤイ・ショ	18	16.1	中国				387
ハルガ	16	16.0		U-23 カメルーン			387
タゲット	16	16.0	チュニジア				387
ファーロ・アレ	18	15.9	UAE				387

SW・LIB（スイーパー・リベロ）

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	SW(LIB)適性値
チュナム	30	17.0	フランス		パルマ		519
ライカーウト	32	16.9				クラシックユーロ	519
フリッツ	36	17.3				クラシックユーロ	517
ダーウィッツ	36	17.3	オランダ		トリノ	ユーロ	516
イメロ	32	16.9	スペイン		マドリッド	ユーロ	515
ロー・キーヌ	28	16.7	アイルランド		マンチェスター		514
ベッケンバウヤ	40	16.7				クラシックユーロ	512
バレーシ	36	16.5				クラシックユーロ	512
ロベウト・カウロス	36	17.4	ブラジル		マドリッド	ワールド	511
クーラン	32	16.7				クラシックユーロ	510
シードルク	36	16.9	オランダ		インターナショナル		508
カンナバーレ	28	16.5	イタリア		パルマ		508
チュトル	24	16.5	クロアチア		トリノ		508
ヌト	20	16.8	カメルーン				507
スタン	32	16.2	オランダ		マンチェスター	ユーロ	507
マルデーニ	32	16.5	イタリア		ミラノ	ユーロ	506
スタミッチ	22	16.7	クロアチア		パルマ		504
イェレニース	28	16.6	ドイツ		ミュンヘン		504
アガチャ	22	16.5		U-23ナイジェリア			504
アジャマ	24	16.4	アルゼンチン		ミラノ	ワールド	504
カーロスアウベウト	24	16.4				クラシックワールド	504
ネスティ	24	16.3	イタリア		ラツィオ		504
ミナイロビッチ	32	16.8	ユーゴスラビア		ラツィオ	ユーロ	503
カマンブー	24	16.5	フランス		マドリッド		503
ファイヤジンガ	22	16.5			ドルトムント		503
ガナラ	30	16.4	パラグアイ				503
アウメイダ	28	16.4	アルゼンチン		ラツィオ		503
モンケーロ	26	16.4	ウルグアイ		トリノ		503
アンドアーデ	24	16.4				クラシックワールド	503
ドゥカイー	30	16.3	フランス		チェルシー	ユーロ	503
ラデーゲ	20	16.3	南アフリカ		リーズ		503
グァルテオナ	34	16.8	スペイン		バルセロナ	ユーロ	502
ムアリト	20	16.7	サウジアラビア				502
エメウソン	28	16.6	ブラジル		レバークーゼン	ワールド	502
クリス・アクーナ	24	16.5	チリ				502
デサン	24	16.5	フランス		チェルシー		502
カシュー	30	16.8	ブラジル		ローマ	ワールド	501
レドント	32	16.7	アルゼンチン		マドリッド	ワールド	501
タウナト	24	16.7			ミュンヘン		501
オイセー	24	16.7	ナイジェリア		トリノ		501
カンボス	22	16.7	メキシコ				501
トリチェッシ	26	16.3			フィレンツェ		501
Ｒ・ファーテナント	24	16.3			ウェストハム		501
ムーヤ	24	16.3				クラシックユーロ	501
コンテルラン	22	16.2	オランダ				501
プレィ	24	16.7	フランス		ロンドン		500
アンブロシーニ	24	16.4	イタリア		ミラノ		500
Ｇｈ・ポレスク	24	16.3	ルーマニア				500
オスカル	24	16.2				クラシックワールド	500
セレブニソフ	22	16.6	ウクライナ				499
フォーキュン	24	16.5	南アフリカ	U-23南アフリカ	マンチェスター		499
ビレイラ	22	16.3	フランス		ロンドン		499
タッキナウディ	22	16.3			トリノ		499
ブナン	26	16.1	フランス		インターナショナル		499

GK（ゴールキーパー）

選手名	C	Ave.	A代表	U-23代表	マスターリーグ	オールスターズ	GK適性値
チラベルト	32	16.4	パラグアイ			ワールド	589
シュナイケル	30	15.3	デンマーク				587
ジーラ	22	15.5	ブラジル				583
ファンテルサール	26	15.7	オランダ		トリノ	ユーロ	581
ヤチン	30	15.4				クラシックユーロ	581
トード	24	15.1	イタリア		フィレンツェ		579
スタン	32	16.2	オランダ		マンチェスター	ユーロ	576
ライカーウト	32	16.9				クラシックユーロ	574
チュトル	24	16.5	クロアチア		トリノ		574
カリーネ	24	15.4	ウルグアイ			ワールド	574
デライエ	20	15.6	サウジアラビア				573
カール	24	15.3	ドイツ		ミュンヘン		573
イウクナー	24	14.9			マドリッド		573
ゾフィ	30	15.2				クラシックユーロ	572
アビナーティ	20	15.1		U-23 イタリア	ミラノ		571
バルケス	26	15.4	フランス		モナコ	ユーロ	568
ブッホン	28	15.2	イタリア		パルマ		568
クナリ	18	15.1	ユーゴスラビア				568
ヌコネ	24	15.3				クラシックワールド	567
チュナム	30	17.0	フランス		パルマ		566
C・ジェルマーロ	22	15.3			リオデジャネイロ		566
キラミー	22	15.1	ハンガリー				566
ショスコフスキ	20	14.9	ウクライナ				565
カンボス	22	16.7	メキシコ				564
ネスティ	24	16.3	イタリア		ラツィオ		564
ソンボ	22	15.3	カメルーン				564
ラジッチ	20	15.3	クロアチア				564
イメロ	32	16.9	スペイン		マドリッド	ユーロ	563
ソーネンセン	16	14.7	デンマーク				563
カンナバーレ	28	16.5	イタリア		パルマ		562
ドゥカイー	30	16.3	フランス		チェルシー	ユーロ	562
R・ファーテナント	24	16.3			ウェストハム		561
ヘンドニー	24	16.2	スコットランド				561
コンテルラン	22	16.2	オランダ				561
ユリヤーノ	22	16.0	イタリア		トリノ		561
フリッツ	36	17.3				クラシックユーロ	560
ガナラ	30	16.4	パラグアイ				560
キャンペル	24	16.1	イングランド				560
ペルッチ	24	15.3			インターナショナル		560
スロンシク	16	15.0	チェコ				560
ヘドナン	20	14.9	スウェーデン				560
リケップ	12	14.9	ジャマイカ				560
クーラン	32	16.7				クラシックユーロ	559
バレーシ	36	16.5				クラシックユーロ	558
ブナン	26	16.1	フランス		インターナショナル		558
オケチク	20	15.8	ナイジェリア				558
ブッド	22	15.1	ドイツ				557
ロッジ	20	14.7			ミラノ		557
フリーデウ	20	14.5			リバプール		557
イランカーボ	22	16.2			マドリッド		556
レスカ	24	16.0	チェコ		フィレンツェ		556
イキータ	24	15.6				クラシックワールド	556
フォックル	20	16.3	オーストラリア	U-23 オーストラリア			555
ウェスタ	24	16.1	ナイジェリア		ミラノ		555

KONAMI OFFICIAL GUIDE
パーフェクトシリーズ

WORLD SOCCER 実況ウイニングイレブン WINNING ELEVEN 2000 U-23メダルへの挑戦

パーフェクトガイド

2000年10月28日　初版発行

発行　コナミ株式会社（JOC L-004）

発売　株式会社新紀元社
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-7
錦町一丁目ビル2F
TEL 03-3291-0961　FAX 03-3291-0963
郵便振替　00110-4-27618

制作　コナミ株式会社CP事業部
株式会社新紀元社編集部
宇山毅／山崎裕

協力　財団法人日本オリンピック委員会（JOC）
三菱商事株式会社

デザイン・DTP　スペースワイ

CGグラフィック　北村仁

印刷　大日本印刷株式会社

ISBN4-88317-830-7
定価はカバーに表示してあります。
Printed in Japan
© 2000 KONAMI ALL RIGHTS RESERVED.

“ ”「KONAMI」「WORLD SOCCER」「実況ウイニングイレブン」及び「WINNING ELEVEN2000」はコナミ株式会社の登録商標です。
“ ”及びPlayStationは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

adidas ,adidas and Tango football logo are registered trademarks of the adidas-Salomon group, all used with permission.

※ゲームの内容に関するご質問には一切お答えできません。
特に電話でのご質問はご遠慮ください。

ホームページアドレス
コナミ株式会社　http://www.konami.com
株式会社新紀元社　http://www.shinkigensha.co.jp